FOMA® SO705i

ISSUE DATE: '08.2

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

ドコモ
W-CDMA方式

**このたびは、「FOMA SO705i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他オプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA SO705iはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。**

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P.104）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、機能に割り当てられているメニュー番号で機能を呼び出せないものがあります。
この場合、本書での説明どおりに操作できないため、メインメニューを「スタンダードメニュー」に切り替えるか（P.34）、操作履歴リセット（P.97）をしてください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

索引から P.396

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、調べたい事項のキーワードから探します。

かんたん検索から P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ➡ 表紙

表紙のインデックスを使用して、章の最初のページの目次から探します。

次ページで詳しく説明しています。

目次から P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から P.8

新機能や便利な機能など、FOMA SO705i の主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー機能一覧から ➡ P.334

FOMA SO705iに表示されるメニューおよびお買い上げ時の設定内容を一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから P.408

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。また、クイックマニュアル（海外利用編）も記載しておりますので、海外で FOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

- この『FOMA SO705i取扱説明書』の本文中においては、『FOMA SO705i』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中では microSD メモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについて→P.241
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた（つづき）

「索引」「かんたん検索」「表紙インデックス」からの引きかたを、アラームを例として説明します。

索引から

➡P.396

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称をはじめ、調べたい事項のキーワードから探します。

かんたん検索から

P.4

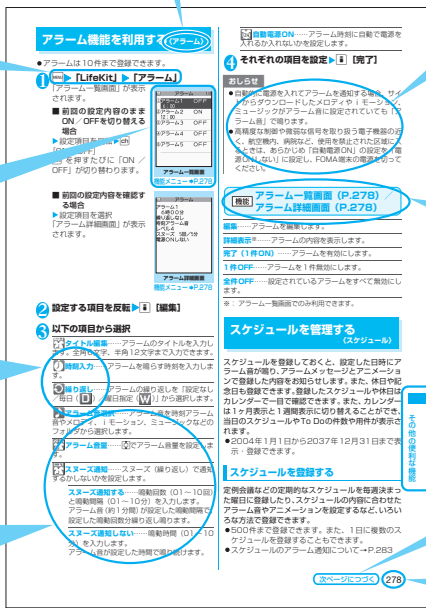
よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

※本文中のページとは内容が異なります。

本書ではFOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

※本文中のページとは内容が異なります。

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で、背景を白、文字を黒にして記載しています。また、メイン時計の「表示形式」の設定を「24時間形式」、「表示サイズ」の設定を「大きく表示」にした状態で記載しています。
- メインメニューや画面の配色のパターンは本体色Sugar Whiteのお買い上げ時の表示で記載しています。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージです。説明に必要な部分をクローズアップして記載するなど、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

・相手に電話番号を知らせたい／知られたくない P.47 発信者番号通知
・通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えたい P.53
・受話音量を変えたい P.64 受話音量
・通話を保留にしたい P.64 通話中保留

出られない電話にこうしたい

・電話に出ないで保留にしたい P.64 応答保留
・通話を控える必要があることを伝えたい
P.65 公共モード(ドライブモード) P.65 公共モード(電源OFF)
・用件を録音／録画したい P.67 伝言メモ

メロディやイルミネーションを変えたい

・着信音の音量を変えたい P.64 着信音量
・着信相手ごとに着信音などを変えたい P.82 個別着信音／画像、グループ着信音／画像
・着信音を変えたい P.88 着信音選択
・着信を振動でも知りたい P.90 バイブレータ
・キーを押したときの音を消したい P.90 ボタン確認音
・マナーモードにしたい P.92 マナーモード
・着信ランプの色や点滅パターンを変えたい P.99 着信ランプ

画面表示を変えたい・知りたい

・画面のマーク(アイコン)の意味を知りたい P.27 ディスプレイの見かた
・メニューの表示を切り替えたい P.34 シンプルメニュー
・待受画面(壁紙)を変えたい P.94 画面表示設定
・待受画面にカレンダーを表示したい P.95
・文字の大きさを変えたい P.100 フォント設定

メールを使いこなしたい

・デコメールを送りたい P.166 デコメール
・画像やメロディを送りたい P.168 添付ファイル
・メールを自動で振り分けて保存したい P.181 自動振分け設定

カメラを使いこなしたい

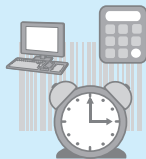
・撮影する画像サイズを変えたい P.130
・撮影した画像を表示したい P.225 マイピクチャ
・microSDメモリーカードに画像を保存したい P.247

安心して電話を使いたい

・紛失したときなど、離れた場所からFOMA端末をロックしたい P.109 おまかせロック※1
・電話帳の内容を知られたくない P.111 シークレットモード／シークレット専用モード
・番号非通知の電話を受けたくない P.122 非通知着信設定
・電話帳未登録の人からの電話を受けたくない P.122 登録外着信拒否
・万一のデータ消失にそなえ電話帳などを保存しておきたい P.123 電話帳お預かりサービス※2

※1：おまかせロックは有料サービスです。
※2：電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、ｉモード契約が必要です）。

こんなこともできます

・QRコードやバーコードを取り込みたい P.137 バーコードリーダー
・microSDメモリーカードを使いたい P.241
・パソコンやほかのFOMA端末と情報をやりとりしたい P.253 赤外線通信／ｉC通信 P.258 OBEX™通信
・音楽を聴きたい P.261 ミュージックプレーヤー／Music&Videoチャネル
・アラーム機能を使いたい P.278 アラーム
・電卓として使いたい P.289 電卓
・海外で携帯電話を使いたい P.325
・最新のソフトウェアにしたい P.372 ソフトウェア更新
・セキュリティを最新の状態にしたい P.378 スキャン機能

その他の操作の引き方については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P.1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P.408

目次

FOMA SO705iの主な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！
ｉモードは、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

●●●●● SO705iの主な特徴 ●●●●●

■ ｉモードメール／デコメール／デコメ絵文字 →P.164、166

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトもしくは10個までファイル（JPEG、トルカなど）を添付することができます。また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入することができます。

■ メガｉアプリ →P.193

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。大容量のメガｉアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。また、モーションコントロールにも対応しているため、ケータイを「傾ける」「振る」などといった感覚的な操作で楽しむことができます。

■ 高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。

■ 国際ローミング →P.325

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアのみ対応）。音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

■ きせかえツール →P.104

ｉモードからお気に入りのキャラクターの画面などをダウンロードして、待受やメニュー画面などを一括して変更することができます。SO705iなら利用頻度に合わせてメニューの表示順序の入れ替えも可能で、メニュー画面を自分好みにカスタマイズすることができます。

■ 着うたフル®／うた・ホーダイ／Music＆Videoチャネル※／ビデオクリップ →P.266、261、158

※:お申し込みが必要な有料サービスです。
1曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、ケータイ1つで定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた・ホーダイに対応。
また、事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。SO705iなら動画付きの番組も楽しめます。さらに、10Mバイトまでのｉモーションに対応しているので1曲まるごとのミュージッククリップなどを楽しめるビデオクリップにも対応。

■ おサイフケータイ／トルカ →P.203、209

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストールしています。また機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「ｉCお引っこしサービス」にも対応しています。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。

●●●●● あんしん ●●●●●

■ おまかせロック →P.109

電話機を紛失した際に携帯電話にロックがかけられ、お申し出により解除ができます。お問い合わせ先については取扱説明書裏面を参照してください。

※ おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。
※ おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

■ 電話帳お預かりサービス →P.123

携帯電話の電話帳・画像・メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを携帯電話に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集や管理ができ、編集したデータを携帯電話に反映することも可能です。

※「電話帳お預かりサービス」のご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

多彩な機能

■ カメラ機能 →P.125

外側カメラと内側カメラの2つのカメラで静止画、動画を撮影できます。撮影モード選択、オートフォーカスなど充実したカメラ機能を搭載しています。
外側カメラ：有効画素数約200万画素
（最大記録画素数約190万画素）
内側カメラ：有効画素数約33万画素
（最大記録画素数約31万画素）

■ microSDメモリーカード →P.241、250

小型のmicroSDメモリーカードに対応。FOMA端末電話帳、メール、画像などのデータをmicroSDメモリーカードにコピーしたり、保存したデータをFOMA端末で表示したりできます。
また、FOMA端末をパソコンと接続すると、microSDメモリーカードのリーダー／ライターとしても使用できます。

■ フルブラウザ →P.217

パソコン向けのインターネットホームページを表示でき、より多くの情報を得ることができます。

■ “POBox Pro”と便利な文字入力 →P.295

予測変換機能“POBox Pro”（Predictive Operation Based On eXample Pro）を搭載。“POBox”内の候補を[□]を1秒以上押して行単位で移動でき、目的の語句を選択できます。また、ダイヤルボタンを1秒以上押すと「あ→い→う→え→お→ぁ→…」などのダイヤルボタンに割り当てられた文字を連続して切り替えることができます。

■ まちうけ文庫 →P.95

待受画面が表示されるたびに、豆知識や雑学、絵本などの多彩な情報が次々と表示される、ユニークなFlashコンテンツが3件あらかじめ用意されています。
データBOX▶マイピクチャ▶プリインストールから、お好みのコンテンツを選んで待受画面に設定し、楽しむことができます。

■ 赤外線通信／赤外線リモコン →P.253、259

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、テレビなどの赤外線リモコンに対応した機器を操作することもできます。

■ スタイルアップ®パネル

スタイルアップ®パネルを採用。別売りのパネルをお好みに合わせて楽しく着せかえることができます。
また、パネルに合ったきせかえツールをPlayNowbySOからダウンロードすることもできます。

■ 大画面メインディスプレイ＆サブディスプレイ

メインディスプレイには約2.8インチの高画質ディスプレイを採用。静止画や動画をくっきり鮮やかに再現します。
サブディスプレイには有機ELディスプレイを搭載し、表示がスタイルアップ®パネル（別売）に美しく浮かび上がります。

■ マルチアクセス →P.276

音声通話とパケット通信を同時に利用できます。通話中にｉモードメールを受信したり、ｉモード中に通話したりできます。

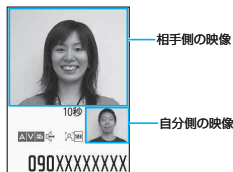
豊富なネットワークサービス（→P.305）

- 留守番電話サービス（有料）※
- キャッチホン（有料）※
- 転送でんわサービス（無料）※
- 迷惑電話ストップサービス（無料）
- 番号通知お願いサービス（無料）
- デュアルネットワークサービス（有料）※
- 英語ガイダンス（無料）
- マルチナンバー（有料）※
- 2in1（有料）※

※：お申し込みが必要です。

FOMA SO705iを使いこなす！

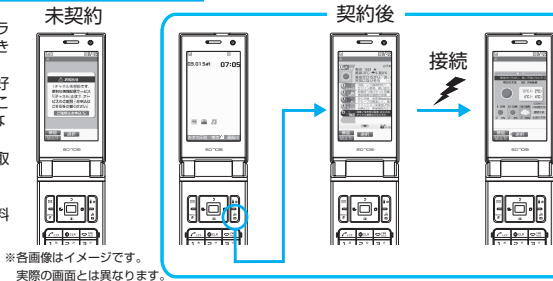
顔を見ながら話せる テレビ電話→P.51

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

最新情報が配信されると待受画面にテロップ表示される ｉチャネル→P.160

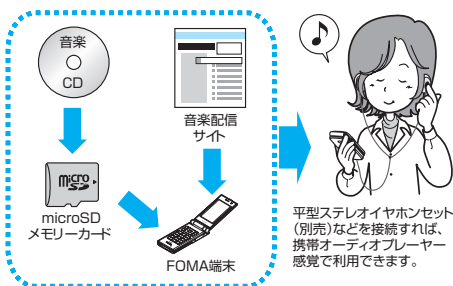
ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（詳細な説明は→P.148）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。

※お申し込みが必要な有料サービスです。

未契約

※各画像はイメージです。
実際の画面とは異なります。

「Napster®」に対応した ミュージックプレーヤー→P.271

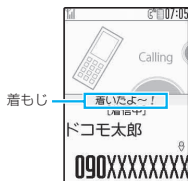
「Napster®」対応で、サイトから取得した楽曲や音楽CDの楽曲をパソコンなどでmicroSDメモリーカードに登録し、FOMA端末で再生できます。また、「着うたフル®」対応で、音楽配信サイトから楽曲を１曲まるごと取得して再生することもできます。
ほかの機能を操作しながら音楽を聞けるBGM再生や楽曲のジャケット写真や歌詞カードの表示、FOMA端末でのプレイリスト作成にも対応しています。
配信予約した音楽番組が夜間に自動取得されるMusic&Videoチャネルやｉモーションの再生もできます。

平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続すれば、携帯オーディオプレーヤー感覚で利用できます。

1つの携帯電話で2つの電話番号とメールアドレスが使える
2in1→P.313

1つの携帯電話で、2電話番号・2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A・B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。

※お申し込みが必要な有料サービスです。

電話に出る前にメッセージをアニメーションで知らせる
着もじ→P.56

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック SO03
卓上ホルダ SO09
FOMA ACアダプタ 01／02
FOMA DCアダプタ 01／02
FOMA 海外兼用ACアダプタ 01
FOMA 乾電池アダプタ 01
FOMA 充電機能付 USB接続ケーブル 01／02
FOMA 補助充電アダプタ 01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

次ページにつづく

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

モーションコントロールご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

モーションコントロールは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーションコントロールご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。

けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
マルチファンクションボタン	アルミ合金	アルマイト処理
充電端子（卓上ホルダ用接触端子）	リン青銅	ニッケル＋金メッキ

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

4.アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：
　DC12V･24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
　AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

5.FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップ、microSDメモリーカードスロットのキャップをはめた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
故障の原因となります。
- **microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

FeliCa リーダー／ライターについて

- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ICカード認証機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「V ライブ」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉショット」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」「ｉCお引っこしサービス」「IMCS」「OFFICEED」「ｉメロディ」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「きせかえツール」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴ、「直デン」ロゴ、「Music&Videoチャネル」ロゴ、「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Napster」および「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。G-GUIDE MOBILE
- (FeliCaマーク)はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴは商標です。micro SD
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「エリクル」「デコ絵つくーる」「スタイルアップ」「まちうけ文庫」「シールドビュー」「マイショートカット」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- 「POBox」、「POBox Pro」はソニー株式会社の商標、または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ MASCOT CAPSULE®は株式会社エイチアイの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- ＦｅｌｉＣａ は、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。ＦｅｌｉＣａ は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™ テクノロジーを搭載しています。
  Flash Lite copyright© 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
  Adobe、Flash、Flash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

ADOBE® FLASH® ENABLED

- コンテンツ所有者は、WMDRM（Windows Media digital rights management）技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。

  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2007 Aplix Corporation.

  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- 本製品は、赤外線データ通信機能として株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。

  ACCESS、IrFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
  Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属のCD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
  FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。
- 本製品は抗菌加工を施しております。
  抗菌対象箇所は、携帯電話ボディ（ディスプレイ、各種ボタン、端子部除く）
  無機抗菌剤・塗装・JP0122112A0003N
  SIAAマークは、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

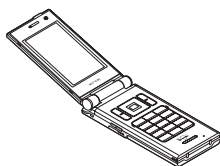
Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

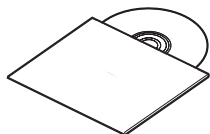
本体付属品および主なオプション品について

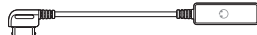
<本体付属品>

FOMA SO705i
（保証書、リアカバー SO10含む）

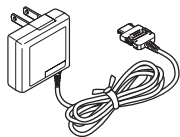
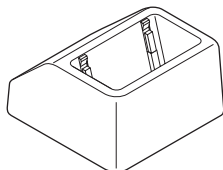
電池パック SO03

FOMA SO705i取扱説明書
（本書）

※ P.408にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA SO705i用CD-ROM

※「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）、「区点コード一覧」（PDF形式）を収録しています。

外部接続端子用イヤホン変換アダプタ（試供品）

※ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続するときに利用します。

<主なオプション品>

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ SO09
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.359

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※：アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で電話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

■各部の主な機能

① 赤外線ポート→P.255

② 受話口

③ 内側カメラ
- カメラ機能で自分を撮影
- テレビ電話中に自分の映像を写す

④ メインディスプレイ

⑤ [✉]ファンクションボタン1
- ファンクション表示の内容を実行（主に機能メニュー）→P.33
- メールメニューを表示

⑥ [i]ファンクションボタン2
- ファンクション表示の内容を実行→P.33
- ｉモードメニューを表示
- テレビ電話をかける→P.50
- 文字入力での文字種切り替え→P.300

⑦ マルチファンクションボタン
[▲]／[▼]
- カーソルや表示内容などを上下方向へ移動（押し続けると連続スクロール）
- [▲]：直デンを表示→P.83
- [▼]：電話帳を表示

[◀□]／[□▶]
- カーソルを左右方向へ移動
- 表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へスクロール→P.35
- [◀□]：着信履歴を表示→P.54
- [□▶]：リダイヤルを表示→P.54

[■]
- ファンクション表示の内容を実行（主に選択／確定）→P.33

⑧ [MENU]ファンクションボタン3
- ファンクション表示の内容を実行→P.33
- メインメニュー／シンプルメニューを表示→P.30、34
- タスク切替画面を表示→P.277

⑨ [ch]ファンクションボタン4
- ファンクション表示の内容を実行→P.33
- ｉチャネル一覧を表示

⑩ [開始]開始ボタン
- 音声電話をかける→P.50
- 音声電話／テレビ電話を受ける→P.61
- 入力した文字の「大文字／小文字」の切り替え→P.300

⑪ [CLR]戻る（クリア）ボタン
- 操作を1つ前の状態に戻す→P.36
- 通話を保留→P.64
- 入力した電話番号や文字を削除→P.50、301

⑫ [終了]電源／終了／応答保留ボタン
- 電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）→P.46
- 各機能の終了→P.36
- 通話の終了→P.51
- 応答を保留→P.64

⑬ [0]～[9]ダイヤルボタン
- 電話番号や文字、数字を入力

⑭ [＊]ボタン
- ICカードロックの設定（1秒以上）→P.215
- 「＊」や濁点／半濁点／句読点などを入力→P.300

⑮ [＃]／公共モード（ドライブモード）ボタン
- 公共モード（ドライブモード）の設定（1秒以上）→P.65
- 「＃」や改行マーク「↲」を入力→P.300
- かな方式の文字入力で、1つ前の読みに戻す→P.300

⑯ 送話口／マイク

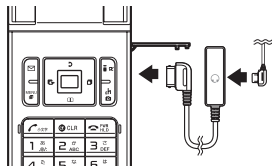
⑰ 充電端子

⑱ [◀マナー]音量大ボタン
- マナーモードの設定（1秒以上）→P.92
- 通話中に受話音量を上げる→P.64
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロール→P.35
- 「ホームURL設定」で設定したサイトへ接続→P.155
- FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信／新着メールの内容を確認→P.29

⑲ [メモ▶]音量小ボタン／[MUSIC]
- 通話中に受話音量を下げる→P.64
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロール→P.35
- 現在時刻を読み上げる（ボイスクロック）→P.67
- 伝言メモを再生→P.68

⑳ microSDメモリーカードスロット
- microSDメモリーカードを挿入→P.242

㉑ 外部接続端子
- ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ※などを接続

※：平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続して使用します。

㉒ スピーカ（モノラル）

㉓ サブディスプレイ
- FOMA端末の各種状態を表示→P.29

㉔ イルミネーションランプ
- 電話着信／メール受信時に点滅→P.98
- お誕生日などに点滅→P.98

㉕ 着信ランプ／充電ランプ
- 電話着信中や不在着信があるときに設定色で点滅→P.99
- メール受信中や新着メールがあるときに設定色で点滅→P.99
- 充電中は赤色に点灯→P.45
- 撮影モード中は赤色で点滅→P.127
- セルフタイマー作動中は青色で点滅→P.127

㉖ レンズ切替スイッチ
- 外側カメラの●（標準）／🌷（マクロ）の切り替え→P.126

㉗ 外側カメラ
- 静止画や動画を撮影
- テレビ電話中に風景などを写す

㉘ ストラップ取付穴

㉙ FeliCa マーク
- ICカード読み取り→P.211
- ｉC通信→P.257

㉚ リアカバー

※ 本書では[◀マナー]、[メモ▶]をサイドボタンと呼びます。

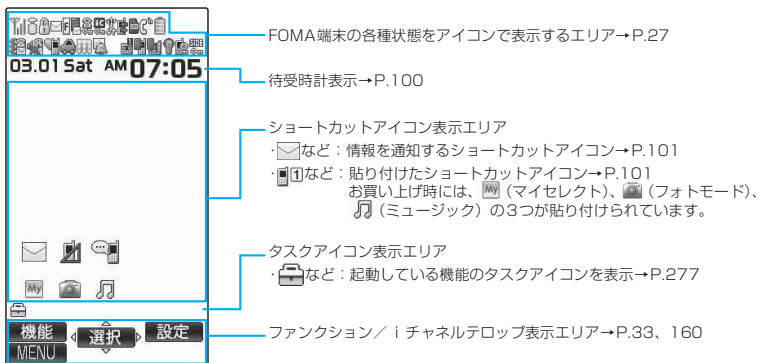
ボタンの長押し操作について

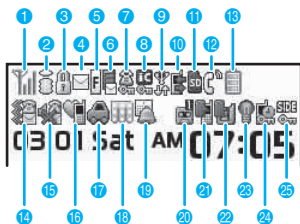
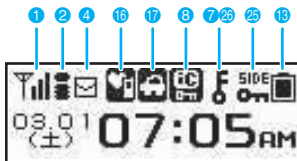
待受画面でボタンを1秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ
	受信アドレス一覧の表示	P.184
	送信アドレス一覧の表示	P.184
2	シールドビューの切替	P.96
5	バックライトの点灯／消灯の切替	P.96
7	フォント設定画面の表示	P.100
8	2in1の設定	P.313
0	「+」の入力	P.59
#	公共モード（ドライブモード）の設定／解除	P.65
＊	ICカードロックの設定／解除	P.215

ボタン	機能	参照ページ
	受話音量の調節	P.64
◀マナー	マナーモードの設定／解除	P.92
メモ▶	ミュージックプレーヤーの起動／終了（終了はBGM再生中）	P.274
	ｉモード問い合わせ	P.172
	ｉアプリのソフト一覧表示	P.195
ch	フォトモード撮影画面を表示	P.126
CLR	情報を通知するショートカットアイコンの消去	P.101

ディスプレイの見かた

- ディスプレイに表示されるマーク（ 、 、 など）をアイコンといいます。
- ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.95

● FOMA端末の各種状態を表示するアイコン

■メインディスプレイ

■サブディスプレイ

	アイコン	アイコンの内容
❶		電波の受信レベル→P.46
	圏外	サービスエリア外または電波が届かない場所→P.46
	self	セルフモード→P.123
❷	／	ｉモード中／ｉモード通信中→P.144
	／／	パケット通信中（データ送受信なし／発信中／着信中）※
	／	パケット通信中（送信中／受信中）※
❸		SSL対応ページを表示中→P.146
❹	／（赤色）	未読メールあり／受信BOX満杯→P.171

	アイコン	アイコンの内容
❹		FOMAカードのSMS満杯→P.252
		未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.171、252
	（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.171、252
		未読エリアメールあり→P.188
❺	R／R（赤色）	未読メッセージRあり／満杯→P.186
	F／F（赤色）	未読メッセージFあり／満杯→P.186
	RF／RF／RF／RF	未読メッセージRとFあり（赤色は満杯）→P.186

次ページにつづく

	アイコン	アイコンの内容
6	／（赤色）	i モードセンターにメールあり／満杯→P.172
		「メール選択受信設定」が「ON」のときで、i モードセンターにメールあり→P.172
	／（赤色）	i モードセンターにメッセージRあり／満杯→P.187
	／（赤色）	i モードセンターにメッセージFあり／満杯→P.187
7		ダイヤルロック→P.109
		シークレットモードまたはシークレット専用モード→P.111
	／	オリジナルロック／一時解除中→P.114
	／	シークレットモードまたはシークレット専用モードでオリジナルロック／一時解除中→P.111、114
8		ICカードロック→P.215
9	／	microSDモード中／MTPモード中→P.249
	／／	USBケーブル接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.249
	／／	ハンズフリー対応機器接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.61、249
	／／	USBケーブル・ハンズフリー対応機器接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.61、249
10		赤外線通信中→P.255
		赤外線リモコン操作中→P.259
		ICカード認証中→P.119
		i C通信中（データ送受信）→P.257
11		microSDメモリーカード取り付け時→P.242
		microSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.242
		microSDリーダー／ライター使用中→P.250
		microSDアクセス中→P.245

	アイコン	アイコンの内容
12		音声通話中→P.50
		64Kデータ通信中※
		テレビ電話中→P.50
		音声電話・テレビ電話切替中→P.53、62
13		電池残量→P.45
14		バイブレータ→P.90
15		着信音量が「消去」→P.64 メール／メッセージ鳴動が「OFF」→P.91
16		マナーモード→P.92
		遠隔監視→P.72
17		公共モード（ドライブモード）→P.65
18		Music&Videoチャネル予約中→P.263
19		アラーム通知機能→P.283
20	～	留守番電話の伝言メッセージあり→P.306
21	～	伝言メモ→P.67
22	～	テレビ電話伝言メモ→P.67
23		バックライト「OFF」→P.96
		シールドビュー「ON」→P.96
		シールドビュー「ON」でバックライト「OFF」→P.96
24		キー操作ロック中／待機中（タイマー設定中）→P.118
25		サイドボタン設定が「閉じた時無効」→P.120
26		キー操作ロック中→P.118
		オリジナルロック設定中にキー操作ロック中→P.118
		「発信・メール送信」「着信・メール受信表示」オリジナルロック設定中にロック一時解除中で、同時にキー操作ロック中→P.118
		シークレットモードまたはシークレット専用モード設定中にキー操作ロック中→P.118

アイコン		アイコンの内容
㉖		オリジナルロックとシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中にキー操作ロック中→P.118
㉖		「発信・メール送信」「着信・メール受信表示」オリジナルロック設定中にロック一時解除中で、シークレットモードまたはシークレット専用モードとキー操作ロック中を同時に設定中→P.118

※：アイコンの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

おしらせ

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 表示アイコンの名称は、「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン説明」で確認できます。

サブディスプレイの見かた

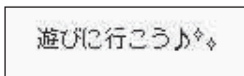
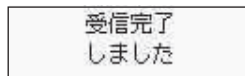
サブディスプレイには、電話やメールの着信やアラーム通知などの情報を表示します。

● 表示例

電話着信中

遊びに行こう♪

着もじ

受信完了
しました

メール受信

時計を表示し、時刻を確認する

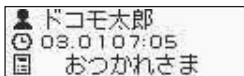
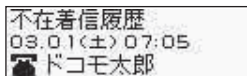
FOMA端末を折り畳んだまま、[◀マナー]、または[メモ▶]を押すと、サブディスプレイを点灯し、時計を表示します。

- [メモ▶]を押すと時計が表示されると同時に、時刻が読み上げられます（不在着信や新着メールなどがないとき）。→P.67

不在着信／新着メールを確認する

不在着信や新着メールがあった場合、FOMA端末を折り畳んだ状態で[◀マナー]を押すと着信日時やメールの題名などを確認できます。

不在着信履歴
03.01(土) 07:05
ドコモ太郎

ドコモ太郎
03.01 07:05
おつかれさま

おしらせ

- 複数の不在着信／新着メールがある場合、最新の1件のみ内容を確認することができます。

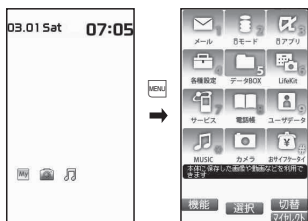
メニューの選択方法

FOMA端末の各種機能を実行、設定、確認する方法は1つだけではありません。メインメニューから機能を選択する方法が一般的ですが、それ以外にもさまざまな方法があります。

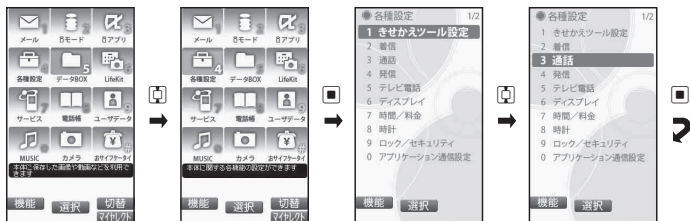
メインメニューから機能を選択する

FOMA端末の各種機能は、待受画面でMENUを押して表示されるメインメニューから選択することができます。メニューは機能ごとに分類されています。→P.334

<例：「クローズ動作設定」の機能を設定する場合>

1 待受画面でMENUを押し、メインメニューを表示する

ワンポイント

メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

2 で反転表示を移動して■［選択］を押し、表示されるメニューを順次選択する

反転した項目が2行表示になり、現在の設定値が表示されます。

ワンポイント

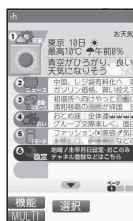
を押し続けると、反転表示を連続して移動することができます。

ファンクションボタンで機能を呼び出す

画面ごとに、あらかじめ機能が割り当てられているファンクションボタンを押すと、その機能を素早く呼び出すことができます。

待受画面でファンクションボタンを押す

を押すと、メールメニューが表示されます。→P.164

を押すと、iモードメニューが表示されます。→P.144

ch を押すと、チャネル一覧が表示されます。→P.161

を押すと、直デン画面が表示されます。→P.83

を押すと、電話帳一覧画面が表示されます。→P.78

を押すと、着信履歴画面が表示されます。→P.54

を押すと、リダイヤル画面が表示されます。→P.54

おしらせ

- シンプルメニュー（P.34）を利用しているときは、待受画面で 、 を押すと、シンプルメニューのメールメニュー、iモードメニューが表示されます。

メニュー項目を検索し、機能を呼び出す

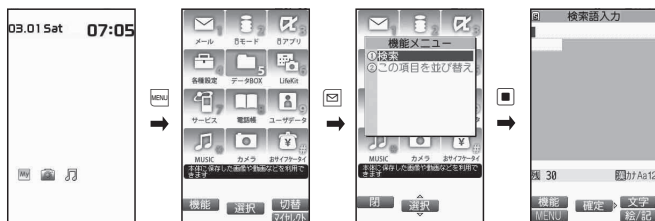
キーワードを入力してメニュー項目を検索すると、操作手順がわからなくても目的の機能を呼び出すことができます。

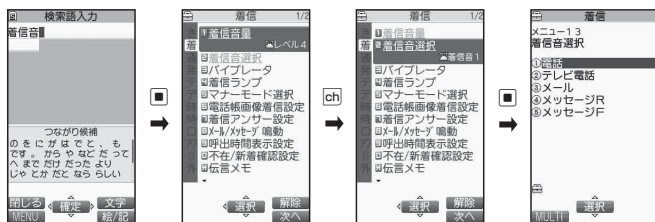
＜例：「着信音選択」を呼び出す場合＞

1 待受画面でMENUを押して✉［機能］を押し、「検索」を反転して■［選択］を押す

MENU ➡

✉ ➡

■ ➡

2 「着信音」と入力して■［確定］を押し、表示されるメニューを選択する

■ ➡

検索結果は下線が引かれて表示されます。

ch ➡

検索結果が複数あるときは、ch［次へ］を押すと、囲み枠が移動します。

■ ➡

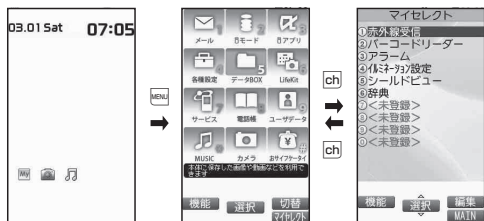
マイセレクトから機能を選択する

自分がよく使う機能をあらかじめ登録しておくと（P.98）、その機能を簡単に呼び出せます。

1 待受画面でMENUを押してメインメニューを表示し、続けてch［マイセレクト］を押す

chを押すごとにメインメニューとマイセレクトが切り替わります。

MENU ➡

ch ➡ ⬅ ch

メニュー番号を押して機能を呼び出す

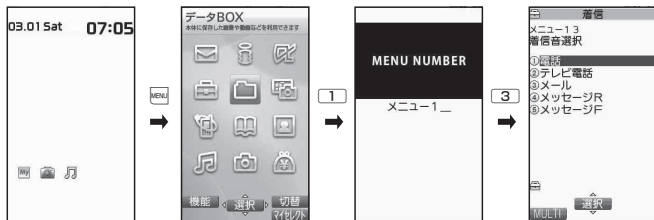
メインメニューを「スタンダードメニュー」に切り替えると（P.34）、あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号（P.334）に対応するボタンを押すだけで、その機能を素早く呼び出すことができます。

<例：「着信音選択」を呼び出す場合>

待受画面でMENUを押し、続けて1 3を押す

MENU ➡

1 ➡

3 ➡

ファンクションボタンの使いかた

画面には☒、■、▮、MENU、chに対応する操作アイコン（ファンクション表示）と✥に対応する方向アイコンが表示されます。これらのアイコンは、対応するボタンが使用できるときのみ表示されます。

■ ファンクションボタンに割り当てられている機能を実行する場合

❶～❺に対応するボタンを押すと、その機能が実行されます。

❶には［機能］［閉］などが表示されます。
［機能］が表示されているときに☒を押すと、機能メニューが表示されます。→P.38

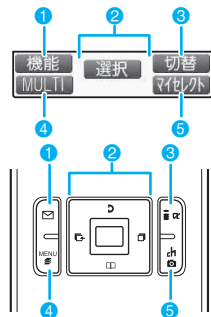
❷の中央には［選択］［確定］［再生］［発信］などが表示されます。

❸には［編集］［完了］［文字］などが表示されます。

❹には［MENU］［MULTI］が表示されます。

❺には［ch］［表示切替］［赤外線］［絵/記］などが表示されます。

■ 画面を移動、スクロールする場合

✥を押すと、その方向に移動またはスクロールします。

［表記ルール］

■ ファンクション表示の記載について

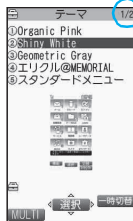
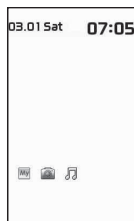
本書の操作説明では、ファンクション表示に対応するボタンを押すときは原則として、■［選択］、☒［機能］のように、［ ］内にファンクション表示を記載しています。

メインメニューを切り替える

メインメニューのデザイン（背景やアイコンなどの表示スタイル）は自由に変更することができます。

- きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また機能に割り当てられているメニュー番号が適用されないものがあります。

1

待受画面でMENUを押し、さらにi［切替］を押す

メインメニュー

テーマ画面

ページの切り替えかた→P.35

2 項目を選択する

「Organic Pink」～「スタンダードメニュー」
それぞれのメニューにデザインが切り替わります。「スタンダードメニュー」に切り替えると、メニュー番号を押して機能を呼び出すこともできます。→P.33

「拡大メニュー」
大きな文字で表現したメニューに切り替わります。

「シンプルメニュー」
代表的なメニューだけを集めたもので、文字も大きく、メニューの選択操作も簡単に行えます。→P.344
各種画面の文字サイズも「特大」に一括設定できます。→P.100

シンプルメニュー

「オリジナルテーマ」→P.97
メインメニューの各アイコンと背景のイメージを変更します。自分で撮影した写真を背景にするなどのカスタマイズも可能です。

「きせかえツール」→P.104
メインメニューをはじめFOMA端末のさまざまなデザインを、きせかえツールパッケージを使って一括設定します。

■ メインメニューを一時的に切り替えるとき
テーマ画面で項目を反転してi［一時切替］を押すと、メインメニューが一時的に切り替わります。再度メインメニューを表示させたときは、設定前のメインメニューが表示されます。

おしらせ

- ユーザカスタマイズに対応しているメニューを設定した場合、メインメニューで✉［機能］を押し「この項目を並び替え」を選択すると、メニュー項目を並び替えることができます。→P.278

［表記ルール］

■メインメニューの記載について

使用するメインメニューのデザインによって、メニュー名の表記は異なります。本書の操作手順では、日本語のメニュー名で記載しています。

①Mail／メール　②i-mode／ｉモード　③i-αppli／ｉアプリ
④Settings／各種設定　⑤Data Box／データBOX　⑥LIFE KIT／LifeKit
⑦Network service／Service／サービス　⑧Phonebook／電話帳
⑨Own data／ユーザデータ　⑩MUSIC　⑪Camera／カメラ
⑫Osaifu-keitai／おサイフケータイ

各種画面の基本操作

● 選択する項目が複数ページにわたる場合

1 でページを切り替える

（または〈マナー〉）を押すと前のページに、（または〈メモ〉）を押すと次のページに切り替わります。

■ で切り替える場合

反転表示が一番上にあるときにを押すと前のページに、一番下にあるときにを押すと次のページに切り替わります。

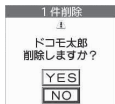
● ダイヤルボタンで項目を選択する方法

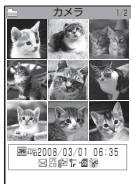
1 メニュー番号に対応している 1 ～ 9 0 ＊ ＃ を押す

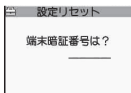
3 →

ダイヤルボタンに対応している番号

● 「YES／NO」や「ON／OFF」を選択する場合

1 で囲み枠を移動し ■［選択］を押す

● ピクチャー一覧で画像を表示する場合

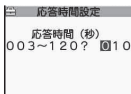
1 で囲み枠を移動し■［表示］を押す

● 端末暗証番号の入力

1 4～8桁の端末暗証番号を入力し■［確定］を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 数値を入力する場合

1 ［0］～［9］を押して数値を入力する

3桁の数値入力画面で1桁または2桁の数値を入力する場合は最初に［0］を2回または1回押します。

■「3」を入力する場合

▶［0］［0］［3］

● 操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた

■［CLR］について

間違ってメニュー項目を選択した場合など、直前の操作を取り消したいときには［CLR］を押します。原則として1つ前の画面に戻りますが、機能によっては、戻り先が異なることもあります。

■［終話］について

設定などの各種操作を終了し、待受画面に戻りたいときは［終話］を押します。その機能を終了し、原則として待受画面に戻りますが、表示されている画面状況や機能によっては、戻り先が異なることもあります。設定の途中などに［終話］を押した場合、設定中の内容を破棄して待受画面に戻ります。

操作手順の記載について

本書では、原則として操作手順を次のように簡略に記載しています。

操作手順の記載例と実際の操作

1

①：待受画面でMENUボタンを押します。
②：✥で反転表示を「 」内のメニューに移動し■［選択］を押します。
③：✥で反転表示を「 」内の項目に移動し■［選択］を押します。
　　または「 」内の項目のメニュー番号に対応する1～9 0 * #を押します。
④：✥で反転表示を移動します。
⑤：［ ］内に示したファンクション表示に対応するボタンを押します。

［表記ルール］

■「選択」「確定」操作における■の省略

- 記載例②、③のようにメインメニューや一覧から目的の機能を選択するときは■［選択］を省略して記載しています。
- 同様に「項目を選択」「端末暗証番号を入力」などと記載している場合も■［選択］または■［確定］を省略して記載しています。
- ■［選択］を押さずに次の操作に移る場合は、記載例④のように「～を反転」と記載しています。

■素早い操作を優先記載

- 原則として、メインメニューからの操作を主体に記載していますが、ショートカットボタンによる操作（P.31）がある場合はその操作を優先記載しています。
- シンプルメニューから機能を選択する場合は、「シンプルメニュー機能一覧」（P.344）をご覧になって操作してください。

■操作終了後の記載の省略

- 目的の機能操作を終了した後の操作説明は省略しています。
- 「操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた」→P.36

■ボタンやメニュー表示の簡略記載について

- 本書の操作説明ではボタンイラスト／メニュー表示／ボタンの長押し操作を、次のように簡略に記載しています。

	ボタン	メニュー表示	ボタンの長押し操作
実際の表示・操作	1 あ @/:	Menu	#を1秒以上押す
本書の表記	1	i Menu	#（1秒以上）

■メニュー項目の合併記載について

複数のメニュー項目をまとめて説明する場合は、以下の例のように項目を「･」でつないで記載しています。

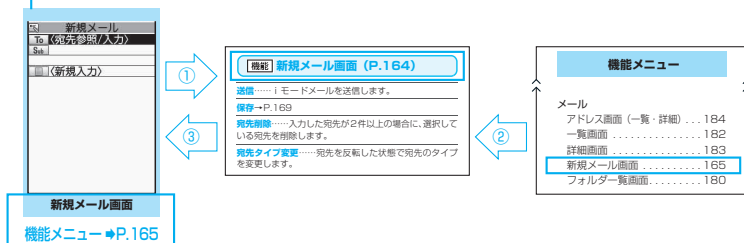
<例：直デン画面の機能メニュー>

1件解除・全解除……直デンを1件または全解除します。

機能メニューについて

FOMA端末のメニューの1つに、ファンクション表示機能から呼び出す「機能メニュー」があります。機能メニューは各種画面での補助的な機能を実行するものです。
たとえばメールを読んだ後にそのメールを削除したり、カメラで撮影した画像の保存先フォルダを選択するときに使います。

● 機能メニューの利用のしかた

機能メニューには主に、3とおりの利用方法があります。状況に応じてご利用ください。
①操作画面に記載している参照ページから、機能メニュー項目の説明を見る
②機能メニュー索引のページから、機能メニュー項目の説明を見る
③機能メニューの参照ページから、操作画面を表示するまでの手順を調べる

※ 上記の「機能メニュー項目」および「機能メニュー索引」は一部を抜粋したものです。

● 一覧画面の操作対象について

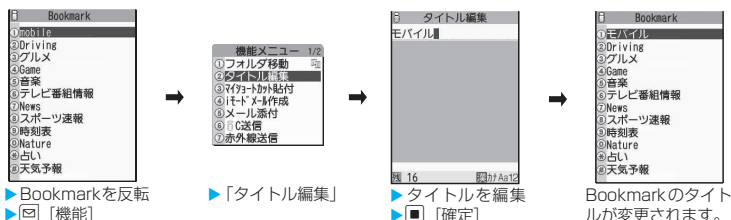
一覧画面の機能メニューは、一覧で反転表示したデータが操作対象になる場合と、一覧中のすべてのデータが操作対象になる場合があります。たとえば、「タイトル編集」や「1件削除」は反転表示したタイトルやデータが操作対象となり、「全削除」はすべてのデータが操作対象になります。
「タイトル編集」や「1件削除」のように、一覧中の1つのデータを対象とする機能メニューを選択する場合は、あらかじめそのデータを反転表示させてから✉［機能］を押してください。

＜例：一覧画面のBookmarkタイトルを編集する場合＞

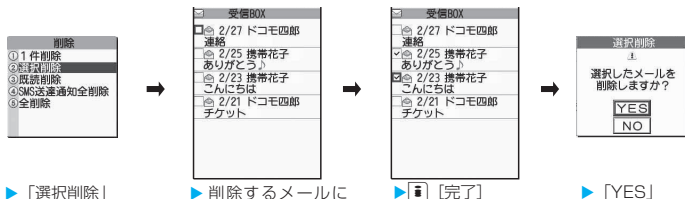
▶Bookmarkを反転
▶✉［機能］

▶「タイトル編集」

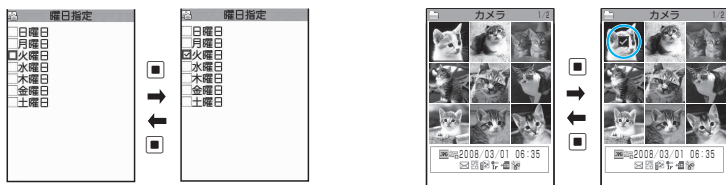
▶タイトルを編集
▶■［確定］

Bookmarkのタイトルが変更されます。

● 複数選択について

不要になったデータを削除したり、大切なデータを保護したり、ほかの人に見られたくないデータをシークレットフォルダに保管するときなどには、1件のデータやすべてのデータを操作対象とするだけではなく、複数のデータを操作対象にすることもできます。このような場合、次のように操作します。

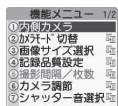
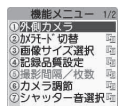
<例：受信メール一覧画面で複数のメールを削除する場合>

▶「選択削除」　▶削除するメールにチェックマークを付ける　▶ ［完了］　▶「YES」

チェックマークの付けかた

で囲み枠を選択する項目に移動し■［選択］を押すと、チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。■［選択］を押すたびに、□と☑が切り替わります。
ピクチャー一覧では選択された状態になると、☑が表示されます。未選択状態では何も表示されません。

- ファンクション表示エリアに「機能」が表示されている場合は、［機能］を押すと「全選択」や「全選択解除」などの機能を選択することができます。

● 表示が交互に切り替わるメニューについて

メニューによっては、メニュー名が以下のように交互に切り替わるものがあります。

<画面例１>　<画面例２>

外側カメラ使用中　内側カメラ使用中

FOMA端末で撮影画面を表示しているとき、「外側カメラ」を使用しているときは、<画面例１>のように「内側カメラ」と表示されます。この状態で「内側カメラ」を選択すると、「内側カメラ」が使用できる状態になり、次に機能メニューを表示したときには、メニュー名が「外側カメラ」に切り替わります。

［表記ルール］

■表示が交互に切り替わるメニューの記載について

このようなメニューは「内側カメラ⇔外側カメラ」と記載しています。

おしらせ

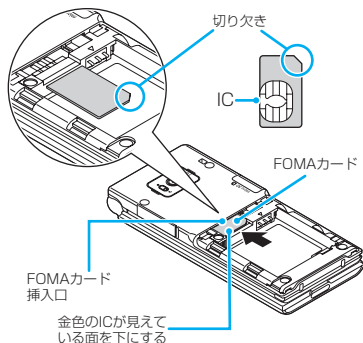
- 表示されている機能メニューの配下にさらにメニューがある場合は右側に「」が表示されます。
- 操作中の機能や設定状態などによって、表示される機能メニューの内容が異なったり、機能メニューの項目を選択できない場合があります。選択できない機能メニューの項目はグレーで表示されます。

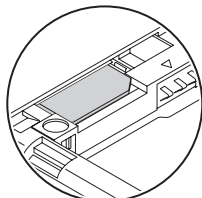
FOMAカードを使う

FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。→P.42
また、FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。

● FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

イラストはFOMAカードを取り付ける方法を示しています。

1 FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでFOMAカード挿入口に差し込む

2 FOMAカードが固定されるように奥まで差し込む

FOMAカードを取り外す場合は、以下の状態からまっすぐ静かに引き抜いてください。

正しく取り付けられた状態

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.108

FOMAカード動作制限機能について

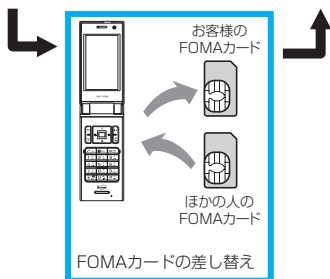
FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータなどを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。
- FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
  - ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - 画面メモ
  - デコメールや署名に挿入されている画像
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - メロディ
  - トルカ（詳細）の画像
  - 電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像
  - Music&Videoチャネルの番組
  - コンテンツ移行対応のデータ
  - ｉモーション
  - キャラ電
  - 着うた®※・着うたフル®
  - きせかえツール
  - テレビ電話伝言メモ
  - 動作制限となるデータが含まれたデコメテンプレート
  - ダウンロード辞書
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR／F

  ※：「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「ほかの人のFOMAカード」として説明しています。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときのFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータの閲覧や再生ができます。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときとは別のFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータの閲覧や再生ができません。

FOMAカードの差し替え

おしらせ

- FOMAカードを取り付けていないときやほかの人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは「[icon]」が付いて表示され、「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定することができなくなります。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、ほかの人のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定しているときに、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。

FOMAカード差し替え時の設定について

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替え前の設定から変更されます。

- 差し替えたFOMAカードの設定となる機能
  - バイリンガル
  - SMS center設定
  - SMS有効期間設定
  - PIN設定
  - アプリケーション通信設定の接続先選択
- お買い上げ時の設定に戻る機能
  - ｉチャネル設定
  - フルブラウザのアクセス設定
- 「無効」に設定される機能
  - フルブラウザのCookie設定
    （Cookieの情報は残ります）
- 差し替え前のFOMAカードの設定が無効となる機能
  - Music&Videoチャネルの番組設定
    （再度番組を設定してください）

FOMAカードの機能差分について

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色／白色）とは次のように異なります。

機能	青色	緑色／白色
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
なお、FOMA SO705iはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

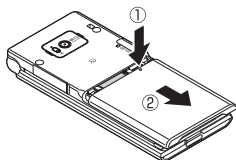
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

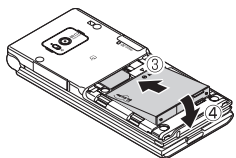
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

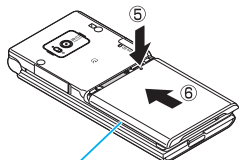
●電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手に持ったまま行ってください。

● 取り付けかた

1 リアカバーを取り外す

リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、取り外します。

2 電池パックを取り付ける

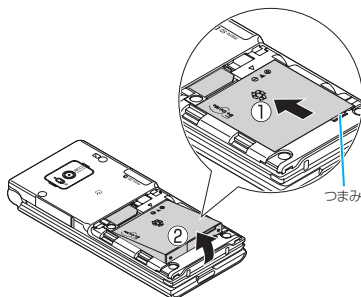
電池パックの「A」と書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末（本体）の「▲」マークが合うように③の方向に取り付けてから、④の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける

リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑤の方向へ押し付けながら⑥の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

リアカバーとFOMA端末（本体）にすきまがないことを確認してください。

● 取り外しかた

1 リアカバーを取り外す

2 電池パックを取り出す

電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。

おしらせ

● リアカバーの先端部を本体に差し込んだ状態で、無理に押さえ込まないでください。リアカバーのツメが壊れることがあります。

FOMA端末を充電する

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末専用の電池パック SO03をご利用ください。
海外でご利用の際には、FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01が必要です。滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。→P.359

■電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。
- FOMA ACアダプタ 02／FOMA海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電は、電池パックをFOMA端末に付けた状態で行ってください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 高温環境下で充電中に、電話をかけたりパケット通信などを行ったときに、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合、使用している機能があるときは終了し、FOMA端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。

■電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

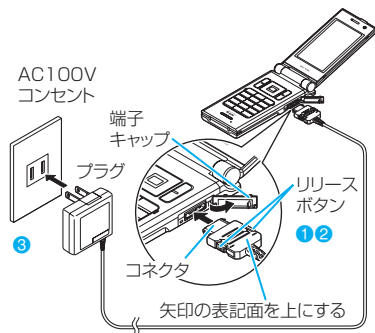
- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度取り付け直してください。

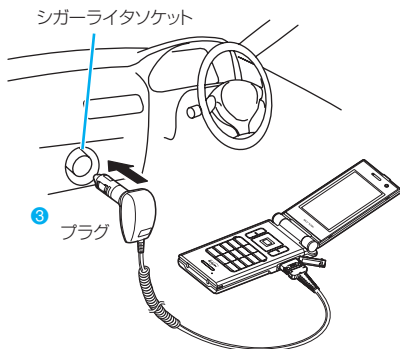
■電池の使用時間の目安（使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります）

連続待受時間	
[FOMA／3G]	静止時：約580時間 移動時：約430時間
連続通話時間	
[FOMA／3G]	音声電話時：約220分 テレビ電話時：約100分

- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。またｉモード通信やｉモードメールの作成、データ通信、マルチアクセスの実行、ｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、カメラの使用、動画／ｉモーションや音楽の再生などによって、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況などにより、通話（通信）・待受時間が短くなることがあります。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

■ACアダプタ（別売）の場合

FOMA ACアダプタ 01／02

■DCアダプタ（別売）の場合

FOMA DCアダプタ 01／02

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

3 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

充電がはじまります。

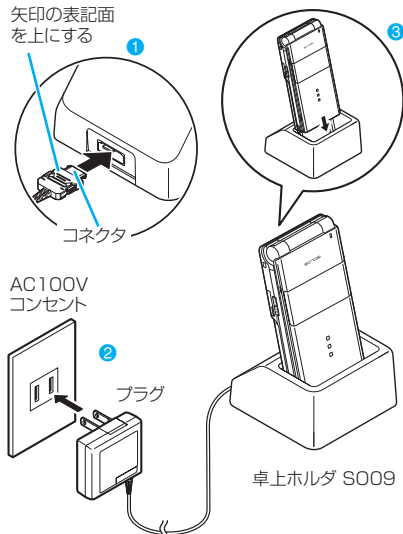
充電時間の目安
約120分

4 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末から水平に引き抜く

無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。

5 ACアダプタのプラグをコンセントから抜く
DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く

6 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

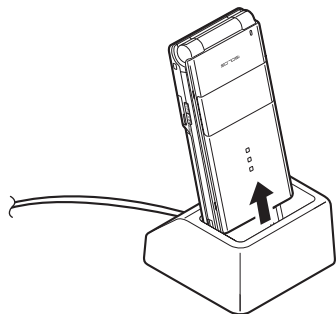
卓上ホルダで充電する

FOMA ACアダプタ 01／02

1 ACアダプタ（別売）のコネクタを卓上ホルダ（別売）背面の端子に水平に差し込む

2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

3 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を矢印の方向にしっかりと取り付ける

充電時間の目安
約120分

4 充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を矢印の方向へ持ち上げる

おしらせ

- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です（フル充電）。電源が入っている場合、充電中は「」が点滅し、充電が終了すると、「」が点灯します。
- 電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- 電池が切れた状態などでは、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。

＜ACアダプタ／DCアダプタ＞

- FOMA端末（本体）の充電ランプおよびディスプレイの「」が消灯し、「充電器異常　充電を中止してください」などと表示された場合は、FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。
- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

＜卓上ホルダ＞

- FOMA端末は卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

電池残量の確認のしかた〈電池残量〉

残量の確認は目安としてご利用ください。

電池残量表示で確認する

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが表示されます。

- ：十分残っています。
- ：まだ大丈夫です。
- ：電池残量がほとんどありません。充電してください。

おしらせ

- サブディスプレイの電池残量アイコンは、→→の順に電池残量を示します。

音と表示で確認する

電池残量を音と表示でお知らせします。

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒後に電池残量の表示は消えます。

「ピッピッピッ」：十分残っています。
「ピッピッ」：まだ大丈夫です。
「ピッ」：電池残量がほとんどありません。充電してください。

電池が切れたときは？

電池切れアラームとともに左のような画面が点滅表示されます。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合はいずれかのボタン（サイドボタンを除く）を押してください。

おしらせ

- 音声電話中は電池切れ画面と「ピッピッピッ」音、テレビ電話中は電池切れ画面（相手側には「カメラオフ Camera Off」というメッセージ）によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。

電源を入れる／切る〈電源ON／OFF〉

電源を入れる

- 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

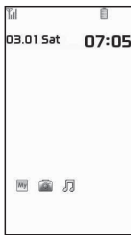
1 **(1秒以上)**
ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面または初期設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「WAiT A SECOND」と画面に表示される場合があります。

■「圏外」の表示が出ている場合
サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

待受画面

強 ⟷ 弱

■ 初期設定画面が表示された場合→ P.46

■ PIN1コード、PIN2コード入力画面が表示された場合→P.108

おしらせ

- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しい端末暗証番号が入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。

電源を切る

1 **(2秒以上)**
終了画面「SO705i」が表示され、電源が切れます。

自動で電源を入れる／切る〈自動電源ON／OFF〉

決められた時刻に自動的に電源が入るように、または切れるように設定します。

- 自動電源OFFで設定した時刻になっても、他の機能を利用中は電源は切れません。また、アラームなどの通知やｉアプリの自動起動と自動電源OFFの設定時刻を同じ時刻に設定している場合も、電源は切れません。機能終了後に電源が切れます。
- FOMA端末の電源が切れていると、Music&Videoチャネルの番組取得や、ソフトウェアの予約更新などは動作しませんので、自動電源OFFに設定するときにはご注意ください。

＜例：自動で電源を入れる場合＞

1 **MENU ▶「各種設定」▶「時計」▶「自動電源ON」**

■ 自動で電源を切る場合
▶「自動電源OFF」

2 **「ON」▶時刻を入力▶繰り返しのあり／なしを選択**

■ 自動電源ON／OFFを解除する場合
▶「OFF」

おしらせ

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

初期設定を行う〈初期設定〉

電源を入れた後に初期設定として「時計設定」「端末暗証番号の変更」「文字サイズ」「ボタン確認音」を設定します。

1 **初期設定画面▶「YES」**

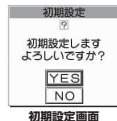
初期設定
初期設定します
よろしいですか？
YES
NO

初期設定画面

2 **メイン時計を設定→P.47**

3 **端末暗証番号を変更→P.109**
端末暗証番号はお買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。

4 **文字サイズを設定→P.100**

5 **ボタン確認音を設定→P.90**

6 ソフトウェア更新に関する内容を確認したら「OK」

おしらせ

- すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されなくなります。

時計を設定する

時計設定でメイン時計の日付・時刻を設定します。世界時計設定では、サブ時計を表示する場合の表示方法を設定します。

メイン時計を設定する 〈時計設定〉

1 MENU▶「各種設定」▶「時計」▶「時計設定」▶以下の項目から選択

自動時刻補正する……メイン時計の日付・時刻を自動的に補正するように設定します。

自動時刻補正しない……メイン時計の年月日と時刻を手動で設定します。
■年月日・時刻の入力
で反転表示を移動し、ダイヤルボタンで入力します。

おしらせ

- 日付・時刻を設定すると、「アラーム」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。
- 設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

<自動時刻補正>
- FOMAカードを取り付けた状態で、電源を入れたときなどに自動補正されます。
- 数秒程度の誤差を生じる場合があります。また、電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。

サブ時計を設定する 〈世界時計設定〉

1 MENU▶「各種設定」▶「時計」▶「世界時計設定」▶以下の項目から選択

タイムゾーン……▶タイムゾーンを選択
i［変更］を押して、表示されている都市名を変更できます（タイムゾーンによっては変更できません）。

サマータイム……世界時計に1時間加算して時刻を表示するかどうか（ON／OFF）を設定します。

相手に自分の電話番号を通知する 〈発信者番号通知〉

電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させるように設定します。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
- 「圏外」のときは操作できません。

1 MENU▶「サービス」▶「発信者番号通知」▶以下の項目から選択

発信者番号通知設定……発信者番号を通知するかしないかを設定します。

発信者番号通知設定確認……現在の発信者番号通知設定の内容を確認します。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

● 相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤルする

電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は「184」を付けてダイヤルします。

■電話番号を通知する場合
186－［相手先の電話番号］▶（音声電話）／
i［テレビ電話］

■電話番号を通知しない場合
184－［相手先の電話番号］▶（音声電話）／
i［テレビ電話］

● 機能メニューから通知／非通知を選択する

「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面の機能メニューから通知／非通知を選択します。

<例：電話番号入力画面から音声電話をかける場合>

1. **相手の電話番号を入力**

2. **[機能] ▶「発信者番号通知」▶「通知しない」または「通知する」**

   ■「発信者番号通知」を解除する場合
   ▶「設定消去」
   「設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」で設定した内容になります。

3. **（音声電話）／[テレビ電話]**

おしらせ

- 本機能は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、電話番号を通知しておかけ直しください。
- 国際電話では、「186」／「184」を付けてダイヤルしても無効になる場合がありますので、機能メニューから「発信者番号通知」を選択してください。
- 「186」／「184」を付けて電話をかけたときは、リダイヤルや発信履歴に「186」／「184」を付けた電話番号で記憶されます。

自分の電話番号を確認する〈マイプロフィール〉

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認します。

1.

おしらせ

- 「マイプロフィール」に登録した情報は、サイトなどで所有者情報（名前、メールアドレスなど）を入力するとき、簡単に引用できます。→P.301
- ｉモードのメールアドレスは、「ｉモードメニュー」▶「ｉMenu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「メール設定」▶「メール設定確認」の順に操作すると確認できます。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、でマイプロフィール表示が切り替えられます。
- 2in1利用中にFOMAカードを入れ替える場合は、Bモードでマイプロフィールの初期化を行ってください。→P.285

電話／テレビ電話

■電話／テレビ電話のかけかた

■電話／テレビ電話の受けかた

■電話／テレビ電話に出られないとき、出られなかったとき

■テレビ電話の設定

音声電話／テレビ電話をかける

1 相手の電話番号をダイヤル

「電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
電話番号は80桁まで入力できます。ただし、表示されるのは26桁までです。

電話番号入力画面

機能メニュー➡P.52

＜電話番号の入力を間違えたとき＞

■ 番号を挿入する場合
[左右キー]で挿入したい位置の1つ左の番号にカーソルを移動し、番号を入力します。

■ 番号を削除する場合
[左右キー]で削除したい番号にカーソルを合わせ、CLRを押します。
CLRを1秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■ 入力し直す場合
カーソルを番号の先頭か最後に合わせてCLRを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

＜テレビ電話＞

■ キャラ電画像でかける場合
▶[メール]［機能］▶「テレビ電話画像選択」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

2 [通話キー]（音声電話）／[i]［テレビ電話］

＜音声電話＞

「通話中画面」が表示されます。
発信中は「[発信アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

通話中画面

■「ツーツー」という話中音が聞こえる場合
相手が話し中です。しばらくたってからおかけ直しください。

■ 電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合
相手の携帯電話の電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。しばらくたってからおかけ直しください。

■ 電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合
電話番号を通知しておかけ直しください。
→P.47

＜テレビ電話＞

「テレビ電話中画面」が表示されます。
テレビ電話発信中は「[テレビ電話アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話中画面

機能メニュー➡P.52

■ テレビ電話がかからなかった場合→P.52

■ カメラ映像と代替画像を切り替える場合
▶[メール]［機能］▶「代替画像切替」⇔「自画像切替」

■ 外側カメラの映像を送信する場合
▶[■]［切替］

[■]［切替］を押すたびに外側カメラ／内側カメラが切り替わります。

■ 親画面表示を切り替える場合
▶[■]（1秒以上）
「親画面表示切替」→P.52

■ 送信する画像を拡大する場合
▶[左右キー]でズームを調節
ズームについて→P.136

■ 送信する音声をミュート（消音）する場合
▶[◀マナー]（1秒以上）
「」が表示されます。

再度[◀マナー]を1秒以上押すと、ミュートが解除されます。

■ 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える場合→P.53

■ 通話中の音声電話／テレビ電話を保留にする場合→P.64

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。

3 通話が終了したら [終話]

おしらせ

<テレビ電話>
- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。
- テレビ電話中にメールやメッセージR／Fは受信できません（SMSは受信できます）。iモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- 充電中に外側カメラを使用してテレビ電話を利用している場合、FOMA端末の温度状態によっては、まれに、カメラオフになることを通知するメッセージが表示され、自動的にカメラオフへ切り替わることがあります。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。
- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
  - ※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
    第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  - ※2：3G-324M
    第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

■テレビ電話画面の見かた

①親画面（お買い上げ時は相手側のカメラ映像を表示）
②子画面（お買い上げ時は自分側のカメラ映像を表示）
③通話時間
④各種機能の設定内容

[A] [A×]：音声送受信中／送受信失敗
[V] [V×]：映像送受信中／送受信失敗
[カメラ] [代替]：カメラ映像／代替画像送信中
[ハンズフリー] [ハンズフリー]：ハンズフリーON／OFF
[MUTE]：マイクミュート中（消音中）
[ビジュアルチェック]：ビジュアルチェック中
[人物] [風景] [接写]：撮影モード（人物／風景／接写）
[123] [全体] [パーツ]：キー操作モード（DTMFモード※1／全体アクションモード※2／パーツアクションモード※2）
[キャラ電]：キャラ電送信中

※1：「DTMF送信／DTMF解除」→P.52
※2：「キャラ電を利用する」→P.69

機能 電話番号入力画面（P.50）

発信者番号通知→P.47

プレフィックス→P.59

着もじ→P.56

国際電話発信→P.60

マルチナンバー→P.312

電話帳登録→P.76

ｉモードメール作成※→P.164

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

機能 テレビ電話中画面（P.50）

代替画像切替⇔自画像切替……自画像と代替画像を切り替えます。

外側カメラ⇔内側カメラ……内側カメラと外側カメラを切り替えます。
通話中のみ設定が保持されます。

親画面表示切替……親画面の表示を切り替えます。
切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側のカメラ映像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側のカメラ映像のみを表示」の順で画面が切り替わります。

ビジュアルチェック⇔ビジュアルチェック終了……テレビ電話中に内側カメラで自分の顔を確認します。または確認を終了します。ビジュアルチェック中は「」が表示され、相手には代替画像が送信されます。

テレビ電話設定……テレビ電話の画面について設定します。

送信画質設定……相手に送信する映像と相手から受信する映像を「標準／画質優先／動き優先」から選択します。
通話中のみ設定が保持されます。

明るさ調節……画像の明るさを「－2～0～＋2」の5段階で調節します。

ホワイトバランス設定……画像の色合いを設定します。→P.131
設定内容はカメラの同機能にも反映されます。

色調切替……画像の効果を「通常／セピア／白黒」から選択します。
通話中のみ設定が保持されます。

撮影モード選択……撮影する場面に合ったモードを設定します。→P.130
内側カメラのときは設定できません。

キャラ電設定……キャラ電を利用している場合は以下の設定ができます。カメラ映像のときは設定できません。

キャラ電切替……表示するキャラクタの種類を選択します。

アクション一覧……操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンを確認できます。［＊］を押してもアクション一覧を表示できます。

アクション切替……アクションモードを切り替えます。

静止画切替……相手側の画面に「代替画像選択」（P.70）で設定した画像を表示します。

照明設定……バックライトの点灯を設定します。

常時点灯（お買い上げ時）……常時バックライトを点灯します。

10秒点灯……10秒間のみバックライトを点灯します。

内側カメラ鏡像……通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を鏡像表示にするか（ON）、正像表示にするか（OFF）を設定します。

自局番号……テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

DTMF送信⇔DTMF解除……キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定／解除します。
キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号モードになります。

音声電話切替→P.53

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。
- 状況によっては接続できなかった理由が表示されない場合があります。
- 接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手がお話し中の場合
パケット通信中です	相手がパケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットなどへの発信時）

表示	理由
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合（転送先が 3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であればテレビ電話にかかります）
音声電話でおかけ直しください	転送先がテレビ電話非対応の場合
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
お客様のご要望によりおつなぎできません	相手が迷惑電話ストップサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトを閲覧しないでテレビ電話をかけてVライブを視聴しようとした場合

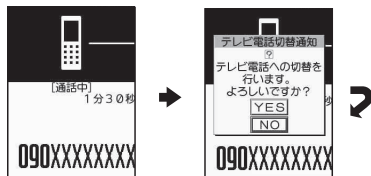
● テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、「音声自動再発信」を「ON」に設定していると、自動的に音声電話に切り替えて発信します。ただし、ISDNの同期64K、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2008年1月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、正しい動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える

● 音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。
● 切り替え操作は、発信側からのみ行うことができます。
● 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.70

<例：音声電話からテレビ電話に切り替える場合>

1 通話中画面（P.50）▶■［テレビ電話］▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

この画面からデジタル通信料がかかります。

■ テレビ電話から音声電話に切り替える場合

▶テレビ電話中画面（P.50）▶✉［機能］▶「音声電話切替」

おしらせ

● 切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替えるまでに時間がかかることがあります。
● 以下の場合は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができません。
  • 相手側が通話を保留にしているとき
  • 相手側が伝言メモを起動したとき
● 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、通話終了後は音声電話とテレビ電話の合計時間が表示されます。
● 相手側の利用状態や電波の状態などにより、切り替えることができず、通話が切断されることがあります。

おしらせ

- 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴、着信履歴には、最初に発信または着信した電話の履歴が記憶されます。

<音声電話⇒テレビ電話切り替え時>

- 発信側がｉモード中の場合は、ｉモード接続を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中（ｉモード含む）の場合は、「切替できません」というメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 「キャッチホン」が動作しているときは、切り替えることができません。

通話中にハンズフリーを利用する 〈ハンズフリー〉

通話中の相手の音声をスピーカから流して通話します。

1 通話中画面（P.50）▶ i ［ON］

ハンズフリー通話中は「 」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます 。

呼出中に i ［ON／Off］を押してハンズフリーを切り替えることもできます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

■ ハンズフリーを解除する場合

▶ハンズフリー通話中に i ［Off］

音声電話の場合は「 」が消えます。テレビ電話の場合は「 」が「 」に変わります 。

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声の聞こえ方が変わることがあります。

おしらせ

- ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してハンズフリーに切り替えてください。
- 通話が終了すると、ハンズフリーの設定は解除されます。

リダイヤル／発信履歴／着信履歴を利用する 〈リダイヤル／発信履歴／着信履歴〉

かけたり、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は、リダイヤル／発信履歴／着信履歴として記憶されます。これらを利用すると、かけたり、かかってきた相手に簡単に電話をかけられます。

- 同じ電話番号に繰り返し発信すると、リダイヤルには最新の1件が、発信履歴には別の1件として情報が記憶されます。
- リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。
- 発信履歴／着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

<例：リダイヤル／着信履歴の一覧画面から電話をかける場合>

1 待受画面表示中▶（リダイヤル）／（着信履歴）

「リダイヤル画面（一覧）」／「着信履歴画面（一覧）」が表示されます。

■ 発信履歴を確認する場合

▶MENU▶「ユーザデータ」▶「発信履歴」

「発信履歴画面（一覧）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（一覧）

機能メニュー➡P.55

2 リダイヤル／着信履歴を反転

■ リダイヤル／着信履歴の詳細を確認してから電話をかける場合

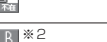
▶リダイヤル／着信履歴を選択

「リダイヤル画面（詳細）」／「着信履歴画面（詳細）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（詳細）

機能メニュー➡P.55

3 （音声電話）／ i ［テレビ電話］

● 不在着信の件数を確認する

■ 着信履歴から不在着信だけを確認する場合

▶MENU▶「ユーザデータ」▶「着信履歴」

全着信の件数、不在着信の件数、および不在着信のうち未確認の件数が表示されます。

「不在着信」を選択すると、不在着信のみ表示されます。

■表示されるリダイヤル／発信履歴／着信履歴のアイコンについて

アイコン※1	説明
電話／不在／不在	音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
INT'L電話／INT'L不在／INT不在	国際音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
電話／不在／不在	テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
INT'L電話／INT'L不在／INT不在	国際テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
B※2	2in1のBモードの発着信
伝言／伝言	音声伝言メモ／テレビ電話伝言メモに用件が録音／録画されているもの
✎	着もじの付いた着信
パケット／パケット／不在／不在	パケット通信の発信／着信／不在着信／未確認不在着信
64k／不在／不在	64Kデータ通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
遠隔	遠隔監視の着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けたパケット通信や64Kデータ通信の着信

※1：詳細表示画面と一覧表示画面では、一部見えかたが異なるものがあります。

※2：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示されます。

おしらせ

- 2in1利用時にはそれぞれの電話番号ごとに30件まで記憶できます。また、デュアルモードに設定している場合は、両方のリダイヤル／発信履歴／着信履歴が30件ずつ、最大60件まで表示されます。
- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、リダイヤル／発信履歴／着信履歴には、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.79

おしらせ

<リダイヤル／発信履歴>

- 「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル／発信履歴はすべて削除されます。
- マルチナンバーを機能メニューから選択して発信した場合、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名と番号が表示されます。機能メニューを利用せずに発信した場合は、「通常発信番号設定」を付加番号に設定していても、何も表示されません。

<着信履歴>

- 「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、着信履歴に表示されません。
- 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
- マルチナンバーの契約をしている場合、着信履歴画面から発信すると「通常発信番号設定」の設定にかかわらず、着信を受けた番号で発信します。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合、着信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名が表示されます。

機能 リダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面（P.54）

発信者番号通知※1→P.47

プレフィックス※1→P.59

着もじ※1→P.56

国際電話発信※1→P.60

2in1／マルチナンバー※1……2in1設定がONでデュアルモードのときは「Aナンバー／Bナンバー／設定消去」（P.316）から選択します（Aモード、Bモードのときは利用できません）。
2in1設定がOFFのときはマルチナンバーの「基本契約番号／付加番号1／付加番号2／設定消去」（P.313）から選択します。

呼出時間表示※2※3……不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。

電話帳登録→P.77

電話帳参照……「リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す」→P.79

マイショートカット貼付→P.101

ｉモードメール作成※4→P.164

SMS作成※4→P.189

送信アドレス一覧※5※6……送信アドレス一覧を表示します。

次ページにつづく

受信アドレス一覧※2……受信アドレス一覧を表示します。

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

拡大表示⇔標準表示※3……表示する名前の文字サイズを切り替えます。→P.100

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：詳細表示画面でのみ利用できる機能です。
※2：着信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※3：一覧表示画面でのみ利用できる機能です。
※4：2in1のモードをAモードまたはデュアルモードにし、Aモードの履歴を選択している場合のみ利用できる機能です。
※5：リダイヤル画面／発信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※6：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

- リダイヤル画面／発信履歴画面から「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、また発信履歴を「1件削除」「選択削除」してもリダイヤルからは削除されません。

<iモードメール作成>

- 電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。

着もじを使う 〈着もじ〉

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージ（着もじ）を送り、あらかじめ用件などを伝えます。

- お買い上げ時には5件登録されており、お買い上げ時に登録されている着もじの内容は変更できます。
- 着もじには絵文字や顔文字を含めることができ、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで送れます。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

着もじを付けて電話をかける

「電話番号入力画面」や「電話帳」「リダイヤル／発信履歴／着信履歴」の詳細画面から音声電話やテレビ電話をかける際に、着もじを付けることができます。

<例：電話番号入力画面から着もじを付けて電話をかける場合>

1 電話番号入力画面（P.50）▶[✉]［機能］▶「着もじ」▶以下の項目から選択

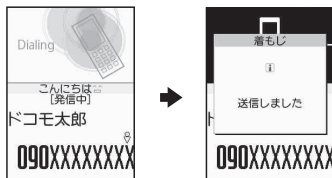
メッセージ作成……着もじを入力します。10文字まで入力できます。

メッセージ選択……登録済みの着もじから選択します。
メッセージ選択画面で[i]［編集］を押して、着もじの内容を編集することもできます。

送信メッセージ履歴……過去に送信した着もじから選択します。送信メッセージ履歴画面で[i]［編集］を押して、着もじを編集することもできます。

■ 入力した着もじを消去（着もじなしで発信）する場合

▶[✉]［機能］▶「着もじ」▶「メッセージ作成」▶入力されている着もじをすべて消去

2 [📞]（音声電話）／[i]［テレビ電話］

着もじが相手側の端末に届いた場合、「送信しました」という送信結果が表示されます。

おしらせ

- 着もじの送信には送信料金がかかります。なお、受信側に料金はかかりません。
- 送信メッセージ履歴には送信した着もじを30件まで記憶できます（2in1利用時は、それぞれのモードでの送信メッセージ履歴を30件まで、デュアルモードの場合は、両方の送信メッセージ履歴を30件ずつ、最大60件まで記憶できます）。同じ着もじを繰り返し送信した場合、最新の1件だけが記憶されます。また、最大件数を超えた場合、古いものから順に上書きされます。

おしらせ

- 着信側が以下の場合などは、着もじを送信できません。このとき送信料金はかかりません。
  - 着もじ対応端末でない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 着信側の「メッセージ表示設定」により、発信側の着もじが着信側に表示されない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 公共モード（ドライブモード）設定中の場合
  - 伝言メモの呼出時間を0秒に設定している場合
  - 「圏外」または電源が入っていない場合
- 電波状態によっては、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- 海外での利用時は、着もじを送受信することができません。

● 着もじが付いた音声電話やテレビ電話を受けると

着もじが着信中画面に表示されます。なお、通話を開始すると着もじは消えます。

例：音声電話

おしらせ

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信であっても、着もじは表示され、着信履歴にも着もじは残ります。
- 着信側や発信側の状態によっては、着もじが付いた着信であっても、着もじが表示されない場合があります。
- 「着もじ」にオリジナルロックを設定していると、着もじが付いた着信があっても表示されません。この場合、ロック解除後の着信履歴に着もじが保存されます。

● 着信履歴から着もじを表示する

着もじを受信すると、着信履歴に「✎」のアイコンが表示され、「着信履歴画面（詳細）」で着もじの内容を確認できます。

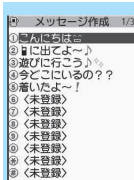
おしらせ

- 着信履歴を利用して電話をかけた場合でも、履歴に残されている着もじは送信されません。

着もじの登録／編集や設定をする

1 MENU ▶「サービス」▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成……よく使う着もじを登録または変更します。最大30件（お買い上げ時に登録されている5件を含む）まで登録できます。

▶登録または変更する項目を反転▶i［編集］▶着もじを入力

メッセージ作成一覧画面

機能メニュー➡P.57

メッセージ表示設定……着もじが付いた着信があったときの着もじの表示条件を設定します。

すべて表示……すべての着もじを表示します。

電話帳登録番号のみ……電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。

番号通知ありのみ……番号通知のある相手からの着もじのみを表示します。

表示しない……すべての着もじを表示しません。

機能 メッセージ作成一覧画面（P.57）

編集……着もじを編集します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- お買い上げ時に登録されている着もじは削除できません。お買い上げ時に登録されている着もじを変更し、その着もじを削除しても、お買い上げ時の内容に戻ります。

プッシュ信号を手早く送り出す〈ポーズダイヤル〉

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。p（ポーズ）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。
- 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、＊、p（ポーズ）です。
- p（ポーズ）をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

1 MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「ポーズダイヤル」

「ポーズダイヤル画面」が表示されます。

■ すでにダイヤルデータが登録されている場合

登録されているダイヤルデータが表示されます。

ポーズダイヤル画面

機能メニュー➡P.58

2 i［編集］▶ダイヤルデータを入力

0～9、#、＊を押してダイヤルデータを入力してください。

■ p（ポーズ）を入力する場合

▶＊（1秒以上）

機能 ポーズダイヤル画面（P.58）

編集……ダイヤルデータを編集します。

ポーズダイヤル送信……送信先の電話番号を入力して、ダイヤルデータを送信します。
📞を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。

削除……登録されているダイヤルデータを削除します。

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信する

1 MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「ポーズダイヤル」▶■［送信］

2 送信先の電話番号をダイヤル▶📞

入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のp（ポーズ）までのダイヤルデータが表示されます。p（ポーズ）は表示されません。

3 📞

📞を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

■ ダイヤルデータをまとめて送出する場合

▶□（1秒以上）▶「一括送出」

相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ
- 受信側の機器によっては、プッシュ信号を受信できない場合があります。

プレフィックス機能を利用する

国際アクセス番号（WORLD CALL = 009130-010）や発信者番号の通知／非通知（186／184）など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号をあらかじめ登録しておき、電話をかけるときに付加します。

プレフィックス番号を登録する〈プレフィックス設定〉

- プレフィックスは7件まで登録できます。
- 番号に登録できる文字は0～9、#、＊、＋です。

1 MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「プレフィックス設定」

「プレフィックス設定画面」が表示されます。

プレフィックス設定画面

機能メニュー➡P.59

2 登録または変更する項目を反転▶i［編集］

3 登録名を入力

全角8文字、半角16文字まで入力できます。

4 番号（プレフィックス）を入力

番号は10桁まで入力できます。

機能 プレフィックス設定画面(P.58)／国際プレフィックス設定画面(P.60)

編集……プレフィックス、国際アクセス番号を編集します。

1件削除・全削除……プレフィックス、国際アクセス番号を1件または全削除します。

プレフィックス番号を付加して電話をかける 〈プレフィックス〉

- プレフィックス番号を付加できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面でプレフィックス番号を付加して音声電話をかける場合>

1. **相手の電話番号を入力**
2. **[✉]［機能］▶「プレフィックス」▶登録名を選択▶[発信]**

国際電話を利用する 〈WORLD CALL〉

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

FOMAサービスをご契約のお客様はご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 国際電話をかけるには電話番号を直接ダイヤルしてかける方法以外に、「+」を利用してかけたり、電話番号入力画面、リダイヤル／発信履歴画面、着信履歴画面、電話帳詳細画面の各機能メニューから「国際電話発信」や「プレフィックス」を選択してかけることができます。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後に[i]［テレビ電話］で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1. **009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル**
   地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
2. **[発信]**
   国際電話がかかります。

簡単な操作で国際電話をかける

- 国番号や国際アクセス番号は「国際ダイヤルアシスト」で登録できます。

●「+」を利用して国際電話をかける

「+」が「自動変換機能設定」で設定した「国際アクセス番号」に置き換わり、009130-010などの国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げ時は「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能設定」が「ON」（自動付加）に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1. **待受画面表示中に、+（[0]（1秒以上））→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル**
   地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
2. **[発信]▶「発信」**
   国際電話がかかります。

電話／テレビ電話

次ページにつづく

■「＋」を国際アクセス番号に変換しないでかける場合
▶「元の番号で発信」
※本端末ではご利用になれません。

■ 電話をかけるのをやめる場合
▶「中止」

● 機能メニューから国際電話をかける

機能メニューから国番号や国際アクセス番号を付加し、国際電話をかけます。

● 国際電話発信機能が利用できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面で国際電話発信機能を利用する場合>

1 相手の電話番号をダイヤル

2 [✉]［機能］▶「国際電話発信」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択

選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます（ただし、国番号で「イタリア」を選択した場合を除く）。

3 [↗]

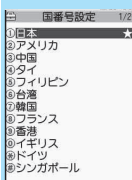
国際電話がかかります。

国際電話の設定をする
〈国際ダイヤルアシスト〉

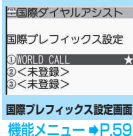
国際電話を発信するときの「＋」の自動変換の設定を変更したり、国番号、国際アクセス番号を編集、登録することができます。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト」▶以下の項目から選択

自動変換機能設定……国際電話をかけるときの「＋」の自動変換について設定します。
▶「ON」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択
■自動変換しない場合
▶「OFF」

国番号設定……国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を最大22件登録できます。国番号についてはドコモのホームページをご覧ください。
▶項目を反転▶[i]［編集］▶国名称を入力▶国番号を入力
国名称は全角8文字、半角16文字まで、国番号は5桁まで入力できます。

国番号設定画面
機能メニュー➡P.60

国際プレフィックス設定……国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。3件まで登録できます。
▶登録または変更する項目を反転▶[i]［編集］▶国際アクセス名を入力▶国際アクセス番号を入力
国際アクセス名は全角8文字、半角16文字まで、国際アクセス番号は10桁まで入力できます。

国際ダイヤルアシスト
国際プレフィックス設定
①WORLD CALL
②<未登録>
③<未登録>

国際プレフィックス設定画面
機能メニュー➡P.59

機能 国番号設定画面（P.60）

編集……国番号を編集します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

サブアドレスを指定して電話をかける
〈サブアドレス設定〉

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識するかしないか（ON／OFF）を設定します。

● サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「発信」▶「サブアドレス設定」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

● 以下のような場合、「＊」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「＊」も含めて普通の電話番号として認識されます。
  • 電話番号の先頭に「＊」がある場合
  • 電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「＊」がある場合
  •「プレフィックス」で入力した番号の直後に「＊」がある場合
  • 電話番号内に「＊590#／＊591#／＊592#」がある場合

再接続するときのアラームを設定する 〈再接続機能〉

FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定します。
- ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「再接続機能」▶アラーム音を選択
「アラームなし／アラーム高音／アラーム低音」から選択します。

おしらせ
- 再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする 〈ノイズキャンセラ〉

周囲の騒音を抑え、音声通話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくします。

1 MENU ▶「各種設定」▶「通話」▶「ノイズキャンセラ」▶「ON」または「OFF」

車の中で手を使わずに話す 〈車載ハンズフリー〉

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ
- ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。
- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、ハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。

おしらせ
- 公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変わりません。

音声電話／テレビ電話を受ける

1 音声電話／テレビ電話を着信する
着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。また「着信中画面」／「テレビ電話着信中画面」が表示されます。

■ 着もじが付いた着信の場合
着信中画面／テレビ電話着信中画面に着もじが表示されます。→P.57

着信中画面
機能メニュー➡P.62

テレビ電話着信中画面
機能メニュー➡P.62

■ 着信中に音声電話／テレビ電話を応答保留にする場合→P.64

2 [通話キー]
「通話中画面」／「テレビ電話中画面」が表示されます。

■ テレビ電話で代替画像で出る場合
▶[■]［代替画像］

■ テレビ電話中の操作について
テレビ電話では、カメラ映像を代替画像に切り替えたり、外側カメラに切り替えたり、送信する音声をミュート（消音）するなど、テレビ電話中にさまざまな操作が行えます。→P.50

■ 通話中に相手が音声電話／テレビ電話の通話を切り替えた場合→P.62

■ 通話中の音声電話／テレビ電話を保留にする場合→P.64

❸ 通話が終了したら[終話]

着信中の表示

■相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が画面に表示されます。電話帳に登録されている相手からの着信の場合、電話帳に登録した名前が画面に表示されます（キー操作ロック中は名前のみ表示されます）。
→P.76

- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録していると、電話帳のフリガナの検索順による最初の名前が表示されます。→P.79
- シークレットデータとして登録されている場合は名前などは表示されず、電話番号のみ表示されます。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、着信中画面に付加番号の登録名が表示されます。

■相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者の非通知理由が表示されます。

機能 着信中画面／テレビ電話着信中画面（P.61）

着信拒否……電話を受けないで着信をそのまま切ります。

転送でんわ……電話を転送します。
「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

留守番電話……電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。

表示切替……付加番号１または付加番号２から転送元番号に表示を切り替えます。マルチナンバー（付加番号１または付加番号２）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話を受けることができます。→P.291
- キャッチホン、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約されていれば、「通話中着信設定」を有効にし、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴ります。
  - 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合、現在の通話を終了して着信に応答することができます。
  - キャッチホンをご契約の場合、音声電話は、現在の通話を保留にして着信に応答することができ、テレビ電話は現在の通話を終了して着信に応答することができます。

おしらせ

<音声電話>

- 電話帳に登録されていない相手からの電話の着信動作を設定することができます。→P.122
- 電話帳に登録されている電話番号ごとに、電話の着信を制限することができます。→P.120

<テレビ電話>

- [i]［テレビ電話］でも電話に出られます。
- カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。

相手が音声電話／テレビ電話を切り替えたとき

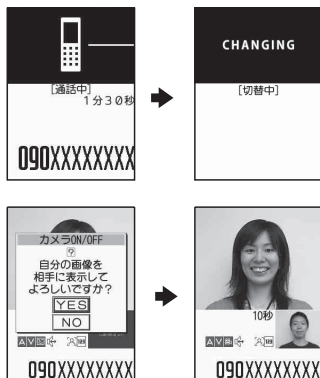
相手からかかってきた音声通話中／テレビ電話中に、相手が操作を行うことにより音声電話とテレビ電話が切り替わります。

- 着信側からは切り替え操作を行うことができません。
- 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.70
- 音声電話⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

<例：相手が音声電話からテレビ電話に切り替えた場合>

❶ 通話中画面（P.50）▶相手がテレビ電話切り替えを行う▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話に切り替わると、自画像が相手側に送信されます。

■ 相手側に代替画像を送信する場合
▶「NO」

■ テレビ電話から音声電話に切り替えた場合
▶テレビ電話中画面（P.50）▶相手が音声電話切り替えを行う
音声電話に切り替わります。

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする〈着信アンサー設定〉

電話がかかってきたとき、すぐに着信音を止めたり、電話に出られるように設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「着信アンサー設定」▶以下の項目から選択

エニーキーアンサー……音声電話に対して有効な機能で、以下のボタンで通話を開始できます。
[通話]、[通話]、0～9、#、*、CLR、[i]、ch、[十字キー]
※ テレビ電話の場合、通常のボタン操作（[通話]、■[代替画像]、[i]［テレビ電話］）でのみ通話を開始できます。

クイックサイレント……以下のボタンを押すかFOMA端末を開くと、相手には呼び出し音を鳴らしたまま、着信動作のみを止めることができます。
0～9、#、*、CLR、[十字キー]、ch、[i]（音声電話のみ）
電話に出るときは、[通話]、■［通話／代替画像］、[i]［テレビ電話］（テレビ電話のみ）を押します。

OFF……通常のボタンでのみ通話を開始できます。
[通話]、■［通話／代替画像］、[i]［テレビ電話］（テレビ電話のみ）

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。

FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する〈クローズ動作設定〉

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「通話」▶「クローズ動作設定」▶以下の項目から選択

ミュート……音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、相手側に「代替画像」が送信されます。保留音は流れません。

保留……通話を保留（通話中保留）にします。折り畳んでいる間、相手に保留音が流れます。テレビ電話の場合、相手側に通話中保留画像が送信されます。

スピーカ鳴動する……相手に保留音が流れ、スピーカからも保留音が流れます。

スピーカ鳴動しない……相手にのみ保留音が流れます。

終話……通話を終了します。[終話]を押す操作と同じです。

おしらせ

- マナーモード設定中は「スピーカ鳴動する」を選択していてもスピーカから音は鳴りません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になります。
- 「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。

相手の声の音量を調節する〈受話音量〉

1 待受画面表示中▶[↕]（1秒以上）▶[↕]で音量を調節

[↕]（1秒以上）で受話音量画面が表示されます。受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、受話音量調節を終了します。
「レベル1」（最小）～「レベル6」（最大）の6段階で調節します。

■ 通話中に調節する場合
音声電話中：[↕]（1秒以上）
テレビ電話中：[↕]
• [◀マナー]／[メモ▶]でも調節できます。

おしらせ
● 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。

着信音の音量を調節する〈着信音量〉

電話がかかってきたときや、メールやメッセージR／Fを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節します。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくすることもできます。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「着信」▶「着信音量」▶音量を調節する項目を選択
「電話」を選択すると、音声電話、64Kデータ通信などの着信音量が調節されます。
「メール」を選択すると、ｉモードメール、エリアメール、SMS、パケット通信の着信音量が調節されます。

2 [↕]で音量を調節▶[■]［確定］

■ 次第に音量を大きくする場合
▶「レベル6」のときに[↑]
「ステップ」に設定すると、3秒ごとに着信音量が大きくなります。

■ 着信音を消す場合
▶「レベル1」のときに[↓]
待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。
[アイコン]:「電話」か「テレビ電話」を「消去」に設定
[アイコン]:「メール」「メッセージ R」「メッセージ F」を1つ以上「消去」に設定
[アイコン]:「[アイコン]」と「[アイコン]」の両方を設定

おしらせ
● 本機能で設定した「電話」の着信音量は、音声電話の「着信音選択」「スケジュール」や「To Doリスト」のアラーム音などに反映されます。

着信中や通話中の電話を保留にする〈応答保留／通話中保留〉

<例：着信中の電話を保留にする場合>

1 着信中▶[保留]

ON HOLD
［応答保留中］
10秒
090XXXXXXXX

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。

■ 通話中の電話を保留にする場合
▶通話中▶[CLR]

■ 応答保留中／通話保留中に電話を切る場合
▶[終話]

2 電話に出られるようになったら[通話]
通話保留中の場合は[CLR]を押しても保留を解除できます。

おしらせ
● 応答保留中や通話保留中でも、通話料金がかかります。

保留音を設定する〈保留音設定〉

応答保留中に、相手に流れるガイダンスを設定します。
● 通話中の保留音を変更することはできません。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「通話」▶「保留音設定」▶「応答保留音」▶保留音を選択
「応答保留音1／応答保留音2／おしゃべり1※／おしゃべり2※」から選択します。
※：おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

公共モード（ドライブモード）を利用する〈公共モード（ドライブモード）〉

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受画面表示中のみできます（「圏外」のときも可能です）。
- 公共モードを設定中でも電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

1 待受画面表示中▶[#]（1秒以上）

公共モードに設定され、「🚗」が表示されます。
電話をかけてきた相手に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（ドライブモード）を解除する場合
▶待受画面表示中▶[#]（1秒以上）
公共モードが解除され、「🚗」の表示が消えます。

おしらせ

- 「伝言メモ」を「ON」に設定していても公共モードが優先されます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。
- 公共モード設定中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ音声電話をかけると、公共モードが解除されます。
- 公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。
  - 音声電話／テレビ電話着信音
  - メール、メッセージなどの着信音
  - 各種アラーム音
  - 充電確認音
  - ｉアプリのソフトの鳴動
  - パケット通信／64Kデータ通信着信音

● 公共モード（ドライブモード）を設定すると

FOMA端末に音声電話、テレビ電話の着信があっても着信音は鳴りません。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のショートカットアイコンが待受画面に表示されます。

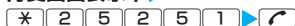
- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- 公共モード（ドライブモード）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作は**別表1**（P.66）のとおりです。
- メールを受信したときには着信音は鳴らずに「新着メールあり」のショートカットアイコンが待受画面に表示されます。

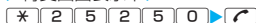
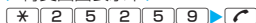
おしらせ

- 公共モード設定中でも、電源が入っていない場合や「圏外」の場合は、公共モードの通知はされずに「圏外」のときと同じガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を利用する〈公共モード（電源OFF）〉

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面表示中▶[*][2][5][2][5][1]▶[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する場合
▶待受画面表示中▶
[*][2][5][2][5][0]▶[発信]

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合
▶待受画面表示中▶
[*][2][5][2][5][9]▶[発信]

● 公共モード（電源OFF）を設定すると

「✱25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- ●音声電話をかけてきた相手には、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
- ●テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- ●公共モード（電源OFF）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作は**別表1**（P.66）のとおりです。

かかってきた電話に出られなかったとき 〈不在着信〉

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面に📵が表示されます。📵を選択すると、着信日時や発信者の名前などを確認できます。

- ●「情報を通知するショートカットアイコン」→P.101

1 待受画面表示中▶■▶「📵」を選択

着信履歴一覧画面が表示されます。→P.54

FOMA端末を閉じたまま確認する

不在着信や新着メール（iモードメール、エリアメール、SMS）があると、着信ランプが点滅し続けてお知らせします。メモ▶を押すと、発信者や送信者の名前などを声で確認することができます。

1 FOMA端末を閉じたまま メモ▶

「不在／新着確認設定」の設定に従って声などでお知らせします。

● 着信ランプの点滅について

不在着信や新着メールなどがあると着信ランプが、下記の設定色に従って点滅し続けます。

- 電話／テレビ電話：電話の設定色（お買い上げ時：色5（緑））
- 新着メール／エリアメール：メールの設定色（お買い上げ時：色1（青））

■点滅色・点滅条件について

- 「着信ランプ」の「不在／未読お知らせ」を「OFF」に設定すると、点滅しません。
- 「着信ランプ」でグラデーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定色で点滅します。

［別表1］各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）設定中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	• 相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※	• 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	• 相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ • 相手に流れる公共モードのガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	• 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。 • 転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
迷惑電話ストップサービス	• 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 迷惑電話拒否登録している電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※：呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のショートカットアイコンも表示されません。

・「個別着信音／画像」で電話番号やメールアドレスごとに点滅色を設定することもできます。
・公共モード（ドライブモード）中は点滅しません。

■消灯するときは
・ディスプレイに表示されている「不在着信あり」「新着メールあり」のアイコンを選択して内容を確認するか、CLR（1秒以上）を押します。

不在確認のお知らせのしかたを設定する 〈不在／新着確認設定〉

メモを押したときのお知らせのしかたを設定します。
●設定項目とお知らせのしかたは以下のとおりです。

項目	不在着信や新着メールなどあり	不在着信や新着メールなどなし
電子音	「ピピ、ピピ」という音が鳴ります。	「ピピピ」という音が鳴ります。
ボイス	「ピピ」という音と、「新着メールあり」「不在着信あり」などの通知内容や、発信者の名前などを声（ボイスモニター）でお知らせします。	「ピピ」という音の後、現在の時刻を声（ボイスクロック）でお知らせします。
OFF	確認音を鳴らしません。	

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「不在／新着確認設定」▶「電子音／ボイス／OFF」から選択

■ ボイスを選択した場合
電話帳に登録済みの相手から着信した場合や伝言メモが録音／録画された場合に、発信者の名前を読み上げるか（ON）、読み上げないか（OFF）を設定します。

おしらせ

●本機能は待受画面に「不在着信あり」や「新着メールあり」などのショートカットアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。→P.101
●以下のような場合、メモで不在着信や新着メールを確認できません。
・サイドボタン設定を「閉じた時無効」に設定している場合
・ミュージックプレーヤー／Music&Videoチャネルで音楽再生中の場合
●音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「消去」「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量になります）。
●お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。
●「ボイス」の名前通知を「ON」に設定した場合でも、電話帳のフリガナが未登録の相手のときや、電話帳に登録した名前が表示されないときは発信者の名前を読み上げません。

電話に出られないときに用件を録音／録画する 〈伝言メモ〉

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音／録画します。
●1件につき最大20秒で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音／録画できます。

伝言メモを設定する

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「伝言メモ」▶以下の項目から選択

ON……応答メッセージの種類を「標準／プライベート／英語／おしゃべり1※／おしゃべり2※」から選択し、伝言メモを設定します。

OFF……伝言メモの設定を解除します。

※：おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

2 呼出時間（000～120秒の3桁）を入力
伝言メモが設定され、待受画面に「」と「」が表示されます。

おしらせ

●「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
●「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
●「個別着信音／画像」で電話番号ごと、「グループ着信音／画像」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

- 音声電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録画中 Recording」画像を送信し録画を開始します。

■伝言メモの録音／録画がはじまると

- 録音／録画中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

例：音声電話

■録音中に音声電話に出る場合

▶［通話］

■録画中にテレビ電話に出る場合

▶カメラ映像で出るときは［通話］、代替画像で出るときは［■］［代替画像］

■伝言メモの録音／録画が終了すると

- 元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」または「テレビ電話伝言メモあり」のショートカットアイコンが表示されます。ショートカットアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認できます。→P.68
- ディスプレイ上部のアイコン表示エリアには、それぞれの録音／録画件数を示すアイコンが表示されます。

［1件］～［5件］：音声電話伝言メモ（1件～5件）

［1件］／［2件］：テレビ電話伝言メモ（1件／2件）

おしらせ

- マナーモードを設定している場合、録音中の相手の声は聞こえません。
- 伝言メモの録音／録画中はほかの電話がかかってきても受けることができません。

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを「ON」に設定していなくても、着信中にボタン1つで用件を録音／録画します。

1 着信中▶［メモ▶］

伝言メモの録音／録画が開始されます。

■ 伝言メモの録音／録画開始と同時にマナーモードに設定する場合

▶着信中▶［◀マナー］

おしらせ

- この操作で「伝言メモ」を「ON」に設定することはできません。
- 録音／録画件数がいっぱいのときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモは起動せず着信し続けます（［◀マナー］を押したときは、「マナーモード選択」で設定された動作条件で着信し続けます）。

伝言メモや音声メモを再生／消去する

- 未再生の伝言メモがある場合は待受画面に「［伝言メモありアイコン］」（伝言メモあり）または「［テレビ電話伝言メモありアイコン］」（テレビ電話伝言メモあり）が表示されます。

<例：未再生の伝言メモを確認する場合>

1 待受画面表示中▶［■］▶「［伝言メモありアイコン］」（伝言メモあり）または「［テレビ電話伝言メモありアイコン］」（テレビ電話伝言メモあり）を選択

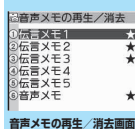
「音声メモの再生／消去画面」または「動画メモの再生／消去画面」が表示されます。

録音／録画されている項目に「★」が付きます。

音声メモの再生／消去画面

機能メニュー➡P.69

■ メニュー操作で伝言メモを再生する場合

▶［MENU］▶「LifeKit」▶「音声メモの再生／消去」または「動画メモの再生／消去」

2 再生する項目を選択

<伝言メモ／音声メモ>
「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモの再生／消去画面」に戻ります。
待受画面表示中に[メモ▶]を押しても、メモを再生できます。

■ 再生中に次のメモを再生する場合
▶[メモ▶]
[メモ▶]を押すごとに、新しい順で伝言メモが再生されます。
音声メモは最後に再生されます。

■ 停止する場合
▶[■]［停止］または[CLR]
「音声メモの再生／消去画面」に戻ります。

<テレビ電話伝言メモ>
再生がはじまります。再生が終了すると、「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ 再生中に別のメモを再生する場合
▶[◐]

■ 再生中に音量を調節する場合
▶[◐]

■ 再生中にスピーカのON／OFFを切り替える場合
▶[✉]［機能］▶「スピーカー ON」または「スピーカー OFF」

■ 再生を一時停止する場合
▶[■]［停止］
再生を再開するときは[■]［再生］

■ 停止する場合
▶[CLR]
「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ 再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話を発信する場合
▶[✆]（音声電話）／[i]［テレビ電話］

■ 再生中のメモを消去する場合
▶[✉]［機能］▶「消去」▶「YES」

おしらせ

- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用していない電話番号で録音した伝言メモには「★」が表示されません。「デュアルモード」に設定している場合は両方で録音した伝言メモに「★」が表示されます。

[機能] メモの再生／消去画面（音声／動画）（P.68）

再生……再生します。

1件消去……伝言メモ、音声メモを1件消去します。

伝言メモ全消去※……伝言メモをすべて消去します。音声メモは消去されません。

全消去……伝言メモ、音声メモをすべて消去します。

※：音声メモの再生／消去画面でのみ利用できます。

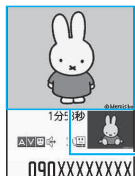
キャラ電を利用する

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。「キャラ電とは」→P.235

- 「画像選択」の「代替画像選択」から「キャラ電」を設定しておくと、お気に入りのキャラ電を表示できます。
  また、電話帳や個別着信音／画像にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用できます。
- テレビ電話中にカメラ映像からキャラ電に切り替えるには、機能メニューから「代替画像切替」を選択します。

1 テレビ電話がかかってきたら[■]［代替画像］

2 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

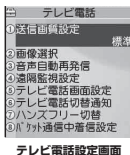
Illustrations Dick Bruna
© copyright Mercis bv,
1953-2008
www.miffy.com

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを行います。
「キャラ電を操作する」→P.236

電話／テレビ電話

テレビ電話に関する機能について設定する

1 MENU▶「各種設定」▶「テレビ電話」

「テレビ電話設定画面」が表示されます。

テレビ電話設定画面

2 以下の項目から選択

送信画質設定……テレビ電話中の画質を「標準／画質優先／動き優先」から選択します。

画像選択→P.70

音声自動再発信……テレビ電話に接続できなかった場合、音声電話に切り替えて電話をかけるかどうか（ON／OFF）を設定します。

遠隔監視設定→P.72

テレビ電話画面設定……親画面に表示される映像や自画像の表示方法について設定します。

- **親画面表示**……親画面に表示される映像を「親画面相手画像表示／親画面自画像表示」から選択します。
- **内側カメラ鏡像**……自分側のFOMA端末に表示される自画像を鏡像表示にするか（ON）、正像表示にするか（OFF）を設定します。

テレビ電話切替通知→P.70

ハンズフリー切替……テレビ電話での通話開始時に、自動的にハンズフリーに切り替えるかどうか（ON／OFF）を設定します。

パケット通信中着信設定→P.71

テレビ電話中に送信する画像を設定する 〈画像選択〉

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定します。

- 設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で、横854×縦854ドット以下のJPEG画像、横854×縦480、横480×縦854ドット以下のGIF画像です（ただし、ファイル制限が設定されている画像は除く）。

1 テレビ電話設定画面（P.70）▶「画像選択」▶以下の項目から選択

応答保留選択……応答保留のときに送信する画像を設定します。

通話保留選択……通話中保留のときに送信する画像を設定します。

代替画像選択……代替画像のときに送信する画像を設定します。

伝言メモ選択……テレビ電話伝言メモ録画中に送信する画像を設定します。

伝言メモ準備選択……テレビ電話伝言メモ準備中に送信する画像を設定します。

音声メモ選択……音声メモ録音中に送信する画像を設定します。

2 送信する画像を選択

内蔵……メッセージのみを送信します。

自作……画像とメッセージを送信します。
画像を変更する場合は、機能メニューの「設定内容変更」で、マイピクチャの画像から選択します。

キャラ電※……「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。
キャラ電一覧画面の機能メニュー→P.236
キャラ電の優先順位→P.77
キャラ電を変更する場合は、機能メニューの「設定内容変更」で、キャラ電一覧から選択します。

※：「代替画像選択」を選択したときのみ利用できます。

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する 〈テレビ電話切替通知〉

自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを、相手側のFOMA端末に通知するかしないかを設定します。

- 「切替機能通知停止」に設定すると、切り替えることができなくなります。
- 通話中または「圏外」のときは、本機能の設定を行うことはできません。

1 テレビ電話設定画面（P.70）▶「テレビ電話切替通知」▶以下の項目から選択

切替機能通知開始・切替機能通知停止……切替機能通知を開始または停止します。

切替機能通知設定確認……「テレビ電話切替通知」の設定状態を確認します。

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する
〈パケット通信中着信設定〉

●テレビ電話はマルチアクセスを使用できないため、ｉモード通信中やメールの送受信中のテレビ電話の着信に対しては、本機能の設定に従って動作します。→P.356

1 テレビ電話設定画面（P.70）▶「パケット通信中着信設定」▶以下の項目から選択

テレビ電話優先……テレビ電話の着信中画面に移ります。テレビ電話の着信に応答するとｉモード通信が切断されます。

パケット通信優先……テレビ電話の着信を拒否します。

留守番電話……留守番電話サービスをご契約されている場合、「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。ご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。

転送でんわ……転送でんわサービスをご契約されている場合、「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。ご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。

おしらせ

＜送信画質設定＞
●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、「送信画質設定」の設定内容にかかわらず、画像がモザイク表示になるときがあります。

＜画像選択＞
●貼り付け元の静止画を削除すると、「内蔵」の静止画が表示（送信）されます。
●代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、内蔵されているキャラ電「ミッフィー」を送信します。内蔵されているキャラ電「ミッフィー」が削除されている場合は「内蔵」の静止画の代替画像を送信します。

＜音声自動再発信＞
●音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、デジタル通信料ではなく音声通話料になります。
●再発信が行われたとき、「リダイヤル／発信履歴」には音声電話の履歴だけが記憶されます。
●音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

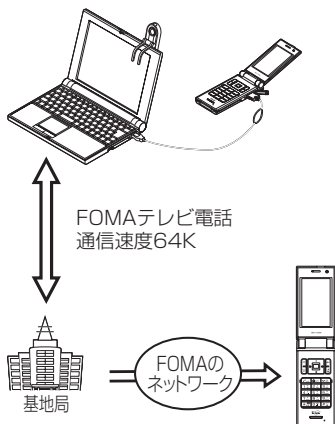
＜ハンズフリー切替＞
●以下の場合はハンズフリー切替を「ON」に設定していても、自動的にハンズフリーに切り替わりません。
・マナーモード設定中の場合
・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中（ただし、マイクは「イヤホン接続時マイク切替」の設定に従います）
・着信時に応答保留または伝言メモが起動した場合

おしらせ

＜パケット通信中着信設定＞
●「テレビ電話優先」に設定していても、音声通話中にｉモード通信を行っているときなど、マルチアクセスを使用している場合はテレビ電話の着信に応答することはできません。
●「パケット通信優先」「留守番電話」「転送でんわ」に設定した場合、テレビ電話の着信は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶されます。
●「テレビ電話優先」または「パケット通信優先」に設定していても、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。
●USBモード設定を「通信モード」にしてください。なお、外部機器との接続に関する設定は不要です。
●テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定･操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
●本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
ドコモテレビ電話ソフトは、ホームページからダウンロードしてご利用ください。
（パソコンでのご利用環境などの詳細についてはサポートホームページでご確認ください）

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

おしらせ

- 音声通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホン、留守番電話、転送でんわのいずれかをご契約いただいていると、音声通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。外部機器からテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

外出先から室内の様子などを確認する 〈遠隔監視設定〉

遠隔監視できるのは3G-324Mに準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。FOMA SO705iは、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

着信側の準備をする

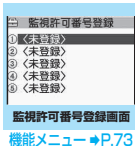
遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号（監視許可番号）や遠隔監視を開始するまでの時間（応答時間）を設定します。

- 監視許可番号は5件まで登録できます。

1 テレビ電話設定画面（P.70）▶「遠隔監視設定」▶端末暗証番号を入力▶「監視許可番号登録」

「監視許可番号登録画面」が表示されます。

監視許可番号登録画面

機能メニュー➡P.73

2 登録または変更する項目を選択▶監視を許可する電話番号を入力

3 CLRで遠隔監視設定画面に戻る

4 「応答時間設定」▶応答時間（003～120秒の3桁）を入力

応答時間が設定されます。

5 「設定」▶「ON」

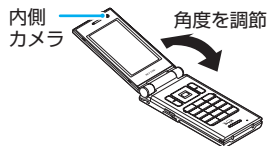
待受画面に「」が表示されます。

■ 遠隔監視を受けない場合
▶「OFF」

6 FOMA端末を設置

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。

着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態で設置してください。

閉じたまま設置した場合は、音声のみを送信しカメラ画像は送信せず、代替画像に「カメラオフ　Camera Off」の文字を重ねて送信します。

おしらせ

- FOMA端末を設置するときは、着信時の振動で動いてしまうことを防ぐため、「バイブレータ」のテレビ電話を「OFF」に設定してください。
- 着信側の「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「留守番電話」や「転送でんわ」が優先されます。

機能 監視許可番号登録画面（P.72）

宛先参照入力……電話帳や発信履歴、着信履歴を参照して宛先を入力します。

1件削除・全削除……監視許可番号を1件または全削除します。全削除すると、「設定」は「OFF」になります。

遠隔監視を行う／終了する

- 着信側が監視許可番号として登録したFOMA端末から、電話番号を通知してテレビ電話をかけます。

1 着信側へテレビ電話をかける

発信側

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、スピーカから音声が流れます。

■ 着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話に出る場合

▶応答時間が経過する前に[発信キー]

代替画像で出る場合は[■]［代替画像］を押します。

2 終了したら[終話キー]

通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。着信側で[終話キー]を押しても遠隔監視が終了します。

おしらせ

- ダイヤルロック／おまかせロック設定中でも、遠隔監視による着信は受けられます。
- 以下の機能を設定中は、遠隔監視ができません。
  - 公共モード（ドライブモード）
  - マナーモード
  - 指定着信拒否／許可※
  - 登録外着信拒否※

  ※:監視許可番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、監視許可番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合、監視許可番号が電話帳未登録時に「登録外着信拒否」が設定されている場合
- 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
- 着信音は「着信音量」の「テレビ電話」で設定した音量で鳴ります（「消去」や「レベル1」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります）。
- 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。[終話キー]を押すと電話は切れます。

おしらせ

- 遠隔監視中に着信側でカメラを切り替えることはできません。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の違い

■登録内容

登録項目	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大1,000件	最大50件
グループ	グループなし、01～19	グループなし、01～10
電話番号の登録	1件に4番号（電話帳全体で4,000番号）	1件に1番号
	23種類のアイコンから選択	「 」のみ
メールアドレスの登録	1件に3アドレス（電話帳全体で3,000アドレス）	1件に1アドレス
	5種類のアイコンから選択	「 」のみ
画像の登録	1件に静止画、キャラ電を1件ずつ（電話帳全体でそれぞれ100件）	－
その他のデータの登録	名前、フリガナ、郵便番号、住所、誕生日、メモ	名前、フリガナ

■FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

- 「直デン」→P.83
- 「ツータッチダイヤル」→P.84
- 「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」→P.82
- 「個別着信動作選択」→P.120
- シークレットデータとして登録→P.111
- シークレットコードの設定→P.81

■FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

■音声電話、テレビ電話

電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

電話帳に静止画を登録していると、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

■ｉモードメール、SMSの名前表示について

電話帳に登録した相手からのｉモードメールまたはSMSを送受信すると、送信メールや受信メールの一覧画面、詳細画面、アドレス一覧には相手の名前が表示されます。

電話帳に登録する 〈電話帳登録〉

● 「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。

1 MENU▶「電話帳」▶ [機能] ▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字（本体のみ）で入力します。

登録できる文字数は、本体で全角16文字、半角32文字、FOMAカードで全角10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで21文字までです。

2 フリガナを確認▶■ [確定]

■ フリガナが間違っていた場合

カタカナ（本体は半角、FOMAカードは全角）、半角の英数字、記号で修正します。

登録できる文字数は、本体で半角32文字、FOMAカードで全角12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで25文字までです。

3 以下の項目から選択

GR **グループ**……登録するグループを本体では「グループ01～19」から、FOMAカードでは「グループ01～10」から選択します。グループを選択しないと、自動的に「グループなし」に登録されます。

電話番号……電話番号を入力します。
- 本体ではさらにアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。
- FOMAカードでは、青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色／白色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。

メールアドレス……メールアドレスを入力します。半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
本体ではさらにアイコンを選択します。1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所……郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

誕生日……誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画……着信時に表示される静止画を撮影または選択します。

キャラ電……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

メモリ番号……メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～999の範囲でお好きな番号を入力することもできます。

※：010～999の空き番号に、若い順に割り当てられます。010～999に空き番号がないときは000～009の空き番号に割り当てられます。

4 **[完了]**

おしらせ

- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、赤外線通信などでデータ転送を行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメインまで正しく登録してください。ドメインとは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
ただし、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

おしらせ

- 登録時の2in1のモードにより、電話帳の「電話帳2in1設定」が設定されます。「電話帳2in1設定」の設定内容（A／B／AB）は、2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳一覧画面や電話帳詳細画面に表示されます。ただし、電話帳をメールに添付したりFOMAカード電話帳にコピーする場合、電話帳2in1設定は送られません。

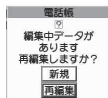
モード	電話帳2in1設定
デュアルモード	A
Aモード	A
Bモード	B
OFF	A

電話帳2in1設定の変更は「2in1設定」から行います。→P.315

<キャラ電設定の優先順位>
- キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①個別着信音／画像のキャラ電設定
②グループ着信音／画像のキャラ電設定
③電話帳登録のキャラ電
④画像選択の代替画像選択

編集を中断した電話帳があるとき

編集中に電池切れアラームが鳴った場合や、マルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに起動させた場合など、中断した電話帳の編集を再開できます。

1 **MENU▶「電話帳」▶✉［機能］▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶「再編集」**

編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■ 新規に登録する場合
▶「新規」

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」「テキストリーダー」またはサイト画面、電話番号入力画面などから電話帳に登録します。

<例：「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合>

1 **着信履歴画面（P.54）▶✉［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」**

■ FOMAカードに登録する場合
▶「FOMAカード（UIM）」

次ページにつづく

2 **「追加登録」▶登録する電話帳を検索**

電話帳の検索のしかた→P.79

■ 新規に登録する場合

▶「新規登録」

■ FOMAカードの場合

▶「新規登録」または「上書き登録」

3 **電話帳の詳細画面を表示▶■［選択］**

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。

電話帳の修正のしかた→P.81

4 **修正が終わったら i ［完了］**

■ 上書きするかどうかのメッセージが表示された場合

▶「YES」

おしらせ

- 「発信履歴」「リダイヤル」に表示される発信者番号通知の情報（「通知」／「非通知」）は、電話帳には登録されません。

グループ名を変更する
〈グループ設定〉

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。

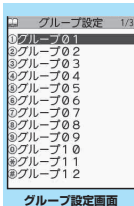
- 「グループなし」のグループ名は変更できません。

1 **電話帳一覧画面（P.78）▶✉［機能］▶「グループ設定」**

「グループ設定画面」が表示されます。

グループ設定 1/3
①グループ01
②グループ02
③グループ03
④グループ04
⑤グループ05
⑥グループ06
⑦グループ07
⑧グループ08
⑨グループ09
⓪グループ10
⊛グループ11
#グループ12

グループ設定画面

機能メニュー➡P.78

2 **グループを選択▶グループ名を入力**

「 」が表示されているグループは、FOMAカードのグループを示します。

全角10文字、半角21文字まで入力できます。

FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を付けた場合でも、別々のグループとして表示されます。

機能 グループ設定画面（P.78）

グループ名編集……グループ名を編集します。

グループ着信音／画像→P.82

グループ名初期化……変更したグループ名を初期化して、お買い上げ時のグループ名に戻します。

おしらせ

- グループ名を初期化しても、「グループ着信音／画像」の設定は解除されません。

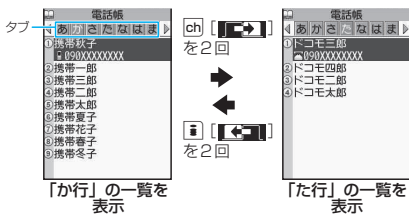
電話帳から電話をかける
〈電話帳検索〉

電話をかける相手の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳から呼び出します。

- 電話帳一覧画面で、タブが表示されている場合は、以下のように表示を切り替えられます。
<例：50音タブ表示のときに、「か行」から「た行」にタブを切り替える場合>

タブ

「か行」の一覧を表示

「た行」の一覧を表示

おしらせ

- で同一タブ内におけるページの切り替えが可能です。
- 直デン登録やメール作成における電話帳参照時は、i［ ］によるタブ切り替えは行えません。

電話をかける相手の電話帳を呼び出して電話をかける

1 **MENU▶「電話帳」**

「電話帳一覧画面」が表示されます。

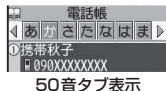
電話帳一覧画面

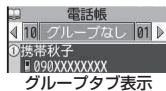
機能メニュー➡P.80

■ 一覧画面から音声電話をかける場合

▶電話をかける電話帳を反転▶（音声電話）

電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

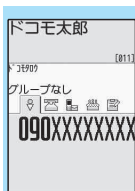
■ タブ表示を切り替える場合
▶[メール][機能]▶「タブ表示切替」
「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択します。

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示

グループタブ表示

2 目的の電話帳を選択

「電話帳詳細画面」が表示されます。

3 [十字キー]で目的の電話番号を表示▶[通話](音声電話)または[i][テレビ電話]

■ メールを送信する場合
▶[十字キー]で目的のメールアドレスを表示▶[■][MAIL]
「iモードメールを作成して送信する」→P.164

電話帳詳細画面
機能メニュー➡P.80

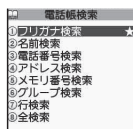
おしらせ

- 通話中に[十字キー上]を押した場合はグループ検索画面が表示され、[十字キー下]を押した場合は行検索画面が表示されます。

検索方法を指定して電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）、全件の8とおりの検索方法から選んで、電話帳を検索します。

- 電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索します（メモリ番号検索以外）。
  50音 → 英字 → 数字 → 記号
  → フリガナが登録されていないもの
  ※ フリガナの先頭にスペースが入力されていると最初に検索されます。

1 待受画面表示中▶[十字キー下]▶[メール][機能]▶「電話帳検索」

■ 優先して表示する検索方法を設定する場合
▶優先したい検索方法を反転▶[i][優先]▶「OK」
優先に設定した検索方法には「★」が付きます。
待受画面表示中に[十字キー下]を押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合
▶待受画面表示中▶[十字キー下]▶[CLR]▶「★」が付いている検索方法を反転▶[i][解除]

2 検索方法を選択

フリガナ検索……▶フリガナを入力▶[決定]
フリガナを先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

名前検索……▶名前を入力▶[決定]
名前を先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

電話番号検索……▶電話番号を入力▶[決定]
電話番号の最初の数桁または途中の数桁を入力します。
「電話番号入力画面」（P.50）で電話番号の一部を入力し[決定]でも検索できます。

アドレス検索……▶メールアドレスを入力▶[決定]
アドレスは一部を入力するだけで構いません。

メモリ番号検索……▶3桁のメモリ番号を入力
FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

グループ検索……▶目的のグループを選択
FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

行検索……▶検索したい行（タブ）のボタンを押す

[1]：あ行	[2]：か行	[3]：さ行
[4]：た行	[5]：な行	[6]：は行
[7]：ま行	[8]：や行	[9]：ら行
[0]：わ行	[*]：その他（英数字など）	

全検索……登録されているすべての電話帳を50音タブ表示します。

検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は「[FOMAカードアイコン]」が表示されます。

電話帳一覧画面
機能メニュー➡P.80

● リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」の各画面の機能メニューから「電話帳参照」を選択すると、登録済みの電話帳詳細画面を呼び出すことができます。

機能 電話帳一覧画面（P.78）

●検索方法、表示のしかたによって利用できる機能が異なります。

電話帳登録→P.76

お預りセンターに接続……電話帳データをドコモのお預かりセンターに預けます。→P.84

電話帳検索……検索方法を指定して電話帳を呼び出します。→P.79

ソート※1……指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。

タブ表示切替……「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択します。

個別着信音／画像→P.83

個別着信動作選択→P.120

グループ設定→P.78

microSDへコピー※2→P.246
- 「全コピー」を選択した場合、電話帳データ以外に、マイプロフィールのデータをコピーするかしないかを選択します。

iC送信※2→P.257

iC全送信※2→P.258

赤外線送信※2→P.256

赤外線全送信※2→P.256

電話帳登録件数→P.81

メール添付※2……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。→P.100

microSD参照⇔本体参照……microSDメモリーカード内、FOMA端末（本体）の電話帳を参照します。

電話帳削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「全削除」を行うとFOMAカードの電話帳も削除されます。

※1：タブ表示のときは利用できません。
※2：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。

機能 電話帳詳細画面（P.79）

電話帳編集→P.81

発信者番号通知→P.47

着もじ→P.56

発信設定

プレフィックス→P.59

国際電話発信→P.60

2in1／マルチナンバー……2in1設定がONでデュアルモードのときは「Aナンバー／Bナンバー／設定消去」（P.316）から選択します（Aモード、Bモードのときは利用できません）。
2in1設定がOFFのときはマルチナンバーの「基本契約番号／付加番号1／付加番号2／設定消去」（P.313）から選択します。

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

個別着信音／画像※1→P.82

個別着信動作選択※1→P.120

先頭へ移動※1……電話番号／メールアドレスが複数登録されている場合、表示している電話番号／メールアドレスを1番目に移動します。

直デン登録※1→P.83

マイショートカット貼付→P.101

iモードメール作成※2→P.164

メール添付※1※2……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

SMS作成※2→P.189

iC送信※1→P.257

iC全送信※1→P.258

赤外線送信※1→P.256

赤外線全送信※1→P.256

microSDへコピー※1→P.246

コピー

名前……名前をコピーします。コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。
→P.302

電話番号※3……電話番号をコピーします。コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.302

シークレットコード※1→P.81

コード設定……シークレットコード（4桁）を設定します。

コード参照……設定したシークレットコードを確認します。

設定解除……設定したシークレットコードを解除します。

シークレット設定※1※4→P.111

FOMAカードへコピー※5→P.253

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。→P.100

電話帳削除→P.81

※1：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：選択している項目によって機能名は「メールアドレス／住所／誕生日／メモ」と表示されます。
※4：シークレットデータの電話帳を参照しているときは「シークレット解除」になります。
※5：FOMAカードの電話帳を参照しているときは「本体へコピー」になります。

おしらせ

<直デン登録>
- 直デンに登録すると機能メニューに「★」が表示されます。

● シークレットコードについて

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」で、その相手がシークレットコードを登録している場合、メールの宛先には「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」を指定する必要があります。
このような相手にメールを送信するには、次の2とおりの方法があります。
- 電話帳詳細画面の機能メニューから電話帳にシークレットコードを設定する（メールアドレス参照時に、電話帳のメールアドレスにシークレットコードが自動的に付加されます）。
- 電話帳のメールアドレスにシークレットコードを付加して登録する。

おしらせ

- シークレットコードの設定が有効なのは、「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレスまたは「電話番号」だけです。
- FOMAカードの電話帳にはシークレットコードを設定できません。

電話帳を修正する 〈電話帳修正〉

1 電話帳詳細画面（P.79）▶✉［機能］▶「電話帳編集」▶それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.76

■ 新しいメモリ番号に登録する場合
▶「No」を選択▶電話帳が登録されていないメモリ番号（000～999）を入力
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら i［完了］▶「YES」

■ FOMAカードの場合
▶ i［完了］▶「上書き登録」または「追加登録」
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- 修正した電話帳が直デンに登録されている場合は、直デンも自動的に修正されます。

電話帳を削除する 〈電話帳削除〉

1 電話帳詳細画面（P.79）▶✉［機能］▶「電話帳削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※……選択した電話番号（またはメールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画、キャラ電）を削除します。

1件削除……電話帳を削除します。

※：選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除／住所削除／誕生日削除／メモ削除／静止画削除／キャラ電削除」と表示されます。

おしらせ

- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号、メールアドレスを削除すると、削除した以降の電話番号、メールアドレスの順番が繰り上がって登録されます。

電話帳の登録状況を確認する 〈電話帳登録件数〉

1 電話帳一覧画面（P.78）▶✉［機能］▶「電話帳登録件数」

■ 本体（FOMA端末に登録されている電話帳）

電話帳	：電話帳の登録件数を表示 登録されている件数／1,000（登録できる件数）
シークレット	：シークレットデータとして登録されている件数を表示（「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示）
静止画	：電話帳に登録されている静止画の件数を表示 登録されている件数／100（登録できる件数）

キャラ電　：電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示
登録されている件数／100（登録できる件数）

■ FOMAカード（FOMAカードに登録されている電話帳）

電話帳　：電話帳の登録件数を表示
登録されている件数／ 50（登録できる件数）

電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える
〈個別着信音／画像、グループ着信音／画像〉

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定します。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- FOMA端末（本体）の「グループなし」、FOMAカードの電話帳とグループには設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、個別着信音／画像およびグループ着信音／画像は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。

1 電話帳詳細画面（P.79）▶[メール]［機能］▶「個別着信音／画像」

「個別着信音／画像設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」が付きます。
電話帳詳細画面にて選択されている項目によって、利用できる機能が異なります。

個別着信音／画像
①音声着信設定
②テレビ電話発着信設定
③メール着信設定

個別着信音／画像設定画面

■ グループごとに発着信の設定を変える場合
▶グループ設定画面（P.78）▶[メール]［機能］▶「グループ着信音／画像」

2 着信を識別する項目を選択

「音声着信設定／テレビ電話発着信設定／メール着信設定」から選択します。

- 「メール着信設定」を選択すると、iモードメールのほか、SMSの着信も対象になります。

3 以下の項目から選択

設定されている機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶「★」が付いている機能を反転▶[i]［解除］
機能が解除されて「★」が消えます。

着信音設定※1……誰からの電話／メールかを、着信音で区別します。
「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.88

着信画面設定※1※2……誰からの電話かを、着信画像で区別します。
「画面の表示を変える」→P.94

キャラ電設定※3……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

ランプ設定※1……誰からの電話／メールかを、着信ランプの点滅で区別します。
「着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する」→P.99

バイブレーション設定※1……誰からの電話／メールかを、バイブレーションで区別します。
「着信を振動で知らせる」→P.90

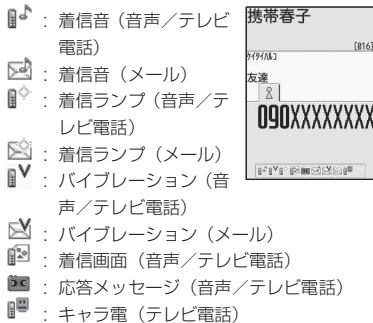
応答メッセージ設定※2……伝言メモ※4、クイック伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.67

※1：64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2：「音声着信設定」または「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※3：「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※4：「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。

■個別着信音／画像を設定すると

電話帳の詳細画面に設定されていることを示すアイコンが表示されます。

：着信音（音声／テレビ電話）
：着信音（メール）
：着信ランプ（音声／テレビ電話）
：着信ランプ（メール）
：バイブレーション（音声／テレビ電話）
：バイブレーション（メール）
：着信画面（音声／テレビ電話）
：応答メッセージ（音声／テレビ電話）
：キャラ電（テレビ電話）

携帯春子
[016]
ｹｲﾀｲﾊﾙｺ
友達
090XXXXXXXX

おしらせ

- シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。またグループで設定しても、シークレットデータとして登録された電話帳の場合、本機能の設定は無効になります。
- 電話番号に対して設定する「メール着信設定」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。

電話帳

おしらせ

- 個別着信音／画像、グループ着信音／画像の着信設定と、ほかの機能の着信設定が重なった場合の優先順位については、以下のページをご覧ください。
  - 着信音の優先順位→P.89
  - バイブレータの優先順位→P.90
  - 着信画像の優先順位→P.89
  - 着信ランプの優先順位→P.99
  - キャラ電の優先順位→P.77

個別着信音／画像、グループ着信音／画像の設定状況を確認する

個別着信音／画像、グループ着信音／画像を設定している電話帳およびグループを各機能または項目ごとに確認します。

1 電話帳一覧画面（P.78）▶✉［機能］▶「個別着信音／画像」

「個別着信音／画像確認画面」が表示されます。本機能が設定されている項目には「★」が付いています。

2 「★」が付いている機能または項目を選択▶「★」が付いている機能または項目を反転▶✉［機能］▶以下の項目から選択

設定確認……設定状態を確認します。
▶「★」が付いている機能または項目を選択※▶設定されている電話帳およびグループを確認

設定解除……「★」が付いている機能の設定をまとめて解除します。

※：設定している機能または項目によって選択項目の数（■を押す回数）が変わります。

直デンを利用する 〈直デン〉

よく使う電話帳を直デンに登録し、すばやく電話をかけたり、メール送信をできるようにします。

- 直デンは、FOMA端末（本体）の電話帳の登録データ（電話番号など）を引用し、最大5件まで登録できます。
- 直デンにメールアドレスが登録されていると、すべてのメンバーを宛先にしたｉモードメールを簡単に作成することもできます。
- シークレット専用モード中は利用できません。
- シークレットモード中は利用できますが、シークレットデータとして登録している電話帳を直デンに登録することはできません。

直デンに登録する

1 待受画面表示中▶□

「直デン画面」が表示されます。

登録したデータがある場合、登録されている最も若いタブの番号の直デン画面が表示されます。

直デン画面

機能メニュー ➡P.84

■ **登録する場所を変更する場合**

▶◁▷でタブを移動する

1～5を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

2 i［登録］▶電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.79

■ **登録内容を変更する場合**

▶i［編集］

3 ■［選択］

「電話帳引用画面」が表示されます。

電話帳引用画面

4 ◇で□（チェックボックス）を選択

登録する電話番号、メールアドレスをそれぞれ1つだけ選択します。

チェックボックスが選択状態になっていると、他の電話番号またはメールアドレスはグレー表示され、チェックボックスを選択できません。変更する場合はチェックボックスの選択を一度解除してから行ってください。

5 i［完了］

おしらせ

- 「電話帳2in1設定」の設定内容は、2in1のモードがデュアルモードの場合、直デン画面に表示されます。
- 電話帳に画像が登録されている場合、電話帳の画像を登録します。

電話帳

直デンから電話をかける／メールを作成する

<例：電話をかける場合>

1 直デン画面（P.83）▶[カメラ]で電話をかける直デン画面を表示

[1]～[5]を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

2 [十字キー]で「電話する」を選択

■ **メールを作成する場合**

▶[十字キー]で「メールする」を選択→P.164

■ **テレビ電話をかける場合**

▶[十字キー]で「テレビ電話する」を選択

機能 直デン画面（P.83）

登録／編集……未登録の直デンに登録または、登録済みの直デンを編集します。→P.83

画像変更……「マイピクチャ」から画像を選択し、直デンで表示される画像を変更します。

ｉモードメール一斉送信……直デンに登録したすべてのメールアドレスを宛先に設定し、新規メール画面を表示します。→P.164

1件解除・全解除……直デンを1件または全解除します。

おしらせ

<画像変更>

- ファイル容量が100Kバイト以下で、横または縦が854ドット以下の画像が登録できます。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

少ないボタン操作で電話をかける 〈ツータッチダイヤル〉

電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録すると、[0]から[9]（メモリ番号の下1桁）と[発信]を押すだけで電話をかけることができます。

1 [0]～[9]▶[発信]（音声電話）／[i][テレビ電話]

おしらせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。

電話帳データをセンターに保存する 〈電話帳お預かりサービス〉

FOMA端末（本体）の電話帳をドコモのお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続して、FOMA端末に復元・更新することができます。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 「[圏外]」のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「電話帳お預りサービス」▶「お預りセンターに接続」

■ **電話帳内の画像送信について設定する場合**

▶「電話帳内画像送信設定」▶「する」（お買い上げ時：しない）

電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存されます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続して電話帳の保存を開始します。

3 [i][完了]

おしらせ

- FOMAカードに登録されている電話帳はお預かりセンターに保存できません。
- 100Kバイトを超える画像が登録されている電話帳は、保存・更新することはできませんのでご注意ください。

● 電話帳を復元／更新する

お預かりセンターに保存した電話帳データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存することができます。
また、お預かりセンターに預けている電話帳データをパソコンなどから編集することもできます。
ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 電話帳の更新ができなかった場合、「 」のショートカットアイコンでお知らせします。
- お預かりセンターに預けている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「 」や「 」に置き換わることがあります。

● お預かりセンターとの通信履歴を確認する

- 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 通信履歴詳細画面では通信結果、日付、通信内容、通信データサイズ、お預かりセンターへの送信結果、携帯電話の受信結果、お預かりセンター残件数が表示されます。

1 MENU ▶「LifeKit」▶「電話帳お預りサービス」▶「通信履歴表示」

「通信履歴一覧画面」が表示されます。

通信履歴一覧画面

機能メニュー➡P.85

2 通信履歴項目を選択

機能 通信履歴一覧画面（P.85）

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。「複数選択について」→P.38

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変える
〈着信音選択〉

音声電話、テレビ電話、メールなどの着信音や着信画面を設定します。また、電話番号やメールアドレス、電話帳のグループを指定して、それぞれに着信音を設定することもできます。→P.82

- メロディ一覧の見かた→P.239
- 発信画面の設定のしかた→P.94

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「着信音選択」▶着信音を設定する項目を選択

「電話／テレビ電話／メール／メッセージR／メッセージF」から選択します。

- 「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信の着信音が設定されます。
- 「メール」を選択すると、ｉモードメールやSMS、パケット通信の着信音が設定されます。

2 「着信音」▶以下の項目から選択

メロディ……着信音やメロディを設定します。

ｉモーション……FOMA端末に取得したｉモーション／着うた®やカメラで撮影した動画（ｉモーション）を設定します。
着信時には、選択したｉモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション機能）。

ミュージック……着うたフル®を設定します。着うたフル®に配信元が指定した着信音設定部分がある場合は、以下の項目から設定します。

まるごと設定……1曲すべてを着信音に設定します。

オススメ設定……曲の一部を着信音に設定します。
▶◎で着信音に設定する部分（橙色で表示）を指定▶■［確定］
「移行可能コンテンツ」フォルダを選択した場合は、「YES」を選択し保存するフォルダを選択します。

おしゃべり……「おしゃべり機能」で録音した音声を設定します。

ランダムメロディ……メロディが保存されているフォルダを選択します。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。

OFF……着信音を鳴らしません。

■ 着信画像を設定する場合

▶「着信画面」または「メール着信画面」
「着信画面」の場合、設定する画像をマイピクチャ、ｉモーションから選択します。
「メール着信画面」の場合、設定する画像をマイピクチャから選択します。

3 着信音を選択

メロディを選択すると、そのメロディが鳴ります。
[発信]、[#]、[メール]、[ｉ]、[ch]のいずれかのボタンを押すと、メロディは止まります。

■お買い上げ時に登録されている着信音・メロディ・アラーム音一覧

曲名	曲名
着信音1～5	Grand Clock
Go For It!	Elevator
Sophisticated Lady	Whistle
Classy Walts	Piano Man
Kanon	Hand Bell
Forest	Brilliance
Cuckoo Clock	Typewriter
School Chime	Vibe X Vibe

■お買い上げ時に登録されている着うたフル®

曲名
What Can U Do (Mashup Style)

おしらせ

- ｉモーション（映像のみのｉモーションなど）や着うたフル®によっては着信音に設定できないものがあります。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画面に設定できません。
- Flash画像を着信画面／メール着信画面に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。
- 着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
  - 赤外線通信機能、ｉC通信機能やドコモケータイdatalink（P.324）などを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - microSDメモリーカードからFOMA端末本体にコピーした場合（FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末本体にコピーした場合を含む）
- 移行可能コンテンツフォルダ内のｉモーションを選択すると、選択したｉモーションが「ｉモーション」のINBOXフォルダに移動されます。
- 移行可能コンテンツフォルダ内の着うたフル®を選択すると、「まるごと設定」のときは選択した着うたフル®が「ミュージック」のINBOXフォルダに移動されます。「オススメ設定」のときは選択した部分をｉモーションとして切り出し、「ｉモーション」のフォルダに保存されます。

おしらせ

- FOMA端末本体に保存されている着うたフル®を「オススメ設定」で着信音に設定した場合は、iモーションとしての切り出しは行われずに選択した部分がそのまま着信音に設定されます。
- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」で設定した音量で鳴ります。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信音に設定されたiモーションが再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたiモーションが再生されます。
- メールの着信音にiモーションを設定している場合、パケット通信の着信音はお買い上げ時の「メール」の着信音になります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。
- 着うたフル®を着信音に設定した場合、着うたフル®にジャケット画像が含まれていても、着信時に表示されません。
- 複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信音の動作は以下のとおりです。

受信内容	着信音の動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信音が鳴ります。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	
メッセージR／Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信音が鳴ります。

<電話着信音の優先順位>

- 電話着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①マルチナンバー（付加番号1、2）の着信音
  ②個別着信音／画像の音声／テレビ電話着信音
  ③グループ着信音／画像の音声／テレビ電話着信音
  ④2in1のBモードへの着信音
  ⑤着信音選択／きせかえツール設定の着信音
  ※上記②個別着信音／画像、③グループ着信音／画像での優先順位は以下のとおりです。
  ①音声／テレビ電話着信音のiモーション
  ②着信画面設定のiモーション
  ③音声／テレビ電話着信音のiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）、メロディ、着うたフル®

<メール（SMSを含む）着信音の優先順位>

- メール着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①個別着信音／画像のメール着信音
  ②グループ着信音／画像のメール着信音
  ③着信音選択の着信音／きせかえツール設定の着信音

おしらせ

<着信画像の優先順位>

- 着信画像の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①個別着信音／画像の着信画面設定
  ②グループ着信音／画像の着信画面設定
  ③電話帳登録の静止画
  ④2in1のBモードへの着信画面設定
  ⑤着信音選択のiモーション
  ⑥画面表示設定／きせかえツール設定
  ※上記①個別着信音／画像、②グループ着信音／画像での優先順位は以下のとおりです。
  ①音声／テレビ電話着信音のiモーション
  ②着信画面設定のiモーション、静止画・画像

着信を振動で知らせる〈バイブレータ〉

音声電話、テレビ電話、メールなどを受けたときの、それぞれの振動パターンを設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「バイブレータ」▶バイブレータを設定する項目を選択

「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信のバイブレータが設定されます。
「メール」を選択すると、iモードメール、エリアメール、SMS、パケット通信のバイブレータが設定されます。

2 振動パターンを選択

パターン1～パターン3……それぞれのパターンで振動します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。

メロディ連動……着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。

OFF……振動しません。

■バイブレータ設定時の待受画面のアイコン表示

:音声電話、テレビ電話のいずれかの着信で振動
:メール／メッセージR／メッセージFのいずれかの着信で振動
:「」と「」の両方の状態

おしらせ

- バイブレータの振動でFOMA端末が火気(ストーブなど)に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
- 「メロディ連動」を選択しても、必ずしも主旋律に連動するわけではありません。またメロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、着信音をiモーションや着うたフル®に設定している場合は、パターン2で振動します。
- エリアメール受信時は、ブザー音鳴動時にはブザー音に連動して振動し、エリアメール着信音鳴動時には本機能の「メール」の設定に従います。

<バイブレータの優先順位>
- バイブレータの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①個別着信音／画像のバイブレーション設定
②グループ着信音／画像のバイブレーション設定
③バイブレータの設定

呼出音を変える〈メロディコール設定〉

電話がかかってきたときに相手に聞こえる呼出音を変更するかしないか(YES／NO)を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「メロディコール設定」▶「YES」または「NO」

「YES」を選択した場合、メロディコールのiモードサイトに接続します。iモードサイトに接続するとパケット通信料がかかります(設定サイトはパケット通信料がかかりません)。
画面の指示に従って設定してください。

おしらせ

- テレビ電話から発信された場合は、相手側にはメロディコールは流れません。

ボタンを押したときに鳴る音を設定する〈ボタン確認音〉

- 本機能を「OFF」に設定すると、電池残量表示の音や各種警告音も鳴りません。
- ボタン確認音の音量は、通話中の場合には「受話音量」で設定した音量、通話していない場合には一定の音量になります。

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「ボタン確認音」▶「ON」または「OFF」

充電時の確認音を設定する〈充電確認音〉

充電開始、完了時に確認音を鳴らします。

- 待受画面以外の画面を表示中やマナーモード設定中、公共モード(ドライブモード)設定中など、充電確認音は鳴りません。

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「充電確認音」▶「ON」または「OFF」

音／画面／照明設定

時刻アラーム音を設定する 〈時刻アラーム音設定〉

アラーム、スケジュール、To Doリストで設定できる時刻アラーム音を変更します。

1 MENU▶「各種設定」▶「時計」▶「時刻アラーム音設定」▶アラーム音を選択

アラーム音は「メロディ／ｉモーション／ミュージック／おしゃべり／OFF」から選択します。

通話が切れそうなときはアラームで知らせる 〈通話品質アラーム〉

電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU▶「各種設定」▶「通話」▶「通話品質アラーム」▶アラーム音を選択

アラーム音は「アラームなし／アラーム高音／アラーム低音」から選択します。

メールの着信音を鳴らす時間を設定する 〈メール／メッセージ鳴動〉

メール、メッセージR／Fを受信したときの着信音を鳴らす時間を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「メール／メッセージ鳴動」▶時間を設定する項目を選択

「メール」を選択すると、ｉモードメール、エリアメール、SMSの鳴動時間が設定されます。

2 「ON」▶鳴動時間（01～30秒の2桁）を入力

■ 着信音を鳴らさない場合

▶「OFF」

「バイブレータ」を動作するように設定していた場合は、振動しなくなります。

イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす 〈イヤホン切替設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、イヤホンとスピーカから着信音やアラーム通知音などが鳴るように設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「外部接続」▶「イヤホン切替設定」▶「イヤホン＋スピーカー」または「イヤホンのみ」

おしらせ

- 「着信音量」を「消去」に設定している場合は、イヤホンからもスピーカからも着信音は鳴りません。
- マナーモード（オリジナルマナー）で「電話着信音量」「メール着信音量」を「消去」以外に設定している場合は、本機能に従って着信音が鳴ります。ただし、マナーモード（マナーモード、スーパーサイレント）設定中は、イヤホンからのみ着信音が鳴ります。

電話から鳴る音を消す〈マナーモード〉

FOMA端末のスピーカから出る着信音やボタン確認音などを、ボタン1つの操作で鳴らさないように設定します。
- マナーモードの設定内容の詳細については**別表1**(P.93)、**別表2**(P.93)をご覧ください。
- マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。

1 待受画面表示中▶[マナー]（1秒以上）

音声通話中は[マナー]を1秒以上押してもマナーモードを設定できます。
マナーモードが設定されて「[アイコン]」が表示され、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

[アイコン]：「バイブレータ」で通知
[アイコン]：「着信音量」を「消去」に設定
[アイコン]～[アイコン]、[アイコン]～[アイコン]：「伝言メモ」「テレビ電話伝言メモ」で録音／録画するように設定（数字は録音／録画されている伝言メモの件数）

音声通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

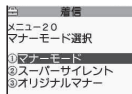
■ マナーモードを解除する場合
▶待受画面表示中▶[マナー]（1秒以上）
音声通話中は[マナー]を1秒以上押してもマナーモードを解除できます。
マナーモードが解除されて「[アイコン]」の表示が消えます。
音声通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ
- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。
- バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

マナーモードを変更する〈マナーモード選択〉

マナーモード設定中の動作を選択します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「着信」▶「マナーモード選択」

「マナーモード選択画面」が表示されます。

マナーモード選択画面

2 以下の項目から選択

マナーモード……スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモやメモを再生したときなど）は消去しません。

スーパーサイレント……スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。

オリジナルマナー→P.94

[別表1] マナーモードに設定すると

<table>
<tr><th>項目</th><th>マナーモード</th><th>スーパーサイレント</th><th>オリジナルマナー
（オリジナルマナーの設定項目を示します）</th></tr>
<tr><td>伝言メモの起動</td><td colspan="2">OFF</td><td>「伝言メモ」の設定値</td></tr>
<tr><td>バイブレータ</td><td colspan="2">ON</td><td>「バイブレータ」の設定値</td></tr>
<tr><td>音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>メール、パケット通信、メッセージR／F、エリアメールの着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「メール着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>エリアメールのブザー音</td><td colspan="2">消去</td><td>「メール着信音量」が「消去」以外は「レベル6」</td></tr>
<tr><td>アラームの音量（スヌーズ機能を含む）</td><td colspan="2">消去</td><td>「アラーム音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>ｉアプリの音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「ｉアプリ音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>スケジュール／To Doリスト／料金通知のアラーム音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>「メモ確認音」の設定値</td></tr>
<tr><td>ボタン確認音</td><td colspan="2">OFF</td><td>「ボタン確認音」の設定値</td></tr>
<tr><td>通話中のマイクの感度</td><td colspan="2">アップ</td><td>「通話中マイク感度」の設定値</td></tr>
<tr><td>通話中保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「消去」以外に設定している場合は「レベル1」</td></tr>
<tr><td>応答保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td></tr>
<tr><td>電池切れアラーム</td><td colspan="2">OFF</td><td>「低電圧アラーム」の設定値
「電話着信音量」を「消去」に設定していても、「低電圧アラーム」を「ON」に設定すると、電池切れアラームは「レベル1」</td></tr>
<tr><td>受信メールの読み上げ</td><td colspan="3">「着信音量」の「電話」の設定値
「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」
メールの読み上げは、受信メール詳細画面の機能メニューで「メール読み上げ」を選択したときのみ有効</td></tr>
<tr><td>ボイスクロック（待受中、スヌーズ中）FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td></tr>
<tr><td>トルカ取得音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「ステップ」に設定している場合は「レベル4」</td></tr>
</table>

[別表2] イヤホン接続時は

<table>
<tr><th>項目</th><th>マナーモード</th><th>スーパーサイレント</th><th>オリジナルマナー
（オリジナルマナーの設定項目を示します）</th></tr>
<tr><td>受信メールの読み上げ</td><td colspan="3">「着信音量」の「電話」の設定値
「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td></tr>
<tr><td>ボイスクロック（待受中、スヌーズ中）、FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音</td><td colspan="2">「着信音量」の「電話」の設定値
「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td><td>「電話着信音量」の設定値
「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td></tr>
<tr><td>ミュージックプレーヤーの音量</td><td colspan="3">ミュージックプレーヤーでの音量設定値（P.272）</td></tr>
</table>

オリジナルマナーを設定する

お好みのマナーモードの動作を設定します。

●お買い上げ時の「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。
- 伝言メモ：OFF
- バイブレータ：ON
- 電話着信音量：消去
- メール着信音量：消去
- アラーム音量：消去
- ｉアプリ音量：消去
- メモ確認音：ON
- ボタン確認音：OFF
- 通話中マイク感度：アップ
- 低電圧アラーム：OFF

1 マナーモード選択画面（P.92）▶「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択

伝言メモ……伝言メモを設定します。→P.67

バイブレータ……バイブレータを設定します。→P.90

電話着信音量……音声電話とテレビ電話、64Kデータ通信の着信音量を設定します。→P.64

メール着信音量……メール、パケット通信、メッセージR／Fの着信音量を設定します。→P.64

アラーム音量……アラームの音量を設定します。→P.278

ｉアプリ音量……ｉアプリの音量を設定します。→P.197
ただし、「ステップ」は設定できません。

メモ確認音……「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を設定します。

ボタン確認音……ボタン確認音を設定します。→P.90

通話中マイク感度……通話中のマイク感度を「標準／アップ」から選択します。

低電圧アラーム……電池切れアラームを設定します。「電池が切れたときは?」→P.45

2 それぞれの項目を設定▶[i][完了]

おしらせ

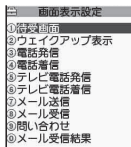
●「オリジナルマナー」で設定した伝言メモは、「伝言メモ」（P.67）で設定した呼出時間で伝言メモを開始します（「OFF」に設定している場合は13秒後に開始）。

●通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。また、マイクの感度は「カメラ」の動画撮影時には「標準」になります。

画面の表示を変える 〈画面表示設定〉

撮影した静止画やダウンロードした画像などを、待受画面や発着信画面などに設定することもできます。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」

「画面表示設定画面」が表示されます。

画面表示設定画面

2 以下の項目から選択

待受画面……待受画面のイメージを変えます。→P.95

ウェイクアップ表示……FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。

- **OFF**……画像などを表示しません。
- **メッセージ**……メッセージを入力します。全角50文字、半角100文字まで入力できます。
- **マイピクチャ**……表示される画像を、マイピクチャから選択します。

電話発信・電話着信・テレビ電話発信・テレビ電話着信・メール送信・メール受信……音声電話、テレビ電話、メール（ｉモードメール、SMS）の発着信時や送受信時に表示される画像を設定します。
■電話発信・テレビ電話発信・メール送信の設定
マイピクチャから選択します。
■電話着信・テレビ電話着信・メール受信の設定
「携帯電話から鳴る着信音を変える（操作2）」→P.88

問い合わせ・メール受信結果……「ｉモード問い合わせ」（ｉモードメール、メッセージ）、「SMS問い合わせ」のときやメール受信結果画面に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

おしらせ

●ｉモーションによっては設定できないものがあります。

●待受画面の Flash 画像の時計は Flash 画像再生終了後、1分以内に更新され、正しい時刻となります。

<待受画面の優先順位>

●待受画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①待受ｉアプリ
②画面表示設定／きせかえツール設定

待受画面のイメージを変える

●表示タイミングなどによりイメージが変わるものがあります。
●本機能は2in1のモードがAモードのとき、または「2in1設定」がOFFのときの待受画面を設定します。「Bモード」または「デュアルモード」に設定している場合は反映されません。「2in1設定」の「モード別待受画面設定」で設定してください。

1 画面表示設定画面（P.94）▶「待受画面」▶以下の項目から選択

OFF……画像などを表示しません。

カレンダー……カレンダーを設定します。

背景画像あり……カレンダーの背景に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

背景画像なし……カレンダーのみを表示します。

マイピクチャ……待受画面に表示される画像を選択します。
「まちうけ文庫」を設定する場合は「プリインストール」から「恋の格言／花言葉／ミッフィーおばけ」を選択します。

iモーション※……待受画面に表示されるｉモーションを選択します。

iアプリ待受画面……ｉアプリ待受画面を設定します。→P.206
ｉアプリ待受画面が設定されているときは、「★」が表示されます。

ランダム待受画面……FOMA端末を開いたり、待受画面を表示させたときに選択したフォルダ内の画像をランダムに表示します。

※：ｉモーションを移行可能コンテンツフォルダから選択した場合、コンテンツはFOMA端末のINBOXフォルダに移動後、設定されます。

■ 表示方法を設定する画面が表示された場合
▶表示方法を選択▶画像を確認▶■［確定］
表示方法には、以下の項目があります。
- センタリング表示（画面中央に表示）
- 画面サイズで表示（縦横どちらかが画面サイズになるまで拡大／縮小して表示）
- 並べて表示（左上から並べて表示）
- 全画面表示（画面サイズいっぱいに拡大／切り出して表示）

おしらせ

●選択した画像の種類によっては、表示方法を選択できない場合があります。
●動画やｉモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと再生されます。
●Flash画像やアニメーションGIF形式の画像を待受画面に設定した場合、以下の操作を行うと再生されます（メロディは再生されません）。
- FOMA端末を開く
- 待受画面表示中にCLRを押す
- ほかの画面から待受画面に戻る

Flash画像によっては、時計として機能するものもあります。時計が止まった場合、上記操作で時計を再開できます。
ただし、キー操作ロックなどが設定されていると、Flash画像は再生されませんのでロックを解除してください。
●「待受時計表示」で「さらに大きく表示」を設定しているときに、カレンダーを設定した場合、「大きく表示」に変更されます。

● 待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

■前後の月のカレンダーを確認する場合
待受画面表示中に■を押すと、ショートカットアイコンやカレンダーが選択できるようになります。□でカレンダーを反転させて■［選択］を押すと、ショートカットアイコンの表示が消え、□で前の月や次の月のカレンダーが確認できます。

■スケジュール機能を起動する場合
□または□で前の月、次の月のカレンダーが表示される状態で■［選択］を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

着信時に電話帳に設定した画像を表示する 〈電話帳画像着信設定〉

静止画を登録している電話帳の相手から音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信時に静止画を表示するかしないか（ON／OFF）を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」▶「ON」または「OFF」

発着信番号表示の色を変更する 〈発着信番号表示設定〉

リダイヤル／着信履歴画面や、送信／受信アドレス履歴一覧画面などに表示される名前や電話番号・メールアドレスを、文字色を変えて表示するように設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「発着信番号表示設定」▶色を選択

■ 元の設定に戻す場合
▶ch［リセット］

おしらせ

- i［切替］を押すと、選択できる色の数を16色から256色に切り替えられます。i［切替］を押すごとに16色と256色が切り替わります。
- 「配色パターン」の設定により、本機能の設定が変更される場合があります。本機能の設定を変更後にch［リセット］を押すと「配色パターン」に対応した設定に戻ります。
- 2in1ご利用の場合は、Aナンバー・Aアドレスの情報がここで設定した文字色で表示されます。Bナンバー・Bアドレスの情報を色分けして表示する場合は、「2in1設定」の「発着信番号表示設定」から設定します。

周りから画面が見えないようにする 〈シールドビュー〉

周りからメインディスプレイの表示内容を見えにくくします。

1 2（1秒以上）

シールドビューが設定されて「 」が表示されます。

■ 解除する場合
▶2（1秒以上）

おしらせ

- 文字編集中やｉアプリ実行中に、シールドビューの設定や解除はできません。

ディスプレイとボタンの照明を設定する 〈照明設定〉

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「照明設定」▶以下の項目から選択

通常時……通常時のバックライト動作と省電力モードを、それぞれ「ON／OFF」から選択します。
省電力モードを「ON」に設定する場合、省電力モードに移るまでの待ち時間（01～20分の2桁）も入力します。
- バックライトの動作（ON／OFF）は5（1秒以上）でも切り替えられます。
- バックライトの動作を「OFF」に設定すると待受画面に「 」が表示されます。
- 省電力モードを「ON」に設定すると、設定した待ち時間経過後、待受画面の表示が消えます。省電力モード中にボタン操作などを行うと省電力モードは解除されます。

充電時……充電時のバックライト動作を「標準／常時点灯」から選択します。
- 「標準」の場合は、通常時の「ON」の設定で点灯します（省電力モードにはなりません）。
- 「常時点灯」の場合は、ディスプレイのバックライトを点灯し続けます（約10秒間操作がないと「暗め」の明るさになります）。

範囲……バックライトの点灯範囲を「液晶＋ボタン／液晶」から選択します。

明るさ……バックライトの明るさのレベルを「明るめ／普通／暗め」から選択します。

おしらせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときにバックライトを約10秒間点灯します。カメラ起動中、動画／ｉモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定にかかわらず、常時点灯します。

ディスプレイのデザインを変更する〈画面デザイン〉

文字や背景、ファンクションボタン表示の背景などを変更します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「画面デザイン」▶以下の項目から選択

配色パターン……配色パターンを「ホワイト／イエロー／ブルー／レッド／ブラック」から選択します。

アイコンパターン……電池アイコン、アンテナアイコンのデザインを「パターン1～5」から選択します。

ソフトキー……ファンクションボタン表示の背景パターンを「パターン1～3」から選択します。

おしらせ

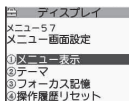
- ｉモードのサイト画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらない画面や機能があります。

メニュー表示を変更する

メニュー表示のしかたを設定する〈メニュー画面設定〉

「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示方法や、メインメニューのデザインを変更します。また、メインメニューやシンプルメニューのラストワン機能を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」

「メニュー画面設定画面」が表示されます。

メニュー画面設定画面

2 以下の項目から選択

メニュー表示……小項目の表示のしかたを「一覧表示／詳細表示」から選択します。

テーマ……メインメニューの背景やアイコンを「Organic Pink／Shiny White／Geometric Gray／エリクル@MEMORIAL／スタンダードメニュー／拡大メニュー／シンプルメニュー／オリジナルテーマ／きせかえツール」から選択します。

- オリジナルテーマを選択した場合→P.97
- きせかえツールを選択した場合→P.240

フォーカス記憶……メインメニューやシンプルメニューを再表示した際、前回選択した小項目を反転表示するかどうかを設定します（ラストワン機能）。

操作履歴リセット※……自動で並べ替えられたメニュー（P.34）の操作履歴をリセットします。

※：本機能に対応したメニュー画面のみ有効です。

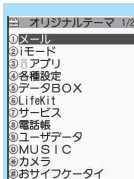
おしらせ

- ラストワン機能は、小項目を表示した場合にメインメニューのアイコンが記憶されます。中項目を表示し、操作を中止した場合には記憶されません。

メインメニューの画面を変更する

大項目の選択画面（メインメニュー）の各アイコンと背景のイメージを変更します。

1 メニュー画面設定画面（P.97）▶「テーマ」▶「オリジナルテーマ」

「オリジナルテーマ画面」が表示されます。

オリジナルテーマ画面

機能メニュー➡P.97

2 以下の項目から選択

メール・ｉモード・ｉアプリ・各種設定・データBOX・LifeKit・サービス・電話帳・ユーザデータ・MUSIC・カメラ・おサイフケータイ……メインメニューの各アイコンをマイピクチャから選択します。

背景イメージ……メインメニューの背景イメージをマイピクチャから選択します。

おしらせ

- 設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で、横854×縦854ドット以下のJPEG画像、横854×縦480、横480×縦854ドット以下のGIF画像です。
- 画像表示エリアより大きい場合は、縦横が同じ比率で縮小表示され、小さい場合は中央に表示されます。

機能 オリジナルテーマ画面（P.97）

- オリジナルテーマの設定を変更した場合のみ表示されます。

1件リセット……変更したメインメニューのアイコンまたは背景イメージをお買い上げ時の設定に戻します。

全リセット……メインメニューのアイコンと背景イメージをすべてお買い上げ時の設定に戻します。

マイセレクトを作成する 〈マイセレクト〉

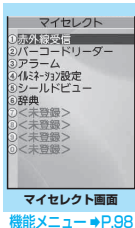
よく使う機能を「マイセレクト」として登録しておくと、簡単に機能を呼び出すことができます。→P.32

- マイセレクトは最大10件まで登録できます。
- マイセレクトに登録できる機能は、「メール」「iモード」「iアプリ」の大項目と「各種設定」「データBOX」「LifeKit」「サービス」「電話帳」「ユーザデータ」「MUSIC」「おサイフケータイ」の各中項目および小項目です。
- 同じ機能を登録することはできません。

1 MENU▶ch［マイセレクト］
「マイセレクト画面」が表示されます。

マイセレクト画面

機能メニュー➡P.98

2 登録または変更する項目を反転▶i［編集］▶で機能を選択

機能 マイセレクト画面（P.98）

メニュー登録……マイセレクトを登録します。

並び替え……で反転しているメニューを移動し、マイセレクトを並び替えます。

マイショートカット貼付→P.101

マイセレクト初期化……お買い上げ時の設定に戻します。

解除……機能をマイセレクトから解除します。

全解除……登録されているすべての機能をマイセレクトから解除します。

サブディスプレイの表示のしかたを設定する 〈イルミネーション設定〉

サブディスプレイの表示内容について設定します。

- 「サブディスプレイの見かた」→P.29
- イルミネーションは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.152
  ダウンロードしたイルミネーションはデータBOXに保存され、内容を確認することができます。→P.224

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「イルミネーション設定」▶「ON」

■ サブディスプレイに何も表示しない場合
▶「OFF」

2 以下の項目から選択

パターン選択……「着信、通話中点灯、メール受信、電話を閉じる、充電開始」から選択し、さらに表示するアニメーション※を選択します。
設定が完了したらCLRを1回押し、イルミネーションの設定画面に戻ります。

不在お知らせ……不在着信がある場合にイルミネーションを点滅するかしないか（ON／OFF）を設定します。

未読お知らせ……新着メール（iモードメール、エリアメール、SMS）がある場合にイルミネーションを点滅するかしないか（ON／OFF）を設定します。

時報……時報をイルミネーションで表示するかしないか（30分／60分／OFF）を設定します。表示する場合、表示周期を「30分／60分」から選択します。

お誕生日……マイプロフィールの誕生日が設定されている場合にお誕生日イルミネーションを点滅するかしないか（ON／OFF）を設定します。

着信／メール表示……「着信表示／メール表示」から選択します。「着信表示」では着信中に相手の電話番号（名前）、着もじの表示（ON／OFF）を設定します。「メール表示」では送信元、題名の表示（ON／OFF）を設定します。
設定が完了したらCLRを1回押し、イルミネーションの設定画面に戻ります。

※：項目選択のとき、反転表示を移動して■［選択］を押すと、そのアニメーションがサブディスプレイに表示されます。

3 それぞれの項目を設定▶i［完了］

着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する 〈着信ランプ〉

音声電話、テレビ電話の着信があったときや、メール、メッセージR／Fを受信したときの着信ランプの点滅色や点滅のしかた(点滅パターン)を設定します。

- 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.82

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「着信ランプ」▶以下の項目から選択

着信ランプ選択……「電話（音声電話）／テレビ電話／メール／メッセージR／メッセージF」の着信ランプの点滅色を選択します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、その色で着信ランプが点灯します。
色1～色12　：それぞれの色で点滅します。
グラデーション：色1～色12が順番に点滅します。
「メール」を選択すると、iモードメールやSMSの着信ランプが設定されます。

パターン設定……着信ランプの点滅パターンを「固定パターン／メロディ連動」から選択します。

不在／未読お知らせ……待受画面に不在着信または新着メール（iモードメール、エリアメール、SMS）のアイコンが表示されているときに、着信ランプを点滅させ続けるか点滅させないかを設定します（省電力モード時は点滅の間隔が長くなります）。

おしらせ

- 「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合、着モーションや着うたフル®の場合は「固定パターン」で点滅します。
- エリアメールの着信ランプは以下の動作となります。
  - 着信ランプの点滅色：赤（色9）
  - パターン設定：ブザー音鳴動時はメロディ連動で点滅し、着信音鳴動時は本機能の設定に従います。

おしらせ

- 複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信ランプの動作は以下のとおりです。

受信内容	着信ランプの動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信ランプで動作します。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている着信ランプで動作します。
メッセージR/Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信ランプで動作します。

<着信ランプの優先順位>

- 着信ランプの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①個別着信音／画像のランプ設定
  ②グループ着信音／画像のランプ設定
  ③着信ランプの設定

通話中の着信ランプの点滅のしかたを設定する 〈通話中ランプ〉

音声通話中やテレビ電話中のランプの点滅のしかたを設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「通話」▶「通話中ランプ」▶以下の項目から選択

OFF……点滅しません。

色1～色7……それぞれの色で点滅します。

グラデーション1……点滅しながら色が変化します。

グラデーション2……点灯したまま色が変化します。

グラデーション3……すばやく色が変化する点滅パターンを繰り返します。

ICカード機能利用時のランプについて設定する 〈ICカードランプ〉

ICカード機能利用時に着信ランプを点灯／点滅させるかさせないか（ON／OFF）を設定します。

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「ICカードランプ」▶「ON」または「OFF」

文字のフォントを変える 〈フォント設定〉

ディスプレイに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えます。

1 待受画面表示中▶［7］（1秒以上）▶以下の項目から選択

書体……書体を「ゴシック体／明朝体」から選択します。

太さ……太さを「細字／太字」から選択します。

文字サイズ……各種画面の文字サイズを設定します。

中・特大……各種画面の文字サイズを「中サイズ」または「特大サイズ」に一括設定します。

個別設定……各画面の文字サイズを個別に設定します。
「個別設定の対象となる画面」→P.100

■個別設定の対象となる画面

項目	設定の対象となる画面
文字入力	文字入力（編集）画面、新規メール画面（SMSは除く）、各プレビュー画面（SMS送信など一部を除く）
メール	メールの一覧／詳細画面、冒頭文・署名・デコメテンプレート参照時の画面など
iモード	サイト画面、画面メモ、メッセージの一覧／詳細画面
フルブラウザ	フルブラウザ画面(オリジナルレイアウトは除く)
電話帳	電話帳の一覧／詳細画面、マイプロフィール画面
発着信履歴	リダイヤル／発着信履歴画面、アドレス一覧画面
iチャネルテロップ	iチャネルのテロップ表示

おしらせ

- 電話番号入力画面などの文字は、本機能の設定対象外です。
- 文字サイズは、以下のメニューでも変更できます。
  文字入力：入力サイズ切替→P.297
  メール：文字サイズ設定→P.184、185
  iモード：文字サイズ設定→P.155
  フルブラウザ：文字サイズ切替→P.220
  電話帳：拡大表示⇔標準表示→P.80、285
  発着信履歴：拡大表示⇔標準表示→P.56、185
  iチャネルテロップ：テロップ文字サイズ設定→P.161

待受画面の時計表示を設定する 〈待受時計表示〉

待受画面の時計表示について、形式（12時間形式／24時間形式）やサイズ、文字色を設定します。また、日付、時刻を表示しないように設定することもできます。

- 待受画面以外の画面では、本設定にかかわらず時刻のみを画面上に小さく表示します。
- 世界時計は「表示サイズ」を「小さく表示」に設定した場合のみで表示できます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時計」▶「待受時計表示」▶以下の項目から選択

表示形式……「12時間形式／24時間形式」から選択します。

表示サイズ……日付や時刻の表示を「さらに大きく表示／大きく表示／小さく表示／上に小さく表示／OFF」から選択します。

文字色……「ブラック／ホワイト」から選択します。

表示時計種別……「世界時計なし／世界時計あり」から選択します。

おしらせ

- 表示形式はサブディスプレイの時計表示にも反映されます。
- 時計機能を持つFlash画像の時計表示は、本機能で変更できません。

画面を英語表示に切り替える 〈バイリンガル〉

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「バイリンガル」▶「English」

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合
▶「日本語」

おしらせ

- FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定はFOMAカードに記憶されます。
- 「バイリンガル」の設定が「English」のときは、「不在／新着確認設定」の選択肢が「ON／OFF」の2項目になります。

ショートカットアイコンを利用する〈マイショートカット〉

よくかける電話番号やよく使う機能をショートカットアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。また、かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあったときなど、待受画面にアイコンでお知らせします。

■貼り付けられるショートカットアイコン

アイコン	選択時の動作
	電話番号：電話番号が入力された電話番号入力画面を表示
	メールアドレス：宛先が入力された新規メール画面を表示
	SMSアドレス：宛先が入力された新規SMS画面を表示
	URL（ｉモード）：サイトを表示
	URL（フルブラウザ）：サイトを表示
	メロディ：メロディを再生
	画像：画像を表示
	動画またはｉモーション：動画またはｉモーションを再生
	キャラ電：キャラ電を表示
	ｉアプリのソフト：ｉアプリを起動
	受信BOXのフォルダ：受信メール一覧画面を表示
	フォトモード：フォトモードを起動
	ムービーモード：ムービーモードを起動
	ボイスモード：ボイスモードを起動
	To Doリスト：To Doリスト画面を表示
	スケジュール：スケジュール画面を表示
	テキストメモ：テキストメモ画面を表示
	テキストリーダー：テキストリーダーを起動
	バーコードリーダー：バーコードリーダーを起動
	ｉチャネル：ｉチャネルを表示
	Music&Videoチャネル：Music&Videoチャネル画面を表示
	ミュージック：ミュージックプレーヤー再生画面を表示
	赤外線受信：赤外線受信画面を表示
	辞典：辞典画面を表示
	マイセレクト：マイセレクト画面を表示
	電卓：電卓を起動

※ ショートカットアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、先頭から全角11文字、半角22文字までです。タイトルは編集することができます。→P.102

■情報を通知するショートカットアイコン

アイコン	選択時の動作
	新着メールあり：受信メール詳細画面を表示
	新着メッセージあり：メッセージ詳細画面を表示
	新着トルカあり：トルカ一覧画面を表示
	不在着信あり：不在着信履歴画面を表示
	伝言メモあり：音声メモの再生／消去画面を表示
	テレビ電話伝言メモあり：動画メモの再生／消去画面を表示
	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり：留守番電話画面を表示
	未通知アラームあり：通知できなかったアラーム情報を表示
	ｉアプリが自動起動できなかったとき：自動起動情報画面を表示
	ｉアプリ待受画面が異常終了したとき：セキュリティエラー履歴画面を表示
	ソフトウェア更新のお知らせがあるとき：ソフトウェア更新を起動 **ソフトウェア更新が終了したとき**：端末暗証番号入力後、更新結果表示画面（成功または失敗）を表示 **書換え予約が設定されているとき**：書換え予告内容表示画面を表示
	積算料金が通知金額を超えたとき：端末暗証番号入力後、通話料金通知のアラーム情報を表示
	スキャン機能のパターンデータ自動更新が終了したとき：パターンデータ自動更新結果を表示
	更新が正常に行えなかったときやスキャン機能の新規パターンデータがリリースされたとき：スキャン機能のパターンデータ更新実行を推奨する画面を表示
	電話帳お預かりサービスの更新ができなかったとき：端末暗証番号入力後、電話帳お預かりセンターへの接続を選択する画面を表示
	Music&Videoチャネルのダウンロードが終了したとき：Music&Videoチャネル画面を表示

※ 情報を通知するショートカットアイコンは、各機能を呼び出したり実行すると消えます。
※ 情報を通知するショートカットアイコンの表示を消したい場合はCLRを1秒以上押します（アイコンの種類により消えないものもあります）。

ショートカットアイコンを貼り付ける

貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「マイショートカット貼付」を選択します。

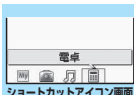
- お買い上げ時には、My（マイセレクト）、（フォトモード）、♫（ミュージック）の3つが貼り付けられています。
- ショートカットアイコンはテーマ1～3それぞれに15件まで貼り付けることができます。

<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

電話帳詳細画面の機能メニューの「マイショートカット貼付」→ P.80

ショートカットアイコンからデータや機能を呼び出す

1 待受画面表示中▶■

「ショートカットアイコン画面」が表示され、ショートカットアイコンが選択できる状態になります。反転表示されたショートカットアイコンには吹き出しタイトルが表示されます。

ショートカットアイコン画面
機能メニュー ➡P.102

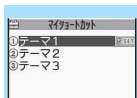
2 でショートカットアイコンを選択

■ ショートカットアイコンが6件以上登録されている場合

画面の左右に「◁▷」が表示されます。でショートカットアイコンをスクロールできます。

待受画面のマイショートカットテーマを変更する

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「マイショートカット」

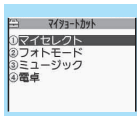
「マイショートカット画面（テーマ）」が表示されます。設定中のテーマには「SET」が表示されます。

マイショートカット画面（テーマ）
機能メニュー ➡P.102

2 テーマを選択▶「YES」

このあと待受画面に貼り付ける操作（P.102）を行うと選択したテーマにショートカットアイコンを振り分けて貼り付けることができます。

■ テーマの内容を確認する場合

▶テーマを反転▶ [詳細]

「マイショートカット画面（詳細）」が表示されます。

マイショートカット画面（詳細）
機能メニュー ➡P.102

機能 ショートカットアイコン画面（P.102）／マイショートカット画面（テーマ・詳細）（P.102）

- ショートカットアイコン画面／マイショートカット画面（テーマ・詳細）では利用できる機能が異なるため、表示される項目が異なります。

ショートカットアイコン作成……機能名一覧から貼り付けるアイコンを選択し、テーマを選択します。

並び替え……アイコンの並び順を変更します。

ショートカット表示設定……アイコンの表示方法を「常に表示／使用時のみ表示」から選択します。「使用時のみ表示」を選択すると、待受画面で■を押したときのみ表示されます。

タイトル編集……アイコンタイトルは全角16文字、半角32文字、テーマは全角11文字、半角22文字まで入力できます。

ショートカットアイコン情報……アイコンのタイトル、種別、内容などを表示します。

コピー……「1件コピー／選択コピー／全コピー」から選択し、アイコンをほかのテーマにコピーします。
「複数選択について」→P.38

移動……「1件移動／選択移動／全移動」から選択し、アイコンをほかのテーマに移動します。
「複数選択について」→P.38

マイショートカット初期化……お買い上げ時の状態（「マイセレクト」「フォトモード」「ミュージック」）に戻します。

マイセレクト……マイセレクトを表示します。→P.98

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

マイショートカットの表示を設定する

1 待受画面表示中▶■▶ⅰ［設定］▶以下の項目から選択

テーマ切替……マイショートカットのテーマを切り替えます。

ショートカット表示設定……アイコンの表示方法を「常に表示／使用時のみ表示」から選択します。「使用時のみ表示」を選択すると、待受画面で■を押したときのみ表示されます。

待受画面設定……待受画面のイメージを変更します。→P.95

きせかえツール設定→P.104

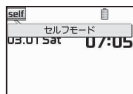
時計設定……待受画面の時計表示を設定します。→P.100

待受画面の表示アイコンを選択できるようにする〈表示アイコン設定〉

待受画面上のアイコンや日付表示、時刻表示を✣で選択できるようにするかしないか（ON／OFF）を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン設定」▶「ON」または「OFF」

表示アイコンを選択する

1 待受画面表示中▶■▶✣でアイコンを反転

反転したアイコンのタイトルが表示されます。

2 ■［選択］

選択したアイコンの設定画面などが表示されます。

■選択できるアイコン

アイコン	選択後の表示内容
（電池）	「画面デザイン」を表示
（電波） 圏外	「画面デザイン」を表示
self	「セルフモード」を解除する画面を表示
（メール）（赤色） （メール）（赤色）	未読メールの一覧を表示
（受信BOX）	「受信BOX」を表示
R R（赤色） F F（赤色）	「メッセージR」「メッセージF」を表示
R/F R/F（赤色） R/F（R：赤色） R/F（F：赤色）	「メッセージR」「メッセージF」を選択する画面を表示
（i）	未読メールの一覧を表示
（赤色） R（赤色） F（赤色）	「iモード問い合わせ」を実行
（ロック）	「ロック機能選択画面」を表示
iC	「ICカードロック設定」を解除する画面を表示
（USB） H H SD SD SD SD MTP MTP MTP MTP SD	「USBモード設定」を表示
（バイブレータ）	「バイブレータ」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
（マナー）	**マナーモードでないとき**：「着信音量」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示 **マナーモード、スーパーサイレントのとき**：設定できないことを通知するメッセージを表示 **オリジナルマナーのとき**：「オリジナルマナー」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
（マナーモード）	「マナーモード選択」を表示
（遠隔監視）	「遠隔監視設定」を表示

音／画面／照明設定

アイコン	選択後の表示内容
	「スケジュール」「アラーム」「To Doリスト」の選択画面を表示
～	「留守番電話」を表示
、～	録音されていないことを通知するメッセージを表示。または「音声メモの再生／消去」を表示
	録画されていないことを通知するメッセージを表示。または「動画メモの再生／消去」を表示
	「照明設定」と「シールドビュー」を選択する画面を表示
	「キー操作ロック」を設定する画面を表示
	「サイドボタン設定」を表示
日付	「スケジュール」を表示 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示
メイン時計	「アラーム」を表示 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示
サブ時計	「世界時計設定」を表示
	起動しているタスクを切り替えて表示

きせかえツールを設定する
〈きせかえツール設定〉

画面や着信音など、FOMA端末のさまざまなデザインをきせかえツールパッケージで一括設定します。

- お買い上げ時は本体色に対応したきせかえツールのほか、「エリクル@MEMORIAL」、「ドコモダケ_SO705i」、「ミッフィー」が登録されています。
- きせかえツールパッケージは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.153
  ダウンロードしたパッケージはデータBOXに保存され、内容を確認することができます。→P.225
- 一括設定できる対象項目は以下のとおりです。
  - 「画面表示設定」
  - 「着信音選択」
  - 「時刻アラーム音設定」
  - 「メニュー画面設定」－「テーマ」
  - 「ｉチャネル」－「ｉチャネル設定」－「テロップカラー設定」
  - ミュージックプレーヤーの「プレーヤー画面変更」
  - 「待受時計表示」
  - 「イルミネーション設定」－「パターン選択」
  - 「画面デザイン」
- 2in1設定時、いずれのモードできせかえツールを設定しても、次の項目以外は、すべてのモード／電話番号／メールアドレスに反映されます。
  - 待受画面、音声電話着信画面、テレビ電話着信画面はAモードのみ
  - 音声電話着信音とテレビ電話着信音はAナンバーのみ
  - メール着信音はAアドレスのみ
- きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また機能に割り当てられているメニュー番号が適用されないものがあります。

パッケージを設定する

●一括設定する前に、現在の設定内容を「お気に入り」に登録しておくと、後でその設定に戻すことができます。→P.105

1 MENU ▶「各種設定」▶「きせかえツール設定」

「きせかえツール設定一覧画面」が表示されます。

きせかえツール設定 1/2
①お気に入り
②Organic Pink
③Shiny White
④Geometric Gray
⑤エリクル@MEMORIAL

きせかえツール設定一覧画面

機能メニュー➡P.105

2 項目を選択▶「YES」

お買い上げ時、「お気に入り」は未登録です。

■ 設定内容を確認する場合
▶項目を反転▶ｉ［詳細］▶
項目を反転▶ｉ［デモ］

■ ｉモードでパッケージを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

おしらせ

●変更される項目は、パッケージによって異なります。
●パッケージを設定すると、発着信番号表示設定の色が変更される場合があります。
●きせかえツール設定一覧画面でプリインストールのパッケージを反転すると、配色パターンおよび待受画像とメインメニューのサムネイルが表示されます。

機能 きせかえツール設定一覧画面（P.105）

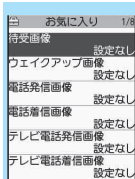
タイトル編集……タイトルを編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

現在の設定情報確認……設定内容を確認します。

設定情報リセット……「お気に入り」の設定内容を消去します。

現在の設定を「お気に入り」に登録する

1 きせかえツール設定一覧画面（P.105）▶「お気に入り」を反転▶ｉ［詳細］

「コンテンツ設定確認画面」が表示されます。
未登録の場合は「設定なし」と表示されます。

コンテンツ設定確認画面

機能メニュー➡P.105

2 ✉［機能］▶「現在の設定情報取得」▶「YES」

●「お気に入り」の項目を設定変更する

「お気に入り」に登録した項目はコンテンツ設定確認画面の各項目から設定変更します。

1 コンテンツ設定確認画面（P.105）▶項目を選択▶設定を変更

おしらせ

●「ｉアプリ待受画面」の設定内容は、「お気に入り」の「待受画像」に登録されません。
●「お気に入り」に登録された画像やｉモーション、メロディなどが削除された場合、「お気に入り」の登録内容から消去され「設定なし」と表示されます。

機能 コンテンツ設定確認画面（P.105）

一括設定※1・**設定を反映**※2……現在の表示内容で一括設定します。

現在の設定情報取得※2……現在の各項目の設定情報を取得し、「お気に入り」に登録します。

設定情報リセット※2……「お気に入り」に登録されている内容を消去し、すべて「設定なし」にします。

※1：「ドコモダケ_SO705i」、「ミッフィー」およびサイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージ（ ）でのみ利用できます。
※2：「 」が付いたデータの場合に表示されます。

あんしん設定

■暗証番号について

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送受信を制限する

■その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

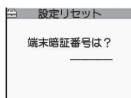
各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.109

端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、■［確定］を押します。

設定リセット
端末暗証番号は？

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

■ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

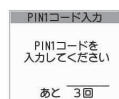
■iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
iモードから変更される場合は、i▶「i Menu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」から変更ができます。

■PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.109
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。
PIN1コード入力設定を「ON」にした場合、PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。
※新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、■［確定］を押します。

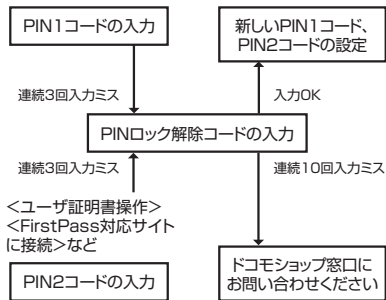
PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
あと 3回

例：PIN1コード

- 入力した PIN1 コード／ PIN2 コードは「_」で表示されます。
- 3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

■PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

あんしん設定

● PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

端末暗証番号を変更する 〈端末暗証番号変更〉

1 **MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶現在の端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」**

PINコードを設定する 〈PIN設定〉

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを設定します。PIN1コード・PIN2コードについて→P.108

● PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。
● PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 **MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」▶端末暗証番号を入力**

「PIN設定画面」が表示されます。

PIN設定画面

2 **以下の項目から選択**

PIN1コード変更……現在のPIN1コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN1コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

PIN2コード変更……現在のPIN2コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN2コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

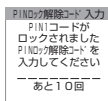
PIN1コード入力設定……電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうか（ON／OFF）を設定します。

PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 **8桁のPINロック解除コードを入力**

PINロック解除コード入力
PIN1コードが
ロックされました
PINロック解除コードを
入力してください
－－－－－－－－
あと10回

2 **4～8桁の新しいPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力**

ほかの人が使用できないようにする 〈ダイヤルロック／おまかせロック〉

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。

● ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

● ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能

機能	ダイヤルロック	おまかせロック
電源を入れる／切る	○	○
緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける	○	×
ダイヤルロックを設定／解除する	○	×
おまかせロックを設定／解除する	○	○
音声電話、テレビ電話の着信を受ける	○	○
遠隔監視の着信を受ける	○	○
電話帳お預かりサービスの更新を受ける	○	×

○：利用できます。×：利用できません。

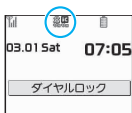
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」のアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「未通知アラームあり」のショートカットアイコンが待受画面に表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、ショートカットアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
- 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。

ダイヤルロックを設定する

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤルロック」

● ダイヤルロック設定中の動作について

- ディスプレイに「ダイヤルロック」と「 」が表示されます。同時にICカードロックも「ON」となり、ICカード機能も利用できなくなります（ICカード認証機能でダイヤルロックの解除はできます）。

- ダイヤルロック設定中にメッセージR／F、iモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。

ダイヤルロックを解除する

- ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶■

ダイヤルロックが解除されて「 」の表示が消えます。

■ ICカード認証機能で解除する場合→P.119

おしらせ

- ダイヤルロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。 を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

> おまかせロックの設定／解除
>
> 0120-524-360　受付時間24時間
>
> ※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックのご利用方法／料金などの詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● おまかせロック設定中の動作について

- ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示します。
- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロック設定中は、音声電話、テレビ電話の着信（電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます）に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカードを含む）を使用することができなくなります。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりません。
- おまかせロック設定中に受信したメールはiモードセンターに保管されます。エリアメールは破棄されます。
- 電源を入れる／切ることはできますが、電源を切ってもおまかせロックは解除されません。

おしらせ

- ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります）。
- ほかのロック機能が設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード／シークレット専用モードは解除されます）。
- 「圏外」やセルフモード中、電源を切っているときはロックがかかりません。

おしらせ

- 「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- ロックの解除は、ロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードを挿入している場合にのみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- おまかせロックを解除しようとしたときにFOMA端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする
〈シークレットモード／シークレット専用モード〉

シークレットモードまたはシークレット専用モードで電話帳やスケジュールを登録すると、シークレットデータになり、通常のモードでは表示されなくなります。表示するときは、シークレットモード（シークレットデータも含めたすべてのデータを表示）か、シークレット専用モード（シークレットデータのみを表示）にします。

- ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「iモーション」「受信メール」「送信メール」「Bookmark」の各データを、シークレットフォルダに保管することもできます。→P.112

シークレットモード／シークレット専用モードにする

1 **MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」▶端末暗証番号を入力**

シークレットモードに設定すると「 」が表示されます。

シークレット専用モードに設定すると、「 」が点滅表示され、シークレットデータ登録件数が約2秒間表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.27

● シークレットデータの登録・表示と、通常のデータへの戻しかた

- FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。
- シークレットモード中／シークレット専用モード中に、音声電話やテレビ電話を発信したり着信したりすると、電話に出なくても設定中のモードは解除されます。

■電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにして登録します。

電話帳の登録のしかた→P.76

スケジュールの登録のしかた→P.279

■登録済みの電話帳をシークレットデータにするには

電話帳詳細画面の機能メニューから「シークレット設定」を選択します。

※ 直デンに登録されている電話帳を、シークレットデータにすると、直デンから削除されます。

■シークレットデータを表示するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにし、電話帳やスケジュールを表示します。

電話帳の検索のしかた→P.79

スケジュールの確認のしかた→P.280

■シークレットデータを通常のデータに戻すには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにしてから、「電話帳詳細画面」（P.79）または「スケジュール一覧画面」（P.280）を表示し、機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

シークレットモード／シークレット専用モードを解除する

1 **シークレットモード／シークレット専用モード中に[終話]**

シークレットモード／シークレット専用モードが解除され、「 」の表示が消えます。

MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」でも解除できます。

おしらせ

- シークレットモード中に、一覧画面でシークレットデータを反転したとき、またはシークレットデータを詳細表示したときは、点灯している「 」が点滅に変わります。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。

おしらせ

- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前や画像は表示されず電話番号が表示されます。また「着信履歴」にも電話番号のみが表示されます。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に登録されている名前が表示されます。
- シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、登録されている名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。また「受信アドレス一覧」にメールアドレスは記憶されません。
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
- 「ダイヤルロック／おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック／おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、「リダイヤル」や「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。

各種データを表示できないようにする 〈シークレットフォルダ〉

ほかの人に見られたくない画像、動画・ｉモーション、受信メール、送信メール、Bookmarkの各データを、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されるシークレットフォルダに保管します。

- FOMA端末に保存されているデータのみ保管できます。
- 各フォルダ内のシークレットフォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

マイピクチャ	ｉモーション	受信メール
約100件 （約2Mバイト）	約10件 （約10Mバイト）	約100件 （約1.2Mバイト）
送信メール	**ｉモードのBookmark**	**フルブラウザのBookmark**
約100件 （約1.2Mバイト）	約10件 （約3Kバイト）	約10件 （約6Kバイト）

※ 1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

<例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

1. **シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.111**
2. **画像一覧画面（P.225）▶[十字キー]で画像の囲み枠を移動▶[メールキー]［機能］▶「シークレットに保管」**

おしらせ

- シークレットフォルダはFOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。
- シークレットフォルダ内のデータを表示していたとき、電話の着信などでシークレットモードやシークレット専用モードが解除されると、各フォルダの一覧画面に戻ります。

<受信メール><送信メール>

- シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと選択できるようになります。

おしらせ

<ショートカットアイコン>
- ショートカットアイコンとして貼り付けた画像、動画、i モーションをシークレットフォルダに保管すると、ショートカットアイコンを選択しても表示されなくなります。
- ショートカットアイコンとして貼り付けたBookmark、受信メール、送信メールをシークレットフォルダに保管しても、ショートカットアイコンを選択したときは通常の動作となります。

シークレットフォルダの機能メニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、行える機能は制限されています。フォルダ一覧画面、データ一覧画面、データ詳細画面の各画面で操作できる機能は以下のとおりです。「シークレットから出す」については「シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す」(P.114)をご覧ください。

■フォルダ一覧画面でシークレットフォルダが反転しているときの機能メニュー

マイピクチャ(P.251)	i モーション(P.251)
フォルダ追加 画像全削除※1 保存容量確認	フォルダ追加 動画全削除※1 保存容量確認
受信メール／送信メール(P.180)	**Bookmark(P.150)**
フォルダ追加 保存件数確認※1 フォルダ内表示 iC全送信※1 赤外線全送信※1 microSDへ全コピー※1 既読メール全削除※1※2 受信メール全削除※1※3	フォルダ追加 登録件数確認※1 iC全送信※1 赤外線全送信※1 microSDへ全コピー※1 Bookmark全削除※1

※1：シークレットフォルダ内のデータは対象となりません。
※2：受信メールフォルダ一覧画面のみ利用できます。
※3：送信メールフォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

■データ一覧画面の機能メニュー

マイピクチャ(P.228)	i モーション(P.233)
イメージ表示 イメージ情報 保存容量確認 タイトル名一覧※1 削除 シークレットから出す	i モーション情報 保存容量確認 一覧表示切替 削除 シークレットから出す
受信メール／送信メール(P.182)	**Bookmark(P.151)**
色分け 一覧表示切替 保護※2 保護解除※2 保護／保護解除※3 全保護解除※3 メール情報※2 保存件数確認 削除 シークレットから出す	登録件数確認 削除 シークレットから出す

※1：タイトル名一覧のときは「ピクチャ一覧」になります。
※2：受信メール一覧画面のみ利用できます。
※3：送信メール一覧画面のみ利用できます。

■データ詳細表示画面の機能メニュー

マイピクチャ(P.228)	i モーション(P.273)
イメージ情報 画像表示設定 通常モード※ リトライ 1件削除	動作設定 再生メニュー 詳細情報 ファイル選択 ヘルプ
受信メール／送信メール(P.183)	
保護／保護解除 スクロール設定 文字サイズ設定 削除 シークレットから出す	

※：通常モードのときは「全画面モード」になります。

あんしん設定

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

シークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

<例:マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合>

1 **シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.111**

2 **フォルダ一覧画面(P.225)▶「シークレット」▶画像に囲み枠を移動▶✉[機能]▶「シークレットから出す」**

3 **保存するフォルダを選択**

おしらせ

- シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻りますので、日付の古いメールは他のメールを受信時/送信時などに削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。

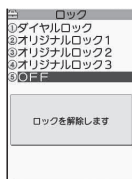
個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする 〈オリジナルロック〉

メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話の発着信を制限したり、iモードメールやSMSの送信を制限します。

- ロック対象の機能やデータはオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途･目的に応じて使い分けることができます。
- ロックは電源を切っても解除されません。
- オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは**別表1**(P.116)のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定(カスタマイズ)できます。→P.115

オリジナルロックを有効にする

1 **MENU▶「各種設定」▶「ロック/セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力**

「ロック機能選択画面」が表示されます。

ロック機能選択画面

2 **オリジナルロック1～3を選択**

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。

画面には「🔒」が表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.27

■ ロックする機能やデータをカスタマイズする場合→P.115

■ タイトルを編集する場合

▶オリジナルロック1～3を反転▶✉[機能]▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ オリジナルロックを解除する場合

▶「OFF」

あんしん設定

● オリジナルロック設定中の操作について

オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

- 端末暗証番号を入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります（「発信・メール送信」と「着信・メール受信表示」の機能は一時解除して利用することはできません）。起動中の機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

＜例：オリジナルロック設定中にｉモードメールを閲覧する場合＞

1 待受画面表示中▶✉

2 端末暗証番号を入力

オリジナルロックが一時的に解除され、メールメニューが表示されます。

3 ｉモードメールを読む

4 メールメニューを終了し、待受画面に戻る

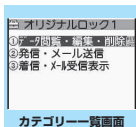
オリジナルロックが有効になり、画面に「🔒」が表示されます。

ロックする機能やデータをカスタマイズする

- たとえば「電話帳だけをロックする」「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定をオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロック対象の設定（カスタマイズ）は、**別表1**（P.116）のようにカテゴリー、グループ、機能ごとに行います。
- ロック対象の設定（カスタマイズ）内容は、オリジナルロックの有効／無効を切り替えても保持されます。

1 ロック機能選択画面（P.114）▶オリジナルロック1～3を反転▶i［詳細］

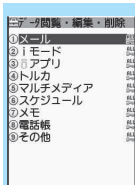
「カテゴリー一覧画面」が表示されます。

カテゴリー内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「🔑」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

カテゴリー一覧画面

機能メニュー➡P.118

2 設定変更したいカテゴリーを選択

「グループ一覧画面」が表示されます。

グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「🔑」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

グループ一覧画面

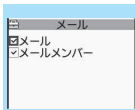
機能メニュー➡P.118

3 設定変更したいグループを選択

「機能一覧画面」が表示されます。

4 ◎で□（チェックボックス）を選択▶i［完了］

チェックを付けた（☑にした）項目が、ロック対象となります。

ロック対象外にしたい項目はチェックを外します。

機能一覧画面

機能メニュー➡P.118

5 i［完了］▶i［完了］▶■［確定］

カテゴリーによってはi［完了］を押す回数が異なります。

あんしん設定

[別表1] オリジナルロックの対象となる機能やデータについて

グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧・編集・削除		
メール	メール メールメンバー	各機能の起動をロックします。 • エリアメールの内容表示はできます。
ｉモード	ｉモード	ｉモード機能（ｉモードやフルブラウザ、ｉチャネルなど）の起動をロックします。
	Bookmark	ブックマーク一覧（ｉモード、フルブラウザ）の表示をロックします。
ｉアプリ	ｉアプリ	ｉアプリ機能の起動、ICカード一覧の表示をロックします。 • ICカード機能はロックされません。 • ｉアプリ待受画面を設定していると、ロック中はｉアプリ待受画面は表示されません。
トルカ	トルカ	トルカフォルダ一覧画面の表示をロックします。 • ロック中でも読み取り装置（リーダー／ライター）からトルカを取得できますが、「新着トルカあり」のショートカットアイコンは表示されません（ロックを解除すると表示されます）。
マルチメディア	マイピクチャ ミュージック ｉモーション メロディ きせかえツール キャラ電 おしゃべり機能	各機能の起動をロックします。 • ほかの機能からもデータを呼び出せません。 • ロック対象となるデータを着信音や着信画面、待受画面などに設定していると、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します。 •「マイピクチャ」または「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
	Music&Videoチャネル カメラ バーコードリーダー テキストリーダー	各機能の起動をロックします。 • ロック中でもMusic&Videoチャネルの番組はダウンロードします。
スケジュール	スケジュール アラーム To Doリスト	各機能の起動をロックします。 • ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のショートカットアイコンが表示されます。
メモ	音声メモの再生／消去 動画メモの再生／消去	各機能の起動をロックします（伝言メモを設定することはできます）。 • どちらかの機能をロックしていると、FOMA端末を閉じた状態で[メモ▶]を押しても、「伝言メモあり」などの確認はできません。
	待受中音声メモ 通話中音声メモ	各機能の起動をロックします。 • 音声メモの再生／消去はロックされません（「メモの再生／消去」にロックを設定してください）。
電話帳	電話帳／直デン	電話帳、直デンの起動をロックします（電話帳参照などあらゆる機能に影響があります）。 • ロック中は発着信履歴やメール一覧画面などでも、登録されている名前は表示されません。電話番号やメールアドレスが表示されます。 •「着もじ」の「メッセージ表示設定」が「電話帳登録番号のみ」に設定されていると、着もじは表示されません。 •「登録外着信拒否」と同時に設定することはできません。 •「指定着信拒否」「指定着信許可」「指定転送でんわ」「指定留守番電話」の設定は無効になります。 • ロック中はFOMA端末を閉じた状態で[メモ▶]を押しても、不在着信や新着メールなどの発信者名の読み上げはできません。
	マイプロフィール	マイプロフィールの起動をロックします。
	発信履歴	「発信履歴」「リダイヤル」「送信アドレス一覧」の起動をロックします。
	着信履歴	「着信履歴」「受信アドレス一覧」の起動をロックします。 • ロック中はFOMA端末を閉じた状態で[メモ▶]を押しても不在着信の確認はできません。

グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
その他	テキストメモ	テキストメモの起動をロックします。
	通話料金通知	設定した上限料金を超えても待受画面やアラームなどで通知を行いません。 • ロックを解除すると、「通話料金通知」のショートカットアイコンが表示されます。
	着もじ	着もじの編集や設定、着もじ送信時の「メッセージ選択」「送信メッセージ履歴」の機能をロックし、着もじは表示されません。 • 着もじを送信したり受信することはできます。
発信・メール送信		
ダイヤル発信	ダイヤル発信	電話番号の直接ダイヤルによる発信をロックします（電話帳、リダイヤル／発信履歴、電話帳に登録されている相手の着信履歴からのみ発信できます）。 • 電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（FOMAカード、microSDメモリーカード含む）。 • 緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。
メール送信	メールアドレス直接入力	宛先の直接入力によるｉモードメールやSMSの送信をロックします（電話帳、リダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧、電話帳に登録されている相手の着信履歴や受信アドレス一覧からのみ送信できます）。 • 電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（FOMAカード、microSDメモリーカード含む）。 • 保存BOX内のメールの宛先、宛先のみ入力されたメールは削除されます。
	メール送信	ｉモードメール、SMSの送信をロックします。
着信・メール受信表示		
着信		電話やパケット通信の着信を拒否します（不在着信履歴として記憶されます）。 • ロックを解除すると「不在着信あり」のショートカットアイコンが表示されます。
メール／メッセージ受信表示		メッセージR／F、ｉモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。 • エリアメールの自動受信と内容表示はできます。 • ロックを解除すると「新着メールあり」などのショートカットアイコンが表示されます。

※ ロック対象となるデータを「ショートカットアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのショートカットアイコンは表示されません。

機能 カテゴリー一覧画面（P.115）／グループ一覧画面（P.115）

グループ選択……反転表示している項目より下の階層の項目をすべて選択します。

グループ解除……反転表示している項目より下の階層の選択項目をすべて解除します。

全グループ選択……表示されている項目より下の階層の項目をすべて選択します。

全グループ解除……表示されている項目より下の階層の選択項目をすべて解除します。

機能 機能一覧画面（P.115）

全選択……表示されている項目をすべて選択します。

全選択解除……表示されている項目の選択をすべて解除します。

あんしん設定

ボタン操作を自動的にロックする 〈キー操作ロック〉

FOMA端末を閉じたときや、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。

- キー操作ロック時に、着信ランプが青色で点滅します。
- キー操作ロックは電源を切っても解除されません。

キー操作ロックを設定する

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「キー操作ロック」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

閉じたとき……FOMA端末を閉じたときに自動的にロックをかけるかかけないか（ON／OFF）を設定します。

タイマー……「OFF／1分後ON／5分後ON／15分後ON／30分後ON」から選択します。
たとえば、「5分後ON」に設定すると、FOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと、自動的にロックがかかります。「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。

2 それぞれの項目を設定▶i［完了］

● キー操作ロック中の動作について

- キー操作ロック中はディスプレイに「キー操作ロック」と「」が表示されます。
- キー操作ロック中は、音声電話やテレビ電話の着信に対する応答、電源を入れる／切る、ICカード認証機能の利用、マナー（不在着信／新着メールの確認）の操作を除くすべてのボタン操作ができなくなります。
- キー操作ロック中にメッセージR／F、iモードメール、SMS、エリアメールの着信動作は行われますが、内容の閲覧やメール読み上げ機能の利用はできません。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。
- キー操作ロック中でも、「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」のアラームは通知されます。
- 電話着信時やアラーム通知時など、キー操作ロック中でも操作可能な場合はファンクション表示の下に「」が表示されます。

03.01 Sat 07:05
キー操作ロック

おしらせ

- キー操作ロック中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
- 通話中やデータの通信中（iモード中など）、メロディ／iモーション／ミュージックの再生中、カメラ起動中などロックがかからない場合もあります。

キー操作ロックを一時解除する

1 キー操作ロック中の画面で端末暗証番号を入力▶■

■ ICカード認証機能を利用して一時解除する場合→P.119

ICカード認証機能を利用する
〈ICカード認証設定〉

FeliCa に対応した非接触ICカード（外部ICカード）に重ね合わせるだけで、ダイヤルロックやキー操作ロックを解除したり、端末暗証番号の入力が必要な画面で、暗証番号を入力せずにユーザ認証ができるようにします。

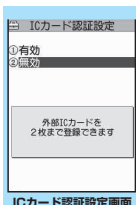
- ICカードロック設定中でも、ICカード認証機能を利用することができます。
- 非接触ICカードを2枚まで登録できます。

ICカード認証機能を有効にする

非接触ICカードを登録してユーザ認証ができるように設定します。

1 **MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「ICカード認証設定」▶端末暗証番号を入力**

「ICカード認証設定画面」が表示されます。

ICカード認証設定
①有効
②無効
外部ICカードを
2枚まで登録できます

ICカード認証設定画面

機能メニュー➡P.119

2 **「有効」▶「OK」**

■ **登録済みの非接触ICカードを有効にする場合**

▶「有効」

■ **ICカード認証機能を無効にする場合**

▶「無効」▶「YES」または「NO」

登録されている非接触ICカードのデータをすべて削除する場合は「YES」を、削除しない場合は「NO」を選択します。

3 **非接触ICカードをFOMA端末の FeliCaマーク「」に重ね合わせる**

登録されると「」が消えます。

機能 ICカード認証設定画面（P.119）

外部ICカード登録……非接触ICカードのデータを2枚まで登録できます。2枚登録済みの場合は、古いデータを削除して登録します。

外部ICカード削除……非接触ICカードのデータを削除します。

ICカード認証機能を利用する

<例：ダイヤルロック／キー操作ロックを解除する場合>

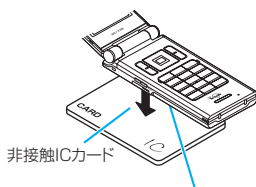
1 **ダイヤルロック設定中／キー操作ロック中にFOMA端末を開く**

ディスプレイに「」が表示されて約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。待受画面表示中にch［IC認証］を押しても同じ状態になります。

■ **FOMA端末を閉じたまま解除したいとき**

▶マナー（1秒以上）を押すと約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。

2 **非接触ICカードをFOMA端末の FeliCaマーク「」に重ね合わせる**

ユーザ認証が正しく行われるとロックが解除されます。

非接触 IC カードと FOMA 端末を手に持ち、FOMA端末背面の「」を重ね合わせる

※イラストのように重ね合わせてください。
ICカードによっては認識しにくい場合があります。その場合は上下左右にずらしてください。

■ **端末暗証番号入力時に利用する場合**

端末暗証番号の入力画面が表示されると「」が表示され、約10秒間ユーザ認証が可能な状態になります。その間に本機能で登録した非接触ICカードをFOMA端末の FeliCa マークに重ね合わせるとユーザ認証が行われます。

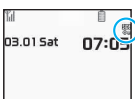
おしらせ

- FeliCa に対応した非接触カードでも、カードによっては本機能を利用できない場合があります。
- ICカード認証機能を利用するときは、非接触ICカードとFOMA端末を手に持って行ってください。
- 認証に5回連続して失敗するとICカード認証機能は使用できなくなり、認証は端末暗証番号のみになります。その後、端末暗証番号による認証が正常に行われた場合は、再度ICカード認証機能を利用できるようになります。

サイドボタンの誤操作を防止する 〈サイドボタン設定〉

FOMA端末を閉じたときに、サイドボタン（◀マナー、メモ▶）の機能を無効にします。
- 以下のような場合などは、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。
  - FOMA端末を開いているとき
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき

1 **MENU▶[＊]（1秒以上）**
サイドボタンの操作が無効（閉じた時無効）になり「SIDE」が表示されます。

■ **閉じた時有効にする場合**
▶操作1を再度行う
「SIDE」の表示が消えます。

メールを無断で表示できないようにする 〈BOXロック／フォルダロック〉

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにロックをかけます。ロックをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。
- 端末暗証番号を入力するとメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間はロックがかかっていても端末暗証番号を入力せずに開くことができます。
- ロックをかけたBOXには、「 」などのアイコンが表示されます。
- ロックをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「 」「 」などの表示になります。
- BOXやフォルダにロックを設定すると、ロック対象のメールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOX別にロックを設定する

1 **✉▶「メール設定」▶「BOXロック」▶端末暗証番号を入力**

2 **[◎]で□（チェックボックス）を選択**
「複数選択について」→P.38

3 **[i]［完了］**

フォルダ別にロックを設定する

1 **メールフォルダ一覧画面（P.177、178）▶ロックを設定するフォルダを反転▶✉［機能］▶「フォルダロック」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**

■ **解除する場合**
▶操作1を再度行う

指定した電話番号の着信や発信を制限する 〈個別着信動作選択〉

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。
- 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
- FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
- 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、個別着信動作選択の各機能は解除されます（ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除ができません）。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

1 **電話帳詳細画面（P.79）▶✉［機能］▶「個別着信動作選択」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

指定発信制限……指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。

指定着信拒否……指定した電話番号からの電話を受けないようにします。

指定着信許可……指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。

指定転送でんわ……指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。

指定留守番電話……指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

設定した機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合

▶「★」が付いている機能を選択

機能が解除されて「★」が消えます。

■ 複数の電話番号に設定したい場合

▶CLRを2回押して電話帳一覧画面に戻る▶目的の電話帳を選択▶操作1を行う

指定発信制限を設定した後に を押して待受画面に戻ると、個別着信動作選択が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

● 指定発信制限を設定すると

- 指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード（UIM）操作」での電話帳の操作もできません。
- 設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

おしらせ

- 2in1利用時は、ご利用のモードと電話帳2in1設定の組み合わせによって、以下のように個別着信動作選択の各機能の動作が異なります。
  - Aモードの場合は、A・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
  - Bモードの場合は、B・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
  - デュアルモードの場合は、すべての電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。

  ただし、指定発信制限については2in1のモードにかかわらず、指定した電話番号以外に発信することはできません。

<指定発信制限>
- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。

おしらせ

<指定着信拒否><指定着信許可>
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のショートカットアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。

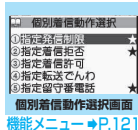
<指定転送でんわ><指定留守番電話>
- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続され、「不在着信あり」のショートカットアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

個別着信動作選択の設定状況を確認する

1 電話帳一覧画面（P.78）▶✉［機能］▶「個別着信動作選択」▶端末暗証番号を入力

「個別着信動作選択画面」が表示されます。

個別着信動作選択画面

機能メニュー➡P.121

機能 個別着信動作選択画面（P.121）

設定確認……機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

設定解除……機能が解除されて「★」が消えます。

発信者番号のわからない電話を受けない 〈非通知着信設定〉

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「非通知着信設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

通知不可能……海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。
経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。

公衆電話……公衆電話などから発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。

非通知設定……発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。

2 「許可」または「拒否」

■「許可」を選択した場合
▶「着信音」または「着信画面」
- 「着信音」は「通常着信音と同じ／メロディ／ｉモーション／ミュージック／おしゃべり／ランダムメロディ／OFF」から選択します（「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します）。
- 「着信画面」は「通常着信画面と同じ／マイピクチャ／ｉモーション」から選択します（「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します）。

■「拒否」を選択した場合
着信を拒否し、相手に話中音が流れます。

おしらせ
- 本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「画面表示設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。
- 「拒否」に設定した相手から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする 〈呼出時間表示設定〉

FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号から音声電話やテレビ電話の着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。
- 非通知の音声電話、テレビ電話の着信があった場合や音声通話中、テレビ電話中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。
- 「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。

1 MENU▶「各種設定」▶「着信」▶「呼出時間表示設定」▶以下の項目から選択

無音時間設定

ON……呼出動作を開始するまでの時間（01～99秒）を入力します。

OFF……呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。

時間内不在着信表示……呼出動作を開始しなかった着信の不在着信履歴やショートカットアイコンを表示するかしないかを設定します。

おしらせ
- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能で設定した動作になります。
- 無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない 〈登録外着信拒否〉

FOMA端末（本体）およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するか許可するかを設定します。
- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」▶端末暗証番号を入力▶「拒否」または「許可」

おしらせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能の設定にかかわらず、着信は拒否されません。
- 本機能を「拒否」に設定している場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときや「圏外」時、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

発信や着信ができないようにする〈セルフモード〉

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定します。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

- セルフモード設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

1 MENU▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」▶「YES」

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ セルフモードを解除する場合

▶再度操作1を行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

● セルフモードを設定すると

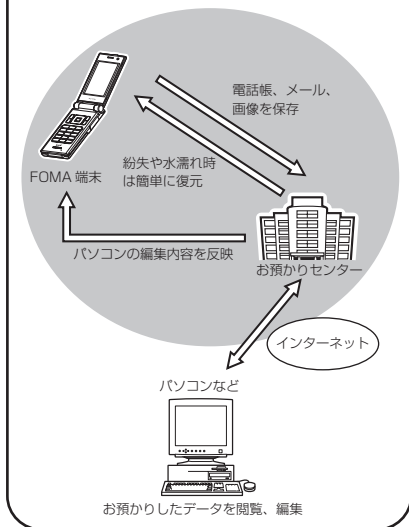
- 音声電話やテレビ電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のショートカットアイコンも待受画面に表示されません。
- 送られてきたメッセージR／FやiモードメールはiモードセンターでSMSはSMSセンターでお預かりします。
- 音声電話やテレビ電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスやメッセージで通知します。「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。

- 赤外線通信機能／iC通信機能によるデータの送受信、パソコンなどと接続してのパケット通信、64Kデータ通信、ICカード認証機能によるユーザ認証もできません。ただし、USBケーブル接続によるデータ転送（OBEX™通信）や、おサイフケータイ対応iアプリを利用してICカード内のデータの読み書きはできます。

電話帳お預かりサービスとは〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。

万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、iモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元させることができます。また、FOMA端末の電話帳データとお預かりセンターの電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にすることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

※ 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、iモード契約が必要です）。
- お預かりセンターへの保存操作については以下のページをご覧ください。
  - 「電話帳データをセンターに保存する」→P.84
  - 「メールをお預かりセンターに保存する」→P.183
  - 「画像をお預かりセンターに保存する」→P.229

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称
ほかの人に無断でICカード機能を使われるのを防ぐ	ICカードロック設定→P.215
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス→P.309
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス→P.309
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass→P.157
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新→P.372
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能→P.378
iモードメールを受信する際に、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信→P.172
災害が発生した際にiモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「iモード災害用伝言板」サービス※
メールアドレスを変更したい	メールアドレス変更※
URLが記載されたメールを受信したくない	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）※
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）※
iモードどうしのメールだけを受信／拒否したい	
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい	
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定したい	迷惑メール対策（かんたんメール設定）※
1日に1台のiモード対応携帯電話から送信される500通目以降のiモードメールを受信拒否したい	迷惑メール対策（iモードメール大量送信者からのメール受信制限）※
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）※
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	迷惑メール対策（未承諾広告※メール拒否）※
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限※
メール機能の設定状況を確認したい	メール設定確認※
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止※

※：『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

<迷惑電話防止機能の優先順位>

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①迷惑電話ストップサービス
  ②登録外着信拒否または呼出時間表示設定／非通知着信設定／指定着信拒否

カメラ

著作権について

FOMA端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。
- FOMA端末を閉じた状態ではカメラ機能の起動や撮影はできません。

カメラの使いかた

● カメラモードにするには

次の4とおりの方法があります。
① 待受画面のショートカットアイコン（ ）を選択する
② 待受画面表示中に ch （1秒以上）を押す
③ メインメニューまたはシンプルメニューから「カメラ」を選択する
④ メインメニューの「LifeKit」から「カメラ」を選択する
- 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラモードを終了します。

おしらせ
- ショートカットアイコンを削除した後に再度貼り付ける場合は、上記③のメインメニューまたは④の操作で「カメラ」を選択後、 ［機能］を押して「マイショートカット貼付」を選択します。

● 外側カメラと内側カメラを切り替えるには

撮影画面で ［機能］を押し、機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。

■外側カメラ
ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます（正像表示：画面に表示された向きで撮影されます）。外側カメラでは、レンズ切替スイッチや接写の機能を利用して近くのものを撮影できます。

■内側カメラ
自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示（鏡像表示）され、撮影結果は表示と逆向き（正像）に保存されます。連続撮影では使用できません。

● レンズ切替スイッチについて

- ごく近くにある被写体を撮影したいときは、レンズ切替スイッチを （マクロレンズ）に切り替え、接写モードにします。接写モードにすると、外側カメラとの距離が約6～8cmの被写体にピントが合います。
- バーコードリーダー、テキストリーダーを利用するときは （マクロレンズ）に切り替え、接写モードにします。
- レンズ切替スイッチを切り替えるときは、●（標準レンズ）または （マクロレンズ）それぞれの位置までしっかりとスライドさせ、途中で止めないでください。

カメラ利用にあたって

■撮影するときのご注意
- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を閉じるときにレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- シャッター音、セルフタイマーの開始音の音量を変更することや消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することはできません。
- 静止画の撮影時にシャッター音が鳴った後、取り込みが完了するまで、FOMA端末が動かないようにしてください。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数に合わせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。

●撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

■撮影時などの着信ランプやイルミネーションランプの点滅について

●着信ランプは以下のように点灯または点滅します。
- 撮影画面表示中：赤色で点滅
- 静止画撮影、マニュアル連続撮影：赤色で点灯（約3秒間）
- オート連続撮影：赤色で点灯（撮影中）
- 動画撮影、ボイスモード録音：赤色で点滅
- セルフタイマー作動中：青色で点滅→P.136

●イルミネーションランプは着信ランプと同じタイミングで点灯または点滅します。

■撮影した静止画・動画などの保存について

●撮影した静止画や動画などは「画像保存先選択」や「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。

●「自動保存設定」を「ON」に設定すると、静止画や動画などを撮影後、自動的に保存できます。

●電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

●ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを取り外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

■撮影が中断されるとき

●着信（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信）やアラーム通知（アラーム、スケジュール、To Doリスト）があったとき、ほかの機能の操作を行ったときには、撮影が中断されます。
- 連続撮影中や動画撮影中は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。
- カメラのズームや明るさを調節中は、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。
- セルフタイマーは中止されます。

●以下の場合は中断されません。
- カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージR／Fを受信した場合は、「受信時動作設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
- 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。

■microSDメモリーカードを使用するとき

●microSDメモリーカードへ保存中は「」が点滅します。このときは絶対にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。

●「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で「microSD」を選択したときにmicroSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。

●「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で選択したmicroSDフォルダのファイル数が最大件数のときは、そのフォルダに設定できません。

画像サイズと登録件数／撮影時間について

FOMA SO705iで撮影できる画像サイズおよび撮影した静止画の登録件数、動画の撮影時間は別表1～3（P.127、128）のとおりです。

[別表1]撮影できる画像サイズと撮影モードの関係

画像サイズ	静止画		連写	動画
	外側	内側		
2M（1,200×1,600）	○	×	×	×
1M（960×1,280）	○	×	×	×
VGA（640×480）	○	○	×	×
CIF（352×288）	○	○	○	×
ﾌﾙｽｸﾘｰﾝ（240×427）	○	○	○	×
QVGA縦（240×320）	○	○	○	×
QVGA（320×240）	×	×	×	○
QCIF（176×144）	○	○	○	○
SubQCIF（128×96）	○	○	○	○

[別表2]静止画の保存先別登録件数の目安

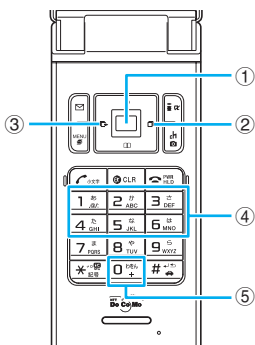
<table>
<tr><th>品質</th><th>2M</th><th>1M</th><th>VGA</th><th>CIF</th><th>フルスクリーン</th><th>QVGA縦</th><th>QCIF</th><th>SubQCIF</th></tr>
<tr><td colspan="9">保存先：FOMA SO705i（本体）</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン</td><td colspan="2">約116件</td><td>約140件</td><td>約341件</td><td colspan="2">約700件</td><td colspan="2">1,000件</td></tr>
<tr><td>ファイン</td><td colspan="2">約140件</td><td>約700件</td><td colspan="5">1,000件</td></tr>
<tr><td>ノーマル</td><td colspan="2">約229件</td><td colspan="6">1,000件</td></tr>
<tr><td colspan="9">保存先：microSD（64Mバイト）</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン</td><td colspan="2">約99件</td><td>約118件</td><td>約291件</td><td colspan="2">約542件</td><td>約948件</td><td>約1,897件</td></tr>
<tr><td>ファイン</td><td colspan="2">約118件</td><td>約542件</td><td colspan="3">約948件</td><td colspan="2">約1,897件</td></tr>
<tr><td>ノーマル</td><td colspan="2">約189件</td><td>約948件</td><td colspan="3">約1,265件</td><td colspan="2">約3,795件</td></tr>
</table>

- 登録件数は撮影環境などにより異なります。

[別表3] 動画の保存先別撮影時間の目安

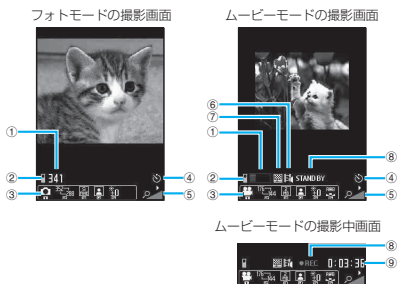
画像サイズ	ファイルサイズ設定	撮影種別設定	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			記録品質設定				記録品質設定			
			長時間	標準	高品質	最高品質	長時間	標準	高品質	最高品質
保存先：FOMA SO705i（本体）										
QVGA	2MB以下	通常	約82秒	約34秒	約16秒	約8秒	約47分	約19分	約9分	約280秒
		映像のみ	約88秒	約35秒	約17秒	約8秒	約50分	約20分	約10分	約280秒
		音声のみ	約21分				約735分			
QCIF	500KB以下	通常	約104秒	約53秒	約20秒	約16秒	約247分	約125分	約47分	約38分
		映像のみ	約128秒	約64秒	約22秒	約16秒	約303分	約151分	約52分	約38分
		音声のみ	約316秒				約750分			
	2MB以下	通常	約428秒	約219秒	約82秒	約63秒	約249分	約127分	約47分	約37分
		映像のみ	約524秒	約262秒	約88秒	約66秒	約305分	約152分	約51分	約39分
		音声のみ	約21分				約735分			
Sub QCIF	500KB以下	通常	約176秒	約67秒	約29秒	約20秒	約418分	約159分	約68分	約47分
		映像のみ	約256秒	約86秒	約32秒	約22秒	約608分	約204分	約75分	約52分
		音声のみ	約316秒				約750分			
	2MB以下	通常	約12分	約276秒	約119秒	約82秒	約420分	約161分	約69分	約47分
		映像のみ	約17分	約350秒	約131秒	約88秒	約595分	約204分	約76分	約51分
		音声のみ	約21分				約735分			
保存先：microSD（64Mバイト）										
QVGA	2MB以下	通常	約82秒	約34秒	約16秒	約8秒	約43分	約18分	約512秒	約256秒
		映像のみ	約88秒	約35秒	約17秒	約8秒	約46分	約18分	約544秒	約256秒
		音声のみ	約21分				約672分			
	長時間	通常	約27分	約11分	約327秒	約164秒	約27分	約11分	約327秒	約164秒
		映像のみ	約28分	約11分	約331秒	約165秒	約28分	約11分	約331秒	約165秒
		音声のみ	約120分				約672分			
QCIF	500KB以下	通常	約104秒	約53秒	約20秒	約16秒	約227分	約115分	約43分	約34分
		映像のみ	約128秒	約64秒	約22秒	約16秒	約279分	約139分	約48分	約34分
		音声のみ	約316秒				約689分			
	2MB以下	通常	約428秒	約219秒	約82秒	約63秒	約228分	約116分	約43分	約33分
		映像のみ	約524秒	約262秒	約88秒	約66秒	約279分	約139分	約46分	約35分
		音声のみ	約21分				約672分			
	長時間	通常	約120分	約71分	約27分	約20分	約228分	約71分	約27分	約20分
		映像のみ	約120分	約86分	約28分	約21分	約279分	約86分	約28分	約21分
		音声のみ	約120分				約672分			
Sub QCIF	500KB以下	通常	約176秒	約67秒	約29秒	約20秒	約384分	約146分	約63分	約43分
		映像のみ	約256秒	約86秒	約32秒	約22秒	約558分	約187分	約69分	約48分
		音声のみ	約316秒				約689分			
	2MB以下	通常	約12分	約276秒	約119秒	約82秒	約384分	約147分	約63分	約43分
		映像のみ	約17分	約350秒	約131秒	約88秒	約544分	約186分	約69分	約46分
		音声のみ	約21分				約672分			
	長時間	通常	約120分	約90分	約39分	約27分	約384分	約90分	約39分	約27分
		映像のみ	約120分	約115分	約43分	約28分	約544分	約115分	約43分	約28分
		音声のみ	約120分				約672分			

- 時間はそのファイルサイズ設定で撮影できるおおよその時間です。
- 登録できる撮影時間は撮影環境などにより異なります。

カメラモードのボタン操作

① ■ ：シャッター
② ：ズーム（望遠）
③ ：ズーム（広角）
④ 1 ～ 6 ：それぞれ以下の撮影メニューを表示
 1 ：カメラモード切替
 2 ：画像サイズ選択
 3 ：記録品質設定またはファイルサイズ設定
 4 ：撮影モード選択
 5 ：明るさ調節
 6 ：ホワイトバランス設定
 ●カメラモードによっては表示されない撮影メニューがあります。
⑤ 0 ：ボタン操作の説明を表示

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。

ムービーモードの撮影中画面

① **保存可能枚数／保存容量表示**※1

……保存可能枚数

- 白文字：11枚以上
- 黄文字：10枚以下
- 赤文字：空きメモリなし

……全体容量に対する保存可能容量

- 青：残り500Kバイト以上
- 黄：残り500Kバイト未満
- 赤：空きメモリなし※2

※1：枚数および容量表示は目安です。また、保存先が「microSD」に設定されていて、microSDメモリーカードが挿入されていない場合は表示されません。
※2：「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定して動画撮影するとき以外は、撮影可能です。撮影後に本体／microSDメモリーカードの空き容量に保存、または上書き保存します。

② **画像／動画保存先選択（P.131、135）**

……保存先の設定状態（本体／microSDメモリーカード）

③ **撮影メニュー（P.130）**

……撮影メニューの各種設定状態

④ **セルフタイマー（P.136）**

……セルフタイマー設定中

⑤ **ズーム状態表示（P.136）**

～～……ズームの設定状態

⑥ **撮影種別設定（P.135）**

……通常（映像＋音声）
……映像のみ
……音声のみ

⑦ **記録品質設定（P.135）**

……長時間
……標準
……高品質
……最高品質

⑧ **撮影状態表示**

●REC ……動画撮影中
STAND BY ……動画撮影待機中

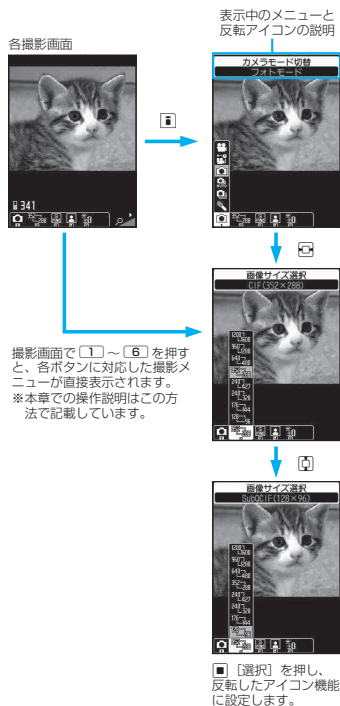
⑨ **撮影時間**

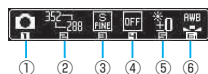
0:03:38……動画撮影の残り時間（時：分：秒）

撮影メニューの選択方法

撮影メニューをディスプレイに表示すると、アイコンを選択するだけでさまざまな撮影条件を設定することができます。

撮影画面で 1 ～ 6 を押すと、各ボタンに対応した撮影メニューが直接表示されます。
※本章での操作説明はこの方法で記載しています。

■［選択］を押し、反転したアイコン機能に設定します。

● 撮影メニューのアイコンと設定内容

- カメラモードによって選択できる撮影メニューの項目が異なります。
- メールなど他の機能から呼び出したときや内側カメラを使用しているときなど、撮影条件によっては利用できないメニューがあります。

① カメラモード切替

ムービーモード……P.134
チャンスキャプチャ……P.136
フォトモード……P.131
オート連続撮影……P.132
マニュアル連続撮影……P.132
ボイスモード……P.136

② 画像サイズ選択

フォトモード（お買い上げ時：フルスクリーン）
1200×1600～128×96……2M（1,200×1,600）～Sub-QCIF（128×96）

ムービーモード（お買い上げ時：QCIF）
320×240～128×96……QVGA（320×240）～Sub-QCIF（128×96）

③ 記録品質設定／ファイルサイズ設定

フォトモード（記録品質設定）
（お買い上げ時：スーパーファイン）
スーパーファイン……最高画質（ファイル容量：大）
ファイン……高画質（ファイル容量：中）
ノーマル……標準画質（ファイル容量：小）

ムービーモード（ファイルサイズ設定）
（お買い上げ時：2MB以下）
500KB以下……500Kバイトまで
2MB以下……2Mバイトまで
長時間……長時間（microSDのみ）

④ 撮影モード選択

フォトモード（お買い上げ時：オート）
ムービーモード（お買い上げ時：人物）
オート……自動調整モード
人物……人物などの撮影に適したモード
風景……景色（夜景を含む）などの撮影に適したモード
接写……近くのものの撮影に適したモード
スポーツモード……動きのある被写体に適したモード

ナイトモード……暗い所で人物などを撮影するのに適したモード

効果OFF……撮影効果を無効に設定

※ ムービーモードでは、「人物」「風景」「接写」のみ設定できます。
※ フォトモードの内側カメラでは「人物」「ナイトモード」「効果OFF」のみ設定できます。
※ ムービーモードの内側カメラでは「人物」に固定されます。

⑤ **明るさ調節**（カメラ起動時：±0）

／／／／……画像の明るさ（+2／+1／±0／−1／−2）

⑥ **ホワイトバランス設定**（お買い上げ時：オート）

フォトモードでは、撮影モード選択で「効果OFF」を選択したときのみ設定できます。

オート……自動的に色あいを補正

晴天……晴れた屋外での撮影に適した設定

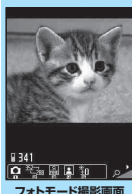
曇天……曇った屋外や日陰の撮影に適した設定

電球……白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定

蛍光灯……蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定

静止画を撮影する〈フォトモード〉

1 待受画面表示中▶■▶「 」を選択

「フォトモード撮影画面」が表示されます。

フォトモード撮影画面

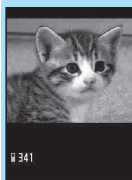
機能メニュー➡P.131

2 カメラを被写体に向ける▶■［撮影］

「フォトモード確認画面」が表示されます。

■ 撮影し直す場合

▶CLR▶「YES」

フォトモード確認画面

機能メニュー➡P.132

3 ■［保存］

おしらせ

● 画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。

機能 フォトモード撮影画面（P.131）／連続撮影画面（P.132）

内側カメラ⇔外側カメラ※1……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

カメラモード切替……カメラモードを切り替えます。

画像サイズ選択・記録品質設定……撮影メニュー（P.130）と同じ設定ができます。

撮影間隔／枚数※2……連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。→P.133

カメラ調節

撮影モード選択……撮影メニュー（P.130）と同じ設定ができます。

明るさ調節……で撮影する明るさを「−2〜±0〜+2」の5段階で調整します。
2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。
カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。

ホワイトバランス設定……撮影メニュー（P.131）と同じ設定ができます。

色調切替……撮影する画像の効果を、「通常／セピア／白黒」から選択します。

ちらつき軽減※3……撮影画面のちらつきを抑えます。「自動／モード1（50Hz地域）／モード2（60Hz地域）」から選択します。

シャッター音選択（お買い上げ時：シャッター音1）……シャッター音を選択します。

セルフタイマー設定……セルフタイマーを設定します。→P.136

フレーム選択※1……重ねて撮影するフレームを設定します。→P.134

自動保存設定……撮影後「画像保存先選択」で設定したフォルダに自動保存するかしないか（ON／OFF）を設定します。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.228

保存容量確認……画像の保存容量などを表示します。

ヘルプ……撮影についての説明を表示します。

※1：フォトモード撮影画面でのみ利用できる機能です。

※2：連続撮影画面でのみ利用できる機能です。
※3：内側カメラのときは操作／設定できません。

おしらせ

<シャッター音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

機能 フォトモード確認画面（P.131）

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

iモードメール作成※→P.134
フォトモード確認画面で[i]［MAIL］を押してもiモードメールやデコメールを作成することができます。

画像編集……撮影した静止画にフレームを付けたり、効果を付けます。「静止画を編集する」→P.231

イメージ貼付……撮影した静止画を待受画面などに設定します。
「画面の表示を変える」→P.94
「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.70

フレーム取替え……「フレームを重ねて撮影する」→P.134

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.228

取り消し……撮影した静止画を削除してフォトモード撮影画面に戻ります。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<画像編集>
- 「画像編集」を選択すると正像表示になります。
- 1M（960×1,280）以上の画像は編集できません。

<イメージ貼付>
- 1M（960×1,280）以上の画像サイズの場合は貼り付けできません。また、データ容量が100Kバイトを超える場合は待受画面、ウェイクアップ表示以外には貼り付けできません。
- 待受画面などに設定する静止画は「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDメモリーカードには保存されません）。

連続撮影する 〈連続撮影〉

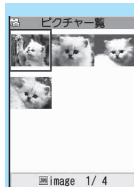
外側カメラを利用し、最大20枚までの静止画を連続撮影します。連続撮影には、オート連続撮影とマニュアル連続撮影があります。
- オート連続撮影は、シャッターを切ると、設定した撮影枚数と撮影間隔で自動的に撮影する機能です。
- マニュアル連続撮影は、1枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。
- 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
- 連続撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が終了します。

1 フォトモード撮影画面（P.131）▶[1]▶「[AUTO]」または「[ ]」

「連続撮影画面」が表示されます。

連続撮影画面
（例：マニュアル）
機能メニュー➡P.131

2 カメラを被写体に向ける▶[■]［連写／撮影］

■ 連続撮影を中止する場合
オート連続撮影：▶[☎]▶「NO」
マニュアル連続撮影：▶[CLR]
撮影を終了して「連続撮影確認画面」が表示されます。

連続撮影確認画面
機能メニュー➡P.133

■ 詳細表示で確認する場合
▶[✥]で囲み枠を確認する画像に移動▶[i]［詳細］
[◁▷]で確認する静止画を切り替えることができます。

■ 詳細表示した静止画を1件のみ保存する場合
▶[■]［保存］

連続撮影詳細表示確認画面
機能メニュー➡P.133

カメラ

3 ch［（アイコン）］（1秒以上）▶「保存」または「鏡像保存」

「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

■ 選択保存する場合

▶保存する画像を選択▶ch［（アイコン）］▶「保存」または「鏡像保存」

「複数選択について」→P.38

■ 自作アニメにも登録する場合

▶✉［機能］▶「全保存＆自作アニメ」▶「保存」または「鏡像保存」

おしらせ

- 強い光源や動きが大きいものを被写体としてオートで撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

1 連続撮影画面（P.132）▶✉［機能］▶「撮影間隔／枚数」▶以下の項目から選択

撮影間隔（お買い上げ時：0.5秒）……撮影する間隔を「0.5秒／1.0秒／2.0秒」から選択します。

マニュアル連続撮影のときは設定できません。

撮影枚数（お買い上げ時：5枚）……撮影する枚数（05～20枚の2桁）を入力します。

最大撮影枚数は画像サイズによって変わります。画像サイズがCIF（352×288）の場合、自動的に4枚となり、フルスクリーン（240×427）、QVGA縦（240×320）の場合、5～10枚となります。

2 設定が終わったら CLR ▶ CLR

連続撮影画面に戻ります。

機能 連続撮影確認画面（P.132）

選択保存……☑を付けた静止画を保存または鏡像保存します。

全保存……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存します。

全保存＆自作アニメ……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存し、自作アニメにも登録します。

1件選択……囲み枠のある静止画に☑を表示して選択状態にします。

全選択……撮影したすべての静止画に☑を表示して選択状態にします。

1件解除……囲み枠のある静止画の☑が消えて選択状態を解除します。

全解除……すべての静止画の☑が消えて選択状態を解除します。

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

選択ファイル制限（お買い上げ時：なし）……☑を付けた静止画を再配布できるかどうかを設定します。

→P.228

全ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影したすべての静止画を再配布できるかどうかを設定します。

→P.228

取り消し……撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

おしらせ

<全保存＆自作アニメ>

- 「画像保存先選択」で「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDメモリーカードには保存されません）。

機能 連続撮影詳細表示確認画面（P.132）

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

iモードメール作成※→P.134

連続撮影詳細表示確認画面で［i］［MAIL］を押してもiモードメールやデコメールを作成することができます。

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.228

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

フレームを重ねて撮影する 〈フレーム撮影〉

撮影できる画像サイズはVGA（640×480）以下です。
●内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 フォトモード撮影画面（P.131）▶[✉][機能]▶「フレーム選択」▶フレームを選択

■ フレーム撮影を解除する場合
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶[■][撮影]
「フレーム撮影確認画面」が表示されます。

■ 保存する前にフレームを変更する場合
▶[✉][機能]▶「フレーム取替え」

3 [■][保存]

撮影した静止画を利用してｉモードメールやデコメールを作成する

撮影した静止画をｉモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入します。

1 フォトモード確認画面（P.131）▶[i][MAIL]▶以下の項目から選択

画像添付※1

そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

QVGA縮小添付……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。

画像挿入※2

そのまま挿入※3……画像サイズを変更しないで、そのまま挿入します。

SubQCIF縮小挿入……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して挿入します。

※1：QVGA縦（240×320）以下の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま添付／QVGA縮小添付」の選択画面は表示されません。
※2：SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま挿入／SubQCIF縮小挿入」の選択画面は表示されません。
※3：QCIF（176×144）以外のときは選択できません。

2 メールを作成
ｉモードメールの作成／送信のしかた→P.164
デコメールの作成／送信のしかた→P.166

おしらせ
●2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

動画を撮影する 〈ムービーモード〉

●「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定した場合は、動画撮影後、microSDメモリーカードに保存して撮影を終了します。
●撮影時間は撮影条件によって異なります。
●通話中は動画撮影できません。
●動画撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が終了します。

1 フォトモード撮影画面（P.131）▶[1]▶「[ムービー]」
「ムービーモード撮影画面」が表示されます。

ムービーモード撮影画面
機能メニュー➡P.135

2 カメラを被写体に向ける▶[■][撮影]
撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。

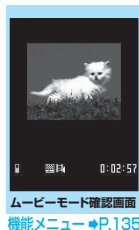
ムービーモード撮影中画面

■ ファイルサイズ設定で設定した容量になった場合
▶「OK」
ムービーモード確認画面が表示されます。

3 [■][終了]
撮影が終了して「ムービーモード確認画面」が表示されます。

ムービーモード確認画面
機能メニュー➡P.135

■ 撮影した動画を再生して確認する場合
▶[ch][再生]

■ 撮影し直す場合
▶[CLR]▶「YES」

4 [■][保存]

おしらせ
●動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

機能 ムービーモード撮影画面（P.134）

内側カメラ⇔外側カメラ……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

カメラモード切替……カメラモードを切り替えます。

画像サイズ選択・ファイルサイズ設定……撮影メニュー（P.130）と同じ設定ができます。

記録品質設定（お買い上げ時：標準）……動画撮影時の画質・時間を「長時間／標準／高品質／最高品質」から選択します。
「長時間」は、撮影時間は最も長くなりますが、画質は最も低くなります。これに対し「最高品質」は、画質は最も高くなりますが、撮影時間は最も短くなります。

カメラ調節

撮影モード選択※……撮影メニュー（P.130）と同じ設定ができます。

明るさ調節……[◎]で撮影する明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調整します。
2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。
カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。

ホワイトバランス設定……撮影メニュー（P.131）と同じ設定ができます。

色調切替……撮影する画像の効果を、「通常／セピア／白黒」から選択します。

ちらつき軽減※……撮影画面のちらつきを抑えます。「自動／モード1（50Hz地域）／モード2（60Hz地域）」から選択します。

動画シャッター音選択（録音開始音選択）（お買い上げ時：シャッター音1）……シャッター音を選択します。

セルフタイマー設定……セルフタイマーを設定します。→P.136

撮影種別設定

通常（カメラ起動時）……映像と音声を録画します。

映像のみ……映像のみの動画として録画します。

音声のみ……音声のみの動画として録音します。

自動保存設定……撮影後「動画保存先選択」で設定したフォルダに自動保存するかしないか（ON／OFF）を設定します。

動画保存先選択（音声保存先選択）（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先を設定します。
microSDメモリーカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.228

保存容量確認……動画の保存容量などを表示します。

ヘルプ……撮影についての説明を表示します。

※：内側カメラのときは操作／設定できません。

おしらせ

<撮影モード選択>
- 内側カメラでは人物に固定されます。

<動画シャッター音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。
- ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

機能 ムービーモード確認画面（P.134）

再生……撮影した動画を再生します。

保存……撮影した動画が「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

iモードメール作成※……撮影した動画を添付したiモードメールを作成します。→P.164
ムービーモード確認画面で[i]［MAIL］を押しても動画を添付したiモードメールを作成することができます。

待受画面設定……撮影した動画を待受画面に設定します。

タイトル編集……動画のタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

動画保存先選択（音声保存先選択）（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先を設定します。
microSDメモリーカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.228

取り消し……撮影した動画を削除してムービーモード撮影画面に戻ります。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<待受画面設定>
- 待受画面に設定する動画は、「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のiモーションのカメラフォルダに保存されます。

大切な場面をのがさず撮影する〈チャンスキャプチャ〉

動画撮影時に、撮影可能時間を過ぎても撮りたい場面まで撮影を続けます。

- 撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分（お買い上げ時の設定では約3分38秒）までさかのぼって保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。

1 **フォトモード撮影画面（P.131）▶1▶「」**

2 **カメラを被写体に向ける▶■［撮影］**
撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が点滅します。

3 **■［終了］**
撮影が終了します。

4 **■［保存］**

ボイスモードを使う〈ボイスモード〉

音声のみの動画として、音声を録音します。

1 **フォトモード撮影画面（P.131）▶1▶「」**
「録音開始画面」が表示されます。
ムービーモード撮影画面の機能メニュー
→P.135

2 **■［録音］**
録音が開始されます。

3 **■［終了］**
録音が終了すると「録音確認画面」が表示されます。
ムービーモード確認画面の機能メニュー
→P.135

4 **■［保存］**

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマーの設定などを行います。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節します。

- ズームはデジタルズームです。

1 **各撮影画面▶でズームを調節**
を押すたびに1段階ずつ変化し、押し続けると連続的に変化します。

おしらせ

- カメラ機能を起動したときは「1倍」になっています。また、画像サイズやカメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。

■ズームの画像サイズ別最大倍率

画像サイズ	静止画撮影	動画撮影
外側カメラ（16段階調節）		
2M／1M	—	—
VGA	約1.8倍	—
CIF	約1.7倍	—
フルスクリーン	約1.8倍	—
QVGA縦	約2.4倍	—
QVGA	—	約1.8倍
QCIF	約3.3倍	約3.3倍
SubQCIF	約4.6倍	約4.6倍
内側カメラ（2段階調節）		
VGA	—	—
CIF	約1.8倍	—
フルスクリーン	—	—
QVGA縦	約1.5倍	—
QVGA	—	約2.0倍
QCIF	約2.0倍	約2.0倍
SubQCIF	約2.0倍	約2.0倍

セルフタイマーを使う

- 撮影終了後、セルフタイマーは「OFF」に戻ります。

1 **各撮影画面▶［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶セルフタイマーの時間（01～15秒の2桁）を入力**
お買い上げ時は「10秒」に設定されています。

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「⏲」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。
■［撮影］を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。
着信ランプが青色で点滅し、イルミネーションランプやディスプレイの「⏲」も点滅します。
撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、点滅が速くなります。

■ セルフタイマーの設定を解除する場合
▶✉［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「OFF」

■ タイマーの動作を止める場合
▶i［中止］またはCLR

おしらせ

- セルフタイマーのカウント中に■［撮影］を押して手動で撮影することもできます。
- マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。

バーコードリーダーを利用する〈バーコードリーダー〉

外側カメラを利用しJANコード、QRコードを読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、iアプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディ、トルカのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- 読み取りデータは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- バーコードを読み取るときは、外側カメラをバーコードから約6～8cm離してください。

■JANコード、QRコードについて

- JANコードとは
  太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）および13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。

※ 右上のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

- QRコードとは
  縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディ、トルカを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。

※ 右上のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

- 読み取る前に、レンズ切替スイッチを🌷（マクロレンズ）に切り替え、接写モードにしてください。→P.126

1 MENU▶「LifeKit」▶「バーコードリーダー」

2 JANコードまたはQRコードを認識範囲に表示

自動的に読み取りが開始されます。
認識範囲は画面の四隅に“┌、┐、└、┘”で示されます。
ピントが合った状態で、JANコードまたはQRコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。
読み取りに時間がかかる場合があります。

機能メニュー➡P.138

■ 読み取りを中止する場合
▶■［中止］▶「OK」

■ ズームを調節する場合
⊡：拡大されます。
⊡：標準に戻ります。

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合
▶「OK」▶■［読取］▶QRコードを認識範囲に表示
最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

3 読み取ったデータを確認

■ 読み取ったデータを破棄する場合
▶CLR▶「YES」

4 ✉［機能］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

読み取ったデータが保存されます。

おしらせ

- JANコード、QRコード以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。

おしらせ

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。
- 文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
- 読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズによっては、保存できないことがあります。
- 読み取ったデータをmicroSDメモリーカードに登録することはできません。

機能 読み取り画面（P.137）

読み取りデーター覧……「読み取りデータを利用する」→P.138

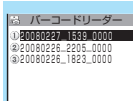
マイショートカット貼付→P.101

読み取りデータを利用する

●利用できる読み取りデータは、以下のとおりです。

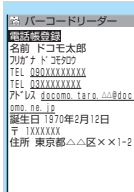
項目	説明
電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.76
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.164
Bookmark登録	URLとタイトル名をブックマークに登録→P.150
ｉアプリ起動	指定されているｉアプリを起動→P.195
メロディのアイコン	そのメロディを再生→P.238
電話番号	「Phone To／AV Phone To機能」→P.154
トルカのアイコン	そのトルカを表示→P.212
メールアドレス	「Mail To機能」→P.154
URL	「Web To機能」→P.154

1 読み取り画面（P.137）▶ ✉［機能］▶「読み取りデーター覧」

「読み取りデーター覧画面」が表示されます。

読み取りデーター覧画面

機能メニュー➡P.138

2 読み取りデータを選択

「読み取りデータ詳細画面」が表示されます。

読み取りデータ詳細画面

機能メニュー➡P.138

3 表示されている項目を選択

おしらせ

- 読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。
- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
  - タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_4桁の数字）
    同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が登録した順に増えます。

機能 読み取りデーター覧画面（P.138）

タイトル編集……読み取りデータのタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

結果表示……読み取りデータ詳細画面を表示します。

1件削除・全削除……読み取りデータを1件または全削除します。

機能 読み取りデータ詳細画面（P.138）

登録……読み取ったデータを登録します。

一覧表示……読み取りデーター覧画面を表示します。
表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Internet……URLを反転している場合、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.154

ｉモードメール作成※……「メール作成」を反転している場合、読み取りデータが入力されたｉモードメールを作成します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

電話発信……電話番号を反転している場合、その電話番号に電話をかけます。
「Phone To／AV Phone To機能」→P.154

電話帳登録……「電話帳登録」を反転している場合、読み取りデータを電話帳に登録します。→P.76
電話番号を反転している場合、その電話番号を電話帳に登録します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。

Bookmark登録……「Bookmark登録」を反転している場合、読み取りデータをBookmarkに登録します。→P.150
URLを反転している場合、そのURLをBookmarkに登録します。

画像保存……画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。
待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

メロディ保存……メロディをデータBOXのメロディに保存します。
着信音などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

トルカ保存……トルカをトルカフォルダに保存します。

ｉアプリ起動……「ｉアプリ起動」を反転している場合、読み取りデータで指定されているｉアプリを起動します。

コピー……読み取りデータに入力されている文字をコピーします。→P.302

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<Internet><Bookmark登録>
- URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

<ｉモードメール作成>
- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

<電話発信>
- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

文字を読み取る 〈テキストリーダー〉

外側カメラを利用して、印刷されている文字を読み取り、電話帳登録、メール作成、Bookmark登録などをします。また、電話をかけたり、インターネットホームページを表示したりすることもできます。
- 読み取りデータは8件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 文字を読み取るときは、外側カメラを読み取りたい文字から約6～8cm離してください。
- 縦書きの日本語文字列を読み取ることもできます。

■読み取りモードについて

読み取りモードには以下のものがあります。読み取りたい情報に合った読み取りモードを選択します。

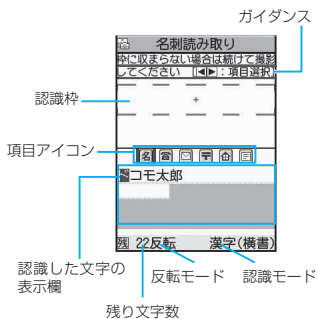
項目	説明
名刺読み取り	名刺などに印刷されている名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを読み取り、読み取ったデータを電話帳に一括登録することができます。
メール作成	宛先、題名、本文を読み取り、それぞれが入力されたｉモードメールを作成することができます。
URL	URLを読み取り、そのURLのサイトに接続したり、Bookmarkに登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを読み取り、そのメールアドレスを利用してｉモードメールを作成することができます。
電話番号	電話番号を読み取り、その電話番号に電話をかけることができます。
フリーメモ	日本語や英語などの文字列を読み取り、テキストメモに登録することができます。

■読み取り可能な文字数について

読み取りできる文字数は読み取る項目によって以下のように変わります。

読み取る項目		最大読み取り文字数
名刺読み取り	名前	全角16文字、半角32文字まで
	電話番号	半角数字と＃、＊、＋、p（ポーズ）、（、）、－で最大26桁まで
	メールアドレス	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	郵便番号	半角の数字で7桁まで
	住所	全角50文字、半角100文字まで
	メモ	全角100文字、半角200文字まで
メール作成	宛先	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	題名	全角100文字、半角200文字まで
	本文	全角128文字、半角256文字まで
URL		半角の英字、数字、記号で256文字まで
メールアドレス		半角の英字、数字、記号で256文字まで
電話番号		半角の数字、＃、（、）、－で256文字まで
フリーメモ		全角128文字、半角256文字まで
辞典※	日本語	全角32文字、半角64文字まで
	英語	半角64文字まで

※：辞典からテキストリーダーを起動したときに選択できます。

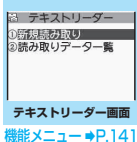
■読み取り画面の見かた
<名刺読み取りモードの画面例>

ガイダンス　：そのとき行う操作など
認識枠　：認識する範囲（認識範囲）
項目アイコン　：読み取る項目
名刺読み取りモード：「名前／電話番号／メールアドレス／郵便番号／住所／メモ」
メール作成モード：「宛先／題名／本文」
認識した文字の表示欄：
読み取った文字（画面によってはガイダンス）
残り文字数　：読み取り可能な残りの文字数（半角文字数で表示）
反転モード　：反転モード設定が反転固定に設定されているときに表示
認識モード　：文字を読み取るときの認識モード「漢字（横書／縦書）／郵便番号／電話番号／メールアドレス／URL」

文字を読み取る

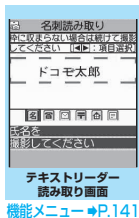
<例：名刺読み取りモードで読み取るとき>

- 読み取る前に、レンズ切替スイッチを（マクロレンズ）に切り替え、接写モードにしてください。→P.126

1 MENU▶「LifeKit」▶「テキストリーダー」
「テキストリーダー画面」が表示されます。

テキストリーダー画面
機能メニュー➡P.141

2 「新規読み取り」
「読み取りモード選択画面」が表示されます。
「読み取りモードについて」→P.139

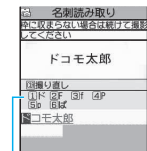
3 「名刺読み取り」
「テキストリーダー読み取り画面」が表示されます。

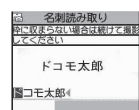
テキストリーダー読み取り画面
機能メニュー➡P.141

4 で読み取る項目アイコンを反転▶文字列を認識範囲に表示
ピントが合っている状態で、読み取りたい文字の上下が認識範囲にできるだけ大きく入るようにします。
読み取りたい文字列が一度に認識範囲に入らない場合、数回に分けて読み取ることができます。

■ズームを利用する場合
：「標準」→「拡大」に切り替わります。
：「拡大」→「標準」に戻ります。

5 ■［読取］
文字が読み取られ、認識した文字が赤色で表示されます。

■撮り直しする場合
▶CLR▶「YES」
読み取った文字列が表示欄を超えた場合はを押して確認できます。
［登録］を押すと読み取られた文字がそのまま登録され、読み取りデータ画面（詳細）が表示されます。
読み取った文字を修正するには以下の2つの方法があります。

■文字を選択して修正する場合
▶で修正したい文字を反転▶変更候補文字の番号を押す
小文字に変換が可能な文字は、で大文字／小文字を切り替えることができます。

■文字編集で修正する場合
▶［機能］▶「編集」▶文字を編集
読み取った文字を通常の文字編集で修正することができます。

カメラ

変更候補の選択に戻るときは、[✉]［機能］を押し、「認識候補選択」を選択します。
文字の編集が終了したら、操作6に進みます。

6 [■]［確定］

文字として確定します。

■ 残りの文字列を続けて読み取る場合

▶操作4～6を繰り返す

このとき、すでに読み取った文字列の最後の2文字以上が認識範囲に入るようにします。

■ ほかの項目を読み取る場合

▶[◐]で読み取る項目アイコンを選択▶操作4～6を繰り返す

名刺読み取りモードのとき、電話番号は4件まで、メールアドレスは3件まで読み取りできます。

7 [✉]［機能］▶「登録」

読み取りデータ画面（詳細）になり、[CLR]を押すと読み取りデータ画面（一覧）に戻ります。

おしらせ

- 画面に「取込中…」のメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
- 手書きの文字は認識できません。また、FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく認識できない場合があります。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。

機能 テキストリーダー画面（P.140）

マイショートカット貼付→P.101

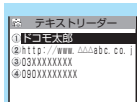
文字情報を利用する

- 利用できる読み取りデータは以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.76
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.164

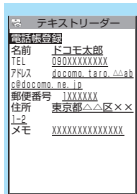
※ 電話番号やメールアドレスなどの項目を選択すると、それぞれのデータが編集できます。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「テキストリーダー」▶「読み取りデータ一覧」

「読み取りデータ画面（一覧）」が表示されます。

読み取りデータ画面(一覧)

機能メニュー➡P.141

2 読み取りデータを選択

「読み取りデータ画面（詳細）」が表示されます。

読み取りデータ画面(詳細)

機能メニュー➡P.141

3 表示されている項目を選択

機能 テキストリーダー読み取り画面（P.140）／読み取りデータ画面（一覧・詳細）（P.141）

編集※1……読み取った文字を編集します。

登録※2……読み取ったデータを登録します。

Internet……URLモードの読み取りデータのとき、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.154

ｉモードメール作成※3……読み取りデータが入力された新規メール作成画面を表示し、ｉモードメールを作成します。入力されるデータは、表示中の読み取りデータや画面によって異なります。

電話発信……電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号に電話をかけたり、SMSを作成します。「Phone To／AV Phone To機能」→P.154

電話帳登録……読み取りデータを電話帳に登録します。登録されるデータは、表示中の読み取りデータや画面によって異なります。

Bookmark登録……URLモードの読み取りデータのとき、そのURLをBookmarkに登録します。

電話帳検索……読み取りデータを使って電話帳を検索します。
読み取り画面の場合、名刺読み取りモード、メール作成モードのときは検索できません。

テキストメモ登録……読み取りデータを「テキストメモ」に登録します。
名刺読み取りモード、メール作成モードの読み取りデータは登録できません。

読取モード設定※2……読み取りモードを「名刺読み取り／メール作成／URL／メールアドレス／電話番号／フリーメモ」から選択します。

反転モード設定※2……印刷物の状態を設定します。

自動設定……反転／無反転を自動的に判断します。

無反転固定……薄い色地に濃い色の文字が印刷されているときに選択します。

反転固定……濃い色地に薄い色の文字が印刷されているときに選択します。

ガイダンスOFF⇔ガイダンスON※2……ガイダンスを表示するかしないかを設定します。

縦書き⇔横書き※2……読み取りたい日本語文字列の横書き／縦書きを設定します。

詳細表示※4……読み取りデータ画面（詳細）を表示します。

一覧表示※5……読み取りデータ画面（一覧）を表示します。

コピー※6……読み取りデータに入力されている文字をコピーします。

1件削除・全削除※6……読み取りデータを1件または全削除します。

※1：読み取りデータ画面（一覧）では利用できない機能です。
※2：読み取り画面でのみ利用できる機能です。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：読み取りデータ画面（一覧）でのみ利用できる機能です。
※5：読み取りデータ画面（詳細）でのみ利用できる機能です。
※6：読み取り画面では利用できない機能です。

おしらせ

- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ ｉモードのご利用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

サイトを表示する
〈ｉモードメニュー／サイト表示〉

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます（別途申し込みが必要な場合があります）。

1 ｉ▶「ｉMenu」

「ｉモードメニュー画面」が表示され、次に「ｉMenu画面」が表示されます。

ｉモードメニュー画面

➡

ｉMenu画面

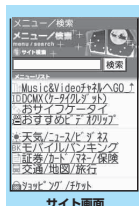
ｉモードメニュー画面で「ｉ Menu」を選択すると、通信が開始されます。

ｉモードセンターとの通信中は「⇅」が点滅し、ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード中）は「ｉ」が点滅します。

2 項目やリンク先を選択し、目的のサイト画面を表示

「サイトの見かたと操作」→P.146

■ ページの取得を中止する場合

▶CLR

サイト画面

機能メニュー➡P.145

3 ｉモードを終了するときは ▶「YES」

「⇅」が点滅した後、「ｉ」が消灯します。

おしらせ

- ｉモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイト画面と表示が異なることがあります。
- ｉモード対応のサイトやインターネットホームページによっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

おしらせ

- サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

● 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを示すメッセージが表示されることがあります。

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前には必ず、送信することを示すメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IPの提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIPなどに通知されることはありません。

機能 サイト画面（P.144）

Bookmark登録→P.150

Bookmark一覧→P.150

画面メモ保存→P.151

画面メモ一覧→P.151

画像保存→P.152

サイト閲覧履歴→P.146

ウィンドウ操作

新ウィンドウで開く……「マルチウィンドウで表示する」→P.148

ウィンドウを閉じる……表示中のウィンドウを閉じます。

ウィンドウ切替……複数のページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。

ｉチャネル起動→P.161

URL入力……URLを入力してインターネットホームページに接続します。

電話帳登録→P.148

マイショートカット貼付→P.101

スケジュール参照登録……ページを参照しながらスケジュールを登録します。→P.279

辞典検索……辞典を起動します。→P.290

ホーム登録／表示

ホーム登録……表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

ホーム表示……ホームURLに登録されているページを表示します。
利用するには「ホームURL設定」を「有効」に設定してください。→P.155

再読み込み……ページを新しい情報に更新します。

ｉモードメール作成※……ページのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付または挿入してｉモードメールやデコメールを作成します。

ｉMenu……ｉMenu画面を表示します。

サイト情報表示

タイトル表示……ページのタイトルを表示し、確認します。

URL表示……ページのURLを表示し、確認します。すべてのURLが表示されない場合は、■［選択］を押し、[十字キー]でカーソルを移動して確認します。もう一度■［選択］を押すとカーソルが消えます。

証明書表示……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

サイト設定／表示

リプレイ……ページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

画像表示設定……ページの画像表示をするかしないかを設定します。「表示しない」を選択したときは、表示されない画像の代わりに「[画像アイコン]」が表示されます。

効果音設定……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（効果音ON／効果音OFF）を設定します。

文字コード変換……ページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。

フルブラウザ切替……ｉモードで表示できなかったページをフルブラウザに切り替えて表示します。→P.218

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<証明書表示>

- 証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定にかかわらず一定の速度でスクロールします。

おしらせ

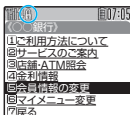
<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作をすると、元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

SSL対応ページを表示する

SSL対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。
- CA証明書：認証会社が発行した証明書が、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書:FirstPassセンターへ接続するために必要な証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。
- ユーザ証明書：iモードメニューの「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

1 SSL対応ページを表示

SSL対応ページの画面が表示され、「🔒」が表示されます。

■ 認証中に中止する場合
▶「Cancel」

SSL対応ページの画面

2 SSL対応ページから通常のページを表示▶「YES」

SSL通信が終了し、「🔒」の表示が消えます。

おしらせ

- SSL対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。このようなメッセージは、ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。「YES」を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

これまでに表示したサイトに再接続する 〈サイト閲覧履歴〉

これまでに表示したサイトが、「サイト閲覧履歴」に30件まで記録されます。「サイト閲覧履歴」を使って、これまでに表示したサイトに再接続します。

1 i▶「サイト閲覧履歴」

「サイト閲覧履歴画面」が表示されます。

2 履歴を選択

サイト閲覧履歴画面

機能メニュー➡P.146

機能 サイト閲覧履歴画面（P.146）

Bookmark登録→P.150

URL表示……登録されているURLを表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

サイトの見かたと操作

サイトを見るときに使う操作について説明します。

画像の表示について

- FOMA SO705iでは、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像（P.148）が表示できます。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDメモリーカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- 画像を表示するかしないかを「画像表示設定」で設定できます。

■表示される画像のアイコンについて

🖼（カラー）：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示

🖼：画像を取得できなかった場合に表示

🖼（白黒）：取得できない画像の場合に表示

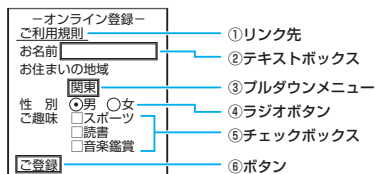
スクロール機能について

サイトのページで文章や一覧が画面内におさまらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

- [下]：下方向にスクロール
- [上]：上方向にスクロール
- [メモ]：画面単位で下方向にスクロール
- [マナー]：画面単位で上方向にスクロール

• スクロール設定について→P.155

リンク先や項目を選択する

ｉモード中に、サイトによっては以下の操作が必要となる場合があります。

①リンク先
　項目を選択するとリンク先のページに移動します。

②テキストボックス
　文字を直接入力します。選択すると文字入力（編集）画面が表示されます。

③プルダウンメニュー
　選択肢の一覧から項目を選択します。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

④ラジオボタン
　選択肢の中から１つだけ選択します。◉ が選択された状態です。

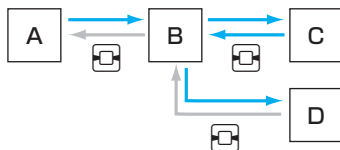
⑤チェックボックス
　選択肢の中から複数の項目を選択できます。☑が選択された状態です。

⑥ボタン
　選択すると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。

前のページに戻る／進む

１ウィンドウあたり最大30ページ（全ウィンドウでは最大100ページ）まで、キャッシュに取得済みの前のページに戻ったり、キャッシュに取得済みのページへ進むことができます。

1 前のページに戻るときは[戻]、次のページに進むときは[進]

■画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

：ページの表示順

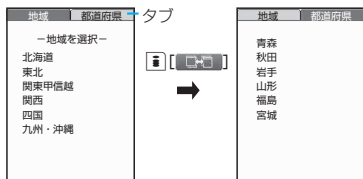
：画面「D」から前のページに戻ったとき

■キャッシュに記憶されたページを表示するときは

- キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に[戻]を押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、[戻]を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、SSLページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

マルチウィンドウで表示する

最大５つのインターネットホームページやサイト（ｉチャネルを含む場合は最大６つ）を開くことができます。

- 複数のページを同時に開くとタブが表示され、[i]［ ］でページを切り替えられます。

1 サイト画面（P.144）▶リンクを反転▶[ch]［開く］

新しいウィンドウにページが表示されます。

■ 開いているページを閉じる場合

▶[CLR]▶「YES」

● リンク先以外のページを開く

1 サイト画面（P.144）▶[✉]［機能］▶「ウィンドウ操作」▶「新ウィンドウで開く」▶以下の項目から選択

リンク……[ch]［開く］と同じように、リンク先のページを表示します。

Bookmark一覧……Bookmark登録したページを表示します。

URL入力……URLを入力してページを表示します。

ホーム表示……ホームURLに登録したページを表示します。

おしらせ

- 同時に開いたページを並べて表示することはできません。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する 〈電話帳登録〉

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。

<例:サイトに表示されている電話番号を登録する場合>

1 サイト画面（P.144）▶[✉]［機能］▶「電話帳登録」▶「YES」▶電話帳に登録

電話帳の登録のしかた→P.76

電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

Flash画像の操作について

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

- 再生中にエラーが発生した Flash 画像は保存することができません。
- バイブレータ振動が設定されているFlash画像を再生すると、「バイブレータ」の設定にかかわらず振動しますのでご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「◁⇔▷」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- 「設定・状態参照許可」を「許可する」に設定した場合は、端末情報データ（時刻、日付、受信レベル、電池残量、着信音量、使用言語、機種種別、機種情報）を利用することができます。

おしらせ

- Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、「効果音設定」を選択して「効果音OFF」に設定してください。なお、「バイブレータ」が「メロディ連動」に設定されていても、Flash画像の効果音には連動しません。
- 「画面表示設定」でFlash画像を待受画面などに設定した場合、Flash画像に設定されている効果音やバイブレータ振動は動作しません。また、「リプレイ」の機能は使えません。→P.145
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見え方と異なる場合があります。

マイメニューに登録する
〈マイメニュー〉

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
- マイメニューは最大45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページに簡単に接続するには、「ブックマーク」をご利用ください。

1 サイト画面（P.144）▶「マイメニュー登録」▶「iモードパスワード入力」のボックスを選択▶iモードパスワードを入力▶「決定」

iモードパスワードについて→P.149

おしらせ
- iMenuのメニュー／検索内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 [i]▶「iMenu」▶「マイメニュー」▶サイトを選択

iモードパスワードを変更する
〈iモードパスワード変更〉

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などをするときは、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
- ご契約時は、「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、iモードパスワードを変更してください。
- iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 [i]▶「iMenu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のボックスを選択▶現在のiモードパスワードを入力

入力した数字は「＊」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを入力

4桁の数字で入力してください。

4 「新パスワード確認」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを再度入力

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」

インターネットホームページを表示する
〈インターネット接続〉

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示します。
- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- フルブラウザでパソコン向けのインターネットホームページを表示することもできます。
- URLに入力できる文字数は、「http://」または「https://」を含めて半角256文字までです。

1 [i]▶「Internet」▶「URL入力」

「URL一覧画面」が表示されます。

URL一覧画面

機能メニュー➡P.150

2 「<新規入力>」▶URLを入力▶「OK」

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。

1 [i]▶「Internet」▶「URL入力」

2 URLを選択▶「OK」

■ 選択したURLを編集する場合

▶「Internetアドレス」のボックスを選択▶URLを編集

おしらせ
- URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。

機能 URL一覧画面（P.149）

マイショートカット貼付→P.101

iモードメール作成※……URLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

インターネットホームページやサイトを登録して素早く表示する 〈ブックマーク〉

よく見るインターネットホームページやサイトをすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。

- 登録したブックマークは、タイトルを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。

ブックマークに登録する

- ブックマークは、100件まで登録できます。
- 登録できるURLの文字数は、半角256文字までです。
- サイトによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

<例：サイト表示中の場合>

1 サイト画面（P.144）▶✉［機能］▶「Bookmark登録」▶「YES」▶フォルダを選択

おしらせ

- ブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。

ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する

1 i▶「Bookmark」

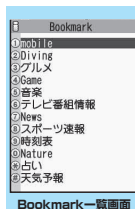
「Bookmarkフォルダ一覧画面」が表示されます。
シークレットモード、シークレット専用モードのときには、シークレットフォルダも表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.150

2 フォルダを選択

「Bookmark一覧画面」が表示されます。

3 ブックマークを選択

Bookmark一覧画面

機能メニュー➡P.151

機能 Bookmarkフォルダ一覧画面（P.150）

- お買い上げ時にすでにあるBookmarkフォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。追加作成できるフォルダは9個までです。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ並び替え……移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。

登録件数確認……すべてのフォルダ内のブックマークの件数を表示します。

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

microSDへ全コピー→P.246

フォルダ削除……フォルダとそのフォルダ内のブックマークを削除します。

Bookmark全削除……ブックマークをすべて削除します。ただし、ブックマークのフォルダは削除されません。

おしらせ

<登録件数確認>

- microSDフォルダ、シークレットフォルダ内の件数は表示されません。

機能 Bookmark一覧画面（P.150）

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、ブックマークをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

タイトル編集……タイトルを編集します。全角12文字、半角24文字まで入力できます。

マイショートカット貼付→P.101

iモードメール作成※1……URLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

メール添付※1……ブックマークを添付したiモードメールを作成します。

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

microSDへコピー→P.246

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

URLコピー……ブックマークのURLをコピーします。
▶でコピーする部分の先頭の文字の前にカーソルを合わせる▶■［始点］▶でコピーする部分の最後の文字まで反転▶■［終点］
コピーしたURLは文字入力（編集）画面に貼り付けることができます。→P.303

登録件数確認……フォルダ内のブックマークの件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

シークレットに保管⇔シークレットから出す※2……「各種データを表示できないようにする」→P.112

Bookmark情報表示※3……ブックマークの情報を表示します。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※3：microSDメモリーカードに保存されているブックマークのときのみ利用できます。

サイトの内容を保存する〈画面メモ〉

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存します。

- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量などにより変動します。

画面メモを保存する

1 サイト画面（P.144）▶✉［機能］▶「画面メモ保存」▶「YES」

おしらせ

- SSL対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。
- 同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
- サイト画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。
- データ取得完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。ただし、再生期限付きのiモーションや着うたフル®のデータ取得完了画面は、画面メモとして保存できません。

画面メモを表示する

1 ▶「画面メモ」

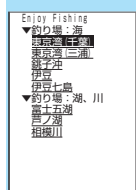
「画面メモ一覧画面」が表示されます。

画面メモ一覧画面

機能メニュー➡P.152

2 画面メモを選択

「画面メモ詳細画面」が表示されます。

画面メモ（画面メモ詳細画面）

機能メニュー➡P.152

おしらせ

- 画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。

機能 画面メモ一覧画面（P.151）

タイトル編集……タイトルを編集します。全角11文字、半角22文字まで入力できます。

保護／保護解除……画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「🔒」が表示されます。

保存件数確認……保存されている画面メモの件数と、その内、保護されている画面メモの件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

<保護／保護解除>
- 保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

機能 画面メモ詳細画面（P.151）

画像保存……画面メモに表示されている画像を保存します。→P.152

電話帳登録……画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P.76

タイトル編集……画面メモのタイトルを編集します。全角11文字、半角22文字まで入力できます。

保護／保護解除……画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「🔒」が表示されます。

iモードメール作成※……画面メモのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成することができます。

スケジュール参照登録……画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。

辞典検索……辞典を起動します。→P.290

URL表示……画面メモのURLを表示し、確認します。

証明書表示……画面メモがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

効果音設定……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（効果音ON／効果音OFF）を設定します。

リプレイ……画面メモのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

削除……画面メモを削除します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

有料コンテンツのダウンロードについて

サイトからダウンロードできる各種コンテンツ（画像やメロディ、着うたフル®など）の中には、有料のものがあります。有料コンテンツをダウンロードしようとしたときには、購入確認のメッセージおよびiモードパスワード入力画面が表示されます。

おしらせ

- iモードパスワードを入力してから、ダウンロードを開始するまでに2分以上経過していると、そのコンテンツのダウンロードはできません。再度iモードパスワードを入力してください。

サイトやメッセージから画像を取得する 〈画像保存〉

表示中のサイトや画面メモ、iモードメール、メッセージR／Fに表示または添付されている画像や背景画像、アニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示、サブディスプレイなどに設定できます。

- 画像はデコメピクチャやデコメ絵文字、イルミネーションに設定可能な画像など、撮影した静止画などと合わせて最大1,000件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

<例：サイトに表示されている通常画像を保存する場合>

1 サイト画面（P.144）▶✉［機能］▶「画像保存」▶「通常画像」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択

保存する画像に □ を合わせます。

■ 背景画像を保存する場合

▶「画像保存」▶「背景画像」▶「YES」▶フォルダを選択

2 「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合

▶「NO」

おしらせ

- 2in1のモードがデュアルモードまたはBモードのとき、「モード別待受画面設定」が「Aナンバーと同じ」以外に設定されている場合、保存した画像を待受画面に設定しても反映されません。2in1のモードがAモードのときやOFFのときの待受画面に設定されます。
- イルミネーションに設定可能なアニメーションを保存するときは、保存先のフォルダを選択することはできません。また、イルミネーションに設定可能なアニメーションを待受画面に設定することはできません。

サイトからメロディをダウンロードする 〈iメロディ〉

サイトから保存した最新のメロディやお好みのメロディ、またiモードメールに添付されているメロディを保存すると、着信音などに設定できます。

●メロディは最大200件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

<例：サイトからメロディを保存する場合>

1 サイト画面（P.144）▶メロディを選択

2 「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ メロディを再生する場合

▶「再生」

■ メロディの情報を表示する場合

▶「情報表示」

3 「YES」▶項目を選択

■ 着信音などに設定しない場合

▶「NO」

おしらせ

●ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。

サイトからきせかえツールをダウンロードする

サイトからきせかえツールのパッケージをダウンロードして保存します。

●きせかえツールのパッケージはお買い上げ時に登録されているデータを含めて最大100件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 サイト画面（P.144）▶きせかえツールのパッケージを選択

■ 取得を中止する場合

▶CLR

取得を再開するかどうかのメッセージが表示された場合は、取得を再開できます。

「NO」を選択すると取得したところまでを保存（部分保存）できます。

2 「保存」または「部分保存」▶「YES」

■ きせかえツールのパッケージを確認する場合

▶「プレビュー」

■ きせかえツールのパッケージの情報を表示する場合

▶「情報表示」

おしらせ

●お買い上げ時に登録されているきせかえツールを削除した場合は、PlayNow by SOからダウンロードできます。

「iMenu」▶「メニュー／検索」▶「ケータイ電話メーカー」▶「PlayNow by SO」

右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択してサイトに接続することもできます。

サイトから各種データをダウンロードする

辞書、デコメピクチャ、デコメテンプレート、キャラ電、トルカなど、各種データをサイトからダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用します。

●ダウンロードしたデータは、お買い上げ時に登録されているデータを含めて以下の件数まで保存できます。

- 辞書：最大5件
- デコメピクチャなどの画像：最大1000件
- デコメテンプレート：最大45件
- キャラ電：10件
- トルカ：最大100件

※ 実際に保存できる件数は、保存されているデータ量により少なくなる場合があります。

<例：サイトから辞書をダウンロードする場合>

1 サイト画面（P.144）▶データを選択▶「保存」▶「YES」

■ 辞書の情報を表示する場合

▶「情報表示」

■ 保存されている辞書がいっぱいの場合

▶削除する辞書を選択▶「YES」

選択した辞書に上書きされて、辞書が登録されます。

おしらせ

●お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、PlayNow by SOからダウンロードできます。

「iMenu」▶「メニュー／検索」▶「ケータイ電話メーカー」▶「PlayNow by SO」

右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択してサイトに接続することもできます。

おしらせ

- タイトルの無いデコメテンプレートは、タイトルが「YYYY/MM/DD hh:mm」となります(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)。
- 接続するサイトやデータのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。

Phone To/AV Phone To・Mail To・Web To機能を使う
〈Phone To/AV Phone To・Mail To・Web To機能〉

サイトのページやメールなどに表示されている情報(電話番号、メールアドレス、URL)を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、SMSを作成したり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示します。

- パソコンなどから送信されたメールやサイトによっては、ご利用できない場合があります。
- 電話番号、メールアドレス、URL以外でも、それらが登録された項目(「ご連絡先はこちら」など)を使って利用できる場合もあります。

Phone To/AV Phone To機能

サイトのページやメールなどに表示されている電話番号に電話をかけたり、SMSを作成します。

- 電話番号として使える桁数は26桁までです。

<例:サイトの画面で音声電話をかける場合>

1. **サイト画面(P.144)▶電話番号を選択**

   ■ 2in1のモードがデュアルモードの場合
   発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。

2. **「音声発信」**

3. **「発信」**

Mail To機能

サイトのページやメール、フルブラウザ画面に表示されているメールアドレスにメールを送信します。

- 保存メールがいっぱいのときは、Mail To機能を利用できません。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。
- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

<例:サイトの画面からメールを送信する場合>

1. **サイト画面(P.144)▶メールアドレスを選択**

2. **iモードメールを作成して送信→P.164**

Web To機能

サイトのページやメールなどに表示されているURLのインターネットホームページを表示します。

- URLとして使える文字数は半角512文字までです。

<例:サイトの画面から別のページを表示する場合>

1. **サイト画面(P.144)▶URLを選択**

位置情報を利用する

サイトなどで、位置情報が付加されているリンク先を選択し、その位置情報を利用します。

<例:サイトから利用する場合>

1. **サイト画面(P.144)▶位置情報が付加されているリンク先を選択▶以下の項目から選択**

   対応iアプリを利用……位置情報利用に対応したiアプリ(位置情報を利用できるiアプリ)の一覧を表示します。

   地図を見る……iモードサイトに接続し、位置情報から周辺地図などを表示します。

   メール貼り付け※……位置情報URLをiモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

   ※:2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

- 位置情報URLを本文に貼り付けた場合、位置情報URLの先頭に「 」が表示されます。
- 貼り付けられた位置情報URLは、メール本文の文字数にカウントされます。

iモード/iモーション/iチャネル

ｉモードの設定を行う

1 **[i]▶「ｉモード設定」**

「ｉモード設定画面」が表示されます。

ｉモード設定 1/2
①スクロール設定
②文字サイズ設定
③画像表示設定
④ｉモーション自動再生設定
⑤メッセージ自動表示設定
⑥添付ファイル自動再生設定
⑦設定・状態参照許可
⑧メッセージ一覧表示設定
⑨ホームURL設定
⓪効果音設定
㊀タブ開き方設定
#ｉモード設定確認

ｉモード設定画面

2 **以下の項目から選択**

スクロール設定……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの詳細画面のスクロールの速度やリンク先の表示を設定します。

速度設定（お買い上げ時：高速）……スクロール速度を「高速／低速」から選択します。

スクロール中のフォーカス表示（お買い上げ時：表示しない）……スクロール中にリンク先を反転させるかどうかを設定します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの一覧・詳細画面の文字サイズを「小／中／大／特大」から選択します。→P.100

画像表示設定（お買い上げ時：表示する）……サイトのページ、画面メモの詳細画面の画像を表示するかしないかを設定します。「表示しない」を設定した場合は、表示されない画像の代わりに「[画像]」のアイコンが表示されます。

ｉモーション自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）→P.160

メッセージ自動表示設定（お買い上げ時：メッセージR優先）……メッセージR／Fの自動表示のしかたを設定します。

添付ファイル自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）……メッセージR／Fを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。

設定・状態参照許可（お買い上げ時：許可する）→P.156

メッセージ一覧表示設定（お買い上げ時：2行表示）……メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。

ホームURL設定……ホーム表示を利用するための設定をします。「有効」に設定した場合、待受画面で[マナー]を押すと、登録したURLの画面が表示されます。URLは半角256文字まで入力できます。

無効（お買い上げ時）……ホーム表示設定を無効にします。

有効……ホーム表示設定を有効にします。ホームURL欄を選択して、登録したいURLを入力します。

効果音設定（お買い上げ時：効果音ON）……サイトのページや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

タブ開き方設定（お買い上げ時：裏で開く）……新しいウィンドウでページを開くとき、表示を切り替える（表で開く）か、元の表示を残したまま（裏で開く）にするかを設定します。

ｉモード設定確認……「ｉモード設定」で設定した内容を表示します。

ｉモード設定リセット……「ｉモード設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

<ホームURL設定>
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

<効果音設定>
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

接続待ち時間を設定する 〈接続待ち時間設定〉

サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 **[MENU]▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」▶以下の項目から選択**

60秒間……60秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。

90秒間……90秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。

無制限……自動的に接続を中止しません。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先選択〉

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

ｉモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。「ｉモード」以外の接続先に変更すると、ｉモードやｉモードメールをご利用できなくなります。

- 接続先は「ｉモード」のほかに10件まで登録できます。

1 **MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続先選択」▶「<未登録>」を反転▶ｉ［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

接続先名称……接続先名称を設定します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

接続先番号……接続先番号を設定します。半角99文字まで入力できます。

接続先アドレス……接続先アドレスを設定します。半角30文字まで入力できます。

接続先アドレス2……接続先アドレス2を設定します。半角30文字まで入力できます。

2 **それぞれの項目を設定▶ｉ［完了］**

おしらせ

- 「ｉモード」以外の接続先に接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 接続先変更をした場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 接続先変更後、ｉチャネルの情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、chを押してチャネル一覧を表示してください。

Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する〈設定・状態参照許可〉

Flash画像を動作させるときに端末情報データを利用するかどうかを設定します。

- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを画像が利用するためには、「ｉモード設定」の「設定・状態参照許可」を「許可する」に設定してください。お買い上げ時は、「許可する」に設定されています。なお、画像が利用する端末情報データには以下のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 日付時刻情報
  - 着信音量設定
  - バイリンガル設定
  - 機種情報

1 **ｉモード設定画面（P.155）▶「設定・状態参照許可」▶「許可する」または「許可しない」**

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効の設定をします。

1 **MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」**

2 **証明書を選択▶証明書を確認**

■ SSL証明書を有効または無効に設定する場合
▶証明書を反転▶✉［機能］▶「有効／無効設定」

おしらせ

- 「有効」に設定すると「　」が表示されます。「無効」に設定すると「　」が表示されます。
- 「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応ページが表示できなくなります。

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスを契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

FirstPassセンターに接続する

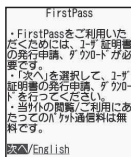
ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。

- FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、ダウンロードができます。
- FOMAカード(青色)ではご利用になれません。
- 海外ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.47
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

1 **[i]▶「ユーザ証明書操作」▶内容を確認▶「次へ」**

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。

次へ/English

2 **「証明書発行」**

■ **失効申請をする場合**

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 **内容を確認▶「実行」**

4 **PIN2コードを入力**

PIN2コードについて→P.108

5 **メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」▶「メニュー」**

確認のメッセージが表示されます。
ダウンロードが完了したら、FirstPassのメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。

おしらせ

- FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
  - iモードメールの送受信(SMSの送受信は利用可)
  - iモード問い合わせ(SMS問い合わせは利用可)
  - メッセージR/Fの受信
  - メールの添付ファイルを手動で取得
  - Web To機能
- ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
- ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。
- 失効が完了した後にFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1 **サイト画面(P.144)▶ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」▶PIN2コードを入力**

おしらせ

- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルに含まれます。
- フルブラウザでもFirstPassをご利用できます。ただし、フルブラウザでFirstPass対応サイトに接続する際のパケット通信料は、パケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの対象外となります。
- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できる場合がありますが、お客様の個人情報(クレジットカード番号、連絡先など)を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択し、FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

■FirstPassご利用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPass を利用することにより、サイト側がFOMA端末側を認証するクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のFOMA SO705i用CD-ROMに収録されているFirstPass PCソフトが必要です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。
  お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
  ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」を参照願います。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、FirstPassについて画面に表示される「ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード（P.108）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirst-Pass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」

2 「<未登録>」を反転▶i［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

初期画面URL……接続先の初期画面のURLを設定します。半角100文字まで入力できます。

接続先番号……接続先番号を設定します。半角99文字まで入力できます。

3 それぞれの項目を設定▶i［完了］

おしらせ

- 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、機能メニューから「削除」を選択します。

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトからFOMA端末に取得します。また、iモーションを着信音に設定することもできます。着モーション→P.88

● iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※）（最大10Mバイトまで）	データ取得後に再生	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中に再生	iモーションのデータを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）（最大10Mバイトまで）	データ取得中に再生	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生し終わったデータは破棄されるので、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※：iモーションによっては、保存できない場合があります。

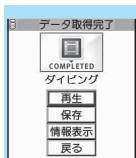
サイトからｉモーションを取得する 〈ｉモーション取得〉

1 サイト画面（P.144）▶ｉモーションを選択

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

■ 取得を中止する場合
▶CLR

2 「再生」

取得したｉモーションを再生します。
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.272

データ取得完了画面

機能メニュー➡P.159

おしらせ

- 接続するサイトやｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- 標準タイプの場合は、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- ｉモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションについては、再生することができません。
- 取得したｉモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
- 電波状況により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。

機能 データ取得完了画面（P.159）

画面メモ保存……データ取得完了画面を画面メモに保存します。→P.151

証明書表示……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

おしらせ

- ｉモーションは、データ取得完了画面を「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。
  ただし、以下のｉモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ストリーミングタイプのｉモーション
  - データが不完全なｉモーション

ｉモーションを保存する

- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションはカメラでの撮影動画とあわせて最大100件まで保存できます。ｉモーションの保存可能件数は、各種データの保存容量によって変動します。
- ｉモーションのフォルダについて→P.224

1 データ取得完了画面（P.159）▶「保存」▶「YES」

■ 保存を中止する場合
▶「NO」
保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

2 フォルダを選択

おしらせ

- タイトルが付いていないｉモーションは一覧で「movieXXX」（XXXは数字）と表示されます。

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認します。

1 データ取得完了画面（P.159）▶「情報表示」

ｉモーション情報画面が表示されます。[↕]で画面をスクロールし、再生できる残りの回数、再生期限、再生期間制限などの情報を確認します。

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する
〈ｉモーション自動再生設定〉

●以下のときに、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。
・サイト画面からｉモーションを取得したとき
・ｉモーション取得完了画面の画面メモを表示したとき

●「ｉモーション自動再生設定」は、標準タイプのｉモーションのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのｉモーションは、本設定にかかわらず自動再生されます。
ｉモーションのタイプについて→P.158

1 ｉモード設定画面（P.155）▶「ｉモーション自動再生設定」▶以下の項目から選択

自動再生する（お買い上げ時）……ｉモーションを取得した後、自動再生します。一部のｉモーションは、データを取得しながら再生します。

自動再生しない……ｉモーションを取得しても、自動再生せずにｉモーション取得完了画面を表示します。

ｉチャネルとは

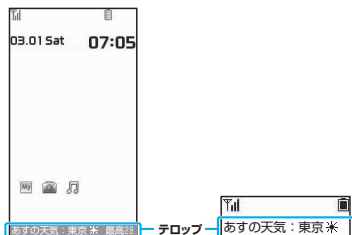
ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタン（ch）を押すことでチャネル一覧に表示されます（P.161）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があり、「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関しては、配信される情報の自動更新にパケット通信料はかかりません。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。ただし、「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する場合は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

また、国際ローミング中のベーシックチャネルに関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれませんのでご注意ください。

ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● 待受画面／サブディスプレイのテロップ表示について

ｉチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面やサブディスプレイに情報がテロップ表示されます。
●ｉチャネル情報を受信中は が点滅します。
●「ｉチャネル設定」でテロップ表示の設定ができます。→P.161

おしらせ

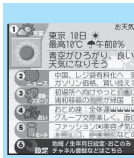
●待受画面にｉモーションやｉアプリ待受画面を設定していても、テロップは表示されます。また、セルフモード設定中でもテロップは表示されます。
●FOMAカード未挿入時、公共モード（ドライブモード）設定中、省電力モード時は、テロップは表示されません。

チャネル一覧からサイトを表示する

チャネル一覧を表示し、ｉチャネルの情報サイトにアクセスします。
チャネル一覧には「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」を合わせて最大15件まで表示することができます。

1 待受画面表示中▶ch

「チャネル一覧画面」が表示されます。

■ ｉモードメニューからの表示方法
▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」

チャネル一覧画面

機能メニュー➡P.161

2 チャネル項目を選択

おしらせ

- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信ランプも点滅しません。

機能 チャネル一覧画面（P.161）

マイショートカット貼付→P.101

リプレイ……チャネル一覧画面を最初から表示します。

効果音設定……チャネル一覧画面の効果音を鳴らすかどうか（効果音ON／効果音OFF）を設定します。

ウィンドウ操作

新ウィンドウで開く……「マルチウィンドウで表示する」→P.148

ウィンドウを閉じる……表示中のｉチャネルのウィンドウを閉じます。

ウィンドウ切替……複数のページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。

おしらせ

- チャネル一覧画面で設定した「効果音設定」は、「ｉモード設定」の「効果音設定」に反映されます。

ｉチャネルの設定を行う
〈ｉチャネル設定〉

待受画面にｉチャネル情報をテロップ表示するかしないかを設定します。また、テロップ表示するときのスクロール速度やテロップ色や文字サイズを設定します。

- 背面設定を「ON」にした場合、以下のように表示されます。
  - テロップ表示設定を「表示する」に設定したときは、新しい情報を受信したときや、FOMA端末を折り畳むたびにサブディスプレイにテロップが2回表示されます。
  - テロップ表示設定が「受信時のみ表示する」のときは、新しい情報を受信したときにサブディスプレイにテロップが2回表示されます。
  - サブディスプレイにテロップを表示している間は、省電力モードになりません。

1 ｉ▶「ｉチャネル」▶以下の項目から選択

ｉチャネル一覧……チャネル一覧を表示します。

ｉチャネル設定

テロップ表示設定（お買い上げ時：表示する、OFF）……待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかしないか（表示する／受信時のみ表示する／表示しない）を設定します。
「表示する」または「受信時のみ表示する」を選択した場合は、さらにFOMA端末を折り畳んでいるときにサブディスプレイに表示するかしないか（ON／OFF）を設定します。

テロップ速度設定（お買い上げ時：標準）……テロップ表示するときのスクロール速度を「標準／高速／低速」から選択します。

テロップカラー設定※……テロップ色を「ホワイト／イエロー／ブルー／レッド／グリーン」から選択します。
※：項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのテロップ色がディスプレイに表示されます。

テロップ文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……テロップを表示するときの文字サイズを「小／中／大」から選択します。→P.100

ｉチャネル初期化……ｉチャネル設定をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

- FOMAカード未挿入時やお買い上げ時（ｉチャネル初期化時）、公共モード（ドライブモード）設定中の場合などは、ｉチャネルの設定を変更できません。

おしらせ

<テロップ表示設定>

- ｉチャネル解約前にｉモード解約を行った場合や、ｉチャネル解約後は、テロップ表示設定はそのままになりますが、テロップは自動的に表示されなくなります。
- 2in1のモードごとに設定を記憶します。

<ｉチャネル初期化>

- 初期化後は、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

メール

ｉモードメールとは

FOMA端末はｉモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。
ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。
- ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。→P.189、190

● ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（JPEG形式の画像、トルカなど）を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんお買い上げ時に登録されているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

メール

ｉモードメールを作成して送信する　〈ｉモードメール作成・送信〉

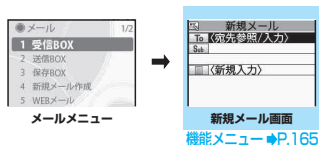
ｉモードメールを新規に作成して送信します。
- メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きを付けたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメールについて→P.166
- 送信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大500件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 [メール]▶「新規メール作成」

メールメニュー

➡

新規メール画面

機能メニュー➡P.165

「新規メール画面」が表示されます。

2 「To <宛先参照／入力>」▶宛先を入力

宛先の入力方法を選択し、宛先を入力します。

■ **電話帳から参照する場合**
▶「電話帳」▶参照先を検索（P.79）▶電話帳詳細画面で宛先を選択

■ **アドレス一覧から参照する場合**
▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択

■ **メールメンバーから参照する場合**
▶「メールメンバー」▶メールメンバーを選択
メールメンバーについて→P.170

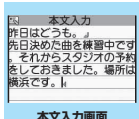
■ **宛先を直接入力する場合**
▶「直接編集」▶宛先を入力
宛先は半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
宛先を入力すると、入力した宛先欄の下に新たな宛先欄が追加されます。追加された宛先欄に別の宛先を入力し、一度に複数の宛先にメールを送信することができます（同報送信）。宛先は5件まで入力できます。

3 「Sub」▶題名を入力

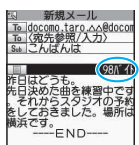
「題名入力画面」が表示されます。
全角100文字、半角200文字まで入力できます。

4 「[本文] <新規入力>」▶本文を入力

全角5,000文字まで入力できます。
本文編集中に改行することができます。文末では[改行]を押しても改行できます。「[改行マーク]」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
デコメールを作成することもできます。→P.166
デコメテンプレートを利用してデコメールを作成し送信することもできます。→P.167

本文入力画面

機能メニュー➡P.166、300

5 [i]［送信］

本文を入力すると、本文欄右上に本文のバイト数が表示されます。
メール送信中はアニメーション画面が表示されます。
送信後、「OK」を選択するとメールメニュー画面に戻ります。

■ **送信を途中で中止する場合**
▶[ch]［中止］または[CLR]（1秒以上）
ただし、タイミングによりｉモードメールが送信されることもあります。

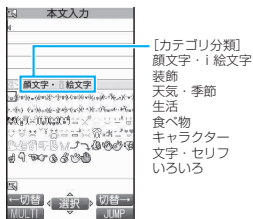
■ **再度送信の要求がある場合**
▶「YES」

● デコメ絵文字の入力について

デコメ絵文字とは、動く絵文字をはじめ一定の条件を満たす画像のことです。FOMA SO705iでは、デコメ絵文字をカテゴリ別に分類しているので、目的のデコメ絵文字を素早く入力できます。

- デコメ絵文字は、お買い上げ時に登録されているものだけでなく、サイトからダウンロードすることもできます。→P.153
- デコメ絵文字を入力したメールは、デコメールとして扱われます。

■デコメ絵文字の入力

本文入力画面でch［絵/記］を1秒以上押すと、カテゴリ別の絵文字D（デコメ絵文字）入力画面が表示されます。で囲み枠を移動し■［選択］を押すとデコメ絵文字が入力されます。

［その他のボタン操作］

✉［←切替］：前のカテゴリを表示
i［切替→］：次のカテゴリを表示
ch［JUMP］：カテゴリ一覧を表示
CLR：デコメ絵文字入力の終了

● 電話帳の画面からｉモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを表示して■［MAIL］を押すと、表示したメールアドレスが宛先に貼り付けられた新規メール画面が表示されます。
電話帳の検索のしかた→P.79

● WEBメールについて

メールメニュー（P.164）で、「WEBメール」を選択すると、WEBメールサイトに接続し、2in1※のBアドレスからメールの作成や送信が行えます。

※：2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

おしらせ

- 送信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを送信したとき、古い送信メールから順に削除されます（保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
- 受信側の機種によっては、題名の一部を受信できない場合があります。

おしらせ

- 題名や本文に絵文字を使用して他の携帯電話会社の機器に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。また、送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 2in1のモードがBモードの場合は、ｉモードメールを作成・送信できません。

機能 新規メール画面（P.164）

送信……ｉモードメールを送信します。

保存→P.169

宛先削除……入力した宛先が2件以上の場合に、選択している宛先を削除します。

宛先タイプ変更……宛先を反転した状態で宛先のタイプを変更します。

- **To**……送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。
- **Cc**……同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。
- **Bcc**……同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。

デコメテンプレート→P.167

添付ファイル追加……ｉモードメールにメロディ、画像、ｉモーションなどの各種ファイルを添付します。→P.168

カメラ起動……カメラ機能を起動して静止画または動画を撮影します。

- **フォトモード**→P.131
- **ムービーモード**→P.134

添付ファイル削除・添付ファイル全削除……添付ファイルを1件削除または全削除します。

冒頭文貼付……メールの本文に冒頭文を貼り付けます。

署名貼付……メールの本文に署名を貼り付けます。

本文消去……編集中のメールの本文を消去します。

メール削除……編集中のメールを削除します。

おしらせ

<宛先タイプ変更>
- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

機能 本文入力画面（P.164）

- 下記の項目以外については、「文字入力（編集）画面」の機能メニュー（P.300）を参照してください。

デコレーション……「デコレーションメニューの種類」→P.166

範囲選択……範囲選択した文字の装飾やコピー、切り取りができます。→P.302

プロパティ……本文に挿入した画像の左にカーソルがあるときに、ファイル名、ファイルサイズを表示します。

プレビュー……本文のプレビュー画面を表示します。

デコメールを作成する〈デコメール〉

デコメールとは、ｉモードメール本文に、文字色や文字サイズ、背景色を変更する、文字に動きをつける、画像を挿入するなど、各種の装飾（デコレーション）することによって、表現力豊かなメールにしたものです。
- メール本文をデコレーション（装飾）すると、装飾していないｉモードメールに比べて、入力できる文字数が少なくなります。
- 文字を装飾する場合、装飾しながら文字を入力する方法と、入力済みの文字を装飾する方法があります。

1 本文入力画面（P.164）▶[発信]▶[方向キー]で囲み枠を移動しデコレーションメニューを選択

「デコレーションメニュー」が表示されます。→P.166

デコレーションメニュー

■ 装飾しながら文字を入力する場合

デコレーションメニューを選択後は、装飾された文字が入力されます。

■ 入力済みの文字を装飾する場合

デコレーションメニューの[変更]を選択し、装飾する範囲を指定してから装飾するメニューを選択すると、範囲指定した文字が装飾されます。

2 デコレーションメニューを閉じるときは[メール]［閉］

おしらせ

- 受信したデコメールを引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
- メール送信できない画像が含まれたデコメールを引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。
- デコメール非対応機種や下記機種※以外のデコメール対応機種に10,000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によっては本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。

※：905iシリーズ、904iシリーズ、903iシリーズ、705iシリーズ、704iシリーズ（P704iμを除く）、703iシリーズ（P703iμを除く）、F801i

● デコレーションメニューの種類

- 行単位で行われる機能（テロップ／スウィング／ライン挿入／文字の表示位置）は、メニューを選択すると自動的に改行されます。
- 複数の装飾を組み合わせて装飾することもできます（例：文字色と文字サイズを変更して点滅させるなど）。

メニュー	説明
[文字色]	文字色を変更します。色は25色パレット／256色パレットから選択することができます。 <25色パレット>
[文字サイズ]	文字サイズを[大]／[標準]／[小]（大／標準／小）から選択します。
[画像挿入]※1	マイピクチャのフォルダから挿入する画像を選択します。

メニュー	説明	
[A]／[A]／[A]	文字を「点滅／右から左へ移動（テロップ表示）／右左往復（スウィング表示）」させます。	
	[A開始] [A終了]※1	装飾を「開始」または「終了」します。
	[設定] [解除]※2	指定した範囲の装飾を「設定」または「解除」します。
[≡]	文字の表示位置を[≡]／[≡]／[≡]（左寄せ／中央／右寄せ）から選択します。	
[≡]※1	ラインを挿入します。	
[▦]※1	本文の背景色を変更します。 文字色の変更と同様、カラーパレットから背景色を選択します。	
[Undo]	入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。	
[変更]※1	すでに入力した文字の装飾、または装飾の変更／解除を行います。	
[解除]※2	装飾を解除します。	
[全解除]※1	すべての装飾を解除します。	
[🔍]	設定した装飾をプレビュー画面に表示します。	

※1：[変更]を選択したときのデコレーションメニューでは利用できません。
※2：[変更]を選択したときのデコレーションメニューでのみ利用できます。

おしらせ

＜文字色／背景色の変更＞
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。元の色に戻したいときは「[変更]」を選択し、戻す範囲を指定して「[解除]」を選択してください。ただし、デコメ絵文字には文字色の指定が反映されません。

＜文字サイズの変更＞
- デコメ絵文字のサイズは変更できません。

＜画像挿入＞
- メール本文のバイト数や添付ファイルのファイルサイズに関係なく、最大20種類、90Kバイトまでの JPEG形式またはGIF形式の画像やデコメ絵文字を挿入することができます（ファイルサイズによって、最大件数は変動します）。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度保存や送信をした後で再編集して挿入した場合は、別途1件として扱われます。
- アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。

＜文字の点滅／テロップ表示／スウィング表示＞
- 点滅、テロップ、スウィングの動作は、一定の時間が経過すると停止します。

おしらせ

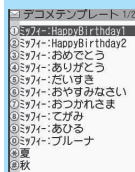
＜本文編集＞
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押した場合は、装飾データも含めてすべての文字が削除されます。

デコメテンプレートを利用してデコメールを作成する
〈デコメテンプレート〉

デコメテンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。デコメテンプレートを利用すると、簡単にデコメールを作成できます。
- デコメテンプレートは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.153
- 以下のような場合にデコメテンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
  - すでにメール本文が入力されている場合
  - 冒頭文・署名が自動挿入されている場合
  - 添付ファイルがある場合

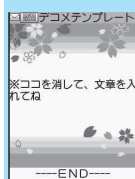
1 [✉]▶「デコメテンプレート」

「デコメテンプレート一覧画面」が表示されます。

■ iモードでデコメテンプレートを検索する場合
▶「iモードで探す」
▶「YES」

デコメテンプレート一覧画面

機能メニュー➡P.168

2 デコメテンプレートを選択

「デコメテンプレートプレビュー画面」が表示されます。
- プレビュー表示中は[◻]を押してほかのデコメテンプレートに表示を切り替えることができます。

デコメテンプレートプレビュー画面

機能メニュー➡P.168

メール

次ページにつづく

3 [i] ［MAIL］▶本文を編集

■ 新規メール画面（P.164）からデコメテンプレートを利用する場合

▶[✉]［機能］▶「デコメテンプレート」▶「デコメテンプレート読込み」▶デコメテンプレートを選択

デコメテンプレートを保存する

作成したデコメールをデコメテンプレートとして保存します。

- デコメテンプレートは最大45件まで保存することができます。
- 挿入画像以外の添付ファイルは削除して保存されます。
- デコメテンプレートは、メールメニューの「デコメテンプレート」に保存されます。

1 本文が装飾された新規メール画面▶[✉]［機能］▶「デコメテンプレート」▶「デコメテンプレート保存」▶「YES」

おしらせ

- 作成中のメールの題名がデコメテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

機能 デコメテンプレート一覧画面（P.167）

ｉモードメール作成……デコメテンプレートを利用してデコメールを作成します。→P.167

ソート……選択した条件に従ってデコメテンプレートを並び替えます。

タイトル編集……デコメテンプレートのタイトルを編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

情報表示……デコメテンプレートのサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。

保存件数確認……デコメテンプレートの保存件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

機能 デコメテンプレートプレビュー画面（P.167）

ｉモードメール作成……デコメテンプレートを利用してデコメールを作成します。→P.167

編集……デコメテンプレートを編集します。

挿入画像保存……デコメテンプレートに挿入されている画像を選択し、マイピクチャのフォルダに保存します。保存後、待受画面などに設定できる画像の場合、設定するかしないかを選択できます。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合、デコメテンプレートは利用できません。

<編集>

- 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

ファイルを添付する 〈添付ファイル〉

ｉモードメールにファイルを添付して送信します。

- 以下のファイルを添付できます。
  - 静止画、画像
  - SWF形式のFlash画像
  - 動画、ｉモーション
  - メロディ
  - トルカ、トルカ（詳細）
  - 電話帳のデータ
  - マイプロフィールの登録データ
  - スケジュールまたはTo Doリストの登録データ
  - Bookmark
  - microSDメモリーカード内のその他ファイル

1 新規メール画面（P.164）▶[ch]［添付］▶以下の項目から選択

イメージ・ｉモーション・メロディ……本体のフォルダか、microSDフォルダを選択後、添付するファイルを選択します。
保存先（本体・microSD）によって、フォルダを選択する回数は異なります。

トルカ……本体のフォルダか、microSDフォルダを選択後、添付するファイルを選択します。
保存先（本体・microSD）によって、フォルダを選択する回数は異なります。

電話帳……本体の電話帳か、microSDメモリーカードの電話帳を選択後、電話帳を検索（microSDの場合はフォルダを選択）して、添付するファイルを選択します。
電話帳の検索のしかた→P.79

マイプロフィール……マイプロフィールのデータを添付します。

スケジュール……スケジュールかTo Doリストを選択後、添付するファイルを選択します。

Bookmark……本体（ｉモード・フルブラウザ）のブックマークか、microSDメモリーカードのブックマークを選択後、添付するファイルを選択します。

メール

その他……microSDメモリーカード内のその他ファイルのデータを選択します。

■ mova端末へ画像をｉショットとして送信する場合

画像を添付したメールをmova端末へｉショットとして送信できます。
mova端末へ送信する場合､添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。また、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
mova端末へ送信する場合､相手側が受信文字数設定をしていないときは、相手が受信できる本文は最大全角184文字（369バイト）になります。相手側が受信文字数設定をしているときは、相手が受信できる本文はｉショットのURL（画像の保管先）を含み全角2,000文字までになります。

2 ｉモードメールを作成して送信

■ 添付したファイルを確認する場合

▶ファイルを選択
100Kバイトを超えるメロディ、SWF形式のFlash画像は再生できません。

■ 添付したファイルを削除する場合

▶ファイルを反転▶✉［機能］▶「添付ファイル削除」▶「YES」
すべての添付ファイルを削除する場合は、「添付ファイル全削除」を選択します。

これ以降の詳しい操作手順については、「ｉモードメールを作成して送信する」（P.164）をご覧ください。

おしらせ

- ｉモードメールには、メール本文のバイト数や挿入画像のファイルサイズに関係なく、最大10件、2Mバイトまでのファイルを添付することができます（ファイルサイズによって、最大ファイル数は変動します）。なお、トルカの添付は1件につき、トルカは1Kバイト、トルカ（詳細）は100Kバイトまでです。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、添付することができません。
- カメラで撮影した静止画や動画の場合、「ファイル制限」が「あり」に設定していても添付することができます。
- 受信側の端末が対応していない添付ファイルを送信した場合、添付ファイルがｉモードセンターで自動的に削除される場合があります。その場合、メール本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- 「イメージ」で横320×縦240、横240×縦320ドットを超える画像を選択した場合は、「画像添付」が表示され、「そのまま添付」「QVGA縮小添付」から選択することができます。

おしらせ

- 送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
- ｉモーションメール（ｉモーションを添付したｉモードメール）に対応していない端末にｉモーションメールを送信した場合、受信側にはｉモーション閲覧用URL付メールが送信され、その閲覧用URLを選択することによりｉモーションを閲覧することができます。
- ｉモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、正しく受信や表示がされなかったり、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。なお、下記機種※以外に送信する場合は、動画撮影時の「ファイルサイズ設定」を「500KB以下」、「画像サイズ選択」を「QCIF（176×144）」、「記録品質設定」を「高品質」に設定することをおすすめします。
  ※：905iシリーズ、904iシリーズ、903iシリーズ、705iシリーズ、704iシリーズ（P704iμを除く）、703iシリーズ（P703iμを除く）、F801i
  動画の再生について→P.232
- 受信側がFOMA SO705i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

ｉモードメールを保存しておき、後で送信する

〈ｉモードメール保存〉

作成中のメールを、FOMA端末に一時保存しておき、後で保存しているメールを編集して送信します。

ｉモードメールを保存する

- SMSと合わせて最大50件まで保存できます。
- 保存メールがいっぱいのときは、メールを作成することができません。

1 新規メール画面（P.164）▶✉［機能］▶「保存」

編集されていないメールは保存できません。

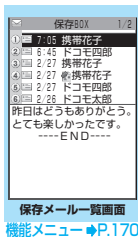
保存したｉモードメールを送信する

1 ✉▶「保存BOX」

「保存メール一覧画面」が表示されます。

保存メール一覧画面

機能メニュー➡P.170

メール

② メールを選択▶宛先、題名、本文を編集して送信

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合は、保存メール一覧画面を表示できません。

機能 保存メール一覧画面（P.169）

一覧表示切替……メールの一覧表示のしかたを「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

microSDへコピー→P.246

保存件数確認……保存BOX内のメールの件数を表示します。

お預りセンターに保存→P.183

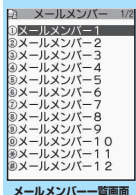
削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

宛先をメールメンバーに登録する

メールメンバーを登録することにより、メールメンバーを指定するだけで簡単に複数の宛先を入力できます。

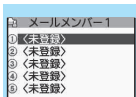
- メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

① MENU▶「ユーザデータ」▶「メールメンバー」

「メールメンバー一覧画面」が表示されます。

メールメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.170

② メールメンバーを選択

「メールメンバー詳細画面」が表示されます。

メールメンバー詳細画面

機能メニュー➡P.170

③ 「<未登録>」を反転▶i［編集］▶メールアドレスを入力

メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。

機能 メールメンバー一覧画面（P.170）

iモードメール作成……メールメンバーを宛先に貼り付けたiモードメールを作成します。

メンバー名編集……メールメンバー名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

メンバー名初期化……メールメンバー名をお買い上げ時の状態に戻します。

機能 メールメンバー詳細画面（P.170）

アドレス編集……メールアドレスを編集します。

アドレス参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してメールアドレスを入力します。

1件削除・全削除……メールメンバーを1件または全削除します。

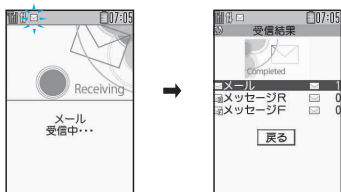
iモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールやメッセージR／Fが送られてきます。

- 受信メール（iモードメールとSMS）は、最大1,000件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- 受信したメールは読み上げることもできます。→P.176

受信時の自動表示動作
〈メール・メッセージ自動受信〉

[1] メールやメッセージの受信がはじまると「受信中画面」が表示され、受信が終了すると「受信結果画面」が表示されます。

➡

●メール受信中は「✉」が点滅し、受信が終了すると、「✉」が点灯表示に変わります。
●メッセージ受信中は「R」または「F」が点滅します。

[2] 受信結果画面には、受信したメール、メッセージR／Fの件数が表示されます。

●メールの件数には、SMSの件数も含まれます。
●受信結果画面でメールやメッセージを選択すると、受信メール一覧画面（P.177、179）やメッセージ一覧画面（P.187）が表示されます。
●受信結果画面表示中に、何も操作しないで約15秒間経過するとメールの場合は元の画面に戻り、メッセージの場合は詳細画面が表示されます。表示時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。
●受信結果画面表示中に、[i]［読上げ］を押すと、メール本文が読み上げられます。→P.176
●メッセージR／Fの「詳細画面」が自動表示されるのは、待受画面表示中に受信した場合です。
●メッセージ詳細画面表示中に何も操作しないで約15秒間経過すると、待受画面に戻ります。ただし、スクロールなどの操作をすると、詳細画面は表示され続けます。
●メッセージR／Fの詳細画面の自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。

■ 100Kバイトを超えたメールを受信した場合

メール本文と挿入画像と添付ファイルの容量の合計が100Kバイトを超えるときは、メール受信時に添付ファイルを自動で受信することができません。この場合、後から手動で取得する必要があります。
100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P.174

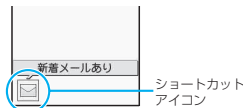
おしらせ

●受信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを受信したとき、既読の古い受信メールの順に削除されます（未読または保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
●FOMA端末がこれ以上メールを受信できない（未読または保護されているメールでいっぱい）場合、✉（赤色）／📱（赤色）が表示されます。未読のメールを読むか、いらないメールの保護を解除してください。
●2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、設定していないモードのアドレス宛てにのみメールを受信するとメール受信中の画面が表示された後、受信結果画面や「✉」は表示されません。また、メールの着信音も鳴りません。
●To、Cc、Bccを設定できる端末からｉモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.177、180

おしらせ

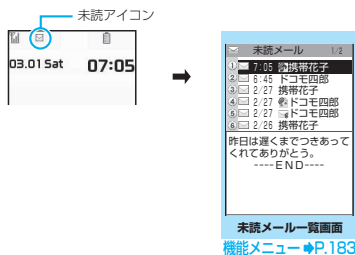
●待受画面以外を表示しているときにｉモードメールを受信した場合で、「受信時動作設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
●mova端末から送信されたｉショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

新着メールを表示する

1 待受画面表示中▶[■]▶「✉」を選択

■ 未読メールの一覧を表示する場合

▶待受画面表示中▶[■]▶[✥]で「✉」を選択
「未読メール一覧画面」が表示されます。

未読メール一覧画面

機能メニュー➡P.183

おしらせ

●表示できない文字はスペースで表示されます。
●ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
●受信するｉモードメールのサイズが料金＆お申込・設定の「メールサイズ制限」で設定したサイズ（データ量）を超えた場合、貼り付けデータはｉモードセンターで削除され、再取得はできません。
●パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信した場合、その装飾が正しく表示されないことがあります。

ｉモードメールを選択して受信する〈メール選択受信〉

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

- メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ＯＮ」に設定します。なお、「ＯＮ」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

メールが届いたときは

ｉモードセンターにメールが保管されている旨のメッセージと、「 」アイコンが画面上部に表示されます。メッセージを確認し、いずれかのボタンを押すとメッセージとアイコンが消えます。

メールを選択受信する

1 ▶「メール選択受信」

メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。

- ▶「ｉMenu」▶「メニュー／検索」▶「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メールメニュー画面に戻ります。

2 メールごとに項目を選択して設定

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままｉモードセンターに保管されます。
「ｉモード問い合わせ」などで受信してください。

■ メールをすべて削除する場合

▶ページの一番下にある「削除」▶「決定」

■ ページが複数ある場合

▶「前ページ」または「次ページ」▶ページを前後に移動して選択受信

2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。
「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

：画像ファイルが添付
：メロディファイルが添付
：ｉモーションが添付
：トルカが添付
：その他ファイルが添付

3「受信／削除」▶「決定」

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

■ 選択受信を中止する場合

▶「キャンセル」

■ ページが複数ある場合

ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、ｉモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定した場合でも「ｉモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「ｉモード問い合わせ設定」で「メール」のチェックを外してご利用ください。
- メール選択受信画面を表示すると、メールを受信、削除しなくても「 」のアイコンは消灯します。
  また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「 」のアイコンは消灯します。
- 2in1のモードがBモードの場合は、メール選択受信を起動できません。

ｉモードメールやメッセージがあるかどうかを問い合わせる〈ｉモード問い合わせ〉

FOMA端末が受信できなかったｉモードメールやメッセージは、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールやメッセージを受信することができます。

- ｉモードセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - FOMA端末の電源が入っていないとき
  - 「圏外」のとき
  - 受信BOXが満杯のとき
  - 「メール選択受信設定」が「ON」のとき
  - テレビ電話中／遠隔監視中
  - セルフモード設定中
  - FirstPassセンター接続中
- 問い合わせる項目は「ｉモード問い合わせ設定」で設定します。

メール

1 ✉（1秒以上）

メール問い合わせ画面が表示されます。

以下の手順でも、iモード問い合わせは行えます。

- i▶「iモード問い合わせ」
- ✉▶「iモード問い合わせ」

■ **問い合わせを中止する場合**

▶問い合わせ中にch［中止］またはCLR（1秒以上）

中止したタイミングにより受信することがあります。

2 **新しく受信したiモードメールとメッセージR／Fの件数を確認▶「戻る」**

おしらせ

- 電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。
- iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」のときにセンターに届いた場合などは、「」のアイコンが表示されないことがあります。
- iモードセンターでのメッセージR／Fそれぞれの最大保管件数は300件、最大保管期間は72時間です。最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

iモードメールに返事を出す 〈iモードメール返信〉

iモードメールの送信元に返信します。受信したiモードメールの本文を引用して返信することもできます。

1 **受信メール一覧画面（P.179）／受信メール詳細画面（P.180）▶i［返信］**

■ **本文を引用して返信する場合**

▶✉［機能］▶「引用返信」

受信メール詳細画面でのみ選択できます。

引用符（お買い上げ時は「>」）が、引用返信するメールの本文の先頭に1つだけ付きます。

引用符を編集するには→P.186

■ **複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合**

▶「返信」または「引用返信」▶「送信元へ」

■ **複数の宛先があるメールの送信元とすべての宛先に返信する場合**

▶「返信」または「引用返信」▶「すべてへ」

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

2 **題名、本文を編集▶i［送信］**

送信が終了すると「」が「」に変わります。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bアドレス宛てのiモードメールに返信または引用返信できません。
- メール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。

iモードメールをほかの宛先に転送する 〈iモードメール転送〉

受信したiモードメールをほかの人に転送します。

1 **受信メール詳細画面（P.177、180）▶✉［機能］▶「転送」▶「To <宛先参照／入力>」▶宛先を入力**

送信する前に、題名、本文を編集できます。

2 **i［送信］**

送信が終了すると「」が「」に変わります。

おしらせ

- メールへの添付が禁止されているファイルや、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- メール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。
- 取得が完了していない添付ファイルが存在する場合、そのファイルは添付されません。→P.174
- 2in1のモードがBモードの場合は、メールを転送できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、Bアドレス宛てのメールを転送すると、Aアドレスのメールとして送信されます。

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録します。
- 受信SMSの場合は、送信元の電話番号が電話帳の電話番号に登録されます。

<例:送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合>

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶✉［機能］▶「アドレス登録」

■ 登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合
▶メールアドレスを選択する画面で登録したいメールアドレスを選択

■ メールの本文のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合
▶メール詳細画面▶登録するメールアドレスまたは電話番号を反転▶✉［機能］▶「電話帳登録」

2 「YES」▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」
電話帳の登録のしかた→P.76

選択受信添付ファイルを取得する

メール本文と挿入画像と添付ファイルの容量の合計が100Kバイトを超えるときは、メール受信時に添付ファイルを自動で受信することができません。この場合、後から手動で取得する必要があります。
- 「添付ファイル優先受信設定」で、チェックを外している種類のファイルについても、同様に手動で取得する必要があります。
- 受信メール詳細画面で、添付ファイルの取得を行っていない場合は「📎」のアイコンが、途中まで添付ファイルの取得を行っている場合は「📎」のアイコンが表示されます。

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶「📎」または「📎」のアイコンが表示されている添付ファイルを選択
データの取得が開始されます。
データの取得が完了すると、完了したことを示す画面が表示されます。

■ 取得を途中で中止する場合
▶ch［中止］
途中まで取得したデータを保存します。この場合、再度操作1を行うことで残りのデータを取得することができます。

2 データ取得後、添付ファイルのファイル種別に合わせ、ファイルの内容が表示される

おしらせ
- 取得が完了していない添付ファイルが1つでも存在する場合は、「受信メール詳細画面」（P.177、180）で、添付ファイルの保存期限が表示されます。すべての添付ファイルの取得が完了すると、保存期限の表示は消えます。なお、保存期限を過ぎた添付ファイルは取得できません。
- 添付ファイルを受信した際、受信BOXの保存容量を超えた場合は、添付ファイルのサイズに従い受信メールが自動的に削除されます（添付ファイルのサイズによっては大量に受信メールが削除されることがあります）。なお、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内の受信メールは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。→P.182

iモードメールに添付されているファイルを確認・保存する

受信したiモードメールに添付または貼り付けられたデータを確認・保存します。
- 受信が完了していない添付ファイルは、保存することができません。保存する場合は、あらかじめ受信を完了しておく必要があります。→P.174

メロディを保存する 〈メロディ保存〉

受信したiモードメールに添付または貼り付けられたメロディ（🎵）をFOMA端末に保存します。
- 送信元がFOMA SO705i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶メロディを反転▶✉［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ メロディを止める場合
▶ch、📞、0～9、*、#

2 「YES」▶項目を選択

■ 着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ
- 複数のデータが貼り付けされている場合は、貼付データ自体が表示されないことがあります。
- メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合は、「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生しない」に設定してください。

メール

画像を保存する 〈画像保存〉

受信したｉモードメールに添付または挿入された画像（）を保存します。
挿入画像を保存するには→P.183

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶画像に囲み枠を移動▶[機能]▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ 画像表示をファイル名表示に切り替える場合
▶画像を選択
再度画像表示に戻すには、ファイル名を選択します。

2 「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合
▶「NO」

ｉモーションを保存する 〈ｉモーション保存〉

受信したｉモードメールに添付されたｉモーション（）を保存します。

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶ｉモーションを反転▶[機能]▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

トルカを保存する 〈トルカ保存〉

受信したｉモードメールに添付されたトルカ、トルカ（詳細）（）を保存します。

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶トルカを選択

トルカが表示されます。

2 [保存]▶フォルダを選択

機能メニューから「データ保存」を選択しても、保存できます。

ツールデータを保存する

受信したｉモードメールに添付されたツールデータ（電話帳、スケジュール、Bookmark）（）を保存します。

<例：スケジュールを保存する場合>

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶ファイルを選択

スケジュールの情報が表示されます。
機能メニューから「データ保存」を選択しても保存できます。

2 [保存]

■ 電話帳の場合
▶[保存]▶「本体」または「FOMAカード(UIM)」
電話帳の登録のしかた→P.76

■ Bookmarkの場合
▶[選択]▶登録先を選択
ｉモードの場合は「ｉモード」と「microSD」、フルブラウザの場合は「フルブラウザ」と「microSD」が選択できます。

おしらせ

- スケジュールはmicroSDメモリーカードには保存できません。
- 複数件の情報が存在しているファイルをFOMA端末内に保存した場合、保存されるのは先頭の1件のみです（microSDメモリーカードに保存した場合は、すべての情報が保存されます）。

その他ファイルを保存する

受信したｉモードメールに添付されたその他ファイル（）を保存します。

- その他ファイルは自動的にmicroSDメモリーカードの「OTHER」フォルダに保存されます。なお、保存するとファイル名が変更されます。→P.242

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶その他ファイルを反転▶[機能]▶「データ保存」▶「YES」

メールを読み上げる

- 読み上げる際には、音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してください。
- 読み上げの音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。
- 以下の場合、読み上げは行われません。
  - 「メール読み上げ設定」の「受信時読み上げ設定」を「無効」に設定
  - 通話中、通信中（パケット通信中を除く）
  - マナーモード設定中で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続していないとき
  - ミュージックプレーヤー再生中

新着メールを読み上げる

メールを受信し、受信結果画面が表示されているときや、「ｉモード問い合わせ」を実行し、問い合わせ結果画面が表示されているときは、メールの本文を読み上げることができます。

- 「バイリンガル」を英語表示に設定中は、読み上げできません。

<例：ｉモード問い合わせを実行した場合>

1 問い合わせ結果画面が表示されている間に[i]［読上げ］

送信元の名前とメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、「○○さんからのメール」という音声通知の後に本文を読み上げます。
メールの読み上げが完了すると「ピピッ」という音が鳴り、メールの読み上げ画面を終了します。

■ 複数のメールを同時に受信した場合

受信日時の新しいメールから順に読み上げます。
読み上げ中に[▷]を押すと、「ピー」という音が鳴り、次のメールを読み上げます。次のメールがない場合は、メールの読み上げを停止します。

メールBOXのメールを読み上げる

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶[✉]［機能］▶「メール読み上げ」

■ 読み上げを中止する場合

▶[■]［停止］
もう一度[■]［再生］を押すと、最初から読み上げを開始します。

■ 読み上げを終了する場合

▶[i]［閉］

おしらせ

- メール読み上げ時は、画面上半分に画像が表示されます。また、受信メールの送信元アドレスと画像が電話帳に登録されている場合は、登録されている画像が表示されます。
- メール読み上げ中に[◇]、[◀マナー]、[メモ▶]を押すと、メール本文をスクロールします。これら以外のボタンを押すと、読み上げを中止します。ただし、[5]や[2]を1秒以上押して、バックライトやシールドビューのON／OFFの切り替えを行うときは、読み上げを中止しません。
- メール読み上げ中に着信があると読み上げを終了し、着信中画面が表示されます。
- メール読み上げ中に新しくメールなどを受信したときは、「受信時動作設定」の設定内容に従います。また、メール読み上げ中にアラームの指定時刻になった場合は、「アラーム通知設定」の設定内容に従います。

おしらせ

- メール連動型ｉアプリのメールは受信結果画面で読み上げできませんが、受信メール詳細画面では読み上げができます。
- SMS送達通知は読み上げできません。
- パソコンなどから受信したメールは、読み上げできない場合があります。

読み上げルールについて

メール読み上げ機能では、おおむね以下の規則に基づいて受信メールを読み上げます。

■記号・特殊文字・絵文字

記号・特殊文字・絵文字の読み上げはしません。ただし、一部の記号は読み上げをします。

※ 記号･特殊文字･絵文字がある文章の場合は、正しく読み上げできないこともあります。

■数字

数字が並んでいる場合は最大16桁まで桁読みします。
例：1234 → センニヒャクサンジュウヨン

■金額

数字の先頭に「￥（半角・全角可）」などが入力されていると、最大16桁まで金額として読み上げます。入力文字列に区切り記号「,」を使用する場合は、3桁ごとに「,」で区切られていなければ金額と判定しません。

例：￥12345 / ￥12,345 → 「イチマンニセンサンビャクヨンジュウゴエン」

■電話番号

数字が「-」「(」「)」により一般電話、携帯電話、フリーダイヤルの電話番号のパターンで区切られていると、桁読みをせず、電話番号として読み上げます。
また数字の先頭に「Tel:」がある場合も電話番号として読み上げます。
例：Tel：0120-102-・・・→テル ゼロイチニーゼロ イチゼロニ ・・・

■時刻

数字が「:」で時刻パターンで区切られていると、時刻として読み上げます。※「時」については1～2桁、「分」については2桁の場合に時刻と判断します。また、文字列の前後に「AM」または「PM」（大文字）が付加されていると、「午前」「午後」を先頭に付けて時刻を読み上げます。

「時」:「分」（「時」は0～29、「分」は00～59） 例：23:15 → 「ニジュウサンジ　ジュウゴフン」
AM「時」:「分」または「時」:「分」AM （「時」は0～12、「分」は00～59） 例：AM5:05 → 「ゴゼン　ゴジ　ゴフン」

※：「時」:「分」:「秒」の形で入力されている場合（例：23：15：10）、読み上げを行いません。

メール

■日付

数字が「/」や「.」で日付パターンで区切られていると、日付として読み上げます。また、日付の前に「M」「T」「S」「H」（M、T、S、Hは大文字のみ）が挿入されていると、年を元号（明治、大正、昭和、平成）として読み上げます。

「年」/「月」/「日」または「年」.「月」.「日」 （「年」は0～9999、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：2008/3/1 2008/3/01 2008.3.1 2008.3.01 →「ニセンハチネン　サンガツ　ツイタチ」
「H」「年」/「月」/「日」または「H」「年」.「月」.「日」 （「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：H20.3.1 →「ヘイセイ　ニジュウネン　サンガツ　ツイタチ」

- ●数字、金額、電話番号、時刻、日付においてすべてのパターンは全角文字にも対応しています。
- ●金額、電話番号、時刻、日付を読み上げるとき、その文字列の直前あるいは直後に以下の文字がある場合には正確に読み上げないことがあります。金額、電話番号、時刻、日付を正確に読み上げたい場合は、その文字列の前後にスペースなどの区切り文字を置くことをおすすめします。
  「0～9」「A～Z（大文字）」「:」「¥」「/」「.」「-」（半角・全角）

■記号

下記の記号は数字と組み合わせると、読み上げることができます。

$	%	¥	°	℃	￥	＄	％	㍉	㌔
㌣	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦
㌢	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄
㎡									

■その他

- ●英字はアルファベット読みで読み上げますが、組み合わせによってはアルファベット読みしない場合があります。
- ●文章の内容や、記載内容（とくに地名や固有名詞など）により、読み上げをしなかったり、読みかたを誤る場合があります。
- ●読み上げの音声は自然音声と異なります。聞きづらい発音やアクセントになる場合があります。
- ●句読点（「、」「。」）、ピリオド（「.」）、改行、スペースなどがある場合は、その位置で読み上げを区切ります。ただし、「.」「,」の前後が数字の場合は、区切りません。区切りがない場合は、文章を自動的に区切って読み上げます。
  文章によっては声が出るまでに時間がかかる場合があります。漢字を使用した場合は、正しく読み上げができない場合があります。文章の内容をより正確に読み上げたい場合は、よくメールをやりとりする相手の方に以下のことをお願いすることをおすすめします。
  - 名詞、とくに地名、人名といった固有名詞はカタカナで作成してください。
  - 句読点などを用いた文章でメールを作成してください。

送信／受信メールBOXのメールを表示する
〈送信メールBOX／受信メールBOX〉

- ●受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大1,000件、送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大500件まで保存されます。
- ●受信メールは最大500件、送信メールは最大250件まで保護することができます。
- ●保存および保護できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存および保護できる件数が少なくなります。

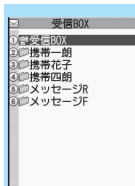
ｉモードメールの本文を読む

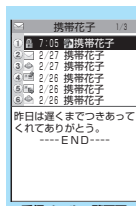
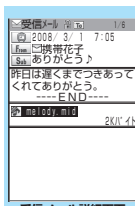
<例：受信メールの本文を読む場合>

1 **✉▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶メールを選択**

シークレットモード、シークレット専用モードのときには、フォルダー覧画面にシークレットフォルダも表示されます。

メールメニュー

受信BOX
①受信BOX
②携帯一朗
③携帯花子
④携帯四朗
⑤メッセージR
⑥メッセージF

受信メールフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.180

受信メール一覧画面　受信メール詳細画面

機能メニュー➡P.182　機能メニュー➡P.183

メール詳細画面で◯を押すと、前後のメールを表示できます。

メール

次ページにつづく

おしらせ

- 受信メール詳細画面では、メール本文を読み上げることができます。→P.176
- 2in1のモードがBモードの場合は、送信メールフォルダ一覧画面を表示できません。

メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替える

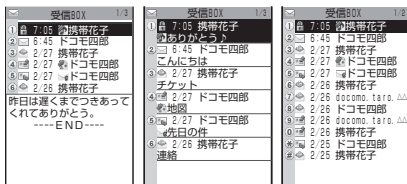
● メールの本文の文字サイズを変えるとき

- メール詳細画面で[□]を1秒以上押すと、本文の文字サイズを変更できます。

おしらせ

- 上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「フォント設定」の「文字サイズ」の「メール」、および「文字サイズ設定」の設定も変更されます。

● メール一覧画面の表示切替（1行+本文表示／2行表示／1行表示）

- メールメニューの「メール設定」で「メール一覧表示設定」を選択すると、「1行+本文表示」「2行表示」「1行表示」を切り替えられます。

1行+本文表示

2行表示

1行表示

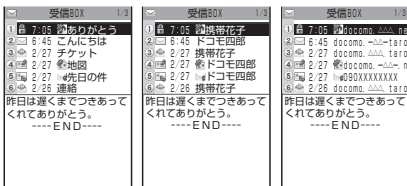
● メール一覧画面の表示切替（名前表示／アドレス表示／題名表示）

- メール一覧画面で[#]を1秒以上押すと、「題名表示」「名前表示」「アドレス表示」を切り替えられます。

＜「1行+本文表示」の画面例＞

題名表示

名前表示

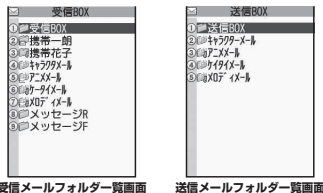
受信BOX 1/3
① 7:05 docomo.△△△.ne
② 6:45 docomo.-△△-taro
③ 2/27 docomo.△△△.taro
④ 2/27 docomo.-△△-.n
⑤ 2/27 090XXXXXXXX
⑥ 2/26 docomo.△△△.taro
昨日は遅くまでつきあって
くれてありがとう。
----END----

アドレス表示

おしらせ

- メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選択して「題名表示」「名前表示」「アドレス表示」から項目を選択しても表示の切り替えができます。
- 題名／名前／アドレスの一部が表示されない場合があります。

● バックライト機能について

- FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約10秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

メールフォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面

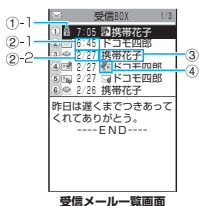
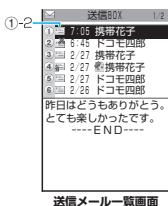
送信メールフォルダ一覧画面

アイコン	説明
	通常のフォルダ
	メール連動型iアプリのフォルダ
	シークレットフォルダ

：未読メールがあるとき

：フォルダロックが設定されているとき

：自動振分け設定（P.181）がされているとき

メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面　　送信メール一覧画面

①メールの状態

①-1 受信

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール
	保護されている既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール

：保護されているとき

①-2 送信

アイコン	説明
	宛先が1件のメール
	宛先が複数のメール（同報メール）

：保護されているとき

：一部送信が失敗したもの

：送信が失敗したもの

②送受信した時刻や日付

②-1 当日送受信したメールは時刻表示

②-2 前日までに送受信したメールは日付表示

③送信元／宛先、題名、通知内容など

題名がない場合は「無題」と表示

④メール種別、添付ファイル情報

アイコン	説明
	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS送達通知受信済みのSMS
	エリアメール
※	2in1のBアドレス宛てのメール
	メロディ添付または貼付メール
	画像添付または挿入メール
	ｉモーション添付メール
	トルカ、トルカ（詳細）添付メール
	ツールデータ（電話帳、スケジュール、Bookmark）添付メール
	その他ファイル添付メール
	メール本文からｉアプリが起動可
	メール本文からｉアプリが起動不可（メールをシークレットフォルダに移動）
	メール連動型ｉアプリで送受信したメール
	未取得ファイル添付メール→P.174
	未完成ファイル添付メール→P.174
	取得不可ファイル添付メール
	複数ファイルが添付されている、または添付ファイルと貼付ファイルが混在しているメール
	複数データが貼り付けられているメール（データがｉアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示）
	FOMAカード動作制限機能がかかっているメール（メールを送受信したときとは違うFOMAカードを使用）

※：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

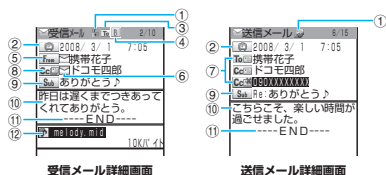
：添付ファイルが削除されているもの（トルカやFlash画像の場合は、スキャン機能により添付ファイルが削除されたときにも表示）
複数ファイルで、すべてのファイルが削除されているもの

：複数ファイルのうち、一部のファイルが削除されているもの

おしらせ

- 画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像に囲み枠を移動し、■［選択］を押すごとに画像表示とファイル名表示が切り替わります。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用しないメールアドレスで受信したメールは表示されません。

メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面　　送信メール詳細画面

①メールの状態
「メール一覧画面の見かた」（P.179）の①参照

②送受信した時刻と日付

③宛先のタイプ（受信メール）

アイコン	説明
To　Cc　Bcc	送信元の宛先のタイプ→P.165

④2in1のメールアドレス情報

アイコン	説明
B※	2in1のBアドレス宛てのメール

※：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

⑤送信元（受信メール）

アイコン	説明
From　From	送信元の名前またはメールアドレス

：返信不可のもの

⑥電話帳に登録されているアイコン
メールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンを表示

⑦宛先と宛先のタイプ（送信メール）

アイコン	説明
To　To Cc　Cc Bcc　Bcc	宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.165

：送信失敗のもの

⑧同報メールの宛先と宛先のタイプ（受信メール）
最大4件まで表示

アイコン	説明
To　To Cc　Cc	同報メールで、自分以外の宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.165

：返信不可のもの

⑨題名
題名がないときは「無題」と表示
受信したSMSには先頭に「」（FOMAカード内にあるときは「」）と表示
SMS送達通知を受信済みの場合は、「」も合わせて表示
エリアメールの場合は「エリアメール」と表示

⑩メール本文

⑪本文の終わりに表示

⑫添付ファイル情報
ファイル名、ファイルサイズも表示

アイコン	説明
	正しくない挿入画像

※ 上記以外に一覧画面と同じアイコンが表示される場合があります。それらについては、P.179の「④メール種別、添付ファイル情報」をご覧ください。

おしらせ

- 以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
  - 「指定発信制限」が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
  - シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスのとき
  - シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスのとき
  - 2in1のモードがAモードに設定中で電話帳がB設定のとき、またはモードがBモードに設定中で電話帳がA設定のとき

機能 メールフォルダ一覧画面（P.177、178）

フォルダ追加……フォルダを追加し、追加したフォルダに自動振分けを設定します。また、受信BOX／送信BOXに同じフォルダを追加するかどうかを設定します。
追加できるフォルダは22個までです。
「自動振分けを設定する」→P.181

自動振分け設定→P.181

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダロック……フォルダのロックを設定／解除します。→P.120

フォルダ並び替え……移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。

保存件数確認……すべてのフォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。

フォルダ内表示……フォルダ内のメール一覧画面を表示します。

マイショートカット貼付※→P.101

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

microSDへ全コピー→P.246

フォルダ削除……フォルダを削除します。

既読メール全削除※……すべての既読メールを削除します。

受信メール全削除（送信メール全削除）……すべてのメールを削除します。

※：受信メールフォルダ一覧画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

- お買い上げ時にすでにあるフォルダ（受信BOXや送信BOXなど）は、削除や並び替え、フォルダ名の変更はできません。また各フォルダに自動振分けを設定することもできません。

<フォルダ追加>
- メール連動型iアプリをダウンロードすると、iアプリメール用フォルダが自動的に作成されます（最大5個）。

<フォルダ並び替え>
- 追加したフォルダが1つしかない場合は並び替えできません。

<保存件数確認>
- 次のiモードメールやSMSの件数は確認できません。
  - シークレットフォルダ内のもの
  - 2in1の設定により表示されていないもの
- メッセージR／Fの件数は確認できません。

<iC全送信><赤外線全送信><microSDへ全コピー>
- メッセージR／Fは対象となりません。

<フォルダ削除>
- 対応するメール連動型iアプリがある場合、iアプリメール用フォルダを削除することはできません。ソフトがない場合はiアプリメール用フォルダを削除できますが、送信メールフォルダ一覧画面、受信メールフォルダ一覧画面に作成されたフォルダも削除されます。
- 「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

<既読メール全削除><送信メール全削除><受信メール全削除>
- 次のiモードメールやSMSは削除されません。
  - 保護されているもの
  - シークレットフォルダ内のもの
- 送信メール全削除、受信メール全削除の場合、2in1の設定により表示されていないメールも削除されます。
- メッセージR／Fは削除されません。

● 自動振分けを設定する

メールアドレスや題名など、あらかじめ条件を設定し、自動的に指定したフォルダにメールを振り分けます。

1 メールフォルダ一覧画面（P.177、178）▶振分け先のフォルダを反転▶✉［機能］▶「自動振分け設定」▶以下の項目から自動振分けを設定

すでに振分け条件を設定している場合は設定中の条件が表示されますので、さらに✉［機能］を押します。

■ オリジナルロックを電話帳やメールメンバーに設定している場合

自動振り分け設定されたフォルダの振り分け条件を確認すると、電話帳グループ名を変更しても「グループ」、メールメンバー名を変更しても「メールメンバー」と表示されます。

アドレス振分け……メールアドレスを設定します。

アドレス参照入力……電話帳やアドレス一覧を参照してメールアドレスを設定します。

グループ参照……電話帳のグループを設定します。

メールメンバー参照……メールメンバーを設定します。

直接入力……メールアドレスを直接入力して設定します。

題名振分け……メールの題名を設定します。

返信不可振分け（送信失敗振分け）……返信不可または送信が失敗したメールアドレスを設定します。

すべて振分け……メール連動型iアプリのフォルダだけに設定できます。すべてのメールをメール連動型iアプリに振り分けます。

アドレス／題名編集……設定済みのメールアドレスやメールの題名を編集します。

一覧表示切替……メールアドレスの一覧の表示方法を「名前表示／アドレス表示」から選択します。

解除……「1件解除／選択解除／全解除」から選択し、自動振分けの条件を解除します。
「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 複数の振分け条件に該当したときの優先順位は以下のとおりです。
  ①すべて振分け　②題名振分け
  ③返信不可振分け／送信失敗振分け
  ④メールアドレス／電話番号
  ⑤メールメンバー　⑥電話帳グループ
- 自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、振り分けられません。
- 同報送信した送信メールは、入力した宛先の順番で振分け条件を検索します。

おしらせ

- 2in1ご利用の際に、自動振分けをする場合は「アドレス参照入力（電話帳／受信アドレス一覧／送信アドレス一覧）」「メールメンバー参照」「直接入力」「題名振分け」「返信不可振分け」「すべて振分け」「アドレス／題名編集」の条件でご利用ください。
- エリアメールは、「アドレス振分け」「題名振分け」「返信不可振分け」の対象となりません。

<アドレス振分け>
- アドレス振分けの条件は、全フォルダで700件まで設定できます（1つのフォルダに複数設定できます）。

<アドレス振分け（グループ参照）>
- シークレットデータとして登録したメールアドレスを設定した場合、その相手からのメールは、シークレットモード中／シークレット専用モード中のときは設定したフォルダに振り分けられますが、設定中でないときは受信BOXフォルダに保存されます。

<アドレス振分け（直接入力）>
- メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振分け条件にあてはまる場合、受信BOX、送信BOXの各フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けられません。
- SMSは題名振分けができません。

<返信不可振分け>
- SMS送達通知は振り分けられません。
- 「返信不可振分け」は受信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<送信失敗振分け>
- 「送信失敗振分け」は送信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<すべて振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けられません。
- 「すべて振分け」は、受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにしか設定できません。

機能 メール一覧画面（P.177、179）

返信※1→P.173

再編集※2……送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。[i]［送信］を押すと、メールを送信できます。

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メールをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

メール検索……条件を指定してメールを検索します。

送信元検索※1／**宛先検索**※2……電話帳メールアドレス一覧からメールアドレスを指定したり、メールアドレスを直接入力して検索します。

題名検索……題名を入力して検索します。

全表示……検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート……選択した条件に従ってメールを並び替えます。

フィルタ……選択した条件に一致するメールのみを表示します。

色分け……メールに付ける色を「指定なし（黒）／赤／青」から選択します。メール一覧画面で[＊]を1秒以上押しても切り替えられます。

一覧表示切替……メール一覧の表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

すべて既読※1……フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。

保護※1……「1件保護／選択保護／全保護※3」から選択します。「複数選択について」→P.38

保護解除※1……「1件保護解除／選択保護解除／全保護解除」から選択します。「複数選択について」→P.38

保護／保護解除※2……メールを保護／保護解除します。

全保護解除※2……保護されているすべてのメールの保護を解除します。

ｉC送信→P.257

赤外線送信→P.256

microSDへコピー→P.246

FOMAカード操作……「メール画面からSMSを移動またはコピーする」→P.253

メール情報※1……送信元などの情報を表示します。

保存件数確認……フォルダ内のメールの件数を表示します。

お預りセンターに保存→P.183

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 受信メールでは「既読削除／SMS送達通知全削除」を選択して、既読メールやSMS送達通知のみを一括削除することもできます。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※4……「1件保管／選択保管／全保管」から選択します。
「複数選択について」→P.38
「各種データを表示できないようにする」→P.112

※1：受信メール一覧画面でのみ利用できます。
※2：送信メール一覧画面でのみ利用できます。
※3：シークレットフォルダ内でのみ利用できます。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。

機能 未読メール一覧画面（P.171）

返信→P.173

一覧表示切替……メール一覧の表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

保護／保護解除……メールを保護／保護解除します。

1件削除……メールを1件削除します。

おしらせ

<メール検索>
- 検索結果をさらに検索することができます。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<ソート><フィルタ>
- ソートとフィルタを併用することができます。たとえば受信メール一覧画面で未読メールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- メール一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

<すべて既読>
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「すべて既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

<保護／保護解除>
- 2in1の設定により表示されていないメールは、「全保護」や「全保護解除」を選択しても設定の対象となりません。

<シークレットに保管><シークレットから出す>
- 2in1の設定により表示されていないメールは、「全保管」や「全て出す」を選択しても移動の対象となりません。

● メールをお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されているｉモードメールやSMSをお預かりセンターに保存します。
- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 メール一覧画面（P.169、177）▶[メール][機能]▶「お預りセンターに保存」▶[決定]で□（チェックボックス）を選択▶[i]［完了］

メールは最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続してメールの保存を開始します。

3 [i]［完了］

おしらせ
- FOMAカードに保存されているSMSはお預かりセンターに保存できません。
- ｉモードメールに添付されているファイルは削除して保存されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像が受信メールに挿入されている場合は、削除して保存されます。
- 「色分け」の設定は保存されません。

■メールを復元する

お預かりセンターに預けているメールデータは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

機能 メール詳細画面（P.177）

返信※1※2→P.173

引用返信※1※2→P.173

転送※1※2→P.173

再編集※3……送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。[i]［送信］を押すと、メールを送信できます。

再送信※3……メールを再送信します。

保護／保護解除……メールを保護／保護解除します。

フォルダ移動……移動先のフォルダを選択し、メールを移動します。

コピー……メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。コピーした文字は本文入力画面に貼り付けることができます。→P.302

アドレス登録・電話帳登録→P.174

データ保存……「ｉモードメールに添付されているファイルを確認・保存する」→P.174

挿入画像保存……デコメール本文に挿入されている画像を選択し、マイピクチャのフォルダに保存します。保存後、待受画面などに設定するかしないかを選択できます。

マイショートカット貼付→P.101

デコメテンプレート保存……メールをデコメテンプレートとして保存します。→P.168

辞典検索……辞典を起動します。→P.290

プロパティ……画像を選択し、デコメールの本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。

メール読み上げ※1→P.176

SMS送達通知表示※3……SMS送達通知を表示します。

ｉC送信→P.257

赤外線送信→P.256

microSDへコピー→P.246

FOMAカード操作……「メール画面からSMSを移動またはコピーする」→P.253

スクロール設定（お買い上げ時：1行スクロール）……画面のスクロール行数を「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……表示される文字サイズを「小／中／大／特大」から選択します。→P.100

添付ファイル削除・添付ファイル全削除……添付ファイルを1件削除または全削除します。

削除……メールを削除します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※4……「各種データを表示できないようにする」→P.112

※1：受信メール詳細画面でのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：送信メール詳細画面でのみ利用できます。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。

おしらせ

<添付ファイル削除><添付ファイル全削除>
- メール本文に貼り付けられたデータや取得不可ファイル（）は削除できません。

メールの履歴を利用する〈送信アドレス一覧／受信アドレス一覧〉

メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧にアドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。

- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます。ただし、2in1を利用している場合、受信アドレスは最大60件まで記憶されます。
- 受信BOX、送信BOXにBOXロックを設定していると、メールアドレスはアドレス一覧に記録されません。

アドレス一覧を確認する

<例：受信アドレス画面を表示する場合>

1 待受画面表示中▶（1秒以上）

「受信アドレス画面（一覧）」が表示されます。

受信アドレス画面(一覧)

機能メニュー➡P.184

■ 送信アドレス画面（一覧）を表示する場合
（1秒以上）

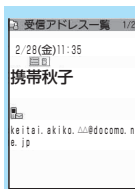
■ アドレス画面（一覧）の表示アイコン
／：iモードメール受信・iモードメール送信成功／失敗
／：SMS受信・SMS送信成功／失敗

2 送信元を選択

「受信アドレス画面（詳細）」が表示されます。

受信アドレス画面（詳細）

機能メニュー➡P.184

■ アドレス画面（詳細）の表示アイコン
／：iモードメール受信・iモードメール送信成功／失敗
／：SMS受信・SMS送信成功／失敗

3 内容を確認

おしらせ

- 電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しているメールアドレスで送受信した履歴のみが30件まで表示されます。ただし、Bモードに設定している場合、送信アドレス一覧画面は表示できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、Bナンバー／Bアドレスの受信履歴にはBのアイコンが表示されます。

機能 アドレス画面（一覧・詳細）（P.184）

電話帳登録……メールアドレスを電話帳に登録します。→P.174

電話帳参照……メールアドレスが登録されている電話帳の詳細画面を表示します。

マイショートカット貼付→P.101

ｉモードメール作成※1……メールアドレスを宛先に貼り付けたｉモードメールを作成します。

電話発信……メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号にPhone To／AV Phone To機能で電話やテレビ電話をかけます。→P.154

着信履歴表示※2……着信履歴画面に切り替えます。→P.54

リダイヤル表示※3……リダイヤル画面に切り替えます。→P.54

拡大表示⇔標準表示※4……文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。→P.100

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：SMSを選択したときは「SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。「SMSを作成して送信する」→P.189
※2：受信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。
※3：送信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。発信履歴から送信アドレス画面を表示したときは、「発信履歴表示」となります。
※4：アドレス画面（一覧）でのみ利用できる機能です。

FOMA端末のメール機能を設定する 〈メール設定〉

1 ✉▶「メール設定」

「メール設定画面」が表示されます。

メール設定 1/2
①スクロール設定
②文字サイズ設定
③メール一覧表示設定
④本文表示設定
⑤添付ﾌｧｲﾙ自動再生設定
⑥冒頭文／署名設定
⑦BOXロック
⑧受信時動作設定
⑨メール選択受信設定
⓪添付ﾌｧｲﾙ優先受信設定
✱メール読み上げ設定
#SMS設定

メール設定画面

2 以下の項目から選択

スクロール設定（お買い上げ時：1行スクロール）……メール詳細画面で⬍を押したときに画面を何行分送る（スクロールする）かを「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：中）……メール詳細画面で表示される文字サイズを「小／中／大／特大」から選択します。→P.100

メール一覧表示設定（お買い上げ時：1行＋本文表示）……メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。表示行数は「2行表示／1行表示／1行＋本文表示」から、表示方法は「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

本文表示設定……メール本文を表示するときの表示開始位置を設定します。

通常表示（お買い上げ時）……メールの先頭（受信日時／送信日時）から表示します。

本文から表示……メールの本文から表示します。

添付ファイル自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）……受信したｉモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

冒頭文／署名設定→P.186

BOXロック→P.120

受信時動作設定……FOMA端末の操作中にメール、メッセージR／Fを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

通知優先（お買い上げ時）……受信中画面および受信結果画面を表示します。

操作優先……受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。

メール選択受信設定（お買い上げ時：OFF）……メールを選択受信するか（ON）自動受信するか（OFF）を設定します。

添付ファイル優先受信設定（お買い上げ時：すべて「受信する」）……メールを受信したときに、同時に受信する添付ファイルの種類を「イメージ／ｉモーション／メロディ／トルカ／ツールデータ（電話帳、スケジュール、Bookmark）／その他」から選択します。「複数選択について」→P.38

メール読み上げ設定

読み上げ音声設定（お買い上げ時：女性ボイス1）……メールを読み上げるときの声の種類を設定します。

受信時読み上げ設定（お買い上げ時：有効）……メール受信時の読み上げの有効／無効を設定します。

SMS設定

SMS送達通知設定（お買い上げ時：要求しない）……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。

SMS有効期間設定（お買い上げ時：3日）……送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日／1日／2日／3日」から選択します。「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。

SMS本文入力設定（お買い上げ時：日本語入力（70文字））……SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、全角／半角問わず、すべての文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。

次ページにつづく

エリアメール設定→P.189

メール設定確認……「メール設定」で設定した内容を確認します。

メール設定リセット……「メール設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合、「メール設定」は選択できません。

<文字サイズ設定><メール一覧表示設定>
- 「特大」に設定すると、「メール一覧表示設定」が自動的に「2行表示」になります。また、文字サイズが「特大」に設定されているときに「メール一覧表示設定」を「1行表示」または「1行+本文表示」に設定すると、自動的に「大」になります。

<受信時動作設定>
- 音声電話の着信中や発信中、音声通話中、またｉアプリやカメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージR／Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。
- 2in1のモードがAモードの場合、Bモードのアドレス宛てにのみメールを受信すると「通知優先」に設定していても受信中画面は表示されますが、受信結果画面は表示されません。

<メール選択受信設定>
- 本設定は、ｉモードメールのみ適用されます。SMS、メッセージR／Fは、この設定にかかわらず自動受信します。

<添付ファイル優先受信設定>
- ファイルの内容を確認するには、後から手動で取得する必要があります。→P.174

冒頭文／署名／引用符を編集する

冒頭文や署名をあらかじめ登録しておくと、自動でｉモードメール本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときの引用符を編集することもできます。

1 メール設定画面（P.185）▶「冒頭文／署名設定」

2 「冒頭文編集」または「署名編集」▶[■][編集]

■ 引用符を編集する場合
▶「引用符編集」

3 冒頭文、署名を入力▶[i][完了]

冒頭文、署名に入力できる文字数は全角5,000文字、半角10,000文字までです。
冒頭文または署名を装飾することができます。→P.166

■ 引用符を入力する場合
▶引用符を入力
全角10文字、半角20文字まで入力できます。

■ 冒頭文、署名の自動貼り付け設定を行う場合
▶「自動貼付設定」▶「冒頭文自動貼付」または「署名自動貼付」のチェックボックスを選択▶[i][完了]
自動貼り付けしない場合はチェックボックスのチェックを外します。

おしらせ

- 「自動貼付」のチェックボックスを選択しても、デコメテンプレートからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。また、メール連動型ｉアプリ内でｉアプリメールを送信するときも貼り付けられません。

ｉモードセンターへ問い合わせをする内容を設定する 〈ｉモード問い合わせ設定〉

「ｉモード問い合わせ」の問い合わせ内容を「メール」（ｉモードメール）「メッセージR」「メッセージF」それぞれについて設定します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「ｉモード問い合わせ設定」

2 [◎]で□（チェックボックス）を選択▶[i][完了]

「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせません。

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR／Fがｉモードセンターから自動的に送られてきます。
→P.170

- メッセージR／Fは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます（データ量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- ｉモードセンターに保管されているメッセージを受信するには、「ｉモード問い合わせ」を行ってください。→P.172

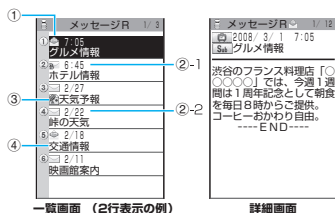
おしらせ

- メッセージの保存領域がいっぱいになると、メッセージを受信したとき、既読の古いメッセージから順に削除されます（未読または保護されているメッセージは削除されません）。
- FOMA端末がこれ以上メッセージを受信できない（未読または保護されているメッセージでいっぱい）場合、[R]（赤色）／[F]（赤色）が表示されます（[R/F]（赤色）、[R/F]（R：赤色）、[R/F]（F：赤色）のように2種類の状態を同時に表示する場合もあります）。未読のメッセージを読むか、いらないメッセージの保護を解除してください。

メール

おしらせ

- ｉモードセンターにメッセージが保管されていると、R／Fが表示されます。「ｉモード問い合わせ」を行ってメッセージを受信してください。また、ｉモードセンターに保管されているメッセージがいっぱいのときは、R（赤色）／F（赤色）が表示されます。
- 待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）設定中、ダイヤルロック設定中、「ｉモード」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロックを設定中は、メッセージR／Fを受信しても自動表示しません。

メッセージR／F画面の見かた

一覧画面 （2行表示の例）　　詳細画面

①メッセージの状態

アイコン	説明
	未読メッセージ
	既読メッセージ
	保護されている既読メッセージ

：保護されているとき

②受信した時刻や日付
②-1 当日受信したメッセージは時刻表示
②-2 前日までに受信したメッセージは日付表示

③添付ファイル情報
<一覧画面>

アイコン	説明
	メロディ添付または貼付メッセージ
	画像添付メッセージ
	トルカ添付メッセージ
	複数データ添付または貼付メッセージ

：一部のデータが正しくないもの
：データが正しくないもの
：スキャン機能により削除されたもの

<詳細画面>

アイコン	説明
	貼付メロディ

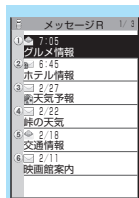
：データが正しくないもの

④題名

メッセージBOXのメッセージを表示する 〈メッセージR／F〉

- ｉモードセンターからFOMA端末にメッセージR／Fが届くと画面の上部に「R」や「F」が表示されます。

1 ▶「受信BOX」▶「メッセージR」または「メッセージF」

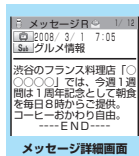
「メッセージ一覧画面」が表示されます。

メッセージ一覧画面

機能メニュー ➡P.187

2 メッセージを選択

「メッセージ詳細画面」が表示されます。

メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは を押します。

メッセージ詳細画面でCLRを押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

メッセージ詳細画面

機能メニュー ➡P.188

機能 メッセージ一覧画面（P.187）

全表示……ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート……選択した条件に従ってメッセージを並び替えます。

フィルタ……選択した条件に一致するメッセージのみを表示します。

保護／保護解除……メッセージR／Fを保護／保護解除します。

保護全解除……保護されているすべてのメッセージR／Fの保護を解除します。

保存件数確認……保存されているメッセージR／Fの件数および未読件数、保護件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／既読削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「既読削除」を選択すると、既読メッセージのみを一括削除できます。

おしらせ

<ソート><フィルタ>
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば未読メッセージだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- メッセージR／F一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

機能 メッセージ詳細画面（P.187）

電話帳登録……メッセージR／Fに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P.76

メロディ保存……メッセージR／Fに添付されているメロディを保存します。

画像保存……メッセージR／Fに添付されている画像を保存します。

トルカ保存……メッセージR／Fに添付されているトルカを保存します。

保護／保護解除……メッセージR／Fを保護／保護解除します。

削除……メッセージR／Fを削除します。

おしらせ

<メロディ保存>
- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。
- ｉモードを契約しなくても、エリアメールは受信できます。
- エリアメール受信には受信設定が必要です。→P.189
  なお、下記のような場合は、受信設定にかかわらずエリアメールの受信はできません。
  - 国際ローミング中
  - おまかせロック設定中
  - セルフモード設定中
- 下記のような場合などには受信できないことがあります。
  - テレビ電話中
  - データ通信中

緊急速報「エリアメール」を受信したときは 〈エリアメール受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。
- エリアメールを受信すると画面の上部に「[icon]」が表示されます。
- 受信したエリアメールは、受信BOXに保存されます。
- エリアメールは、FOMA端末に最大100件まで保存できます。

おしらせ

- エリアメールの保存領域がいっぱいになると、エリアメールを受信したとき、既読の古いエリアメール、未読の古いエリアメールの順に削除されます。

● 緊急地震速報のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると内容通知画面が表示され、ブザー音とバイブレータの振動でお知らせします。[■]、[CLR]、[終話]のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- ブザー音の音量は調整できません。ただし、ブザー音のON／OFFおよび鳴動時間は、「エリアメール設定」の「ブザー鳴動設定」で設定できます。
  ブザー音の設定が「OFF」の場合は、エリアメール用の着信音が鳴動します。
- マナーモード設定中のブザー音の鳴動は、「マナーモード選択」の設定に従います。
- バイブレータの振動パターンは、ブザー音鳴動時にはブザー音に連動して振動し、エリアメール着信音鳴動時には「バイブレータ」の「メール」の設定に従います。

● 緊急地震速報以外のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると「エリアメールを受信しました」の画面または「内容通知画面」が表示され、エリアメール用の着信音でお知らせします（どちらの画面が表示されるかは配信者が決定します）。
「エリアメールを受信しました」の画面は一定時間何も操作しないか、いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。内容通知画面は[■]、[CLR]、[終話]のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。

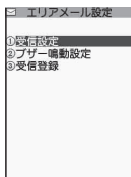
おしらせ

- 着信音の音量は、「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。
- ｉアプリやカメラ機能などの利用中にエリアメールを受信したときは、内容通知画面または「エリアメールを受信しました」の画面が表示されない場合があります。

緊急速報「エリアメール」の設定を行う 〈エリアメール設定〉

エリアメール受信に関する設定を行います。

1 メール設定画面(P.185)▶「エリアメール設定」

「エリアメール設定画面」が表示されます。

エリアメール設定画面

2 以下の項目から選択

受信設定(お買い上げ時:利用しない)……エリアメールを受信するかどうかを設定します。

- 設定前にエリアメールを利用するかどうかの確認画面が表示されるので、注意事項をよくお読みになり、「利用する/利用しない」を選択します。

ブザー鳴動設定

鳴動設定(お買い上げ時:ON)……ブザーのON/OFFを切り替えます。

鳴動時間(お買い上げ時:10秒)……ブザーの鳴動時間を01~30秒の間で設定します。

受信登録……緊急情報以外に受信したい情報のエリアメール名とMessage IDを登録します。「受信登録画面」で「<未登録>」を選択して端末暗証番号を入力した後、「エリアメール名称」「Message ID」を入力します。なお、緊急情報は受信登録に関係なく受信されます。

SMSを作成して送信する 〈SMS作成・送信〉

- SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 ✉▶「SMS作成」

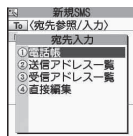
「新規SMS画面」が表示されます。

新規SMS画面

機能メニュー➡P.190

2 「To <宛先参照/入力>」▶宛先を入力

宛先の入力方法を選択し、宛先を入力します。

電話帳やアドレス一覧から参照する方法、直接入力する方法について→P.164

■ 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

▶+(0(1秒以上))、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力

携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。

また、「010」、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力しても送信できます(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください)。

3 「▤」▶本文を入力

入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」の設定に従います。「日本語入力」に設定されている場合は、全角/半角問わずすべての文字を70文字まで、「半角英数入力」に設定されている場合は、半角の英数字や記号を160文字まで入力できます。

スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

4 i[送信]

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。

送信済み、未送信のSMSを再編集するには→P.182、183

おしらせ

- 以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。
  - 宛先に数字、「*」「#」以外の文字が含まれているとき
  - 宛先の先頭以外に「+」が含まれているとき
  - 宛先にスペースが含まれているとき
- 電波状況や送信する文字の種類、相手側の端末によっては文字が正しく表示されない場合があります。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
- 改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。
- マルチナンバーの付加番号からはSMSの送信ができません。通常発信者番号を基本契約番号に設定してください。
- 2in1のモードがBモードの場合は、SMSを作成・送信できません。

機能 新規SMS画面（P.189）

送信……SMSを送信します。

送信プレビュー……送信する前にSMSの宛先や内容を確認します。

保存→P.169

SMS送達通知設定※（お買い上げ時：要求しない）……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかしないかを設定します。

SMS有効期間設定※（お買い上げ時：3日）……送信したSMSが圏外などで届かなかった場合に、SMSセンターに保管する期間を「0日／1日／2日／3日」から選択します。「0日」を選択すると一定時間後、再送した後にSMSセンターから削除します。

SMS本文入力設定※……SMSの本文の入力方法を設定します。

- **日本語入力**（お買い上げ時）……全角／半角問わずすべての文字を70文字まで入力できます。
- **半角英数入力**……半角の英数字を160文字まで入力できます。

本文消去……本文だけを消去します。

SMS削除……編集中のSMSを削除します。

※：設定中のSMS1件に限り有効です。すべてのSMSに設定を保持させたい場合は、「メール設定」（P.185）で設定してください。

● SMS送達通知について〈SMS送達通知表示〉

SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。SMS送達通知は受信BOX、または送信したSMSの送信メール詳細画面の機能メニュー「SMS送達通知表示」で確認できます。SMS送達通知は題名に「SMS送達通知」と表示されます。

SMSを受信したときは〈SMS受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

- SMS受信時の動作はｉモードメールを受信したときと同じです。また、最大保存件数や、受信メールの保存領域がいっぱいになったときの動作も同じです。→P.170
- 受信メール一覧画面では、受信したSMSの題名には本文の先頭が表示されます。

おしらせ

- mova端末などからショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。

おしらせ

- 受信したSMSに区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合はスペース（空白）で表示されます。区点コード一覧表は、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
- 表示したSMSの送信元を反転表示した状態で■［選択］を押すと、音声電話やテレビ電話の発信、SMSの作成、テレビ電話画像選択ができます（Phone To／AV Phone To、Mail To機能）。→P.154

受信したSMSに返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送します。→P.173

- 題名の入力はできません。

おしらせ

- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSを返信／転送しても、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「」／「」のアイコンは表示されず「」のアイコンの表示のままとなります。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bナンバー宛てのSMSに返信できません。

SMSがあるかどうかを問い合わせる〈SMS問い合わせ〉

FOMA端末が受信できなかったSMSは、SMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信することができます。

- SMSセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - FOMA端末の電源が入っていないとき
  - 「圏外」のとき
  - 受信BOXが満杯のとき
  - セルフモード設定中

1 ✉▶「SMS問い合わせ」

問い合わせ中は、「SMS問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わったら■［選択］を押してください。センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。
問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

SMSセンターについて設定する 〈SMSセンター設定〉

●SMSセンター以外のSMS設定については、「メール設定画面」の「SMS設定」(P.185)を参照してください。

※通常は設定を変更する必要はありません。

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「アプリケーション通信設定」▶「SMSセンター設定」▶以下の項目から選択

ドコモ……ドコモのSMSセンターを利用します。

ユーザ設定……SMSセンターのアドレスを入力後、「International/Unknown」を選択して、他社のSMSセンターを利用します。

リセット……「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。

おしらせ

●入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「＊」が含まれている場合は、「International」を選択することはできません。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末がさらに便利になります。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しめたり、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

ｉモードのサイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

- ダウンロードしたソフトは最大200件まで保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量によって変動します。なお、部分的に取得したｉアプリも保存可能件数に含まれます。

1 ソフトを選択

「完了しました」というメッセージが表示されたら■［選択］を押します。ただし、サイトからすぐに起動するソフトの場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

■ データの取得中にダウンロードを中止する場合

▶ダウンロード中▶■［Cancel］またはCLR

■ ソフト設定画面が表示された場合

▶ソフトを設定▶「YES」

ソフトの設定について→P.196

2 「YES」

ダウンロードしたソフトが起動します。

■ ソフトを起動しない場合

▶「NO」

● メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

- メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信／受信メールフォルダにｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名になり、変更できません。メール連動型ｉアプリは5件まで保存できます。
- メール連動型ｉアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- 以下の場合、メール連動型ｉアプリはダウンロードできません。
  - メール連動型ｉアプリ専用フォルダが5件あるとき
  - 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでに保存されているとき
  - BOXロックの設定中

おしらせ

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除した場合は、PlayNow by SOからダウンロードできます。
  「ｉMenu」▶「メニュー／検索」▶「ケータイ電話メーカー」▶「PlayNow by SO」
  右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択してサイトに接続することもできます。
- ｉアプリによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で通信を行わないように設定することもできます。
- 端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用するｉアプリ、またはｉアプリDXをダウンロードする場合は、端末情報データを利用することを通知する旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、お客様の端末情報データは、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。ソフトによっては、お客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 2in1のモードがBモードの場合、ｉアプリによってはダウンロード後に起動の確認画面が表示されないことがあります。
- FOMA端末を傾けたり振ったりするようなｉアプリを利用する場合は、十分明るい場所でのご利用をおすすめします。また、カメラにオリジナルロックがかかっている場合は、解除してからご利用ください。

■警告

- FOMA端末を傾けたり振ったりするｉアプリをご利用の際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損につながる可能性があります。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る〈ソフト情報表示設定〉

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」

■ 確認しない場合
▶「表示しない」

ｉアプリを起動する

ｉアプリを起動する

1 ｉ（1秒以上）

「ソフト一覧画面」が表示されます。

■ ｉモードでｉアプリを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

ソフト一覧画面

機能メニュー➡P.196

2 ソフトを選択

ソフトを起動すると画面下に「 」や「 」が表示されます。

お買い上げ時のソフトについて→P.198

ｉアプリを終了する

1 CLR（1秒以上）または ▶「YES」

おしらせ

- ソフトの起動中に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終了するとソフトの画面に戻ります。ただし、ｉアプリの通信中は、「パケット通信中着信設定」の設定に従います。
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ソフトによってはmicroSDメモリーカードに、利用するデータ（ｉアプリデータ（microSD））を保存することができます。

おしらせ

- ソフトによっては、ｉアプリから Phone To ／ AV Phone To、Web To機能を利用できます。ただし、ｉアプリ待受画面からはご利用になれません（ｉアプリ実行中は利用可能です）。
- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能やｉC通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像を指します。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- ソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。
- ｉアプリからバーコードリーダーを起動してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取ったデータはソフトで利用されます。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IPにお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、「 」が点滅します。この際、通信料はかかりません。
- 2in1 のモードが B モードまたはデュアルモードの場合、ｉアプリによっては起動や操作、設定などができないことがあります。
- 以下の場合は、ｉアプリを起動できません。
  - 静止画の編集中
  - ｉモーションや着うたフル®をダウンロード中
- ソフトによっては全画面で表示され、電池残量や受信レベルを示すアイコンなどが表示されない場合があります。

機能 ソフト一覧画面（P.195）／ICカード一覧画面（P.211）

ソフト設定……ソフトの各種設定を行います。設定後、[i]［完了］を押すと設定を終了します。

待受画面設定→P.206

通信設定……ｉアプリを起動したときに通信するかしないかを設定します。「起動ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリを起動するたびに通信するかしないかを選択できます。

待受画面通信……待受画面に設定したｉアプリが通信するかしないかを設定します。

アイコン情報……ｉアプリを起動したときに未読のメール、メッセージのアイコン情報の利用を許可するかしないかを設定します。

着信音／画像変更……ｉアプリDXを起動したとき、自動的に電話やメール、メッセージの着信音、待受画面やメール送受信時などの画像、メニューアイコンの変更を許可するかしないかを設定します。「変更ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択できます。

電話帳／履歴参照……ｉアプリDXを起動したとき、自動的に電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールの参照を許可するかしないかを設定します。

省電力設定……ｉアプリ実行中に省電力モードに移るかどうかを設定します。FOMA端末を閉じたときにｉアプリを一時停止するかどうか、またはｉアプリ実行中にFOMA端末の操作や通信などがなかった場合に「各種設定」の「照明設定」の設定に従ってｉアプリを一時停止するかどうかを設定します。

ソフト情報→P.197

バージョンアップ→P.207

一覧表示切替……ｉアプリを一覧表示する方法を「タイトル画像＋アイコン／アイコン／ソフト名」から選択します。

ｉアプリTo設定→P.205

自動起動時刻設定→P.204

マイショートカット貼付→P.101

microSDへ移動……本体のｉアプリおよびｉアプリデータをmicroSDメモリーカードに1件移動します。
「microSDメモリーカード内のｉアプリを表示する」→P.207

保存容量確認……ｉアプリの保存容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>
- 「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<ソフト設定（アイコン情報）>
- 本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージの有無や圏内・圏外アイコンの有無、電池残量やマナーモードの状態がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- 本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトによってはｉアプリが動作しないことがあります。

<ソフト設定（省電力設定）>
- 「閉じたとき」を「設定する」に設定すると、FOMA端末を閉じたときにソフトが一時停止します。そのためタイムリーな情報を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- 「タイマー」を「設定する」に設定すると、ｉアプリ実行中にFOMA端末の操作や通信などがなかった場合、「各種設定」の「照明設定」の設定に従ってソフトが一時停止します。そのためタイムリーな情報を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<microSDへ移動>
- FOMA端末（本体）のｉアプリをmicroSDメモリーカードに移動する場合、FOMA端末（本体）にあるｉアプリデータもmicroSDメモリーカードに移動されます。
- メール連動型ｉアプリをmicroSDメモリーカードに移動してもFOMA端末本体にあるメール連動型ｉアプリのフォルダは削除されません。
- microSDメモリーカードにｉアプリを保存できるかどうかは、「ソフト情報」（P.197）で確認できます。

<削除>
- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダも削除するかどうかのメッセージが表示されます。ソフトのみを削除する場合は「NO」を、フォルダも同時に削除する場合は「YES」を選択します。ただし、「YES」を選択してもメール連動型ｉアプリ専用フォルダが使用中の場合、フォルダにロックが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ソフト自体の削除を行う際にICカード内のデータを削除する必要があるものがあります。このようなソフトは「1件削除」では、確認画面に従ってソフトを起動し、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行います。なお、「選択削除」または「全削除」の場合はソフトを起動できないため、事前にデータを削除してからソフトの削除を行ってください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
- 2in1のモードがBモードの場合、ｉアプリによっては削除できないことがあります。

サブディスプレイで背面ｉアプリを利用する〈背面ｉアプリ〉

サブディスプレイに背面ｉアプリを表示させるかさせないか（ON／OFF）を設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ｉアプリ設定」▶「背面ｉアプリ」▶「ON」または「OFF」

ｉアプリ実行時の音量を調節する〈ｉアプリ音量〉

ｉアプリの音量を調節します。

1 MENU▶「各種設定」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリ音量」

2 音量を設定

おしらせ

- ソフトによっては音量設定ができるものがあります。ただし、「ｉアプリ音量」を「消去」に設定している場合、ソフトの音量設定にかかわらず音が鳴りません。
- マナーモード設定中のｉアプリ音量は、マナーモード設定に従います。

ｉアプリの情報を確認する

1 ソフト一覧画面（P.195）▶✉［機能］▶「ソフト情報」▶ソフト情報を確認

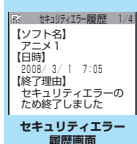
おしらせ

- 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。
- ソフト一覧画面では以下のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。
  - ：ｉアプリDX
  - ：メール連動型ｉアプリ
  - ：「自動起動時刻設定」を設定済み
  - ：「ｉアプリ待受画面設定」を設定済み
  - ：「自動起動時刻設定」と「ｉアプリ待受画面設定」を設定済み
  - ：「ｉアプリTo設定」が設定可
  - ：「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
  - ：「ｉアプリTo設定」と「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
  - SSL：SSL対応ページからダウンロードしたソフト
  - SD：microSDメモリーカードにデータを保存できるソフト→P.207
  - ：部分的に取得したｉアプリ
  - iC：おサイフケータイ対応ｉアプリ→P.210
- 「ソフト一覧画面」（P.195）や「ICカード一覧画面」（P.211）で、部分的に取得したｉアプリ（）や、管理情報のみが存在するｉアプリ（）を選択すると、残りのデータを取得することができます。

セキュリティエラー履歴を確認する

ｉアプリやｉアプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは、セキュリティエラーが発生して、その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」

「セキュリティエラー履歴画面」が表示されます。

セキュリティエラー履歴画面

機能メニュー➡P.197

2 セキュリティエラーの内容を確認

機能 セキュリティエラー履歴画面（P.197）

情報コピー……セキュリティエラーの内容をコピーします。

情報削除……セキュリティエラーの内容を削除します。

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動します。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することもできます。

- 起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ソフトを起動する項目を選択

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、9種類のソフトがあらかじめ登録されています。

- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。

デコ絵つくーるTM

カメラで撮影した静止画から文字や顔などの好きな素材を切り出し、加工・編集してデコレーションメールで使用できる素材を作成できます。

1 ソフト一覧画面（P.195）▶「デコ絵つくーる」

■ 終了する場合
▶✉［終了］▶「はい」

■ 音を消す場合
▶「サウンド：オン」

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶「ヘルプ」

はじめてのおつかい for SO

頼まれた商品をいろいろなお店で買うお買い物ゲームです。仲間達と協力して、頼まれた商品を買って帰りましょう。

1 ソフト一覧画面（P.195）▶「はじめてのおつかい」

■ 終了する場合
▶ⓘ［終了］

■ 音を消す場合
▶✉［♪○］

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶「ヘルプ」

地図アプリ

「地図アプリ」とは、オープンｉエリアを利用した現在地の確認や、指定した場所の地図を見たり、目的地までのルート確認などを行うことができるｉアプリです。

- 本ソフトのご利用にあたっては、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルのご契約をおすすめいたします。
- 本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ｉエリア－周辺情報－」からダウンロードしてください。
- 本ソフトはメール機能を利用するｉアプリのため、2in1のモードがBモード中には利用できません。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

● 基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

はじめて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。

91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン🏠地図＋ナビ」の会員登録（有料）が必要です。

本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内容	90日まで	91日以降
このあたりの場所	• オープンｉエリアを用いて、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。	無料	無料
周辺を調べる	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べ、グルメ情報からクーポンを取得します。 • 周辺の天気確認や駐車場の満空情報を確認します。	無料	無料
地図を見る	• フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。	無料	無料
	• 本ソフトやサーバに登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 • サーバに登録するとパソコンと登録地点を共有します。	無料	有料
ルートを探す	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めたトータルのルートを検索します。 • 登録した自宅まで簡単にルートを検索します。	無料	有料
乗換案内	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。	無料	有料
設定／直感★	• FOMA端末を傾けて、地図を動かします。	無料	無料
	• 地図表示の設定、使い方の確認をします。	無料	無料

●「地図アプリ」TOPメニューの画面と操作について

- ●画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。
- ●初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

■TOP画面

TOP画面に各メニューが表示されます。メニューを閉じると前回検索した地図が表示されます。

TOPメニュー画面

■会員登録をせずに91日を過ぎた場合

91日以降、最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。
また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

※ 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン🏠地図＋ナビ」のサイトで会員登録します。

● 地図の画面と操作について

■地図表示画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2008

iアプリ

■地図表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
[メール]［メニュー］	メニューを表示します。
[■]	クイックアクセスメニューを表示します。
[i]［拡縮］	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は[上]、詳細表示する場合は[下]を押します。[i]［閉じる］を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
[方向キー]	地図を上下左右に移動します。
CLR	メニューを閉じたり、最初の検索結果の場所へ戻ります。
＊	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

■クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
[上]［周辺を調べる］	表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べます。
[下]［ココへのルート］	出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索します。
[左]［ココを[メール]送信］	表示している地図のURLをメールで送信します。
[右]［ココを登録］	地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバに登録します。サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有することができます。
[■]［地図へ］	クイックアクセスメニューを閉じます。
1［パノラマ］	パノラマ画像が閲覧できるポイントを表示します。ポイントを選択すると、パノラマ画像を見ることができます。
2［ビルテナント］	周辺に存在するビルを表示し、テナントがある場合、クリックで確認できます。

● 周辺情報の検索結果の画面と操作について

●画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。
●検索結果表示を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。

■周辺情報の検索結果画面

■周辺情報の検索結果表示時のボタン操作

●検索結果の店舗などにカーソルがあたっていない場合は、クイックメニューが表示されます。

ボタン操作	動作
[■]	検索結果の詳細情報を確認します。
[方向キー]	地図を上下左右に移動します。
5	表示している地図を中心にして再検索します。
4	前の検索結果を見ます。
6	次の検索結果を見ます。
[メール]［メニュー］	メニューを表示します。
[i]［拡縮］	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は[上]、詳細表示する場合は[下]を押します。[i]［閉じる］を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。

● 目的地までルートを検索する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。

1 TOPメニュー画面（P.199）▶「ルートを探す」▶「ルートを探す」

2 「出発地」▶以下の項目から出発地を設定

このあたり……オープンｉエリアでおおよその位置を測位して設定します。

フリーワード検索……キーワードで検索して設定します。

地図上で指定……地図で出発地を設定します。

TEL／〒検索……電話番号・郵便番号で検索して設定します。

住所一覧から……住所を選択して設定します。

ジャンルから……ジャンルを選択して設定します。

履歴から……過去に表示した地図から設定します。

登録地点から……本ソフトやサーバに保存している位置情報から設定します。

自宅……自宅の位置情報を設定します。

出発地の確認……出発地の情報を確認します。

3 「目的地」▶操作2と同様の操作で目的地を設定

4 「時間指定」▶以下の項目から選択

現時刻で指定……現在の時間でルートを調べます。

出発時刻指定……出発時間を指定してルートを調べます。

到着時刻指定……到着時間を指定してルートを調べます。

終電を利用……当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 「条件設定」▶以下の項目から選択▶「上記で設定」▶「OK」

乗換条件……乗り換えの選択基準を「早い／安い／楽々」から選択します。

徒歩ルート……ルートの選択基準を「おまかせ／屋根多い／階段少ない」から選択します。

特急利用……ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかどうかを選択します。

通常利用車種……利用する車種を選択します。

6 ルート条件を選択

トータルルート検索の「で検索」と自動車だけの「のみで検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート（最大6件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴を表示します。

表示内容	意味
早	到着時間が早いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗換えが少ないルート
オススメ	上記3つの条件が揃ったルート
有料	有料道路を使った自動車ルート
一般	一般道路を使った自動車ルート

■ ルートを登録する場合
▶「ルートを登録」

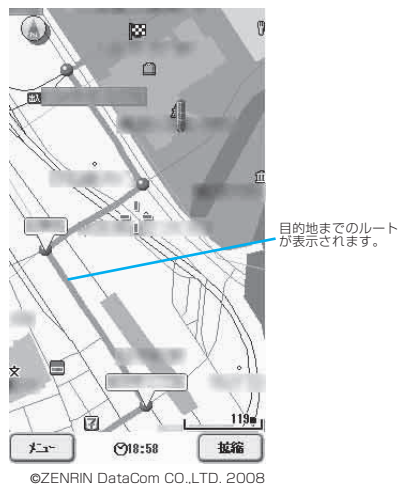
7 ルートを選択▶「ルート確認」

■ 時刻表を確認する場合
▶「時刻表」

● ルート（自動車）表示の画面と操作について

●画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

■ルート（自動車）表示画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2008

■ルート表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
[メニュー]	ルート表示を終了し、TOPメニューを表示します。
■	クイックアクセスメニューを表示します。
[拡縮]	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は、詳細表示する場合はを押します。[閉じる]を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
✥	地図を上下左右に移動します。
CLR	出発地点の位置に戻ります。
2	交差点モードに切り替えます。
*	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

■クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
[結果&設定]	ルートの検索結果（時刻や料金など）を表示したり、ルート表示の設定をしたりします。
[経由地を設定]	目的地までのルートに経由地を3箇所まで加えてルートを検索します。
[リルート]	現在地から目的地までのルートを再検索します。
1 [ルート消去]	表示しているルートを消去します。
2 [モード切替]	交差点モードに切り替えます。

● 設定・ヘルプを利用する

1 TOPメニュー画面（P.199）▶「設定／直感★」▶「設定・ヘルプ」▶以下の項目から選択

会員情報確認……「ゼンリン地図+ナビ」に会員登録しているかどうかを確認できます。

基本設定……地図表示色など、ソフト全般に関する設定をします。

ルート検索設定……ルート検索全般に関する設定をします。

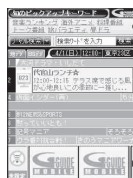
自宅設定……自宅の場所を登録します。

履歴系クリア……地図やルート検索などを利用した履歴を削除します。

使い方の説明／よくある質問／利用規約……使い方の説明やよくある質問、利用規約を確認できます。

Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が一つになった月額利用料が無料の便利アプリです。知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の「時計設定」を日本時間に合わせてください。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

■リモート録画予約機能について
リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定方法
  ① DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください）。
  ② 次に本アプリを起動し、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに従って初期設定を進めてください。
- 番組予約の方法
  初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューからリモート録画予約を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDハードディスクレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。
  ※ すでに同じ時間に予約がされている場合には、メッセージが番組表に表示されます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iD設定アプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    i ▶ｉMenu▶メニュー／検索▶「iD」

DCMXクレジットアプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

DCMXとは、「iD」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモグループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々１万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがあります。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

■ アプリの機能

入会申し込み・審査※1

カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※3でショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する
お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1：DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。

※2：ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

※3：一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    i ▶ｉMenu▶DCMX iD

おしらせ

- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- IC カードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリバンキング

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込･振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    ｉ▶ｉMenu▶メニュー／検索▶モバイルバンキング▶ｉアプリバンキング

楽オク出品アプリ2

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。ガイド表示付きで、はじめて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影･編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ホームページおよびｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    ｉ▶ｉMenu▶楽オク-オークション-

FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

おしらせ

- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

ｉアプリを自動起動する

指定した日時または時間間隔でソフトが自動起動するように設定します。

自動起動するかどうかを設定する 〈自動起動設定〉

- 自動起動時刻は3件まで設定することができます。

1 **MENU▶「ｉアプリ」▶「自動起動設定」▶「許可する」または「許可しない」**

起動日時を設定する 〈自動起動時刻設定〉

ソフトが自動起動する日時を設定します。

- 以下のような場合、ソフトは自動起動しません。
  - 電源を切っている場合
  - ほかの機能が起動している場合
  - 通話中
  - 通信中
  - ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム／スケジュール／To Doリストの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - 同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分未満で起動時刻が設定されていた場合

1 ソフト一覧画面（P.195）▶✉［機能］▶「自動起動時刻設定」▶◎で□（チェックボックス）を選択

■ ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合
▶「時間間隔設定」のチェックボックスを選択

■ 起動日時を設定する場合
▶「起動時刻設定」のチェックボックスを選択

2 i［完了］▶起動日時を設定

■ 起動日時を設定する場合
▶日時を選択▶起動日時を入力

■ 自動起動の繰り返しを設定する場合
▶繰り返し設定を選択▶「毎日」または「曜日指定」
「曜日指定」を選択したときは、◎で□（チェックボックス）を選択しi［完了］を押します。

3 i［完了］

ｉアプリが自動起動したかどうかを確認する

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認します。

●ICカード機能からの起動に失敗したソフトについても確認できます。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「自動起動情報」
ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。

おしらせ

● 自動起動できなかった場合は、待受画面に「 」（未起動ソフトあり）というショートカットアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。起動するソフトを選択すると、ソフトを起動することができます。
情報を通知するショートカットアイコンについて
→P.101

サイトやメールからｉアプリを起動する 〈ｉアプリTo機能〉

ｉモードのサイトやメールなど、ｉアプリ以外の機能からｉアプリを起動します。

ｉアプリToで起動するかどうかを設定する 〈ｉアプリTo設定〉

ｉモードのサイトやメール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード機能、トルカからｉアプリのソフトを起動するかどうかを設定します。

●ソフトごとに設定することができます。

1 ソフト一覧画面（P.195）▶✉［機能］▶「ｉアプリTo設定」

2 ◎で□（チェックボックス）を選択▶i［完了］

サイトからｉアプリを起動する

ｉモードのサイトにｉアプリのソフトの起動指定が表示されている場合は、サイトからソフトを起動することができます。

●一部ご利用になれないサイトがあります。

1 サイト画面（P.144）▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」

おしらせ

● 通常のｉアプリのソフトとは異なり、ｉモードのサイトからすぐに起動するｉアプリのソフトがあります。
 • ｉモードのサイトからダウンロードしてもFOMA端末には保存されません。
 • FOMA端末に保存できないソフトもあります。

メールからｉアプリを起動する

受信したｉモードメールにｉアプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合は、ｉモードメールからソフトを起動することができます。

1 受信メール詳細画面（P.177、180）▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」

おしらせ

● ｉモードメールを引用返信や転送をしても、ｉアプリの起動指定は引用できません。また、赤外線通信機能やドコモケータイdatalink（P.324）などを使ってメールを転送した場合も、ｉアプリの起動指定は引用できません。

その他の機能からｉアプリを起動する

赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード機能、トルカなど、さまざまな機能からｉアプリを起動します。

■赤外線通信機能
赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信すると、ｉアプリのソフトが起動します。

■バーコードリーダー
バーコードリーダーで読み取ったデータにｉアプリの起動指定が含まれている場合は、バーコードリーダーからソフトを起動することができます。

■ICカード機能
FOMA端末の FeliCa マークを読み取り機にかざすと、ソフトを起動することができます。

■トルカ
取得したトルカにｉアプリの起動指定が貼り付けられている場合は、トルカからソフトを起動することができます。

おしらせ

<ICカード機能>
- 以下のような場合、ソフトは起動しません。
  - ほかの機能が起動している場合
  - 通話中
  - 起動しようとしたソフトがない場合

ｉアプリ待受画面を設定する 〈ｉアプリ待受画面設定〉

選択したｉアプリのソフトを待受画面として設定します。

- 待受画面に設定できないソフトもあります。

1 ソフト一覧画面（P.195）▶[i]［設定］▶「待受画面設定」▶「設定する」▶[i]［完了］

おしらせ

- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。
- 通信するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- 「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面表示中に「ダイヤルロック」または「オリジナルロック」を設定するか、2in1のモードをBモードまたはデュアルモードにすると、ｉアプリ待受画面は終了します。「ダイヤルロック」または「オリジナルロック」を解除するか、2in1のモードをAモードにすると、ｉアプリ待受画面が再び表示されます。

おしらせ

- タスクを切り替えて待受画面を表示したときは、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。

ｉアプリ待受画面を実行する

ｉアプリ待受画面に設定したソフトを実行します。

1 ｉアプリ待受画面表示中▶[CLR]
ｉアプリが実行中になり、画面下に「[アイコン]」または「[アイコン]」が点滅表示されます。

ｉアプリ待受画面を解除する 〈ｉアプリ待受画面解除〉

● ｉアプリ実行中に解除する

1 ｉアプリ実行中▶[CLR]（1秒以上）または[終話]▶以下の項目から選択

キャンセル……ｉアプリ待受画面実行中の画面に戻ります。

終了する……ｉアプリ待受画面に戻ります。

解除する……ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

● ｉアプリ待受画面の表示中に解除する

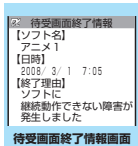
1 [MENU]▶「各種設定」▶「ｉアプリ設定」▶「待受画面終了」

2 「設定解除」▶「YES」

■ 解除を中止する場合
▶「終了」

ｉアプリ待受画面の終了情報を確認する

ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

1 [MENU]▶「ｉアプリ」▶「ｉアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」
「待受画面終了情報画面」が表示されます。

待受画面終了情報画面

機能メニュー➡P.207

機能 待受画面終了情報画面（P.206）

情報コピー……待受画面終了情報の内容をコピーします。

情報削除……待受画面終了情報を削除します。

おしらせ

- ｉアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする 〈バージョンアップ〉

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面（P.195）▶[機能]▶「バージョンアップ」▶「YES」

おしらせ

- 以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - BOXロックの設定中
  - フォルダロックの設定中
  - バージョンアップするメール連動型ｉアプリ専用の送信／受信メールフォルダの使用中

microSDメモリーカード内のｉアプリを表示する 〈microSDソフト一覧〉

microSDメモリーカードに保存されているｉアプリを一覧表示します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「microSD」▶「microSDソフト一覧」

「microSDソフト一覧画面」が表示されます。機能メニュー→P.207

機能 microSDソフト一覧画面（P.207）

ソフト情報……microSDメモリーカードに保存されているｉアプリのソフト情報を表示します。

本体へ移動……microSDメモリーカードに保存されているｉアプリおよびｉアプリデータを本体に1件移動します。

保存容量確認……ｉアプリの保存容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- microSDソフト一覧からｉアプリは起動できません。
- microSDメモリーカードに保存されているｉアプリは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
- microSDメモリーカードに保存されているｉアプリをFOMA端末（本体）に移動する場合、microSDメモリーカードにあるｉアプリデータもFOMA端末（本体）へ移動されます。
- microSDメモリーカードに保存されているｉアプリをFOMA端末（本体）に移動できるかどうかは、「ソフト情報」（P.197）で確認できます。

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する 〈microSD保存データ〉

microSDメモリーカードに保存されているｉアプリデータ（microSD）をフォルダ名で一覧表示します。

1 MENU▶「ｉアプリ」▶「microSD」▶「microSD保存データ」

「microSD保存データ一覧画面」が表示されます。機能メニュー→P.207

機能 microSD保存データ一覧画面（P.207）

データ情報……ｉアプリの作成者、利用可能ソフト、microSDメモリーカードを利用できるかどうかなどを表示します。

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- ソフトからmicroSDメモリーカードに保存するｉアプリデータは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
- ソフトからmicroSDメモリーカードにｉアプリデータを保存するかどうかは、「ソフト情報」（P.197）で確認できます。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa ）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。FeliCa とは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触IC カードの技術方式の一つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話がますます便利な道具になります。
また従来の FeliCa に対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります（詳細はIP（情報サービス提供者）にご確認ください）。
※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失･変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）やｉCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失･変化その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難･紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、ダイヤルロック、おまかせロック、ICカードロックを利用できます。→P.109、215

ｉCお引っこしサービスとは

ｉCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時に、ICカード内のデータを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
ｉCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1：ｉCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります（一部手数料がかからない場合もあります）。また、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。
※2：おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはｉCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。
※3：ｉCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイがｉCお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

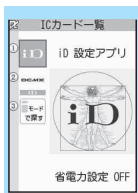
おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ソフト一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  - 電池が切れた場合
- おサイフケータイ対応ｉアプリをはじめて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います」と表示されます。それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し、一度おサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。

1 MENU ▶「おサイフケータイ」▶「ICカード一覧」

「ICカード一覧画面」が表示されます。

ICカード一覧画面

機能メニュー ➡P.196

2 **おサイフケータイ対応 i アプリを選択**

「ソフト一覧画面」(P.195) からも起動できます。

おしらせ

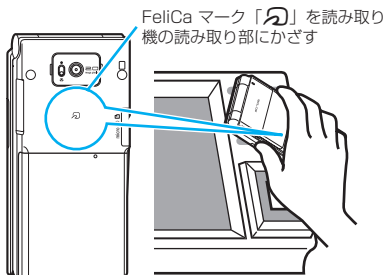
- 2in1のモードがBモードの場合、メールの機能を利用する i アプリは起動できません。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中は、おサイフケータイ対応 i アプリを起動することはできませんが、FeliCa マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけます。

1 **FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する**

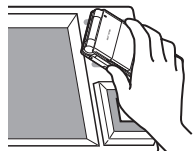
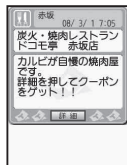
おサイフケータイ利用時には、「ICカードランプ」の設定に従って着信ランプの点滅でお知らせします。

おしらせ

- 電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからも FeliCa マークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用いただくことができます（おサイフケータイ対応 i アプリを起動することはできません）。ただし、電池パックを取り付けていないとき、また取り付けていても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FeliCa マークの面を読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- FeliCa マークをかざしても認識されない場合は、読み取り機の読み取り部になるべく近づけ、平行になるように、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCa マークを読み取り機の読み取り部にかざしたときに、おサイフケータイ対応 i アプリが起動することがあります。

トルカとは 〈トルカ〉

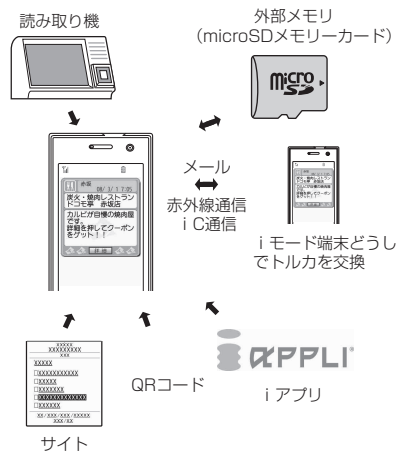
トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。

- 取得したトルカは「おサイフケータイ」メニューの「トルカ」内に保存されます。
- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ i モード<FOMA>編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得

トルカ

トルカ（詳細）

トルカ一覧から取得したトルカを選択。「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカの取得手段

おしらせ

- サイトからトルカおよびトルカ（詳細）を取得する場合は、通常のパケット通信料がかかります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。

トルカを取得する　〈トルカ取得〉

読み取り機からトルカを取得します。

- トルカは最大100件※までトルカフォルダに保存することができます。保存できるトルカサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。

※：利用済みトルカフォルダには別途最大20件保存できます。

1 FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り機にかざす

「ICカードランプ」の設定に従って着信ランプでお知らせし、トルカ取得音が鳴って、取得したトルカやトルカ（詳細）が約15秒間表示されます。

読み取り機へのかざしかた→P.211

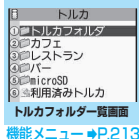
おしらせ

- ほかの機能が起動しているときは、取得したトルカは表示されません。
- トルカ取得音は変更できません。また、音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。「ステップ」に設定した場合は「レベル4」の音量になります。
- ICカードロック設定中、おまかせロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

トルカを表示する　〈トルカビューア〉

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「トルカ」

「トルカフォルダ一覧画面」が表示されます。

トルカフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.213

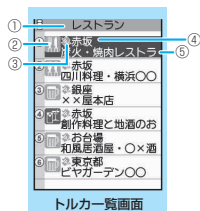
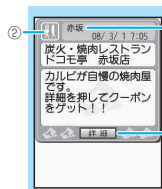
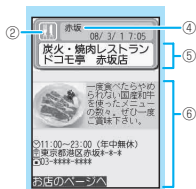
2 フォルダを選択▶トルカを選択

「トルカ表示画面」が表示されます。

● トルカ一覧画面・トルカ表示画面の見かた

トルカ一覧画面

機能メニュー➡P.213

トルカ表示画面(トルカ)　機能メニュー➡P.214

トルカ表示画面(トルカ(詳細))　機能メニュー➡P.214

①フォルダのタイトル
②トルカのカテゴリーを示すアイコン
③トルカの状態

：未読トルカ

：既読トルカ

：有効期限切れトルカ

④場所など（インデックス）
⑤トルカのタイトル
⑥トルカの内容（Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo※機能を利用することもできます）
※：トルカ（詳細）でのみ利用可能です。
⑦トルカ（詳細）を取得

おしらせ

- トルカによっては、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo機能が利用できない場合があります。

機能 トルカフォルダ一覧画面（P.212）

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
FOMA端末には20個までフォルダを追加できます。FOMA端末内のフォルダの場合、全角10文字、半角20文字まで、microSDメモリーカード内の場合は全角31文字、半角63文字まで入力できます。

フォルダ名編集※1……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。

全検索※2※3……項目（インデックス／タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。

全フィルタ※2※3……選択した条件に一致するトルカのみを表示します。

全表示※2※3……全検索または全フィルタ機能による表示を解除し、保存されているすべてのトルカを表示します（「microSD」「利用済みトルカ」フォルダ内のデータは除く）。

ｉC全送信※2※3→P.258

赤外線全送信※2※3→P.256

フォルダ削除※1……フォルダを削除します。

保存件数確認※3……FOMA端末内に保存されているトルカの件数を表示します。

トルカ全削除……FOMA端末内に保存されているトルカをすべて削除します。

※1：ユーザ作成フォルダ以外のフォルダでは、利用できません。
※2：「microSD」フォルダ内のフォルダのときは利用できません。
※3：「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内データは、操作の対象になりません。

機能 トルカ一覧画面（P.213）

フォルダ移動※1……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、トルカをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

コピー※1……「1件コピー／選択コピー／全コピー」を選択後、コピー先のフォルダを選択し、トルカをほかのフォルダにコピーします。「複数選択について」→P.38

検索※2……項目（インデックス／タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。

フォルダ内全表示※2……検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を解除し、フォルダ内のすべてのトルカを表示します。

- トルカフォルダ一覧画面で「全検索」「全フィルタ」「全表示」を実行しているときは「全表示」と表示されます。

ソート※2……選択した条件に従ってトルカを並び替えます。

フィルタ※2……選択した条件に一致するトルカのみを表示します。

iモードメール作成※1※3……トルカを添付したiモードメールを作成します。

iC送信※2→P.257

赤外線送信※2→P.256

microSDへコピー※2→P.246

本体へコピー※4→P.247

保存件数確認※1……FOMA端末内に保存されているトルカの件数を表示します。

トルカ情報※1……トルカの情報を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※2：「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：microSDメモリーカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。

機能 トルカ表示画面（P.213）

フォルダ移動……移動先のフォルダを選択し、トルカを移動します。

コピー……コピー先のフォルダを選択し、トルカをコピーします。

iモードメール作成※1……トルカを添付したiモードメールを作成します。

iC送信※2→P.257

赤外線送信※2→P.256

microSDへコピー※2→P.246

本体へコピー※3→P.247

更新※2※4……トルカ(詳細)を新しい情報に更新します。

画像保存※2※4……トルカ（詳細）の画像を保存します。「通常画像／背景画像」から選択します。

電話帳登録※2……トルカに含まれる電話番号またはメールアドレスを電話帳に登録します。→P.76

リプレイ※2※4……トルカ（詳細）のFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

削除……トルカを1件削除します。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：「microSD」のフォルダ内では利用できません。
※3：microSDメモリーカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。
※4：本体に保存されているトルカ（詳細）を表示中のときのみ利用できます。

おしらせ

- トルカによっては、コピー、メール添付送信、iC送信、赤外線送信、microSDメモリーカードへのコピー、更新を行うことができない場合があります。

トルカについて設定する 〈トルカ設定〉

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「トルカ設定」▶以下の項目から選択

外部R/Wからの取得……読み取り機にかざしたときにトルカ取得を行う（許可する）か拒否する（許可しない）かを設定します。
「許可する」に設定した場合、トルカ取得時にFOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）のトルカとの重複チェックを行うかどうかを設定します。

自動読取設定……読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定します。
「ON」に設定すると、FOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）の利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。

スクロール設定……トルカ表示画面のスクロール行数を「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

おしらせ

<外部R/Wからの取得>
- 重複チェックを「行う」に設定した場合、同じトルカを取得することができません。同じトルカを取得したいときは、「行わない」に設定してください。なお、お買い上げ時は「行う」に設定されています。

<自動読取設定>
- 「OFF」に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示される場合があります。

ICカード機能利用時のランプについて設定する 〈ICカードランプ〉

ICカード機能利用時に通信ランプを点灯させるかさせないか（ON／OFF）を設定します。

1 MENU▶「おサイフケータイ」▶「設定」▶「ICカードランプ」▶「ON」または「OFF」

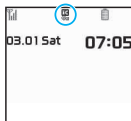
ICカード機能をロックする
〈ICカードロック設定〉

ほかの人にICカード機能を無断で使われることを防ぐために、ICカード機能をロックします。

● 電源を切ってもICカードロックは解除されません。

1 待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）

ICカードロックが設定されて「[IC]」が表示されます。

■ 解除する場合
▶[＊]（1秒以上）▶端末暗証番号を入力

おしらせ

● 電池パックを取り外すとICカードロックが自動的に設定されます。この場合、電池パックを取り付けるとICカードロックは自動的に解除されます。
● ICカードロックを設定しているときに電池残量がなくなって電源が切れた場合でもICカードロックは解除されません。
● ICカードロック設定中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによってはダウンロードやバージョンアップ、削除ができないことがあります。

電源を切ったときにICカード機能をロックする
〈電源OFF時ICロック設定〉

電源が入っていないときにおサイフケータイが利用できないよう、ICカード機能をロックします。

1 [MENU]▶「おサイフケータイ」▶「ICカードロック設定」▶端末暗証番号を入力▶「電源OFF時ICロック設定」▶以下の項目から選択

直前の状態を保持……電源を切る直前のICカードロックの設定と同じになります。

ICカードロックON……ICカードロックの設定にかかわらずICカード機能をロックします。

フルブラウザ

フルブラウザで登録したホーム、Bookmarkなどのデータはｉモードで利用することはできません。
また、フルブラウザで設定した内容はｉモードには反映されません。

パソコン向けのインターネットホームページを表示する
〈フルブラウザ〉

パソコン向けに作成されたインターネットホームページをフルブラウザの機能を利用して閲覧します。iモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、一部については表示が可能です。

- インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- フレーム※1で作成したインターネットホームページを閲覧することができます。また、フレームを選択して表示することもできます。→P.219
- フルブラウザでSSL／TLS※2対応のページを表示できます。

※1：本章での「フレーム」はフレーム撮影のフレームとは異なり、ウィンドウ内を分割して作成されているインターネットホームページのことを指します。

※2：SSL、TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

ページを表示する

i▶「フルブラウザ」

以下の項目から選択

ホーム……ホームURLに登録したページを表示します。

Bookmark……Bookmark登録したページを表示します。

サイト閲覧履歴→P.146

URL入力……URLを入力してページを表示します。

フルブラウザ設定→P.221

■ **フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示された場合**

お買い上げ時は「アクセス設定」（フルブラウザを利用するかどうかの設定）が「利用しない」に設定されています。

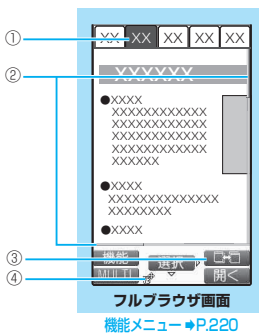
「アクセス設定」が「利用しない」に設定されている場合は、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。表示される注意事項をよくお読みになり、設定を行ってください。ここで「利用する」を選択すると、「アクセス設定」（P.221）が「利用する」に変更され、設定が保持されます。

おしらせ

- フルブラウザで表示しているページを画面メモに保存することはできません。
- フルブラウザで閲覧しているインターネットホームページをiモードに切り替えて表示することはできません。
- フルブラウザはFlashには対応していません。
- 「アクセス設定」はFOMAカードを挿入していないと設定できません。
- 「アクセス設定」を「利用する」に設定していても、別のFOMAカードに差し替えた場合は、「利用しない」に変更されます。

● フルブラウザ画面の見かた

フルブラウザ画面

機能メニュー➡P.220

①タブ

- 同時に表示しているページの数に合わせ、タブおよびタイトルを表示（タイトルがない場合は、URLを表示）
- フレームを選択して、フレーム内表示画面（P.219）を表示しているときは「」も表示
- フレームを選択して表示中（P.219）に、別のフレームが通信中のときは「」も表示

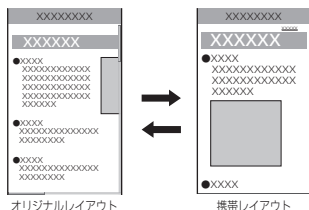
②スクロールバー

表示しているページの現在位置（携帯レイアウト時非表示）

③ [icon] ウィンドウ切替アイコン
複数のページを開いているとき、[i]［[icon]］でページの切り替えができるときに表示

④ [FB]または[icon]
フルブラウザでインターネット接続中に表示（携帯レイアウト時は「[FB]」を表示）

● レイアウトについて

オリジナルレイアウト／携帯レイアウトの2つの表示モードがあります。

オリジナルレイアウト　携帯レイアウト

■オリジナルレイアウト
パソコン上で横800×縦600ドットの表示をしたときの大きさと同じようにページを表示します。表示されていない領域は、上下左右にスクロールして閲覧します。

■携帯レイアウト
FOMA端末の画面幅でページを表示します。上下のスクロール操作だけでページを閲覧できます。

■表示モードの切り替え
機能メニューの「表示モード切替」を選択するたびに、オリジナルレイアウト／携帯レイアウトが切り替わります。

- 最初に表示されるモードを「フルブラウザ設定」の「表示モード設定」（P.221）で設定することができます。
- 表示モードはフルブラウザ終了時に保持され、次回起動したときに、前回と同じモードで表示されます。

フルブラウザ画面の操作について

● スクロールのしかた

ボタン	説明
[方向キー]	押した方向にリンクを移動しながらスクロールします。 押し続けると、その方向に連続してスクロールします。
[◀マナー] [メモ▶]	画面単位で上方向または下方向にスクロールします。
[◀マナー]（1秒以上） [メモ▶]（1秒以上）	ページの一番上または一番下にジャンプします。

● フルブラウザ画面の便利なボタン

ボタン	説明
1	縮小表示 （携帯レイアウトでは、文字サイズの縮小）
2※	サイト全体から表示したい部分を選択し、指定部分を表示（横画面で表示中は利用できません）
3	拡大表示 （携帯レイアウトでは、文字サイズの拡大）
4	1つ前に表示していたページに戻る
5	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示
6	キャッシュに取得済の次のページに進む
9※	横画面で表示または解除（縦画面に戻る）
0	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示

※：オリジナルレイアウトでのみ利用できます。

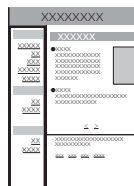
おしらせ

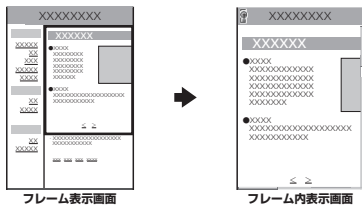
- 横画面で表示中はファンクション表示はされませんが、縦画面で表示中と同じようにファンクションボタンによる操作は行えます。
- 横画面で複数の画面（マルチウィンドウ）表示中に、いずれかの画面を閉じると、縦画面表示に戻ります。

● フレーム対応のページを表示する

パソコン向けにフレームで作成されたページをフレーム単位で表示します。

1 フルブラウザ画面（P.218）▶フレームで作成されたページを表示

フルブラウザ

② フレームを選択

選択したフレームが表示されます。

■ フレーム表示画面に戻る場合

▶CLR

おしらせ

- フレームでの分割数が多いページの場合、すべてのフレームを表示できないことがあります（文字や画像のないフレームとなります）。

● 画像のアップロードについて

インターネットホームページによってはFOMA端末に登録してあるJPEG形式およびGIF形式の画像をアップロードできます。

- 画像をアップロードする方法は、ページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

おしらせ

- 選択した複数の画像の合計が80Kバイトを超える場合、または選択した画像以外のデータとの合計が100Kバイトを超える場合はアップロードすることはできません。
- ページによってはアップロードできない場合があります。
- FOMA端末外へ出力が禁止されている画像はアップロードできません。

機能 フルブラウザ画面（P.218）

Bookmark登録……ブックマークに登録します。最大100件まで登録できます。

Bookmark一覧……Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。Bookmarkフォルダは、最少で3（シークレットフォルダ含む）、最大で12作成できます。

画像保存……表示中のページの画像を保存します。

URL入力……URLを入力してページを表示します。

サイト閲覧履歴→P.146

横画面モード切替 ⇔ **横画面モード解除**※1……ページを横画面で表示、または解除（縦画面に戻る）します。

ズーム※2……表示サイズを「縮小2／縮小1／標準／拡大1／拡大2／指定位置拡大」から選択します。「指定位置拡大」を選択した場合、サイト全体から表示したい部分を選択します。

文字サイズ切替※3……文字サイズを「小／中／大／特大」から選択します。→P.100

ウィンドウ操作

新ウィンドウで開く……「マルチウィンドウで表示する」→P.148

ウィンドウを閉じる……表示中のウィンドウを閉じます。

ウィンドウ切替……複数のページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。

フレーム表示へ戻る……フレーム内表示画面からフレーム表示画面に戻ります。

表示モード切替……「オリジナルレイアウト」と「携帯レイアウト」を切り替えます。

再読み込み……表示中のページを更新します。

iモードメール作成……表示中のページのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。

前のページへ戻る……現在表示しているページの1つ前に表示していたページに戻ります。

次のページへ進む……「前のページへ戻る」の操作を行う前のページに戻ります。

マイショートカット貼付→P.101

ホーム登録／表示

ホーム登録……表示中のページをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるのは1件です。

ホーム表示……ホームURLに登録したページを表示します。

サイト情報表示

タイトル表示……表示中のページのタイトルを確認します。

URL表示……表示中のページのURLを表示します。

証明書表示……表示中のページがSSL／TLS対応ページの場合にSSL／TLS証明書の内容を表示します。

ブラウザ設定／表示

リプレイ……表示中のページのアニメーションを最初から再生します。

画像表示設定（お買い上げ時：表示する）……画像を表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像の代わりに「🖼」が表示されます。

Referer設定（お買い上げ時：送信する）→P.222

Cookie設定（お買い上げ時：有効）→P.221

フルブラウザ

Cookie削除→P.222

文字コード変換…… 表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

※1：携帯レイアウトでは利用できません。
※2：オリジナルレイアウトの場合に表示されます。
※3：携帯レイアウトの場合に表示されます。

おしらせ

＜画像保存＞
- PNG形式やBMP形式の画像の場合は、自動的にmicroSDメモリーカードの「OTHER」フォルダ内の「OUDXXX」（XXXは数字）フォルダに保存されます。

フルブラウザについて設定する 〈フルブラウザ設定〉

1 i▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶以下の項目から選択

アクセス設定（お買い上げ時：利用しない）……フルブラウザを利用するかどうかの設定をします。

ホーム設定（お買い上げ時：Google（http://www.google.co.jp））……ホームURLの設定を行います。

スクロール設定

速度設定（お買い上げ時：高速）……スクロール速度を「高速／低速」から選択します。

スクロール中のフォーカス表示（お買い上げ時：表示しない）……スクロール中にリンク先を反転させるかどうかを設定します。

画像表示設定（お買い上げ時：表示する）……画像を表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像の代わりに「」が表示されます。

Cookie設定（お買い上げ時：有効）→P.221

Cookie削除→P.222

Referer設定（お買い上げ時：送信する）→P.222

表示モード設定（お買い上げ時：オリジナルレイアウト）

オリジナルレイアウト（お買い上げ時：標準）……画面表示を「縮小2／縮小1／標準／拡大1／拡大2」から選択します。

携帯レイアウト（お買い上げ時：中）……文字の大きさを「小／中／大／特大」から選択します。

Script設定（お買い上げ時：有効）……ページを表示したとき、JavaScript※を有効にするかどうかを設定します。ページによってはScript設定を「有効」に設定しないと、正常に表示できない場合があります。

ウィンドウオープンガード設定（お買い上げ時：無効）……JavaScript※で新規ウィンドウを自動で開かないようにするかどうかを設定します。「有効」に設定すると自動でウィンドウが開かなくなります。

タブ開き方設定（お買い上げ時：裏で開く）……新規ウィンドウを開くとき、表示を切り替える（表で開く）か、元の表示を残したまま（裏で開く）にするかを設定します。

フルブラウザ設定確認……フルブラウザ設定の設定内容を確認します。

フルブラウザ設定リセット……フルブラウザ設定の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※：JavaScriptは、インターネットホームページ上で動作する簡易プログラム言語で、動きのあるインターネットホームページを作成するときなどに幅広く利用されています。

Cookieについて

Cookie※を利用すると一度アクセスしたインターネットホームページに、効率よくアクセスすることができるようになります。

※：Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておくしくみです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。
Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

Cookieについて設定する

1 i▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶「Cookie設定」▶以下の項目から選択

有効……Cookieを常に有効にします。
Cookieを送受信するときに確認を行いません。

無効……Cookieを常に無効にします。

毎回確認（送信時）……ページに接続するたびに、Cookieを送信するかしないかを選択できます。Cookieを受信するときには確認を行わず、情報がFOMA端末に書き込まれます。

毎回確認（受信時）……ページに接続するたびに、Cookieを受信するかしないかを選択できます。Cookieを送信するときには確認を行わず、情報を送信します。

毎回確認（送受信時）……ページに接続するたびに、Cookieを送受信するかしないかを選択できます。

おしらせ

- Cookieは、最大件数、または最大容量を超えた場合に使用されないものから順に削除されます。
- フルブラウザ設定リセットを実行するとCookieが削除されます。

Cookieを削除する

FOMA端末に保存されたフルブラウザのCookieを削除します。

1 **i ▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶「Cookie削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**
FOMA端末に保存されているフルブラウザのCookieがすべて削除されます（Cookieを個別に削除することはできません）。

Refererについて

Referer※を送信するかどうかを設定します。

※：Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページからアクセスしているかなどの情報がサイトに送信されます。
Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページによってはRefererを送信しないと、リンク先などにアクセスできない場合があります。

Refererについて設定する

1 **i ▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶「Referer設定」▶以下の項目から選択**

送信する……Refererを送信します。

送信しない……Refererを送信しません。

毎回確認……Refererを送信するときに確認をします。

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXにはカメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトからダウンロードしたデータなどが保存されます。

■フォルダの内容

●以下のような項目とフォルダが用意されており、データの種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

フォルダ		フォルダ説明
マイピクチャ		
INBOX		カメラで撮影した静止画、サイトやメール、バーコードリーダーから取得した画像の保存先として選択可能です。 microSDメモリーカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送された画像は自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ		INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。 キャラ電撮影した静止画は自動的にこのフォルダに保存されます。
デコメピクチャ※1		デコメール用の画像が内蔵されています。INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
デコメ絵文字※2		デコメ絵文字がカテゴリ別フォルダに内蔵されています。 サイトやメールから取得したり、microSDメモリーカードからコピーしたデコメ絵文字が保存されます。
プリインストール		待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが内蔵されています。
イルミネーション※3		サブディスプレイに表示するアニメーションが、演出のタイミング別フォルダに内蔵されています。 サイトなどから取得したサブディスプレイのアニメーションは自動的にこのフォルダに保存されます。
シークレットフォルダ※4		ほかの人に見られたくない画像を保管します。
ユーザ作成フォルダ※5		INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
自作アニメ		連続撮影で登録したアニメーションや自作のアニメーションが保存されます。
microSD	ピクチャ	撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG･GIF形式の画像が保存されます。
	デコメ絵文字※2	FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したデコメ絵文字が保存されます。
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーションとSWF形式のFlash画像、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG形式の画像やGIF形式のアニメーション、SWF形式のFlash画像が保存されます。
フレーム		フレームが内蔵されています。 サイトなどから取得したフレームは自動的にこのフォルダに保存されます。
スタンプ		マーカースタンプが内蔵されています。 サイトなどから取得したスタンプは自動的にこのフォルダに保存されます。
ミュージック		
プレイリスト		FOMA端末で作成したプレイリストが保存されます。
INBOX		音楽データの保存先として選択可能です。
WMA		パソコンなどからmicroSDメモリーカードに転送した音楽データが保存されます。
移行可能コンテンツ		FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動した音楽データが保存されます。
プリインストール		音楽データが内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※5		INBOXと同様の音楽データの保存先として選択可能です。
Music&Videoチャネル		
配信番組		保存されている番組が表示されます。
ユーザ作成フォルダ※5		配信番組から移動した番組の保存先として選択可能です。
iモーション		
INBOX		カメラで撮影した動画、サイトやメールから取得した動画･iモーションの保存先として選択可能です。 microSDメモリーカードからコピー･移動したり、赤外線通信などで転送された動画･iモーションは自動的にこのフォルダに保存されます。

データ表示／編集／管理

フォルダ		フォルダ説明
カメラ		INBOXと同様の動画・iモーションの保存先として選択可能です。キャラ電撮影した動画は自動的にこのフォルダに保存されます。
シークレットフォルダ※4		ほかの人に見られたくない動画・iモーションを保管します。
ユーザ作成フォルダ※5		INBOXと同様の動画・iモーションの保存先として選択可能です。
microSD	SDビデオ※6	撮影した動画、FOMA端末からコピーした動画・iモーション、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存した動画が保存されます。
	マルチメディア※7	
移行可能コンテンツ		FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動した動画・iモーションが保存されます。
プログラム		動画プログラム再生に利用するフォルダです。→P.234
メロディ		
INBOX		サイトやメール、バーコードリーダーから取得したメロディの保存先として選択可能です。microSDメモリーカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたメロディは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール		メロディや効果音が内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※5		INBOXと同様のメロディの保存先として選択可能です。
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音した音声は自動的にこのフォルダに保存されます。
microSD		FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したメロディが保存されます。
プログラム		メロディプログラム再生に利用するフォルダです。→P.240
キャラ電		
キャラ電が内蔵されています。サイトから取得したキャラ電は自動的にこの項目に保存されます。		
きせかえツール		
パッケージが内蔵されています。サイトから取得したパッケージは自動的にこの項目に保存されます。		

※1：機能に設定されている画像は保存できません。
※2：デコメ絵文字（横20×縦20ドット、ファイル制限なしのJPEG形式、GIF形式の画像やGIF形式のアニメーション）のみ保存できるフォルダです。
※3：サブディスプレイに表示するアニメーション（ファイルサイズ30Kバイト以下、横128×縦36ドット以下で、サブディスプレイに表示することが指定されているGIF形式のアニメーション）のみ保存できるフォルダです。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※5：「フォルダ追加」で20個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。
※6：映像付きの動画・iモーションが保存されます。
※7：映像のない音声のみの動画・iモーション（AAC形式の音楽データを含む）が保存されます。

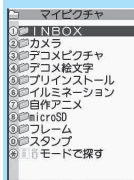
保存した画像を表示する〈マイピクチャ〉

撮影した静止画やダウンロードした画像などは、データBOXのマイピクチャで表示します。

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

マイピクチャのフォルダ内容について→P.224

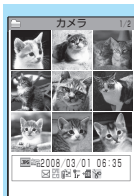
フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.251

2 フォルダを選択

「画像一覧画面」（ピクチャー覧）が表示されます。

画像一覧画面の見かた→P.226

■ iモードで画像を検索する場合

▶「iモードで探す」▶「YES」

画像一覧画面

機能メニュー➡P.228

3 画像を選択

「マイピクチャ画面」が表示されます。

で前または次の画像を表示することができます。

■ 通常モードと全画面モードを切り替える場合

▶ch［通常／全画面］

全画面モードでは、縦長画像はそのままの向きで表示されますが、横長画像は、右に90度回転させて表示されます。

マイピクチャ画面

機能メニュー➡P.228

■ 画像を拡大表示する場合

▶■［🔍］

i［＋］／ch［－］を押すたびに1段階ずつ拡大／縮小します。

✉［等倍］を押すと画像を等倍表示します。

画像が画面内に収まらないときは、[方向キー]で画像をスクロールできます。
元の表示に戻すときは、[■]［戻る］を押します。

おしらせ

- 以下の画像は表示できません。
  - 2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像
- 拡大表示をしているとき、[左右キー]で前または次の画像の切り替えや、機能メニューの表示はできません。
- 横1,705×縦1,705ドット以上の画像を拡大表示したときは、等倍表示できない場合があります。
- 自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は拡大表示できません。
- Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります）。

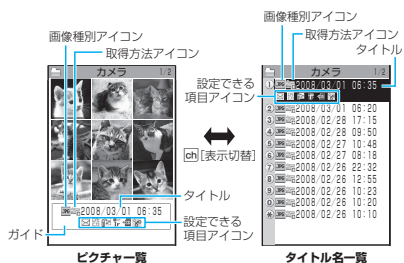
ピクチャ一覧／タイトル名一覧の見かた

● 画像一覧の表示のしかたを設定する〈ピクチャ表示設定〉

1 [MENU]▶「各種設定」▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶以下の項目から選択

ピクチャ一覧（お買い上げ時）……ピクチャ一覧に切り替えます。

タイトル名一覧……タイトル名一覧に切り替えます。

● ピクチャ一覧／タイトル名一覧の見かた

■ピクチャ一覧
画面に9枚の画像が表示されます。
※ イルミネーション、自作アニメは常にタイトル名一覧で表示されます。

■タイトル名一覧
画面に11件の画像がタイトル名一覧で表示されます。

■画像種別アイコン

アイコン	説明
	JPEG形式の画像
	GIF形式の画像
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、ｉモーション
（青色の音符）	音響効果のあるMP4形式のｉモーション
（オレンジ色の音符）	ASF形式のｉモーション
	MP4形式の再生制限ありのｉモーション
	音響効果があり、再生制限ありのMP4形式のｉモーション
	部分的に取得したｉモーション
（緑色の音符）	FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
（青色の音符）	音響効果があり、FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
	FOMA端末（本体）への移動が禁止されているｉモーション
	AFD形式のキャラ電
	FOMAカード動作制限に該当している画像

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

：再生制限付きのｉモーション（再生回数・期間・期限を過ぎると「[時計]」が「[時計]」になります）

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールデータ
	サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、iアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やiC通信、microSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	ダウンロードしたフレーム、マーカースタンプ
	キャラ電撮影したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
QVGA	QVGAサイズの動画／iモーションデータ（iモーションの各フォルダでのみ表示可）
VGA	VGAサイズの動画／iモーションデータ（iモーションの各フォルダでのみ表示可）
	iモードメールに添付できるデータ（2Mバイト以下）
	デコメールに挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	サブディスプレイのアニメーションに設定できるデータ
	赤外線送信、iC送信が可能なデータ
	microSDメモリーカードにコピー可能なデータ
	編集可能なデータ
	microSDメモリーカードに移動可能なiモーションデータ
	10Mバイト超（10Mバイトは含みません）のデータ（microSDフォルダでのみ表示可）

：iモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：iモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■ファイル形式について

フォルダ	ファイル形式
マイピクチャ	
INBOX	JPEG、GIF、SWF
カメラ	
デコメピクチャ	
デコメ絵文字	JPEG、GIF
プリインストール	JPEG、SWF
イルミネーション	GIF
シークレット	JPEG、GIF、SWF
ユーザ作成フォルダ	
自作アニメ	－
microSD	JPEG、GIF、SWF
フレーム	IFM
スタンプ	
ミュージック	
プレイリスト	－
INBOX	3GP
WMA	WMA
移行可能コンテンツ	SB2
プリインストール	3GP
ユーザ作成フォルダ	
Music&Videoチャネル	
配信番組	3GP、MP4
ユーザ作成フォルダ	
iモーション	
INBOX	MP4
カメラ	
シークレット	
ユーザ作成フォルダ	
microSD	MP4、ASF（ASF形式は再生のみ可能）
移行可能コンテンツ	SB1
プログラム	－
メロディ	
INBOX	SMF、MFi
プリインストール	MFi
ユーザ作成フォルダ	SMF、MFi
おしゃべり	－
microSD	SMF、MFi
プログラム	－
キャラ電	
－	AFD
きせかえツール	
－	UCM、UCP

次ページにつづく

■タイトル、ファイル名について

- 撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。

  タイトル　：yyyy/mm/dd　hh:mm（年／月／日　時刻※）
  ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
  └年月日時刻※
  （静止画の場合、xxxの部分に3桁の数字が付きます）

  ※：静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、「自動保存設定」が「OFF」の場合は、動画を保存した時刻になります。

- ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。
- ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。
- タイトルはFOMA端末の画像一覧画面に表示される名前です。
- ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
- ファイル名に不正な文字があるときは、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」となります。

■ファイル制限について

撮影した静止画や動画またはメロディをメールに添付して送信したとき、受信者のFOMA端末から再配布（添付、転送）できるかどうかを設定します。「なし」に設定すると、受信者は自由に再配布できますが、「あり」に設定すると、再配布はできなくなります。

- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。→P.228、233、239

機能　画像一覧画面（P.225）／マイピクチャ画面（P.225）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集→P.231

タイトル編集※1……画像のタイトルを編集します。
全角9文字、半角18文字まで入力できます（microSDメモリーカードの場合、全角18文字、半角36文字まで入力できます）。

イメージ表示※1……画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。

イメージ貼付……画像を待受画面などに設定します。
設定した項目には★が表示されます。
「画面の表示を変える」→P.94
「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.70

イメージ情報……画像のファイル名、保存日時などを表示します。

イルミネーション設定→P.98

ｉモードメール作成※2……静止画を添付するか本文内に挿入するかを選択してｉモードメールを作成します。
→P.229

ｉC送信→P.257

赤外線送信・IrSS→P.256

画像表示設定※3……画像の表示サイズを設定します。

　標準（お買い上げ時）……画像のサイズに合わせて表示します。

　画面サイズで表示……画像のサイズによらず、画面のサイズに合わせて表示します。

通常モード⇔全画面モード※3……「全画面モード」の場合、縦長画像はそのままの向きで表示されますが、横長画像は、右に90度回転させて表示されます。「通常モード」の場合、縦長画像・横長画像ともに、そのままの向きで表示されます。

マイショートカット貼付→P.101

microSDへコピー→P.246

電話帳イメージ登録……画像を電話帳に登録します。
→P.77

ファイル名編集※1……画像のファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（"-"、"_"のみ）で36文字まで入力できます。

ファイル制限※1……保存した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.228

フォルダ移動※1……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、画像をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

保存容量確認※1……画像の保存容量などを表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート※1……選択した条件に従って画像を並び替えます。

タイトル名一覧⇔ピクチャー一覧※1……タイトル名一覧／ピクチャー一覧を切り替えます。

4枚画像合成※1→P.230

リトライ※3……アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションを最初から再生します。

お預りセンターに保存※1→P.229

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

1件削除※3……画像を1件削除します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1※4……「各種データを表示できないようにする」→P.112

本体へコピー※5→P.247

DPOF設定※5→P.250

コピー※1※5……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.248

※1：画像一覧画面でのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：マイピクチャ画面でのみ利用できます。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。

※5：microSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ利用できます。

おしらせ

＜タイトル編集＞
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。

＜イメージ貼付＞
- INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。
  - 待受画面、ウェイクアップ表示
  - 電話・テレビ電話の発信／着信
  - メールの送信／受信／問い合わせ／受信結果
  - テレビ電話の応答保留／通話保留／代替画像／伝言メモ／伝言準備／音声メモ
- 以下の画像はイメージ貼付できません。
  - 横または縦が854ドットより大きな画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像（待受画面、ウェイクアップ表示を除く）

＜通常モード／全画面モード＞
- GIF形式のアニメーション、SWF形式のFlash画像は、通常モードと全画面モードを切り替えても表示は変わりません。

＜電話帳イメージ登録＞
- ファイル容量が100Kバイト以下で、横または縦が854ドット以下の画像が登録できます。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

＜ファイル名編集＞
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - 内蔵されている画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

＜ファイル制限＞
- 以下の画像はファイル制限を設定できません。
  - JPEG形式、GIF形式以外の画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画

＜ソート＞
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。
  ①ダウンロードしたり、iアプリやトルカから取得した画像
  ②カメラで撮影した静止画
  ③赤外線通信やiC通信、microSDメモリーカードなどで取得した画像
  ④キャラ電撮影した画像
  ⑤お買い上げ時に登録されている画像

● 画像をお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されている画像などをお預かりセンターに保存します。
- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 画像一覧画面（P.225）▶✉［機能］▶「お預りセンターに保存」▶✥で画像を選択▶i［完了］
画像は最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」
お預かりセンターに接続して画像の保存を開始します。

3 i［完了］

おしらせ
- 1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメピクチャやデコメ絵文字は保存できません。

■画像を復元する
お預かりセンターに預けている画像データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

● 画像を添付または挿入してiモードメールやデコメールを作成する

保存した静止画をiモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入します。

1 画像一覧画面（P.225）▶✉［機能］▶「iモードメール作成」▶以下の項目から選択

画像添付……横240×縦320、横320×縦240ドット以下の画像はそのままiモードメールに添付します。これより大きな画像は添付方法を以下の項目から選択します。

そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

QVGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横240×縦320、横320×縦240ドット以下のサイズに縮小して添付します。

画像挿入……横96×縦128、横128×縦96ドット以下の画像、ファイル容量が90Kバイト以下の画像はそのままデコメールの本文に挿入します。これより大きな画像は挿入方法を以下の項目から選択します。

次ページにつづく

そのまま挿入……画像サイズを変更しないで、ファイル容量を90Kバイト以下に変換して挿入します。

SubQCIF縮小挿入……画像の縦横の比率を保持したまま、横96×縦128、横128×縦96ドット以下のサイズに縮小して挿入します。ファイル容量が最大容量を超える場合は、ファイル容量も変更します。

2 処理された画像を確認▶■［確定］▶メールを作成

■ そのまま添付／そのまま挿入を選択した場合

画像の確認操作はありません。

「iモードメールを作成して送信する」→P.164
「デコメールを作成する」→P.166

● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

- 横もしくは縦が、横352×縦288ドットより大きな画像は設定できません。ただし、以下のサイズは設定できます。
  - VGA（640×480）、VGA縦（480×640）
  - フルスクリーン（240×427）
  - CIF縦（288×352）
  - QVGA縦（240×320）

1 画像一覧画面（P.225）▶✉［機能］▶「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■ 設定した画像を解除する場合

▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

3 i［完了］▶■［保存］

■ 4枚合成をし直す場合

▶i［取消］

アニメーションを作成する 〈自作アニメ〉

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作成します。

- 横854×縦854ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を自作アニメに設定できます。
- 20件まで作成できます。

1 MENU▶「データBOX」▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」

「自作アニメ一覧画面」が表示されます。

自作アニメ一覧画面

機能メニュー➡P.230

2 「<未登録>」

3 フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■ 設定した画像を解除する場合

▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

4 i［完了］

機能 自作アニメ一覧画面（P.230）

タイトル編集……自作アニメのタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

自作アニメ設定……「<未登録>」を反転しているときは、自作アニメを新規登録します。
作成した自作アニメを反転しているときは、その自作アニメを編集します。

イメージ表示……自作アニメを再生します（自作アニメ再生画面を表示します）。

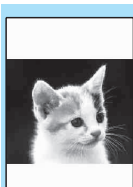
イメージ貼付……自作アニメを設定する項目を選択します。

イメージ情報……イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。
設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

自作アニメ解除……自作アニメを解除します。

自作アニメを表示する

1 **自作アニメ一覧画面（P.230）▶自作アニメを選択**

「自作アニメ再生画面」が表示されます。
自作アニメを2つ以上登録しているときは、[左右キー]で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面

機能メニュー➡P.231

機能 自作アニメ再生画面（P.231）

イメージ貼付……画像を設定する項目を選択します。

画像表示設定……イメージ表示エリアより小さな画像の表示方法を設定します。

標準（お買い上げ時）……実際のサイズで表示します。

画面サイズで表示……画面のサイズに拡大して表示します。

リトライ……アニメーションを最初から再生します。

静止画を編集する 〈イメージ編集〉

撮影した静止画などを編集します。

●編集できる画像サイズは以下のとおりです。

［フレーム合成］
- 854×480、480×854ドット
- 640×480、480×640ドット
- 352×288、288×352ドット
- 320×240、240×320ドット
- 427×240、240×427ドット
- 176×144、144×176ドット
- 128×96、96×128ドット

［フォトレタッチ、逆光補正、肌色補正］
- 854×480、480×854ドット以下

［マーカースタンプ、文字スタンプ、トリミング、明るさ、回転、サイズ変更］
- 2,592×1,944、1,944×2,592ドット
- 2,304×1,728、1,728×2,304ドット
- 2,048×1,536、1,536×2,048ドット
- 1,616×1,212、1,212×1,616ドット
- 1,600×1,200、1,200×1,600ドット
- 1,280×960、960×1,280ドット
- 854×480、480×854ドット以下
ただし、854×480、480×854ドットより大きい画像は編集前に640×480、480×640ドットに縮小されます。

※ 上記の記載で編集可能としている画像サイズでも、編集項目によっては編集できない場合もあります。編集できるのは「」の付いた画像のみです。なお、編集できないメニューは選択できません。

●フォトモード確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」「フォトレタッチ」「肌色補正」「逆光補正」のみです。

1 **マイピクチャ画面（P.225）▶[メール]［機能］▶「イメージ編集」▶以下の項目から選択**

フレーム合成→P.232

フォトレタッチ……画像に効果を付けます。

シャープ……よりシャープな感じの画像にします。

ソフト……よりソフトな感じの画像にします。

セピア……セピア調の画像にします。

浮き彫り……レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。

ネガ……ネガ画像にします。

ミラー……左右を反転した画像にします。

マーカースタンプ→P.232

文字スタンプ→P.232

トリミング……一定の大きさに切り出します。
▶切り抜くサイズを選択▶[方向キー]で切り抜き枠の位置を調整▶[■]［確定］

明るさ……[左右キー]で画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。

回転……画像を回転させる角度を、「右90度／左90度／180度」から選択します。

サイズ変更……変更する画像サイズを選択します。縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小されます。

逆光補正……逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。

肌色補正……肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。

iモードメール作成※1※2→P.229

保存※1……編集した画像を保存します。

※1：画像編集後に利用できる機能です。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

2 **編集後の画像を確認▶[■]［確定］**

3 ■［保存］▶「YES」または「NO」
「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ
- 編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。

● フレームを重ねる

- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 マイピクチャ画面（P.225）▶✉［機能］▶「イメージ編集」▶「フレーム合成」▶フレームを選択
フレームが重なった画像が表示されます。
でほかのフレームに変更することができます。

■ フレームを180°回転する場合
▶ ［回転］

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶✉［機能］▶「取消」

おしらせ
- トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。

● マーカースタンプを貼り付ける

- 内蔵されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
- マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

1 マイピクチャ画面（P.225）▶✉［機能］▶「イメージ編集」▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを編集する場合
▶✉［機能］▶以下の項目から選択

右90度……時計回りに90度回転します。

左90度……反時計回りに90度回転します。

180度……180度回転します。

拡大……2倍のサイズに拡大します。

縮小……1／2のサイズに縮小します。

2 でマーカースタンプの位置を調整▶■［配置］

■ ほかのマーカースタンプを貼り付ける場合
▶ ［追加］▶操作1～2を繰り返す

おしらせ
- ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。

● 文字スタンプを貼り付ける

- 一度に入力できる最大文字数は全角15文字、半角30文字です。入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
- 文字スタンプの色、書体、文字サイズを変更することができます。

1 マイピクチャ画面（P.225）▶✉［機能］▶「イメージ編集」▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合
▶✉［機能］▶以下の項目から選択

文字入力……文字を入力します。

文字色……色を設定します。
色パレットを切り替えるときは ［切替］を押します。

書体……「ゴシック体／明朝体」から選択します。

文字サイズ……大きさを「拡大サイズ／通常サイズ／縮小サイズ」から選択します。

2 で文字スタンプの位置を調整▶■［配置］

おしらせ
- フォントの太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

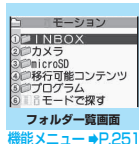
動画／ｉモーションを再生する
〈ｉモーション〉

撮影した動画、ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したｉモーションを再生します。

1 MENU▶「データBOX」▶「ｉモーション」
「フォルダ一覧画面」が表示されます。
ｉモーションのフォルダ内容について→P.224

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.251

データ表示／編集／管理

❷ フォルダを選択

「動画一覧画面」（プレビュー表示）が表示されます。

動画一覧画面の見かた
→P.233

■ iモードでiモーションを検索する場合

▶「iモードで探す」▶「YES」

■ 部分的に取得したiモーションの場合

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを取得しないと再生ができません。

- 「YES」を選択すると、未取得部分の取得を開始します。
- 「NO」を選択すると動画一覧画面に戻ります。

動画一覧画面
（プレビュー表示）

機能メニュー ➡P.233

❸ 動画を選択

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、動画の再生がはじまります。

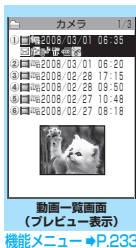
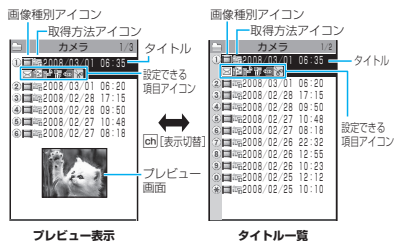
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」
→P.271

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.272

おしらせ

- FOMA SO705i以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。
- 再生中に着信などがあった場合やCLR、☎によって再生を終了した場合は、前回終了位置から再生可能です。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。
- iモーションによってはチャプターを選択して再生することもできます。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.226
- タイトル、ファイル名について→P.228

プレビュー表示　　　タイトル一覧

■プレビュー表示

画面に6件の動画がタイトル一覧で表示され、選択されている動画のプレビュー画面がタイトル一覧の下に表示されます。

音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）などは、プレビュー画面は表示されません。

■タイトル一覧

画面に11件の動画がタイトル一覧で表示されます。

機能 動画一覧画面（P.233）

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

iモーション編集→P.235

タイトル編集……動画のタイトルを編集します。
全角9文字、半角18文字まで入力できます（microSDメモリーカードの場合、全角18文字、半角36文字まで入力できます）。

着信音設定……動画の音声を着信音に設定します。
→P.88

待受画面設定……動画を待受画面に設定します。

iモーション情報……iモーションのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

iモードメール作成※1……動画を添付してiモードメールを作成します。→P.164

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

microSDへコピー→P.246

microSDへ移動→P.248

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、動画をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

マイショートカット貼付→P.101

ファイル名編集……動画のファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（"-"、"_" のみ）で36文字まで入力できます。

ファイル制限……保存した動画を再配布できるかどうかを設定します。「ファイル制限について」→P.228

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

保存容量確認……動画の保存容量などを表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート……選択した条件に従って動画を並び替えます。

一覧表示切替……動画の一覧表示のしかたを選択します。
表示されるメニューはFOMA端末とmicroSDメモリーカードでは異なります。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

シークレットに保管⇔シークレットから出す※2……「各種データを表示できないようにする」→P.112

本体へコピー※3→P.247

本体へ移動※4→P.248

コピー※3……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.248

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※3：microSDメモリーカードに保存されている動画のときのみ利用できます。
※4：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画のときのみ利用できます。

おしらせ

<着信音設定>
- 着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。
- 以下の場合は着信音に設定できません。
  - 音声がない動画やｉモーション
  - 再生制限ありのｉモーション
  - QVGA（320×240）を超えていてVGA（640×480）以下の動画やｉモーション
- VGA（640×480）を超える動画を着信音に設定した場合、設定した画面でｉモーションの画像は表示されません。

<待受画面設定>
- 以下の場合は待受画面に設定できません。
  - 音声だけの動画やｉモーション
  - 再生制限ありのｉモーション
  - QVGA（320×240）より大きいサイズの動画

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

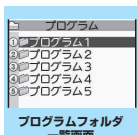
<ソート>
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したｉモーション
  ②カメラで撮影した動画
  ③赤外線通信やｉC送信、microSDメモリーカードなどで取得した動画
  ④キャラ電撮影した動画

● 動画を好きな順に再生する〈動画プログラム再生〉

お好きな動画やｉモーションを25件まで選んで登録しておき、複数の動画を連続して再生します。
- プログラムフォルダは5つあります

1 フォルダ一覧画面（P.232）▶「プログラム」を選択

「プログラムフォルダ一覧画面」が表示されます。

プログラムフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.234

2 登録するプログラムフォルダを反転▶[機能]▶「プログラム編集」

3 登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録した動画を解除する場合

▶解除したい動画を選択▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」

4 [i] [完了]

ｉモーションのプログラムフォルダ一覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

機能 プログラムフォルダ一覧画面（P.234）

プログラム編集……プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、動画を変更することができます。

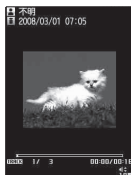
プログラム解除……登録済みの動画を削除し、プログラムを解除します。

動画を編集する 〈ｉモーション編集〉

●「✂」の付いた動画のみ編集できます。

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面＞

1 動画一覧画面（P.233）▶✉［機能］▶「ｉモーション編集」

「ｉモーション編集画面」が表示されます。

ｉモーション編集画面

2 ✉［機能］▶以下の項目から選択

ｉモーション切り出し→P.235

ｉモードメール作成※……動画を添付したｉモードメールを作成します。

ファイル制限……「ｉモーション切り出し」した動画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.228

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

●動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
●編集によって画質が劣化する場合があります。

● 動画の一部を切り出す

1 ｉモーション編集画面（P.235）▶✉［機能］▶「ｉモーション切り出し」

2 「任意サイズ」または「500KB」▶［始点］

切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合
▶■［再生］▶切り出しをはじめたい場面で■［停止］▶［始点］

3 切り出したい最後の場面で■［停止］▶［終点］

■「500KB」を選択している場合
500Kバイトに到達すると自動的に停止し、操作5に進みます。

4 切り出した動画が再生される

再生が終わったら自動的に停止します。

5 ■［確定］▶■［保存］▶「YES」

おしらせ

●QCIF（176×144）より大きなサイズの動画は切り出しできません。

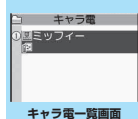
キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりにキャラクタを代替画像として送信します。

キャラ電を表示する

●キャラ電をダウンロードする→P.153

1 MENU▶「データBOX」▶「キャラ電」

「キャラ電一覧画面」が表示されます。

キャラ電一覧画面

機能メニュー➡P.236

2 キャラ電を選択

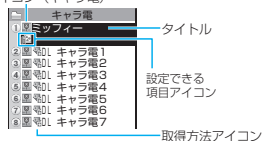
「キャラ電画面」が表示されます。

キャラ電画面

機能メニュー➡P.236

キャラ電一覧の見かた

●画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.226
●タイトル、ファイル名について→P.228

データ表示／編集／管理

キャラ電を操作する

用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

1 キャラ電画面（P.235）▶キャラ電を操作する

■ アクション一覧を確認する場合

▶[＊]

一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。

アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することを示しています。

<アクションの詳細を確認する場合>

▶アクションを反転▶[i]［詳細］▶詳細を確認▶[✉]［閉］

■ アクションモードを切り替える場合

▶[i]［パーツ／全体］

[全体アイコン]が表示されているときはパーツアクションモードに、[パーツアイコン]が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。

[全体アイコン]（全体アクション）：感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。

[パーツアイコン]（パーツアクション）：頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

■ キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合

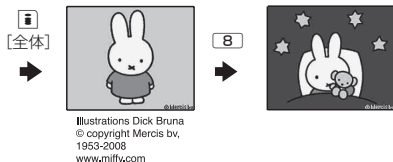
キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」：アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字（[1]～[9]）または[#][1]～[#][9]

「パーツアクション」：アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（[1][1]～[9][9]）

<例：全体アクション「おやすみ」を選択する場合>

※キャラ電は正像表示です。

Illustrations Dick Bruna
© copyright Mercis bv,
1953-2008
www.miffy.com

■ 音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化を付ける場合

キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。

機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

機能 キャラ電一覧画面（P.235）／キャラ電画面（P.235）

キャラ電発信……キャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
キャラ電発信画面では電話番号の入力以外に[◎]を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳から電話番号を検索できます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

キャラ電撮影→P.237

タイトル編集※1……キャラ電のタイトルを編集します。全角18文字、半角36文字まで入力できます。

キャラ電切替※2……表示するキャラ電を選択します。

アクション一覧※2……アクション一覧を表示します。

アクション切替※2……アクションモードを切り替えます。

キャラ電情報……キャラ電のファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1……キャラ電の保存容量などを表示します。

マイショートカット貼付→P.101

画像表示設定

等倍表示……実際のサイズで表示します。

画面サイズで表示（お買い上げ時）……画面のサイズに拡大して表示します。

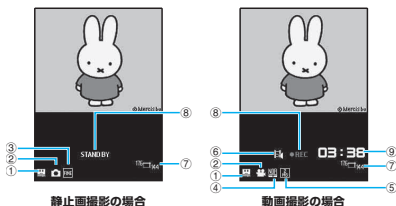
タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：キャラ電一覧画面でのみ利用できます。
※2：キャラ電画面でのみ利用できます。

キャラ電を静止画／動画として保存する 〈キャラ電撮影〉

■キャラ電撮影画面の見かた

静止画撮影の場合　動画撮影の場合

①現在選択されているアクションモード
- ：全体アクション
- ：パーツアクション

②撮影モード
- ：静止画撮影
- ：動画撮影

③「画像保存設定」の設定
- NOR：ノーマル
- FINE：ファイン
- S FINE：スーパーファイン

④「動画保存設定」の設定
- NOR：標準
- ：画質優先
- ：時間優先
- ：動き優先

⑤「ファイルサイズ設定」の設定
- 500KB：500KB以下
- 2MB：2MB以下

⑥「撮影種別設定」の設定
- ：映像＋音声
- ：映像のみ

⑦「画像サイズ選択」に設定しているサイズを表示
- 176×144：QCIF（176×144）
- 117×96：縮小サイズ（117×96）

⑧撮影の状態
- STAND BY：スタンバイ
- ●REC：撮影中

⑨残り撮影時間が「分：秒」で表示（撮影前は非表示）

● 静止画を撮影する

1 キャラ電画面（P.235）▶ ✉［機能］▶「キャラ電撮影」

「キャラ電撮影画面（静止画）」が表示されます。

キャラ電撮影画面（静止画）

機能メニュー➡P.238

2 アクションを操作 ▶ ■［撮影］

アクションの操作について→P.236

■ パーツアクションにする場合

▶ i［パーツ］

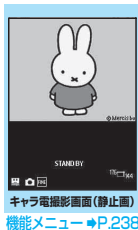
■ 撮影した静止画を添付／挿入したｉモードメールを作成する場合

▶ i［MAIL］▶「画像添付」または「画像挿入」

■ 撮影し直す場合

▶ CLR

3 ■［保存］

撮影した静止画は、マイピクチャのカメラフォルダに保存されます。

● 動画を撮影する

1 キャラ電撮影画面（静止画）（P.237）▶ ✉［機能］▶「ムービーモード」

「キャラ電撮影画面（動画）」が表示されます。

キャラ電撮影画面（動画）

機能メニュー➡P.238

2 ■［撮影］▶ アクションを操作

アクションの操作について→P.236

■ パーツアクションにする場合

▶ i［パーツ］

3 ■［終了］

■ 撮影した動画を添付したｉモードメールを作成する場合

▶ i［MAIL］

■ 撮影した動画を確認する場合

▶ ✉［機能］▶「再生確認」

■ 撮影し直す場合

▶ CLR

4 ■［保存］

撮影した動画は、ｉモーションのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

- 画像サイズ（QCIF（176×144））は変更できません。

次ページにつづく

おしらせ

- 動画撮影中にアクション操作をすると、ボタン操作音がマイクから録音される場合があります。

機能 キャラ電撮影画面（P.237）

キャラ電切替……撮影するキャラ電を切り替えます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

アクション一覧……アクション一覧を表示します。

アクション切替……アクションモードを切り替えます。

画像表示設定

- **等倍表示**……実際のサイズで表示します。
- **画面サイズで表示**（お買い上げ時）……画面のサイズに拡大して表示します。

ムービーモード⇔フォトモード……ムービーモードとフォトモードを切り替えます。

画像サイズ選択※1……撮影する画像サイズを選択します。メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

撮影種別設定※2

- **映像＋音声**（お買い上げ時）……映像と音声両方の動画を撮影します。
- **映像のみ**……映像のみの動画を撮影します。

動画保存設定※2

- **標準**（お買い上げ時）……標準の画質、撮影時間で撮影します。
- **画質優先**……よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
- **時間優先**……撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
- **動き優先**……よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。

画像保存設定※1……静止画を撮影するときの画質を「ノーマル／ファイン／スーパーファイン」から選択します。

ファイルサイズ設定※2

- **500KB以下**……500Kバイトまで撮影することができます。
- **2MB以下**（お買い上げ時）……2Mバイトまで撮影することができます。

※1：フォトモードでのみ利用できます。
※2：ムービーモードでのみ利用できます。

おしらせ

<キャラ電切替>

- キャラ電を切り替えると、アクションモードは全体アクションモードになります。

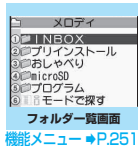
メロディを再生する 〈メロディ〉

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生します。

1 MENU ▶「データBOX」▶「メロディ」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

メロディのフォルダ内容について→P.225

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.251

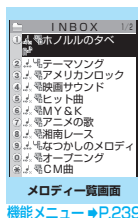
2 フォルダを選択

「メロディ一覧画面」が表示されます。

メロディ一覧の見かた→P.239

■ iモードでメロディを検索する場合

▶「iモードで探す」
▶「YES」

メロディ一覧画面

機能メニュー➡P.239

3 メロディを選択

「メロディ画面」が表示され、メロディの再生がはじまります。

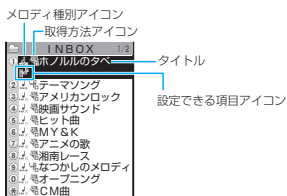
「メロディ再生中の操作について」→P.239

メロディ画面

機能メニュー➡P.239

おしらせ

- 再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります（「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します）。

メロディ一覧の見かた

■メロディ種別アイコン

アイコン	アイコンの内容
	MFi／SMFのメロディ

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

■取得方法アイコン

アイコン	アイコンの内容
アイコンなし	プリインストールされているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やｉC通信、microSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■設定できる項目アイコン

アイコン	アイコンの内容
	ｉモードメールに添付できるメロディ（2Mバイト以下）
	着信音に設定できるメロディ
	赤外線通信とｉC通信で送信可能なメロディ
	microSDメモリーカードにコピー可能なメロディ

■タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のメロディ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」（xxx：3桁の数字）になります。
ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

ボタン操作	動作
[左右キー]	前後の曲の再生
[上キー]（[◀マナー]）、[下キー]（[メモ▶]）	音量調節※
[0]～[9]、[＊]、[＃]、[通話]、[■]、[i]、[ch]	再生の停止
[CLR]	終了

※：再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

機能 メロディ一覧画面（P.238）／メロディ画面（P.238）

●機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

タイトル編集※1……メロディのタイトルを編集します。全角25文字、半角50文字まで入力できます。

ファイル名編集※1……メロディのファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で36文字まで入力できます。

メロディ再生※1……メロディを再生します（メロディ画面を表示します）。

着信音設定……メロディを設定する項目を選択します。

ファイル制限※1……保存したメロディを再配布できるかどうかを設定します。→P.228

連続再生設定※2……同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。

マイショートカット貼付→P.101

ｉモードメール作成※3……メロディを添付したｉモードメールを作成します。→P.164

ｉC送信※1→P.257

赤外線送信※1→P.256

microSDへコピー→P.246

本体へコピー※4→P.247

メロディ情報……メロディのファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1……メロディの保存容量などを表示します。

コピー※4……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.248

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ソート※1……選択した条件に従ってメロディを並び替えます。

フォルダ移動※1……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メロディをほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：メロディ一覧画面でのみ利用できます。
※2：メロディ画面でのみ利用できます。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：microSDメモリーカードに保存されているメロディのときのみ利用できます。

おしらせ

<ファイル名編集>
- ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やｉC通信、OBEX™通信で受信したメロディはファイル名編集できます。

<着信音設定>
- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。

<ソート>
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したメロディ
  ②赤外線通信やｉC通信、microSDメモリーカードなどで取得したメロディ

● メロディを好きな順に再生する 〈メロディプログラム再生〉

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生します。

1 フォルダ一覧画面（P.238）▶「プログラム」を反転▶✉［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

2 i［完了］

メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ

- プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更、またはデータを削除すると、プログラム再生が解除されます。

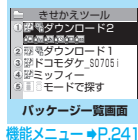
きせかえツールを管理する 〈きせかえツール〉

サイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージの内容を確認します。
- お買い上げ時には「ドコモダケ_SO705i」と「ミッフィー」が登録されています。
- サイトからのダウンロードについて→P.153

1 MENU▶「データBOX」▶「きせかえツール」

「パッケージ一覧画面」が表示されます。
パッケージ一覧画面の見かた→P.241

パッケージ一覧画面
機能メニュー➡P.241

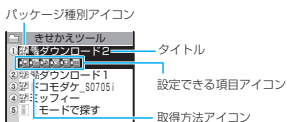
■ ｉモードでパッケージを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

2 パッケージを選択

■ パッケージを設定する場合
▶✉［機能］▶「一括設定」
きせかえツールの設定について→P.104

■ 部分的に取得したきせかえツールを選択した場合
データの取得が中断されたなどの理由により、一部のデータしか取得できなかったきせかえツールパッケージを開こうとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加でダウンロードする場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください。
残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。なお、残りのデータが正しくないと、データの取得は完了できませんが、この場合でも取得操作を行うと、部分的に保存されていた不正なデータは削除されます。

おしらせ

- 着信音など、音に関する項目を確認する場合の再生中の音量は、「着信音量」で設定した音量になります（「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量で鳴り、「消去」に設定されている場合は鳴りません）。ただし、ｉモーションの場合、「消去」に設定されているときは「レベル2」の音量で鳴ります。

パッケージ一覧の見かた

■パッケージ種別アイコン

アイコン	説明
	すべてのデータが取得されているパッケージ
	一部のデータしか取得できなかったパッケージ
	FOMAカード動作制限該当パッケージ

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているデータ
	ダウンロードして取得したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	待受画面、ウェイクアップ表示
	電話発信画面など（待受画面、ウェイクアップ表示以外の画面）
	着信音や時刻アラーム音
	メニュー※
	ミュージックプレーヤー再生画面の背景
	時計表示
	配色パターン
	電池アイコンなどのアイコン
	サブディスプレイのアニメーション

※：フォントが大きいメニューがパッケージに含まれている場合は、「 」が一緒に表示されます。

機能 パッケージ一覧画面（P.240）

一括設定……きせかえツールを設定します。→P.104

タイトル編集……パッケージのタイトルを編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

きせかえツール情報……パッケージのファイル名、保存日時などを表示します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

画面／音設定初期化……一括設定できる項目（P.104）をお買い上げ時の状態に戻します。

保存容量確認……きせかえツールの保存容量などを表示します。

ソート……指定した条件に従ってパッケージを並び替えます。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

microSDメモリーカードについて

FOMA SO705iでは市販の2Gバイトまでのmicro SDメモリーカードに対応しています（2008年1月現在）。microSDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

- ｉモードから：PlayNow by SO（2008年1月現在）「ｉMenu」▶「メニュー／検索」▶「ケータイ電話メーカー」▶「PlayNow by SO」

  右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択してサイトに接続することもできます。
- パソコンから：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社 http://www.SonyEricsson.co.jp/memorycard/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

取り扱い上のご注意

※ フォーマットは必ずFOMA SO705iで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できないことがあります。→P.249

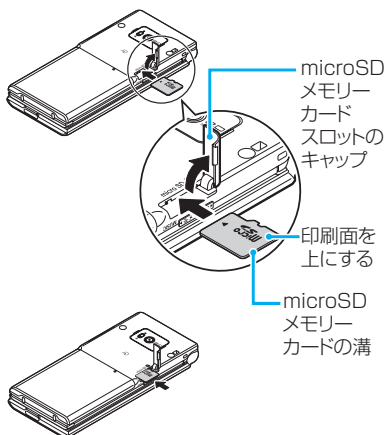
- microSDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付け／取り外しを行ってください。

1 microSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 microSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

microSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。

■ 取り外す場合

microSDメモリーカードを押し込んで手を放すと、microSDメモリーカードが少し出てきます。

※ このとき、microSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

microSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜きます。

3 microSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

microSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、「SD」が表示されます。

おしらせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、microSDメモリーカードが飛び出すことがありますので注意してください。

おしらせ

- microSDメモリーカードを取り外した後は、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、microSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。
- microSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください(斜めに差し込むとmicroSDメモリーカードが破損する恐れがあります)。
- microSDメモリーカードを取り付けた後、最初に読み込みや書き込みをする場合は時間がかかることがあります。

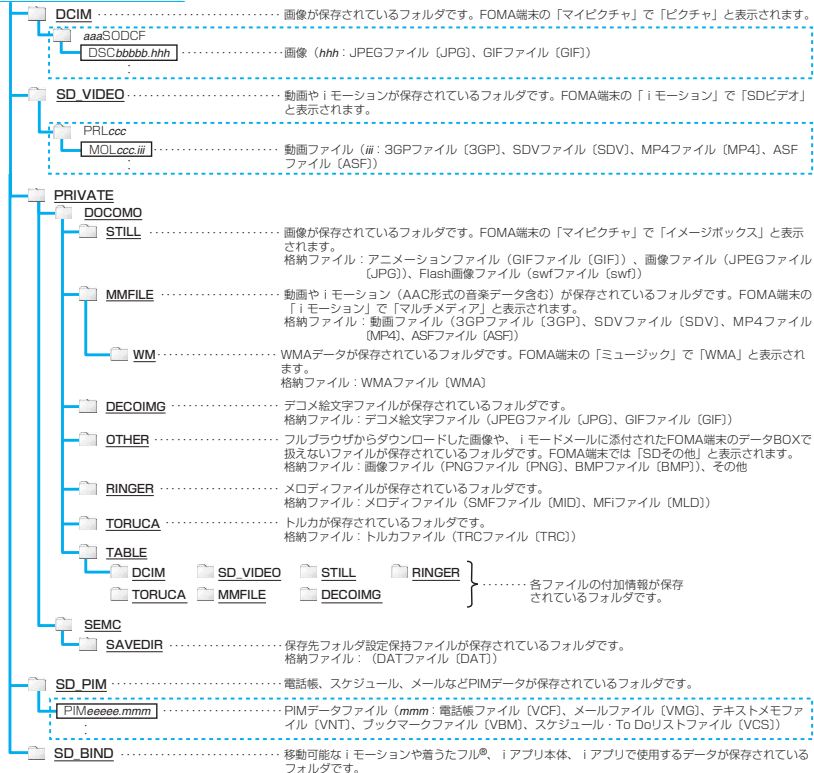
microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータをコピーすると、**別表1**（P.243）のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も別表1のように自動的に付与されます。

- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを書き込む場合も、**別表1**（P.243）のようなフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。

おしらせ

- SD_PIMフォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。
- パソコンなどからMMFILEフォルダに映像付きの動画を保存することはできますが、FOMA端末で再生できません。
- パソコンなどで編集したファイルをmicroSDメモリーカードに保存するとき、別表1（P.243）のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、FOMA SO705iでは正しく表示、再生できない場合があります。
- microSDメモリーカードのフォーマットなどを行い、SDVIDEO.DATファイル、MMFILE.DATファイルまたはDCIM.DATファイルが削除された場合、microSDメモリーカード内の保存先フォルダの設定は解除されます。その際は「画像保存先選択」または「動画保存先選択」で設定し直してください。
- microSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。FOMA SO705iでmicroSDメモリーカードが読めなくなる場合があります。
- ほかの機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDメモリーカードリーダー／ライターおよびPCカードアダプタについては、FOMA SO705iで対応しているmicroSDメモリーカードとの動作を各メーカーにご確認の上お買い求めください。

［別表1］microSDメモリーカードのフォルダ構成と格納ファイル（〔　〕内は拡張子）

※ 表中に説明のない英字のイタリック体は、以下のような半角の英数字になります。
aaa：100～999　*bbbbb*：00001～09999　*eeeee*：00001～65535（10進数）　*ccc*：001～FFF（16進数）

※ パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを書き込む場合や、microSDメモリーカード内のデータ修正する場合は、［点線枠］の規則に従ってください。異なる文字を使用すると、ファイルの表示、再生ができない場合があります。

● microSDメモリーカードに保存できる件数について

microSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件
STILL	999件	9,999件
MMFILE	999件	9,999件
DECOIMG	999件	9,999件
OTHER	999件	999件
RINGER	999件	9,999件
TORUCA	999件	999件

- フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が不足していると、データをコピーしたり移動することはできません。
- microSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画や画像、動画やｉモーションのフォルダ追加やタイトル編集などはできません。
- 音楽データをFOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピーすることはできません。
- コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは以下のようになります。
  - SD_PIMフォルダ以外にコピーする場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。ただし、カメラで撮影後、直接microSDメモリーカードに保存する場合は、自動的にフォルダ作成されません。
  - SD_PIMフォルダにはコピーできません。

FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でコピーできるデータについて

■PIMデータなどの場合

データの種類	詳細
電話帳	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ、住所、誕生日、静止画、メモリ番号※1、シークレット属性※2※3、グループ番号※3、グループ名※3、電話帳2in1設定
スケジュール	開始日時、終了日時、要約、内容、シークレット属性※2※3、分類※4、アラーム設定、繰り返し設定
To Doリスト	内容、分類※5、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
テキストメモ	作成日時、最終更新日時、分類、内容
受信メール※6、送信メール※6、保存メール	未読／既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付、2in1設定
ブックマーク※6※7	URL、タイトル

※1：追加コピーの場合、空き番号に登録されることがあります。
※2：シークレット属性は、シークレットデータとして登録されているかどうかを示すものです。
※3：「全コピー」の場合にコピーできます。
※4：分類は、スケジュールの内容で設定したアイコン情報です。
※5：分類は、To Doリストの用件で設定したカテゴリーです。
※6：受信メール、送信メール、ブックマークの全コピーでは、フォルダ（フォルダ名）の転送が可能です。
※7：microSDメモリーカードからFOMA端末へコピーした場合、ｉモードのブックマークは、「ｉモードメニュー」のBookmarkフォルダに登録されます。フルブラウザのブックマークは、「フルブラウザ」のBookmarkフォルダに登録されます。

■データBOX内のデータの場合

データの種類	詳細
静止画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、デコメピクチャフォルダ、デコメ絵文字フォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のJPEG、GIF、SWF形式のデータ
動画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のMP4形式のデータ
メロディ	INBOXフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のMFi／SMF形式のメロディ

■その他のデータ

データの種類	詳細
トルカ	トルカフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のトルカ

おしらせ

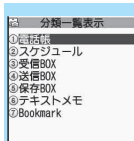
- ユーザアイコンを設定したスケジュールをコピーした場合、「分類」の情報は転送されません。
- microSDメモリーカードへのアクセス中はコピーできません。

microSDメモリーカードのデータを表示する

microSDメモリーカードのPIMデータを表示する 〈microSD管理〉

microSDメモリーカードに保存してある電話帳、スケジュール、メール、ブックマークなどのPIMデータを表示します。

1
MENU▶「LifeKit」▶「microSD管理」

「分類一覧表示画面」が表示されます。

分類一覧表示画面

機能メニュー➡P.245

2 項目を選択

「ファイル一覧画面」が表示されます。

ファイル一覧画面

機能メニュー➡P.246

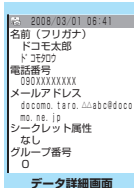
3 ファイルを選択

「データ一覧画面」が表示されます。

データ一覧画面

機能メニュー➡P.246

4 データを選択

「データ詳細画面」が表示されます。

データ詳細画面

機能メニュー➡P.246

おしらせ

- microSD管理の起動中やデータの詳細表示中は、ほかの機能を起動することはできません。

おしらせ

- iモードブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示され、フルブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示されます。
- デコメールは、デコレーションが設定されていない状態で表示されます。

機能 分類一覧表示画面（P.245）

microSD情報表示→P.249

本体からコピー……項目データをmicroSDメモリーカードに全コピーします。
- 「スケジュール」では「スケジュール／To Doリスト／全て」の項目を選択できます。
- 「Bookmark」では「iモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の項目を選択できます。

microSDフォーマット→P.249

microSDチェックディスク……microSDメモリーカードをチェックし、microSDメモリーカードの不具合を修復します。

おしらせ

<microSDチェックディスク>
- microSDチェックディスク中に microSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- microSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。
- フォーマットされていないmicroSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはmicroSDチェックディスクできません。
- microSDチェックディスク中は「」が点滅します。
- microSDチェックディスク中に［中止］やを押した場合は、microSDチェックディスクは中止され、「」が表示されます。
- microSD チェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDメモリーカード内のデータ量によっては、microSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
- microSDチェックディスクを行うと、microSDメモリーカードに保存されているデータのタイトルはファイル名に変更されます。
  タイトル、ファイル名について→P.228、239

機能 ファイル一覧画面（P.245）

タイトル編集……ファイルのタイトルを編集します。
全角15文字、半角31文字まで入力できます。

追加コピー・上書コピー→P.247

本体からコピー……項目データをmicroSDメモリーカードに全コピーします。
- 「スケジュール」では「スケジュール／To Doリスト／全て」の項目を選択できます。
- 「Bookmark」では「iモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の項目を選択できます。

microSD情報表示……microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

機能 データ一覧画面（P.245）／データ詳細画面（P.245）

追加1件コピー・追加全コピー・上書全コピー※……
- 「追加1件コピー」は、1件のデータを追加コピーする機能です。
- 「追加全コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニューの「追加1件コピー」と同機能です。
- 「上書全コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニューの「上書1件コピー」と同機能です。

「PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.247

microSD情報表示……microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

※：「追加全コピー」「上書全コピー」は、データ一覧画面でのみ利用できます。

microSDメモリーカードのその他のデータを表示する

microSDメモリーカードに保存してある画像、iモーション、メロディなど、データBOX内のデータやトルカのデータを表示します。

<例：マイピクチャの画像を表示する場合>

1 **フォルダ一覧画面（P.225）▶「microSD」▶「ピクチャ」「デコメ絵文字」または「イメージボックス」**

「microSDフォルダ一覧画面」が表示されます。

例：microSDフォルダ一覧画面（ピクチャ）

機能メニュー➡P.251

2 **フォルダを選択▶画像を選択**

microSDメモリーカードとFOMA端末間でデータをコピーする

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

● 電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークをmicroSDメモリーカードに保存します。

1 **各データの一覧画面（電話帳一覧画面など）▶✉［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択**

1件コピー・選択コピー・全コピー※……いずれかのコピー方法を選択します。
「複数選択について」→P.38

※：受信メール、送信メール、ブックマークでは、フォルダ内のデータのみが全コピーされます。すべてのデータをコピーする場合は、フォルダ一覧画面の機能メニューから「microSDへ全コピー」を選択します。

■**詳細画面の機能メニューについて**
詳細画面の「microSDへコピー」は、一覧画面の「1件コピー」と同機能です。

■**分類一覧表示画面の機能メニューについて**
分類一覧表示画面の機能メニュー（P.245）の「本体からコピー」は、電話帳、スケジュール、To Doリスト、保存メール、テキストメモの一覧画面の「全コピー」と同機能です。同じく受信メール、送信メール、ブックマークのフォルダ一覧画面の「microSDへ全コピー」とも同機能です。

おしらせ
- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のiアプリ起動に関する情報は削除されます。
- シークレットデータ（電話帳、スケジュール）を1件コピー／選択コピーした場合、シークレットは解除されて保存されます。
- データをmicroSDメモリーカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
- メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。

おしらせ

- マイプロフィールの項目をすべてコピーしたい場合には「全データ表示」を行ってからコピーしてください。

● 画像などのデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダなどに保存されているデータをmicroSDメモリーカードにコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶✉［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー……いずれかのコピー方法を選択後、コピー先のフォルダを選択し、データをmicroSDメモリーカードのフォルダにコピーします。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- お買い上げ時に登録されているデータは microSD メモリーカードへコピーできません。
- 静止画や動画をmicroSDメモリーカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、microSDメモリーカードへのコピーは中断されます。
- 保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。

<画像のコピー>

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：DSCmmmmm（mmmmm＝00001～09999）
- 以下の場合はmicroSDメモリーカードへコピーできません。
  - JPEG形式、GIF形式、SWF形式の画像以外のとき
  - コピーするとファイル容量が2Mバイトを超えるとき
- microSDメモリーカードへコピーすると、ファイル容量が大きくなる場合があります。

<動画のコピー>

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：MOLxxx（xxx＝001～FFF：16進数）

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

● PIMデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、メール、ブックマークなどを、FOMA端末に追加コピー／上書きコピーします。

- スケジュールを上書きコピーする場合、To Doリストのデータも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます）。
- 上書コピー（上書1件コピー／上書選択コピー／上書全コピー）を行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDメモリーカード内のデータに入れ替わりますのでご注意ください。
  上書コピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 ファイル一覧画面（P.245）▶✉［機能］▶「追加コピー」または「上書コピー」▶以下の項目から選択

追加1件コピー／上書1件コピー……1件のファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。

追加選択コピー／上書選択コピー……選択したファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。「複数選択について」→P.38

追加全コピー／上書全コピー……すべてのファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。

■データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニューについて

- データ一覧画面（P.245）の「追加全コピー」「上書全コピー」は、ファイル一覧画面の「追加1件コピー」「上書1件コピー」と同機能です。
- データ一覧画面／データ詳細画面（P.245）の「追加1件コピー」は、選択した1件のデータを追加コピーします。

おしらせ

- 「指定発信制限」を設定中は、電話帳のデータをコピーすることはできません。
- 電話帳の追加コピーで、microSDメモリーカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳の「グループなし」に登録されます。
- 送信BOXまたは受信BOXがいっぱいのとき、メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から追加1件コピーすると、保護されていない最も古いメールまたは最も古い既読メールに上書きされます。

● その他のデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存されている画像などのデータをFOMA端末のフォルダにコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶✉［機能］▶「本体へコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー……いずれかのコピー方法を選択します。
「複数選択について」→P.38

おしらせ

<画像のコピー>
- 以下の画像はコピーできません。
  - 100Kバイトを超えるSWF形式のFlash画像
  - 2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるか、総ドット数が854 ×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像

<動画のコピー>
- 以下の場合はコピーできません。
  - MP4形式以外の動画のとき
  - 再生できないMP4形式の動画のとき
  - 10Mバイトを超える動画のとき

  ※上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。

microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする

microSDメモリーカード内のデータを、microSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。
- コピー先のフォルダは、あらかじめ作成しておく必要があります。→P.251

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶✉［機能］▶「コピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー……いずれかのコピー方法を選択後、コピー先のフォルダを選択し、データを別のフォルダにコピーします。
「複数選択について」→P.38

おしらせ

- コピーが終了するまではmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。

著作権のあるデータをmicroSDメモリーカードとFOMA端末間で移動する 〈コンテンツ移行対応〉

著作権のある移動可能なｉモーションや着うたフル®を移動します。

FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動する

- 移動したｉモーションは、ｉモーションの移行可能コンテンツフォルダ（P.224）に保存されます。
- 移動した着うたフル®は、ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ（P.224）に保存されます。

1 動画一覧画面（P.233）／楽曲一覧画面（P.267）▶✉［機能］▶「microSDへ移動」▶以下の項目から選択

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶🔘で□（チェックボックス）を選択▶ⓘ［完了］▶「YES」

全移動……▶端末暗証番号を入力▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶「YES」

microSDメモリーカードからFOMA端末に移動する

- 移動したｉモーションは、ｉモーションのINBOXフォルダに保存されます。
- 移動した着うたフル®は、ミュージックのINBOXに保存されます。

1 フォルダ一覧画面（P.232、267）▶「移行可能コンテンツ」▶フォルダを選択▶「ファイルを表示」

「動画一覧画面」（P.233）／「楽曲一覧画面」（P.267）が表示されます。

2 ✉［機能］▶「本体へ移動」▶以下の項目から選択

1件移動・選択移動・全移動……いずれかの移動方法を選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 移動処理中はmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- ｉモーションや着うたフル®の移動可否は「ｉモーション情報」（P.233）、「ミュージック情報」（P.268）やアイコン（P.226、267）などで確認できます。

microSDメモリーカードの管理について

microSDメモリーカードをフォーマットしてFOMA端末で使用できるようにしたり、データの使用状況を確認することができます。

microSDメモリーカードをフォーマットする

※ フォーマットは必ずFOMA SO705iで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

- microSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。

1 分類一覧表示画面（P.245）▶✉［機能］▶「microSDフォーマット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

- フォーマット中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- フォーマットを中止したmicroSDメモリーカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。

microSDメモリーカードの使用状況を確認する

microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。

- 表示されるメモリ容量は、ご使用のmicroSDメモリーカードに記載されている容量より少なくなります。
- microSDメモリーカードに保存できる件数について→P.244

1 分類一覧表示画面（P.245）▶✉［機能］▶「microSD情報表示」

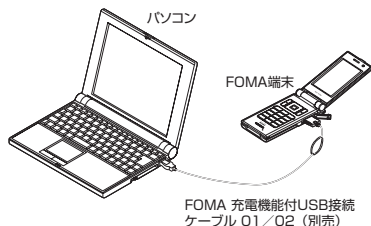
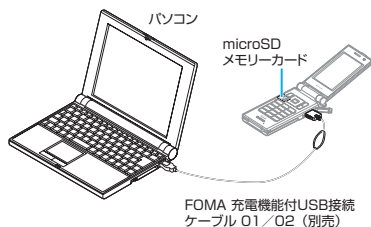
USBモードを設定する

〈USBモード設定〉

パソコンなどとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。

- USBモードには、「通信モード」「microSDモード」「MTPモード」があります。

<通信モード>

<microSDモード／MTPモード>

1 MENU▶「各種設定」▶「外部接続」▶「USBモード設定」

「USBモード設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

通信モード……外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。

- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合

microSDモード……外部接続端子をmicroSDメモリーカードのリーダー／ライターとして使います。

- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続していない場合
- 「」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合（FOMA端末とmicroSDメモリーカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、FOMA端末からのフォーマットなどはできません）

データ表示／編集／管理

MTPモード……外部接続端子をWMAデータ転送用に使います。
- 「(アイコン)」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続していない場合
- 「(アイコン)」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合

microSDリーダー／ライターとして使う

microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
- FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）

1 USBモード設定画面（P.249）▶「microSDモード」

「microSDモード」に設定すると、「(アイコン)」が表示されます。

2 FOMA端末とパソコンを、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

「(アイコン)」が表示されます。

パソコンのマイコンピュータに、microSDメモリーカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。

パソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

お願い
- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中の通信ランプが点滅している状態では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する 〈DPOF設定〉

microSDメモリーカードに保存されている画像をDPOF（Digital Print Order Format）設定します。
- DPOF（ディーポフ）とは、デジタルカメラで撮影した静止画を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した静止画をmicroSDメモリーカードに保存し、印刷したい静止画とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタやプリントサービスのお店で、指定した情報にそって印刷できます。

1 フォルダ一覧画面（P.225）▶「microSD」▶「ピクチャ」▶フォルダを選択▶✉［機能］▶「DPOF設定」

■ 1件DPOF設定をする場合

画像一覧画面で設定する画像に囲み枠を移動するか、画像を選択してマイピクチャ画面を表示します。マイピクチャ画面で機能メニューを選択した場合は、操作3に進みます。

2 設定の種類を選択

1件DPOF設定……1件の画像にDPOF設定します。

選択DPOF設定……DPOF設定する画像を選択します。「複数選択について」→P.38

3「プリント指定」▶以下の項目を設定

プリント枚数……印刷枚数（01～99）を入力します。

日付……日付印刷の「あり／なし」を選択します。

■ 選択している画像に設定されているプリント指定を解除する場合

▶「プリント指定解除」

■ 保存されている画像すべてのプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定全解除」

4 [i]「完了」

おしらせ

- DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
- 以下の画像にはDPOF設定はできません。
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超える画像
  - 総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- 設定されている印刷枚数は「イメージ情報」で確認できます。

フォルダとデータを操作する

データBOXの各フォルダ一覧画面やmicroSDフォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

■移行可能コンテンツフォルダについて
- ミュージックの場合、以下の「機能 各データのフォルダ一覧画面」の「フォルダ追加」「フォルダ名編集」「フォルダ削除」「保存容量確認」の機能メニューを利用できます。
- ｉモーションの場合、以下の「機能 microSDフォルダ一覧画面」と同様の機能メニューを利用できます。

フォルダを作成／編集／削除する

機能 各データのフォルダ一覧画面

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。
全角10文字、半角20文字まで入力できます。

マイショートカット貼付※1→P.101

フォルダ削除……データが保存されているフォルダも削除できます。
- ミュージックでは端末暗証番号入力後に、削除方法を「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。
「複数選択について」→P.38

全削除※2※3……保存したすべてのデータを削除します。ただし、シークレットフォルダに保管したデータは削除されません。

プログラム編集※4……プログラム編集を開始します。
「メロディを好きな順に再生する」→P.240

プログラム解除※4……プログラムを解除します。

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

※1：ミュージックでのみ利用できます。
※2：マイピクチャでは「画像全削除」、ｉモーションでは「動画全削除」、メロディでは「メロディ全削除」となります。
※3：ミュージック、ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ、Music&Videoチャネルでは利用できません。
※4：メロディのプログラムフォルダ反転時のみ利用できます。

おしらせ

<フォルダ追加>
- 移行可能コンテンツフォルダのフォルダ最大件数は65,535件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数は65,535件です。

<フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除>
- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - 設定されていた画面、着信音、アラームはお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 自作アニメ、プログラム、ランダムメロディは解除されます。
  - スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面になります。

機能 microSDフォルダ一覧画面（P.246）

フォルダタイトル編集※1……フォルダのタイトルを編集します。
全角31文字、半角63文字まで入力できます。※2

フォルダ作成※1……タイトルを入力してフォルダを作成します。
全角31文字、半角63文字まで入力できます。※2

フォルダ削除……フォルダを削除します。

保存容量確認……使用している容量などを表示します。

※1：「イメージボックス」や「デコメ絵文字」では利用できません。
※2：ｉモーションの移行可能コンテンツフォルダ、メロディでは全角10文字、半角20文字までの入力となります。

おしらせ

- ｉアプリがmicroSDメモリーカードにデータ保存を行っている場合、microSDメモリーカード内のデータにアクセスしようとすると、操作できないことを通知するメッセージが表示されます。

＜フォルダ作成＞

- 「イメージボックス」「デコメ絵文字」内のフォルダは、FOMA端末では作成できません。パソコンなどで作成可能です。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画、ダウンロードした各種データなどを保存しようとしたときに、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存するときには不要なデータを削除します。

1 確認メッセージで、「YES」

■ 保存しない場合
▶「NO」

2 フォルダを選択▶削除するデータを選択

データの種類によっては、データの保存領域を共有しているため、フォルダを選択する前にどのデータを削除するかを選択します。

3 [i]［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで[i]［完了］は表示されません。

FOMAカードで電話帳やSMSを管理する 〈FOMAカード（UIM）操作〉

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

- データのコピー中、削除中は、音声電話やテレビ電話の発着信、メールの送受信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
コピーできる項目や登録件数について→P.76
- FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存できます。

メインメニューから電話帳やSMSをコピーまたは削除する

＜例：電話帳やSMSをコピーする場合＞

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができなくなり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。

2 「コピー」

■ 削除する場合
▶「削除」

3 「本体→FOMAカード（UIM）」または「FOMAカード（UIM）→本体」

■ 削除する場合
▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」

4 以下の項目から選択

電話帳……電話帳を検索し、一覧画面を表示します。
電話帳の検索のしかた→P.79

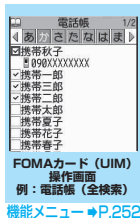
SMS……SMSのデータを選択します。

- **受信BOX**……受信BOXの一覧画面を表示します。
- **送信BOX**……送信BOXの一覧画面を表示します。

5 [十字キー]で□（チェックボックス）を選択▶[i]［完了］▶「YES」

FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合は、さらに「YES」を選択します。

FOMAカード（UIM）操作画面
例：電話帳（全検索）

機能メニュー➡P.252

機能 FOMAカード（UIM）操作画面（P.252）

- 電話帳の場合、タブの選択状態などによって利用できる機能が異なります。

コピー開始※1……コピー操作を開始します。

削除開始※2……削除操作を開始します。

1件選択……データを選択します。

全選択……すべてのデータを選択します。

1件解除……データの選択を解除します。

全解除……すべてのデータの選択を解除します。

詳細表示……データを詳細表示します。

※1：コピー画面でのみ利用できます。
※2：削除画面でのみ利用できます。

電話帳詳細画面から電話帳をコピーする

1 電話帳詳細画面（P.79）▶✉［機能］▶「FOMAカードへコピー」または「本体へコピー」▶「YES」

電話帳の保存先（本体またはFOMAカード）によって、✉［機能］を押したときに表示されるメニューは異なります。

メール画面からSMSを移動またはコピーする

- メール画面でのFOMAカード操作は、受信メール一覧画面・詳細画面、送信メール一覧画面・詳細画面の各画面の機能メニューで行えます。

＜例：本体の受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーする場合＞

1 受信メール一覧画面（P.177、179）▶SMSを反転

2 ✉［機能］▶「FOMA カード操作」▶「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」▶「YES」

■ FOMAカード内の受信SMSを移動またはコピーする場合

▶「FOMAカードから移動」または「FOMAカードからコピー」

「受信BOX」フォルダへ移動またはコピーされます。

おしらせ

＜電話帳＞

- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。同じグループ名がない場合は、「グループなし」に登録されます。

＜SMS＞

- 送信したSMSをコピーした場合は、SMS送達通知もコピーされます。SMS送達通知のみのコピーはできません。
- FOMAカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- 2in1のBナンバー宛てのSMSを移動またはコピーした場合は、Aナンバー宛てのSMSとして保存されます。

赤外線通信／ｉC通信について

赤外線通信機能／ｉC通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

- FOMA端末の赤外線通信／ｉC通信によるデータ転送機能はIrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器やアプリケーションの種類によっては、IrMC1.1に準拠していても転送できないデータがあります。
- データの転送方法には、1件ずつ転送する方法と全件をまとめて転送する方法があります。
- 転送できるデータは**別表2**（P.254）のとおりです。

データ転送するときのご注意

- ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中、キー操作ロック中は、データ転送できません。また、ICカードロック設定中はｉC通信を行えません。
- 指定発信制限設定中は、電話帳データを受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、マイプロフィールの個人データを送信できます。
- 相手側の機器の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

送受信されるデータについて

- FOMA端末で受信したデータは、**別表2**（P.254）のように保存されます。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。
- 次のデータは、送受信できません。
  - FOMAカードの電話帳、SMS
  - フレーム、スタンプのデータ（受信のみ可能）
  - FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画、ｉモーション
  - シークレットフォルダのデータ
- 次のデータは、受信できません。
  - JPEG、GIF、SWF形式以外の静止画や画像
  - MP4、3GP形式以外の動画
  - FOMA SO705iで扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、ｉモーション、メロディ
- 静止画、動画、ｉモーションのタイトルは全角9文字、半角18文字、メロディのタイトルは全角25文字、半角50文字まで送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えたぶんの文字が削除されます。
- 静止画を全受信すると、電話帳に登録された静止画もすべて削除されます。
- 電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
  - 電話帳のシークレットコードは転送できません。
  - シークレットデータとして登録された電話帳を1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。

[別表2] 転送できるデータと受信データの保存場所

データ	1件受信	全受信
静止画（画像）、メロディ	INBOXフォルダの1番目に登録	（全送信不可）
動画（ｉモーション）	INBOXフォルダに日付順に登録	（全送信不可）
トルカ、トルカ（詳細）	トルカフォルダの1番目に登録	送信元のトルカに置き換え
電話帳、マイプロフィール	電話帳の「010」～「999」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録（すべて登録されているときは、「000」～「009」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録）	送信元の電話帳に置き換え（マイプロフィールのデータも送信され、マイプロフィールのデータ（電話番号を除く）も置き換え）
スケジュール	スケジュールの開始日時に従って登録	送信元のスケジュールに置き換え
To Doリスト	To Doリストの1番目に登録	送信元のTo Doリストに置き換え
受信メール、送信メール	受信BOX／送信BOXフォルダにメールの日付順に登録	送信元の送信BOX、受信BOXに置き換え
保存メール	保存BOXにメールの日付順に登録	送信元の保存BOXに置き換え
テキストメモ	<未登録>の1番目に登録	送信元のテキストメモに置き換え
定型文	<未登録>の1番目に登録	送信元の定型文に置き換え
ユーザ辞書	ユーザ辞書の1番目に登録	送信元のユーザ辞書に置き換え
ブックマーク（ｉモード、フルブラウザ）	それぞれのBookmarkフォルダの1番目に登録	送信元のBookmarkに置き換え

・受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」のINBOXフォルダに登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、超えた静止画を削除して電話帳が登録されます。

●メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。

・受信側の機種によっては、メールの題名の一部を受信できない場合があります。
・全受信は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
・受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量が不足しているときは、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
・送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
・データの取得が完了してない添付ファイルが存在する場合は、その添付ファイルは削除されて送信されます。
・ｉアプリの起動指定、メール連動型ｉアプリの貼付情報が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータ、microSDメモリーカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
・メール連動型ｉアプリの受信メールフォルダ、送信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダまたは送信BOXフォルダに登録されます。
・受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。
・赤外線通信の場合、2Mバイトを超えるメールは正しく送信できないことがあります。

●定型文を受信したときに、自作の定型文がフォルダ9（「自由定型文」フォルダ）にすべて登録済みで、フォルダ1～8の固定定型文がお買い上げ時の状態のままのときは、フォルダ1～8に受信した定型文が上書きされます。

●ブックマークを全受信したとき、送信元の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。

認証パスワードについて

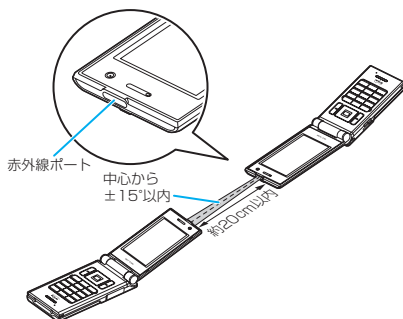
●「全送信／全受信」では、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信でデータを転送する
〈赤外線通信〉

赤外線通信でデータ転送するときは

●赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。

●通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。

●直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。

赤外線通信でデータを1件ずつ転送する
〈赤外線送信／赤外線受信〉

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータを1件ずつ転送します。

● データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。また、送信するデータがJPEG形式の画像の場合、高速赤外線通信（IrSS）を選択できます。

<例：画像を1件送信する場合>

1 マイピクチャ画面（P.225）▶[✉]［機能］▶「赤外線送信」または「IrSS」

■ IrSS送信について
JPEG形式の画像は[i]［IrSS］でも送信できます。

2 相手側の機器を受信状態にする

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
▶「NO」

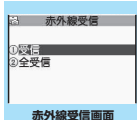
■ 送信中に中止する場合
▶[i]［中止］

おしらせ

- 「IrSS」を選択したときは、相手側の機器が正常に受け取れない場合でも、送信側では正常に終了します。

● データを1件受信する

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「赤外線受信」

「赤外線受信画面」が表示されます。

赤外線受信画面
機能メニュー➡P.256

2 「受信」▶赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶相手側の機器からデータを受信

データの受信がはじまります。

3 「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信中に中止する場合
▶[i]［中止］

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

機能 赤外線受信画面（P.256）

マイショートカット貼付→P.101

赤外線通信でデータをまとめて転送する
〈赤外線全送信／赤外線全受信〉

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータをまとめて転送します。

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやシークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

● データをまとめて送信する

全送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを全送信する場合>

1 電話帳一覧画面（P.78）▶[✉]［機能］▶「赤外線全送信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.255

3 相手側の機器を受信状態にする

4 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶[i]［中止］

● データをまとめて受信する

1 赤外線受信画面（P.256）▶「全受信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.255

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

4 上書き確認画面が表示されたら「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

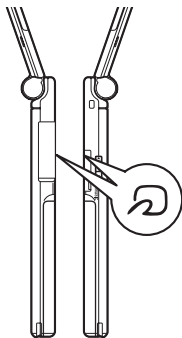
5 相手側の機器からデータを全受信

データの全受信がはじまります。
受信したデータの登録が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 受信中に中止する場合
▶ i ［中止］

ｉＣ通信でデータを転送する 〈ｉＣ通信〉

ｉＣ通信でデータ転送するときは

- 送信側FOMA端末の FeliCa マーク「」を受信側FOMA端末の FeliCa マーク「」に重ね合わせます。
- 相手の FOMA 端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCa マーク「」どうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

ｉＣ通信でデータを１件ずつ転送する 〈ｉＣ送信／ｉＣ受信〉

ｉＣ通信機能を使って、ほかの機器との間でデータを１件ずつ転送します。

● データを１件送信する

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「ｉＣ送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを１件送信する場合＞

1 電話帳詳細画面（P.79）▶ ［機能］▶「ｉＣ送信」

2 FeliCa マーク「」を相手側の FeliCa マーク「」に重ね合わせる▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ i ［中止］

● データを１件受信する

1 FeliCa マーク「」を相手側の FeliCa マーク「」に重ね合わせる▶相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。

2 「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信中に中止する場合
▶ i ［中止］

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

ｉC通信でデータをまとめて転送する〈ｉC全送信／ｉC全受信〉

ｉC通信機能を使って、ほかの機器との間でデータをまとめて転送します。

● データをまとめて送信する

全送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「ｉC全送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを全送信するとき>

1. **電話帳一覧画面（P.78）▶[メール]［機能］▶「ｉC全送信」**
2. **端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力**
   「認証パスワードについて」→P.255
3. **FeliCa マーク「[FeliCa]」を相手側のFeliCa マーク「[FeliCa]」に重ね合わせる▶「YES」**
   データの全送信がはじまります。
   送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

   ■ 全送信を中止する場合
   ▶「NO」

   ■ 送信中に中止する場合
   ▶[i]［中止］

● データをまとめて受信する

1. **FeliCa マーク「[FeliCa]」を相手側のFeliCa マーク「[FeliCa]」に重ね合わせる**
2. **相手のFOMA端末からデータ全送信の操作を行う**
3. **端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力**
   「認証パスワードについて」→P.255
4. **上書き確認画面が表示されたら「YES」**
   データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。
   受信したデータの登録が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

   ■ 全受信を中止する場合
   ▶「NO」

   ■ 受信中に中止する場合
   ▶[i]［中止］

ケーブル接続によるデータ転送について〈OBEX™通信〉

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続すると、電話帳や画像などの各種データのデータ転送が行えます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってデータ転送（OBEX™通信）を行うときには、ドコモケータイdatalink（P.324）、および付属のCD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」をインストールする必要があります。
- ドコモケータイdatalinkのインストール方法などの詳細については、同ソフトのダウンロードページをご覧ください。なお、データの転送方法の詳細については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
- 「FOMA通信設定ファイル」のインストール方法、およびパソコンの動作環境については、「パソコン接続」、および付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
- データ転送の前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。

■ お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

電話帳の画像を転送しないように設定する〈電話帳画像転送〉

赤外線通信機能やｉC通信機能、microSDメモリーカードへのコピー、データ転送（OBEX™通信）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

1. **[MENU]▶「LifeKit」▶「電話帳画像転送」▶「しない」**

   ■ 転送する場合
   ▶「する」

赤外線リモコン機能を利用する

- リモコン機能を利用する場合は、ご使用になる機器に対応したソフトをダウンロードしてください(リモコンのボタン操作はソフトにより異なります)。
- お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。→P.202
- 機器によってはリモコン操作ができない場合があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

- FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面で約4mですが、周囲の明るさによって変わります。

Music&Videoチャネル／音楽再生

■Music&Videoチャネル

■ミュージック

■ミュージックプレーヤー

音楽データの取り扱いについて

- 本書では着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAファイルは再生できなくなることがあります。
  上記の場合、FOMA端末でWMA全削除を行ってから必要なWMAファイルをパソコンから転送してください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末（本体）やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末（本体）やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

Music&Videoチャネルとは

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大１時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

  ※：国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

■BGM再生（バックグラウンド再生）について

Music&Videoチャネルの番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます。→P.274

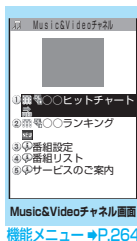
番組を設定する

利用したい番組を事前に設定し、夜間に番組データを自動的に取得します。

1 **MENU ▶「MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」**

「Music&Videoチャネル画面」が表示されます。

Music&Videoチャネル画面

機能メニュー➡P.264

2 **「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定する**

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 一度に設定できる番組の数は2つです。
- 番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録（P.149）が必要です。
- Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、Music&Videoチャネル未契約のお知らせが表示されます。その画面から「Music&Videoチャネルのお申し込みへ」を選択するとMusic&Videoチャネル契約をすることができます。

● 番組の設定内容を確認・解除する

1 **Music&Videoチャネル画面（P.262）▶「番組設定」▶画面の指示に従って操作する**

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

番組を設定すると

- 番組取得を開始する 12 時間前に、待受画面に「」が表示されます。

- 番組取得は夜間に自動的に行われ、成功すると「Music&Videoチャネル更新」のショートカットアイコン「」が表示されます。
番組取得に失敗した場合、「Music&Videoチャネル更新失敗」のショートカットアイコン「」が表示されます。この場合、番組を手動で取得することができます。→P.263

おしらせ

- 番組取得中に通信が途切れた場合は、3分間隔で5回まで、自動的に再取得を行います。
- 番組の保存は2番組までです。新しい番組が取得されると、以前取得された番組は削除され、再生できなくなります。削除したくない番組は、データBOXに移動してください。→P.264
- 取得した番組をコピーすることはできません。
- 取得した番組はmicroSDメモリーカードに保存することはできません。
- 番組取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況のよい環境でお使いください。
- 番組取得に失敗する原因として、「圏外」「電源が入っていない」「電池残量が少ない」「マルチタスクやマルチアクセスの組み合わせ」などがあります。これらの原因によって番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。ただし、番組取得の途中で中断したときは、再取得が行われないことがあります。
- 番組を設定したときと異なる FOMA カードを挿入した場合や端末初期化を行った場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。
- すでに番組を設定しているFOMA端末のFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。
- Music&Video チャネルや i モードの解約を行うと、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。

● Music&Videoチャネル画面のアイコンの見かた

アイコン	説明
	通常の番組
	放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組
	取得に失敗した番組
	サイトからダウンロードした番組
	サイト接続情報（URL）が含まれている番組
	未再生の番組

：部分的に取得した番組

：再生制限付きの番組（再生回数・期間・期限を過ぎるとアイコンが全体的に薄くなり、「（灰色）」が「（赤色）」になります）

● 番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、番組を手動で取得します。

1 Music&Videoチャネル画面（P.262）▶番組を選択▶「YES」

おしらせ

- 「Music&Videoチャネル更新失敗」のショートカットアイコンは「Music&Videoチャネル画面」を一度表示すると消えます。ショートカットアイコンが消えても、取得に失敗した番組がある場合は手動で取得できます。
- 番組の取得が中断された場合でも、中断されるまで部分的に取得した番組は保存されます。残りの番組の取得は、一部時間帯を除きお客様の操作によって再開できます。
- 再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日までは更新ができません。
- ご利用になる時間帯によっては、手動での番組取得ができない場合があります。

機能 Music&Videoチャネル画面（P.262）

チャプター一覧……各チャプターのタイトル名、アーティスト名、再生時間を一覧で表示します。
チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。※1 「チャプター一覧について」→P.264

番組移動……移動先のフォルダを選択し、番組をデータBOXのMusic&Videoチャネルのユーザ作成フォルダに移動します。※2

番組情報……番組のタイトル、再生回数、再生期限、再生期間などを表示します。

番組画像表示……番組に登録されている画像を表示します。※3

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

マイショートカット貼付→P.101

番組削除……番組を削除します。

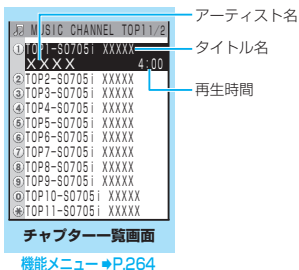
※1：すべてのデータを取得していないチャプターは選択できません。
※2：部分的に取得した番組や放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組は移動できません。
※3：登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。なお、番組画像を保存することはできません。

● チャプター一覧について

Music&Videoチャネル画面の機能メニューで「チャプター一覧」を選択すると、番組のチャプターが一覧で表示されます。

チャプター一覧画面

機能メニュー➡P.264

機能 チャプター一覧画面（P.264）

チャプター情報……チャプターのタイトル、再生時間などを表示します。

チャプター画像表示……チャプターに登録されている画像を表示します。※

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

※：登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。また、番組がｉモーションで構成されている場合は、画像は表示されません。なお、チャプターに登録されている画像は保存できません。

番組を再生する

1 Music&Videoチャネル画面（P.262）▶番組を選択

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、番組の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.271
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.272

おしらせ

- イヤホンなどを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
- 前回途中で再生を終了した番組を選択した場合は、終了したときに再生していたチャプターの先頭から再生されます。
- 再生制限付きの番組もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある番組は、タイトルの先頭に「[icon]」が表示されます。再生できる期間が制限されている番組は、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている番組については、再生することができません。

● 放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組の再生

番組を再生するときに、放送波で流れている内容と同期を取り、放送波と同じ内容を再生することができます。

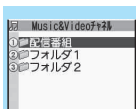
- ●番組はあらかじめ取得しておく必要があります。
- ●番組を再生する方法は、通常番組と同様ですが、再生可能な時間以外には再生できません。

おしらせ

- ●再生時間は、自動時刻補正された端末内の時計と同期しているため、本FOMA端末で日付・時刻を手動で変更した場合でも、再生可能な時間は変更されません。
- ●部分的に取得した番組は再生できません。

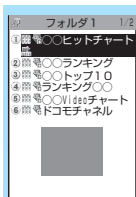
データBOXの番組を再生する

1 MENU▶「データBOX」▶「Music&Videoチャネル」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
Music&Videoチャネルのフォルダ内容について
→P.224

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.251

2 フォルダを選択

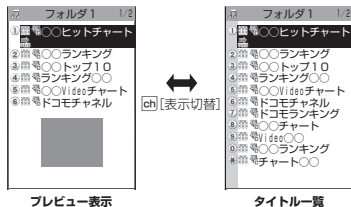
「番組一覧画面」(プレビュー表示)が表示されます。
番組一覧画面の見かた
→P.265

番組一覧画面
(プレビュー表示)

機能メニュー➡P.265

3 番組を選択

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、番組の再生がはじまります。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- ●番組一覧画面のアイコンについて→P.263

プレビュー表示　タイトル一覧

■プレビュー表示
画面に6件の番組がタイトル一覧で表示され、反転表示されている番組のプレビュー画面がタイトル一覧の下に表示されます。

■タイトル一覧
画面に11件の番組がタイトル一覧で表示されます。

機能 番組一覧画面（P.265）

チャプター一覧……各チャプターのタイトル名、アーティスト名、再生時間を一覧で表示します。
チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。※1「チャプター一覧について」→P.264

タイトル編集……番組のタイトルを編集します。

番組移動※2……移動先のフォルダを選択し、番組をユーザ作成フォルダに移動します。

フォルダ移動※3……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、番組をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

番組情報……番組のタイトル、再生回数、再生期限、再生期間などを表示します。

番組画像表示……番組に登録されている画像を表示します。※4

ソート……指定した条件に従って番組を並び替えます。

一覧表示切替……番組の一覧表示のしかたを選択します。

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

保存容量確認……番組の保存容量などを表示します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

番組削除※2……番組を削除します。

削除※3……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

※1：すべてのデータを取得していないチャプターは選択できません。
※2：配信番組フォルダの場合のみ利用できます。
※3：ユーザ作成フォルダの場合のみ利用できます。

Music&Videoチャネル／音楽再生

※4：登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。なお、番組画像を保存することはできません。

サイトから着うたフル®を取得し保存する

●着うたフル®はFOMA端末(本体)に最大100件まで保存できます（実際に保存できる件数は、保存されている各種データの保存容量により少なくなる場合があります）。

❶ サイト画面（P.144）▶着うたフル®を選択

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

データ取得完了画面

■ 取得を中止する場合

▶CLR

■ 取得した着うたフル®を再生する場合

▶「再生」

「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.271
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.272

■ 着うたフル®の情報を表示する場合

▶「情報表示」

❷ データ取得完了画面（P.266）▶「保存」▶「YES」

■ データの一部のみ保存できる場合

電波状況により取得が中断された場合や取得を中止した場合は、データ取得完了画面に「部分保存」というメニューが表示されることがあります。このようなときは、取得した部分のみを保存することができます。

■ 保存を中止する場合

▶「NO」

❸ 保存先のフォルダを選択

おしらせ

●再生制限付きの着うたフル®もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある着うたフル®は、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されている着うたフル®は、期間前や期間後には再生できません。

●長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®については、再生することができません。

おしらせ

●5Mバイトを超える着うたフル®やサイズが不明の着うたフル®は取得できません。

●着うたフル®のデータ取得完了画面（P.266）の機能メニューの「画面メモ保存」で「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。
→P.151

● 部分的に取得した着うたフル®の残りのデータを取得する

部分的に取得した着うたフル®を保存先から選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、残りのデータを取得します。
すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

●データの取得状態は、「楽曲一覧画面」のアイコン表示で識別できます。→P.267

●部分的に取得した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません（うた・ホーダイの楽曲を除く）。また、取得操作を行う際に、部分的に保存されていたデータを削除できます。

● うた・ホーダイの楽曲の再生制限を更新する

再生制限切れの更新可能なうた･ホーダイの楽曲があるフォルダやプレイリストの曲を再生すると、再生期限の更新が必要である旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、再生制限を更新します（パケット通信料有料）。「NO」を選択すると、音楽データを利用できません。
再生制限を更新可能なうた･ホーダイの楽曲が複数ある場合は、更新する音楽配信サイトを選択します。

●うた・ホーダイは、お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な音楽データです。再生期限は音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。ライセンス情報には、再生期限とともに再生猶予期間が指定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生できますが、再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。
また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。

●国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。

●日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

●再生制限の状態は、「楽曲一覧画面」のアイコン表示で識別できます。→P.267

●再生制限の更新はサイトに接続して行いますので、パケット通信（課金）が発生します。
●FOMAカードを差し替えて使用する場合は、端末初期化することをおすすめします。

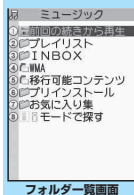
おしらせ

●着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイの楽曲が再生不可能になった場合は、デモ再生や着信時、アラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。

曲を再生する

●プレイリストに楽曲を登録して、お好みの楽曲をお好みの順序で再生することもできます。→P.269

1 MENU ▶「データBOX」▶「ミュージック」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

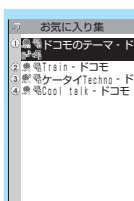
機能メニュー➡P.251

2 **フォルダを選択**

「楽曲一覧画面」が表示されます。

「楽曲一覧の見かた」→P.267

■ｉモードで楽曲を検索する場合

▶「ｉモードで探す」▶「YES」

楽曲一覧画面

機能メニュー➡P.268

3 **楽曲を選択**

「ミュージックプレーヤー再生画面」が表示され、楽曲の再生がはじまります。

「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.271

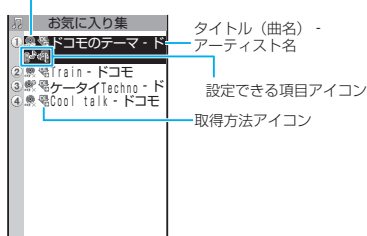
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.272

■ **部分的に取得した着うたフル®の場合**

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、残りのデータを取得します。→P.266

おしらせ

●イヤホンを接続しているときは、マナーモード設定中でもイヤホンからは音が聞こえます。マナーモード設定中にイヤホンを抜くと、曲の再生を一時停止します。
●再生制限付きの楽曲もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある楽曲は、タイトルの先頭に「◷」が表示されます。再生できる期間が制限されている楽曲は、期間前や期間後には再生できません。

楽曲一覧の見かた

■ファイル種別アイコン

アイコン	説明
	FOMA端末（本体）に保存されている楽曲
	microSDメモリーカードに保存されており FOMA端末（本体）に移動可能な楽曲
	microSDメモリーカードに保存されており FOMA端末（本体）への移動が禁止されている楽曲 ※ FOMA端末（本体）のプレイリスト楽曲一覧画面で、プレイリストに登録されている楽曲の保存されているmicroSDメモリーカードが本体に挿入されていない場合にも表示されます。
	再生が不可能または再生制限が更新不可能な再生制限付きの楽曲
WMA	WMA形式の楽曲
	部分的に取得した楽曲
	FOMAカード動作制限に該当している楽曲

：ファイル制限が設定されている楽曲

：再生制限付きの楽曲（再生回数・期間・期限を過ぎると「◷」が「◷」になります）
水色アイコンは、再生制限が更新可能なもの

：楽曲保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ再生可

次ページにつづく

：楽曲保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ再生可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
なし	お買い上げ時に登録されている楽曲
	サイトなどから取得した楽曲
	パソコンなどから取得した楽曲

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	着信音に設定できる楽曲
	microSDメモリーカードに移動可能な楽曲
WEB	Web To機能を利用できる楽曲

機能 楽曲一覧画面（P.267）

● 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。また、検索やソート表示を利用した場合も、機能メニューに表示される項目が異なります。

プレイリストへ追加……プレイリストを選択すると楽曲がプレイリストの最後に追加されます。

プレイリスト作成→P.269

microSDへ移動※1→P.248

フォルダ移動……「1件移動／選択移動／全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、楽曲をほかのフォルダに移動します。「複数選択について」→P.38

楽曲情報編集……タイトル名、アーティスト名、アルバム名などを編集します。

リスト用タイトル編集……楽曲一覧画面に表示される楽曲のタイトルを編集します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

楽曲情報初期化……「ミュージック情報」を取得したときの状態に戻します。

着信音設定……楽曲を着信音に設定します。→P.88

まるごと設定……楽曲すべてを着信音に設定します。

オススメ設定……で着信音に設定する部分を指定し、楽曲の一部分だけを設定します。

検索※1……指定した条件に従って楽曲を検索します。

ソート※1……指定した条件に従って楽曲を並び替えます。

一覧表示切替……楽曲一覧画面の表示方法を「タイトル」または「タイトル＋画像」から選択します。

ミュージック情報……ミュージックのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……楽曲のジャケット画像を表示します。ジャケット画像が複数枚あるときは、で画像を切り替えることができます。

保存容量確認……楽曲の保存容量などを表示します。

リピート設定

OFF（お買い上げ時）……リピート再生しません。

オールリピート……フォルダ内の楽曲を全曲リピート再生します。

シングルリピート……反転している楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定（お買い上げ時：OFF）……シャッフル再生のON／OFFを設定します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

本体へ移動※2→P.248

※1：移行可能コンテンツフォルダやWMAフォルダの楽曲一覧画面では利用できません。
※2：移行可能コンテンツフォルダのときのみ利用できます。

おしらせ

<microSDへ移動>
● 着うたフル®の移動可否は「ミュージック情報」で確認できます。同じ機種間のみ移動可能な着うたフル®もあります。

プレイリストを利用する

プレイリストに楽曲を登録し、お好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

● FOMA端末（本体）に登録可能な曲数とプレイリスト数は以下のとおりです。

登録可能曲数	最大100曲
プレイリスト数※	最大21件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。

● FOMA端末（本体）に保存されている楽曲（着うたフル®）とmicroSDメモリーカードの楽曲（着うたフル®）、WMAデータを同じプレイリストに登録できます。

プレイリストを作成する

1 プレイリスト一覧画面（P.269）／楽曲一覧画面（P.267）▶✉［機能］▶「プレイリスト作成」

2 フォルダを選択▶🔲で□（チェックボックス）を選択▶i［完了］

複数の楽曲をプレイリストに登録できます。

■ 楽曲一覧画面の場合

フォルダの選択はせず、「1件設定／選択設定／全設定」を選択します。「複数選択について」→P.38

「全設定」を選択すると、楽曲一覧画面のすべての楽曲をプレイリストに登録します。

3 プレイリスト名を入力

プレイリストが作成され、プレイリスト楽曲一覧画面が表示されます。

■ 再生する場合

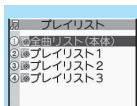
▶■［再生］

プレイリストを再生する

1 フォルダ一覧画面（P.267）▶「プレイリスト」

「プレイリスト一覧画面」が表示されます。

■ プレイリストをすぐに再生する場合

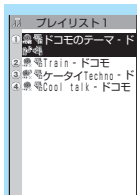
▶再生するプレイリストを反転▶i［再生］

プレイリスト一覧画面

機能メニュー➡P.269

2 プレイリストを選択

「プレイリスト楽曲一覧画面」が表示されます。

■「全曲リスト（本体）」を選択した場合

FOMA端末（本体）に保存されているすべての楽曲（再生可能な楽曲）が含まれたプレイリストが表示されます。

プレイリスト楽曲一覧画面

機能メニュー➡P.270

3 ■［再生］

プレイリストの再生がはじまり、登録した順番で楽曲が再生されます。

おしらせ

● プレイリストに登録されている楽曲をすべて削除した場合は、プレイリストも削除されます。

機能 プレイリスト一覧画面（P.269）

プレイリスト作成→P.269

プレイリスト名編集……プレイリスト名を編集します。全角128文字、半角256文字まで入力できます。

プレイリスト複製……プレイリストのコピーをプレイリスト一覧に作成します。

検索……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を検索します。

プレイリスト情報……プレイリスト名、プレイリスト内の曲数、プレイリストの再生時間が表示されます。

プレイリスト削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

機能 プレイリスト楽曲一覧画面（P.269）

プレイリスト作成→P.269

プレイリスト編集

並び替え……移動先の位置を選択し、楽曲を並び替えます。

楽曲追加……追加先のプレイリストを選択し、楽曲をほかのプレイリストの最後に追加します。
「複数選択について」→P.38

解除……「1件解除／選択解除／全解除」から選択し、楽曲をプレイリストから解除します。
「複数選択について」→P.38

検索……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を検索します。

ソート……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を並び替えます。

一覧表示切替……一覧の表示方法を「タイトル」または「タイトル＋画像」から選択します。

ミュージック情報……楽曲のファイル名、保存日時などを表示します。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、[操作キー]で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……楽曲のジャケット画像を表示します。画像が複数枚あるときは、[操作キー]で画像を切り替えることができます。

リピート設定

OFF（お買い上げ時）……リピート再生しません。

オールリピート……プレイリスト内の楽曲を全曲リピート再生します。

シングルリピート……再生中（一時停止中）の楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定（お買い上げ時：OFF）……シャッフル再生のON／OFFを設定します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

おしらせ

<プレイリスト編集>
- プレイリストから楽曲を解除しても、もとのデータは削除されません。

microSDメモリーカードにWMAデータを登録する

「Windows Media Player」を使って、音楽CDの音楽データをWMAデータに変換してmicroSDメモリーカードに登録します。

- FOMA端末で再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	WMA9（Windows Media Audio 9 Standard）
ビットレート	32～192kbps
DRM	Windows Media DRM10 for Portable Devices
登録可能曲数	最大999曲
プレイリスト数※	最大100件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには999曲まで登録できます。

- Windows Media Player 10／11について
  Windows XPでWindows Media Player 10／11をご利用になる場合は、Windows XP Service Pack 2以降をお使いください。Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。また、操作方法についてはWindows Media Player 10／11のヘルプをご覧ください。
- microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

1 以下のものを準備する
- 「Windows Media Player」の動作環境を満たしたパソコン
- microSDメモリーカード

2 USBモード設定画面（P.249）▶「MTPモード」

「MTPモード」に設定すると、「[MTP]」が表示されます。

3 FOMA端末とパソコンを、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

MTPモード中にmicroSDメモリーカードが挿入され、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02が接続されている場合は、「[MTP]」が表示されます。

4 パソコンから「Windows Media Player」を起動し、音楽CDなどの音楽データをWMA形式に変換する

「Windows Media Player」がFOMA端末を認識するまで時間がかかる場合があります。

5 パソコンからWMAデータをmicroSDメモリーカードに転送する

❻ データ転送が終わったらFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を外す

❼ FOMA端末のUSBモードを「通信モード」に戻す

おしらせ

- ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。
  - ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
    http://www.napster.jp/
  - ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら、下記のホームページをご覧ください。
    http://www.napster.jp/support/
- 他のFOMA端末でmicroSDメモリーカードに転送したWMAデータは、FOMA SO705iで表示・再生されない場合があります。
- 他のFOMA端末でWMAデータを転送したmicroSDメモリーカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。その場合には、WMAのフォルダ一覧画面の機能メニューから「WMA全削除」を行うか、microSDメモリーカードをフォーマット（P.249）してください。なお、microSDメモリーカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。
- WMAデータは着信音に設定することはできません。

ミュージックプレーヤーを利用する 〈ミュージックプレーヤー〉

ミュージックプレーヤーでは、着うたフル®やｉモーション、Music&Videoチャネルの番組、microSDメモリーカードに登録した楽曲を再生します。

- お買い上げ時に登録されている着うたフル®のほかに、ｉモードサイトから取得したｉモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組、音楽CDから取り込んだ音楽データを再生することができます。
  「サイトからｉモーションを取得する」→P.159
  「サイトから着うたフル®を取得し保存する」→P.266
  「番組を設定する」→P.262
  「microSDメモリーカードにWMAデータを登録する」→P.270
- 平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続してステレオサウンドで音楽を楽しむことができます。平型ステレオイヤホンセットなどをFOMA端末に接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタを使用します。→P.25
- イヤホンを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。

■BGM再生（バックグラウンド再生）について
ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます。→P.274

ミュージックプレーヤー再生画面の見かた

- ミュージックプレーヤー再生画面の機能メニュー→P.273
- ｉモーション再生時、全画面で再生するように設定した場合は、横画面（全画面）で再生します。

① アーティスト名
　楽曲：アーティスト名
　Music&Videoチャネル：番組タイトル
　ｉモーション：作成者

② タイトル
　楽曲：タイトル
　Music&Videoチャネル：チャプタータイトルとアーティスト名
　ｉモーション：タイトル

③ 画像／動画
　楽曲：ジャケット画像
　Music&Videoチャネル：チャプター画像または番組動画
　ｉモーション：動画

④ 再生状態
　▶：再生中
　❚❚：一時停止中
　▶▶：早送り中
　◀◀：巻戻し中
　▷SLOW：スロー再生中
　PLAY：早送り再生中

⑤ トラック
楽曲：再生中のトラック番号／フォルダ内の全トラック数
Music&Videoチャネル：再生中のチャプター番号／全チャプター数
ｉモーション：再生中のファイル番号／フォルダ内の全ファイル数

⑥ 音質（イコライザ）
EQ OFF：OFF　Bass：低音強調
Treble：高音強調　Treble Reducer：音漏れ低減
Pop Jazz Rock Techno Classical：各ジャンル向け
Speech：音声再生向け

⑦音響効果（SRS_WOW）
WOW OFF：OFF
WOW +1 WOW +2 WOW +3：低音補正（+1～+3）
WOW ((S))：サラウンド
WOW +1((S)) WOW +2((S)) WOW +3((S))：低音補正（+1～+3）／サラウンド
WOW User1 WOW User2 WOW User3：ユーザ設定1～3

⑧ リピート状態
：オールリピート
：シングルリピート
OFFのときは表示なし

⑨ シャッフル状態
SHUF：ON
OFFのときは表示なし

⑩ 再生位置表示
現在の再生位置をマーカーで表示（一時停止中に でマーカーを移動して ■［再生］を押すと、その位置から再生）

⑪ 再生経過時間（分：秒）／全体の長さ（分：秒）

⑫ 音量（レベル0～20）
マナーモード設定中は を表示

⑬ 楽曲／ファイル／チャプター選択
再生する楽曲／ファイル／チャプターを変更

⑭ Web To対応
楽曲や番組に含まれているURLに接続

⑮ 設定メニュー→P.273

おしらせ

- FOMA端末を閉じたときは、サブディスプレイで再生状態を確認できます。

ミュージックプレーヤー再生画面の操作について

- 楽曲、Music&Videoチャネルの番組、ｉモーションの種類によっては、以下の操作で動作しない場合があります。

ボタン操作	動作
■	一時停止／再生を再開
(上下)	音量調節
(左)	先頭から再生 先頭から1秒以内に押した場合は前の楽曲／チャプター／動画を再生※
(右)	次の楽曲／チャプター／動画を再生※
(左)（1秒以上）	巻戻し
(右)（1秒以上）	早送り
一時停止中に(左右)	再生位置表示のマーカーを移動
ch 6	再生する楽曲／ファイル／チャプターを選択
# ＊	画像が複数登録されている場合、画像の切り替え
CLR	終了
i	設定メニューを利用→P.273
1	イコライザの設定
2	SRS_WOWの設定
3	リピートの設定
4	シャッフルのON／OFF
5	サイト接続
9	通常画面モードと全画面モードの切り替え

※：シャッフル再生時は、フォルダまたはプレイリスト内の順序に関係なく、前または次の曲を再生します。

おしらせ

- 音量はレベル0～20（お買い上げ時：レベル10）まで設定でき、次回起動時も設定した音量で再生されます。
- ミュージックプレーヤーで設定した音量は、「着信音量」の設定などには反映されません。
- Music&Videoチャネルの番組で、再生操作に制限が設定されている場合、その操作（主に の操作）はできません。
- データによっては、巻戻し、早送りができません。

● 設定メニューを利用する

1 再生中／一時停止中／停止中▶ [i]［MENU］

設定メニューにカーソルが移動します。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.271

2 [◎]で機能を選び、[■]［選択］

[1]～[6]で各機能を設定することもできます。→P.272
[CLR]を押すと、再生中／一時停止中／停止中に戻ります。

● 平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続した場合

スイッチを使って以下の操作を行うことができます。

スイッチ操作	動作
1回	押すごとに再生・一時停止
再生中に連続2回	次の楽曲／チャプターを再生
再生中に連続3回	先頭から再生 先頭から3秒以内に操作した場合は前の楽曲／チャプターを再生
再生中に1秒以上	ミュージックプレーヤーを終了

機能 ミュージックプレーヤー再生画面（P.271）

●再生中の楽曲、Music&Videoチャネルの番組、iモーションの種類によって、利用できない機能があります。

動作設定

サウンドエフェクト……音質／音響効果を設定します。

イコライザ（お買い上げ時：OFF）……音質を設定します。

SRS_WOW（お買い上げ時：OFF）……iモーションに音響効果を加えます（音響効果ありのiモーションで設定できます→P.226）。

■ユーザ設定を選択する場合
▶ユーザ設定1～3を反転▶[i]［詳細］▶[◎]で設定▶[■]［確定］

リピート設定

OFF……リピート再生しません。

オールリピート……フォルダ内の楽曲を全曲リピート再生します。

シングルリピート……再生中（一時停止中）の楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定……シャッフル再生のON／OFFを設定します。

再生画面設定……再生画面の表示方法を設定します。

通常画面モード……縦画面で再生します。

全画面モード……横画面（全画面）で再生します。

プレーヤー画面変更……ミュージックプレーヤー再生画面のデザインを設定します。

画像表示設定……通常画面モードのときの画像の表示サイズを設定します。

標準……画像のサイズに合わせて表示します。

画面サイズで表示……画像のサイズによらず、画面のサイズに合わせて表示します。

連続再生設定……フォルダ内のファイルを連続再生するかどうか（ON／OFF）を設定します。

再生メニュー

早送り再生……早送り再生をします。[i]［再生］を押すと通常の再生に戻ります。

スロー再生……スロー再生をします。[i]［再生］を押すと通常の再生に戻ります。

指定位置再生……[◎]で再生位置表示マーカーを移動し、楽曲の一部分だけを再生します。楽曲によっては、できないことがあります。

チャプター一覧……チャプター一覧（P.264）を表示します。チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生します。

詳細情報

ミュージック情報……ミュージックのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

iモーション情報……iモーションのファイル名、保存日時、microSDへの移動可否などを表示します。

チャプター情報……チャプターのタイトル、再生時間などを表示します。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、[◎]で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……[◎]で再生中の楽曲のジャケット画像を切り替えます。

チャプター画像表示……再生中のチャプターに登録されている画像／アニメーションを表示します。

画像表示……iモーションでのみ表示されますが、常にグレー表示で利用できません。

サイト接続……URLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

楽曲変更……再生する楽曲を変更します。

ファイル選択……再生するファイルを変更します。

チャプター一覧……再生するチャプターを変更します。

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

おしらせ

<チャプター画像表示>
- チャプターに登録されている画像は保存できません。

音楽を再生しながら他の機能を利用する 〈BGM再生〉

楽曲またはMusic&Videoチャネルの番組は、他の機能を利用しながら再生することができます。

- 平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをFOMA端末に接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタを使用します。→P.25
- ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組では、BGM再生を利用できません。

1 ミュージックプレーヤー再生画面（P.271）▶[☎]▶「BGM再生」

待受画面が表示され、他の機能を利用できるようになります。

■ ミュージックプレーヤーを終了する場合
▶「ミュージック終了」／「Music&Video ch終了」

■ BGM再生を終了するには

タスクをミュージックグループに切り替え、ミュージックプレーヤーの再生を停止します。→P.277

● BGM再生中に利用できる機能

機能	可否
電話／テレビ電話	×
メール	○※1
ｉモード	○
ｉアプリ	△※2
データBOX	△
LifeKit	△
電話帳	○
ユーザデータ	○
各種設定	△
サービス	△
おサイフケータイ／トルカ	○

○：利用可　△：一部利用可　×：利用不可

※1：メール設定の「受信時動作設定」を通知優先に設定しているとメール受信時に楽曲を一時停止します（操作優先に設定していても待受画面表示中にメールを受信すると一時停止します）。ｉモードメール作成時は「カメラ起動」など一部ご利用になれない機能もあります。

※2：ｉアプリを起動すると楽曲を一時停止します。

● FOMA端末を閉じて操作する

サイドボタンを使うと、FOMA端末を閉じたままでもミュージックプレーヤーを操作することができます。

- FOMA端末を閉じたままで再生できるのは、楽曲または楽曲のMusic&Videoチャネルの番組です。ただし、FOMA端末を閉じたままで起動できるのは楽曲のみです。

ボタン操作	動作
[◀マナー] [メモ▶]	■再生中または一時停止中 音量調節
[◀マナー]（1秒以上）	■再生中または一時停止中 先頭から再生 さらに押し続けた場合は前の楽曲／チャプターを再生
[メモ▶]［MUSIC］（1秒以上）	■再生中または一時停止中 次の楽曲／チャプターを再生 ■ミュージックプレーヤー未起動時 ミュージックプレーヤーを起動し、前回再生を終了した楽曲を再生 ■BGM再生中（待受画面表示中） ミュージックプレーヤーを終了

おしらせ

- マナーモード設定中は、[メモ▶]［MUSIC］でのミュージックプレーヤーの起動はできません（イヤホンなどを接続しているときは可能です）。
- 電池残量が少ないときは、[メモ▶]［MUSIC］でのミュージックプレーヤーの起動はできません。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて
〈マルチアクセス〉

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
「マルチアクセスの組み合わせについて」→P.356

●以下の3回線を同時に使用できます。

音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

おしらせ

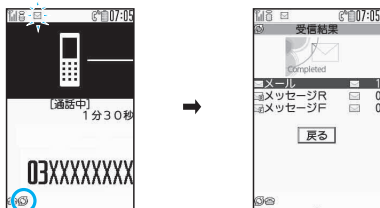
● マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 **MENU［MULTI］▶「(送受信)」を選択**
iモードメールの受信結果画面に切り替わります。
タスクの切り替えについて→P.277

➡

2 **iモードメールを確認**
iモードメールの見かた→P.177

3 **MENU［MULTI］▶「(音声通信)」を選択**
音声通話中画面に切り替わります。

● iモード中／パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

1
音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。

■ 音声電話に出ないでiモード画面に戻る場合
▶MENU［MULTI］▶「(閲覧)」を選択
相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 **通話が終了したら**
通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合
▶MENU［MULTI］▶「(閲覧)」を選択

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。
●マルチアクセス中に画面を切り替えるには、タスクアイコン表示エリアから表示したい機能を選択します。→P.277

● iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 **iモード中▶MENU［MULTI］（1秒以上）**
待受画面が表示されます。

2 **音声電話をかける**
音声電話のかけかた→P.50

3 **通話が終了したら**
通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合
▶MENU［MULTI］▶「(閲覧)」を選択

マルチタスクについて〈マルチタスク〉

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。メインメニューにある以下のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます（ミュージックグループを除く）。

グループ	大項目（タスク）
メールグループ	メール
ｉモードグループ	ｉモード
ｉアプリグループ	ｉアプリ
設定グループ	各種設定、サービス
ツールグループ	データBOX、LifeKit、電話帳、ユーザデータ
ミュージックグループ	MUSIC

※ マルチタスクの組み合わせについて→P.357

- マルチタスク中はタスクアイコン表示エリアに使用中のタスクアイコンが表示されます。複数のタスクを起動している場合、このアイコンを選択して操作するタスクを切り替えます。

- Music&Videoチャネルの番組取得中は1つの機能が使用中の状態となり、タスクアイコン「」が表示されます。
- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。

タスク（機能）の呼び出しかた

現在使用している機能を終了しないで、新しいタスク（機能）を起動します。

1 タスクを起動中▶MENU［MULTI］

「タスク切替画面」（P.277）が表示されます。

2 MENU［MENU］▶新たに起動するタスクを選択

■ メールメニューを直接呼び出す場合

▶✉［MAIL］

■ ｉモードメニューを直接呼び出す場合

▶ｉ［i mode］

■ チャネル一覧を直接呼び出す場合

▶ch［ch］

おしらせ

- 機能によっては、他のグループの機能として起動するものがあります。

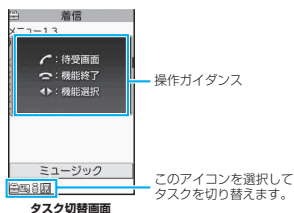
おしらせ

- 以下の場合はメールの閲覧をしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。
  - メールメニューからの新規メール作成
  - メールメニューからのSMS作成
  - デコメテンプレートを利用してデコメール作成
  - 受信メールの返信／引用返信／転送
  - 送信メールの再編集
  - 保存メールの再編集

タスク切替画面の操作

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えたり、すべてのタスクを同時に終了することができます。

1 複数のタスクを起動中▶MENU［MULTI］

「タスク切替画面」が表示されます。

タスク切替画面

■ タスクを切り替える場合

▶切り替えるタスクアイコンを選択

■ メインメニューを表示する場合

▶MENU［MENU］

■ 待受画面を表示する場合

▶

待受画面表示中にMENUを押すと、再び「タスク切替画面」が表示されます。

※ タスク起動中にMENU（1秒以上）を押すと、タスク切替画面を表示しないで待受画面を表示できます。

■ タスクを終了する場合

▶▶「選択した機能を終了」または「全機能を終了」

その他の便利な機能

メインメニューを並び替える

ユーザカスタマイズに対応しているメニューを、自分で並び替えます。中項目のメニューを配置することもできます。

<第一階層のメニューを並び替える場合>

1 並び替え可能なメニューを表示中▶新たに配置する位置を反転▶✉［機能］▶「この項目を並び替え」▶メニューを選択

2 「大項目へ並び替え」または「並び替える」▶「OK」

■ **中項目からメニューを選択する場合**
▶「中項目から選択」▶メニューを選択▶「並び替える」▶「OK」
メニューが入れ替わります。

アラーム機能を利用する〈アラーム〉

●アラームは10件まで登録できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「アラーム」

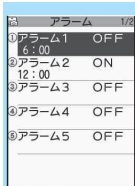
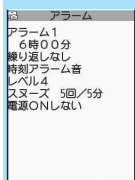
「アラーム一覧画面」が表示されます。

アラーム一覧画面

機能メニュー➡P.278

■ **前回の設定内容のままON／OFFを切り替える場合**
▶設定項目を反転▶ch［ON／OFF］
ch を押すたびに「ON／OFF」が切り替わります。

■ **前回の設定内容を確認する場合**
▶設定項目を選択
「アラーム詳細画面」が表示されます。

アラーム
アラーム1
6時00分
繰り返しなし
時刻アラーム音
レベル4
スヌーズ 5回／5分
電源ONしない

アラーム詳細画面

機能メニュー➡P.278

2 設定する項目を反転▶i［編集］

3 以下の項目から選択

タイトル編集……アラームのタイトルを入力します。全角6文字、半角12文字まで入力できます。

時刻入力……アラームを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し……アラームの繰り返しを「設定なし／毎日（D）／曜日指定（W）」から選択します。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、iモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音量……でアラーム音量を設定します。

スヌーズ通知……スヌーズ（繰り返し）で通知するかしないかを設定します。

スヌーズ通知する……鳴動回数（01～10回）と鳴動間隔（01～10分）を入力します。
アラーム音（約1分間）が設定した鳴動間隔で、設定した鳴動回数分繰り返し鳴ります。

スヌーズ通知しない……鳴動時間（01～10分）を入力します。
アラーム音が設定した時間で鳴り続けます。

自動電源ON……アラーム時刻に自動で電源を入れるか入れないかを設定します。

4 それぞれの項目を設定▶i［完了］

おしらせ

- 自動的に電源を入れてアラームを通知する場合、サイトからダウンロードしたメロディやiモーション、ミュージックがアラーム音に設定されていても「アラーム音」で鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

機能 アラーム一覧画面（P.278）／アラーム詳細画面（P.278）

編集……アラームを編集します。

詳細表示※……アラームの内容を表示します。

完了（1件ON）……アラームを有効にします。

1件OFF……アラームを1件無効にします。

全件OFF……設定されているアラームをすべて無効にします。

※：アラーム一覧画面でのみ利用できます。

スケジュールを管理する
〈スケジュール〉

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーで一目で確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールやTo Doの件数や用件が表示されます。

- 2004年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

スケジュールを登録する

定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録したり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定するなど、いろいろな方法で登録できます。

- 500件まで登録できます。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。
- スケジュールのアラーム通知について→P.283

1
MENU ▶「LifeKit」▶「スケジュール」

「スケジュール画面」が表示されます。

スケジュール画面

機能メニュー ➡P.279

2 i［新規］▶「スケジュール」

3 **以下の項目から選択**

内容編集……スケジュールの内容を入力し、アイコンを選択します。全角256文字、半角512文字まで入力できます。入力した内容は通知時に表示されます。

日時設定……開始・終了の年月日と時刻を設定します。

繰り返し……スケジュールの繰り返しを「設定なし／毎日（D）／曜日指定（W）」から選択します。

アラーム通知……設定した期日になったときのアラーム通知を「通知する／事前通知する（01～99分）／通知しない」から選択します。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、iモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

要約編集……スケジュールの要約を入力します。全角20文字、半角40文字まで入力できます。入力した要約は通知時に画面に表示されます。

4 **それぞれの項目を設定▶i［完了］**

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した日時のみです。スケジュールを設定した日時にはアラーム通知は行われません。
- アラーム通知をするタイミングを同じ日時で行うように登録できるのは、「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
- 開始日時で設定した日付の曜日と、曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

機能 スケジュール画面（P.279）

新規登録……「スケジュールを登録する」→P.279
「休日・記念日を登録する」→P.280

1週間表示⇔1ヶ月表示→P.280

アイコン別表示……アイコンを選択し、スケジュール・休日・記念日をアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件の項目として表示されます。

ユーザアイコン設定→P.280

To Doリスト切替……To Doリスト画面（P.281）に切り替えます。

登録件数確認……スケジュール登録件数、休日登録件数、記念日登録件数を確認します。なお、シークレットモード／シークレット専用モードでは、シークレットで登録された件数も確認することができます。

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

祝日リセット……国民の祝日をお買い上げ時の状態に戻します。

削除……「選択削除／全削除／前日まで削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「前日まで削除」を選択すると、スケジュール画面でカーソルのある日付より前の項目がすべて削除されます。
- 「全削除／前日まで削除」では「スケジュール／休日／記念日／すべて」の項目を選択する操作があります。

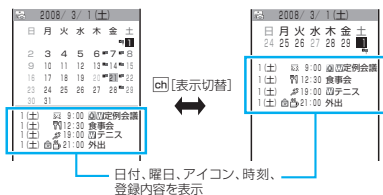
次ページにつづく

おしらせ

- 「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はお買い上げ時の状態に戻ります。

● スケジュールの表示を切り替える

スケジュールには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。✣を押して確認したい日付を反転させると、選択した日付に登録されているスケジュールやTo Doリストの件数やアイコンを確認できます。

- 1ヶ月表示の場合は、◀マナー メモ▶ を押して表示する月を切り替えることができます。

青色の日付：土曜日
赤色の日付：日曜日・祝日・休日
ピンクの日付：記念日
＿：当日
□：午前のスケジュールが登録済み
■：午後のスケジュールが登録済み
T：To Doリストが登録済み

祝日は「国民の祝日に関する法律」（昭和23年法律第178号）およびその改正法（平成17年法律第43号までのもの）に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2008年1月現在）。

休日・記念日を登録する

- 休日･記念日はそれぞれ100件まで登録できます。お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- 休日・記念日は1日に1件のみ登録できます。

<例：休日を登録する場合>

1 スケジュール画面（P.279）▶ i ［新規］▶「休日」

■ 記念日を登録する場合
▶「記念日」

2 以下の項目から選択

年月日設定……休日・記念日を登録する年月日を入力します。

繰り返し……休日・記念日の繰り返しを「設定なし／毎年（Y）」から選択します。

休日編集／記念日編集……休日・記念日の内容を入力します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

3 それぞれの項目を設定▶ i ［完了］

お好みの画像をユーザアイコンとして設定する

マイピクチャに登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定します。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「1」～「5」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。

- ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

1 スケジュール画面（P.279）▶ ✉［機能］▶「ユーザアイコン設定」▶登録または変更する項目を選択

■ ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合
▶「全解除」▶「YES」
ユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

2 フォルダを選択

■ アイコンを解除する場合
▶「ユーザアイコン解除」▶「YES」
スケジュールに登録されていないアイコンを解除するときは、「YES」を選択する操作はありません。

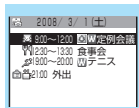
3 画像を選択

選択した画像がプレビュー表示され、しばらくするとユーザアイコン一覧に戻ります。

スケジュール・休日・記念日を確認する

登録したスケジュール・休日・記念日の内容を確認します。

1 スケジュール画面（P.279）▶スケジュール・休日・記念日が登録されている日付を選択

「スケジュール一覧画面」が表示されます。
一覧表示では登録内容や設定内容が以下のようなアイコンで表示されます。

スケジュール一覧画面

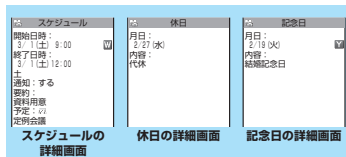
機能メニュー➡P.281

🕒：スケジュール（設定したスケジュールアイコンを表示）

H：休日

: 記念日
: To Doリスト
: アラーム通知
D: 毎日繰り返し
W: 曜日指定繰り返し
Y: 毎年繰り返し
A: 終日（0：00～23：59）をまたぐスケジュール

2 項目を選択

スケジュールの詳細画面　休日の詳細画面　記念日の詳細画面

機能メニュー➡P.281

機能 スケジュール一覧画面（P.280）／スケジュール・休日・記念日の詳細画面（P.281）

新規登録……「スケジュールを登録する」→P.279
「休日・記念日を登録する」→P.280

編集……スケジュール・休日・記念日を編集します。

コピー……スケジュール・休日・記念日をコピーします。コピー元に繰り返しの設定があっても、コピー先では解除されます。

アイコン別表示……アイコンを選択し、スケジュール・休日・記念日をアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（DまたはW）は1件の項目として表示されます。

ユーザアイコン設定→P.280

To Doリスト切替……To Doリスト画面（P.281）に切り替えます。

シークレット解除※1……シークレットモード／シークレット専用モードで登録したスケジュールを通常のデータに戻します。→P.111

iモードメール作成※1※2→P.164

メール添付※1※2……スケジュールを添付したメールを作成します。

マイショートカット貼付→P.101

iC送信※1→P.257

赤外線送信※1→P.256

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

microSDへコピー※1→P.246

削除……「1件削除／選択削除／全削除／前日まで削除」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「前日まで削除」を選択すると、表示中の日付より前の項目がすべて削除されます。
- 「全削除／前日まで削除」では「スケジュール／休日／記念日／すべて」の項目を選択する操作があります。

※1：スケジュールのときのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードのときは利用できません。

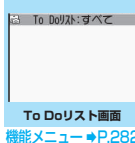
To Doリストを登録する
〈To Doリスト〉

To Doリストに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでお知らせするように登録することもできます。
- 2004年1月1日から2037年12月31日まで登録できます。

用件を登録／編集する

- 100件まで登録できます。
- 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していないTo Doリストは登録できません。
- To Doリストのアラーム通知について→P.283

＜例：用件を登録する場合＞

1 MENU▶「LifeKit」▶「To Doリスト」
「To Doリスト画面」が表示されます。

To Doリスト：すべて
To Doリスト画面
機能メニュー➡P.282

2 ✉［機能］▶「新規登録」

■ 用件を編集する場合
▶✉［機能］▶「編集」

✉のファンクション表示は、用件未登録時には［新規］、用件登録時には［編集］になります。

3 以下の項目から選択

To Doリスト編集……用件の内容を入力します。全角100文字、半角200文字まで入力できます。

期 **期日**……用件の期日を設定します。

直接入力……年月日と時刻を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択し、時刻を設定します。

なし……期日を設定しません。

優 **優先度**……用件の優先度を「高／低／なし」から選択します。

カテゴリー……用件のカテゴリーを「なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択します。

アラーム通知……設定した期日になったときのアラーム通知を「通知する／事前通知する（01～99分）／通知しない」から選択します。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、iモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

完了日※……用件の完了日を設定します。

直接入力……年月日を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択します。

なし……完了日を設定しません。

※：登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときのみ利用できます。

4 それぞれの項目を設定▶[i]［完了］

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（To Doリストの01～99分前）のみです。To Doリストを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

機能 To Doリスト画面（P.281）／To Doリスト内容確認画面（P.282）

新規登録・編集→P.281

スケジュール切替……スケジュール画面（P.279）に切り替えます。

状態……用件の状態を「予定／承諾／依頼／暫定／確認／拒否／完了／代理」から選択します。
「完了」を選択した場合は、完了日を設定します。

カテゴリー別表示※1……用件を「すべて／なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択してカテゴリー別に表示します。

ソート／フィルタ※1……条件を選択して、ソート機能で用件を並び替えたり、フィルタ機能で特定の用件のみを表示します。

マイショートカット貼付※1→P.101

メール添付※2……用件を添付したメールを作成します。

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

iC全送信※1→P.258

赤外線全送信※1→P.256

microSDへコピー→P.246

削除……「1件削除／選択削除※1／完了済み削除※1／全削除※1」から選択します。「複数選択について」→P.38
- 「完了済み削除」を選択すると、完了した用件がすべて削除されます。

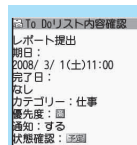
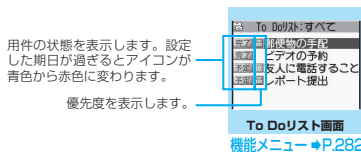
※1：To Doリスト画面でのみ利用できる機能です。
※2：2in1のモードがBモードのときは利用できません。

用件を確認する

1 To Doリスト画面（P.281）▶用件を選択

「To Doリスト内容確認画面」が表示されます。

To Doリスト画面
機能メニュー➡P.282

To Doリスト内容確認画面
機能メニュー➡P.282

アラーム通知のしかたを設定する〈アラーム通知設定〉

「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「時計」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」

「操作優先」に設定した場合、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。
「通知優先」に設定した場合、FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

● アラーム通知を設定すると

「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

■ 待受画面の表示

「 」が表示され、設定当日になると「 」に変わります。

● 設定した時刻になると

各機能ごとに別表1（P.283）のような動作でアラームを通知します。

- アラーム音にｉモーションを設定すると、その映像や音声でアラーム通知を行います（アラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります）。

おしらせ

- 「スケジュール」「To Do リスト」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 通話中のアラームでのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
- 「アラーム音選択」でｉモーションを設定しても、通話中などｉモーションを起動できないときは、時刻アラーム音とアニメーションでアラーム通知を行います。

<アラーム通知の優先順位>

- 「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
  ①アラーム　②To Doリスト　③スケジュール
  アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「 （未通知アラームあり）」のショートカットアイコンを表示してお知らせします。

［別表1］アラーム通知動作

状態	アラーム	スケジュール・To Doリスト
待受画面表示中 ｉモード中／メール送受信中※	アラームを設定したときの動作でアラームを通知します。メインディスプレイ、サブディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。メインディスプレイ、サブディスプレイには通知アニメーションが表示されます。
電源OFF時	「自動電源ON」の設定に従います。「電源ONしない」に設定している場合は、電源を入れた後も「 （未通知アラームあり）」のショートカットアイコンは表示されません。	アラームを通知しません。設定はそのまま残ります。
通話中※	受話口からアラーム音が鳴ります。メインディスプレイ、サブディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	
イヤホンマイク接続中	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム音は「イヤホン切替設定」の設定に従ってイヤホンおよびスピーカから鳴ります。	
ダイヤルロック／おまかせロック／オリジナルロック設定中	アラームを通知しません。「 （未通知アラームあり）」のショートカットアイコンは、オリジナルロック設定中の場合は表示されますが、ダイヤルロック／おまかせロック設定中の場合は設定を解除したときに表示されます。	

※：「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「 （未通知アラームあり）」のショートカットアイコンが表示されます。

● アラーム音を止めるには

■アラームのアラーム音

「スヌーズ通知しない」の場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

「スヌーズ通知する」の場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示され、設定した鳴動間隔(分)で再度アラームを通知します。「スヌーズ中･･･」に[終話]を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■その他のアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションやiモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態でサイドボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム」のスヌーズも解除されます。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「[アイコン](未通知アラームあり)」のショートカットアイコンが表示されます。ショートカットアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認します。

1 待受画面表示中 ▶[■]▶「[アイコン](未通知アラームあり)」を選択

未通知アラーム情報が表示されます。

■「[アイコン]」を消す場合

▶[CLR]（1秒以上）

「[アイコン]」を消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認

[CLR]を押すと待受画面に戻り、「[アイコン](未通知アラームあり)」のショートカットアイコンは消えます。

自分の名前や画像を登録する〈マイプロフィール〉

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録します。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

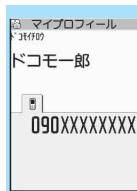
- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外は登録したデータがFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外はFOMA端末に登録したデータが表示されます。

マイプロフィールを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「マイプロフィール」

「マイプロフィール画面」が表示されます。

自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、機能メニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

マイプロフィール画面

機能メニュー➡P.284

おしらせ

- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、マイプロフィール画面で[上下]を押してAナンバーとBナンバーの情報を切り替えることができます。
- 2in1利用中にFOMAカードを入れ替える場合は、Bモードでマイプロフィールの初期化を行ってください。→P.285

機能 マイプロフィール画面（P.284）

マイプロフィール編集→P.285

全データ表示……[■]で登録内容を確認します。

名前コピー……マイプロフィールに登録されている名前をコピーします。コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.302

電話番号コピー※1……現在表示している電話番号をコピーします。コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.302

メール添付※2……マイプロフィールのデータを添付したメールを作成します。

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

その他の便利な機能

microSDへコピー→P.246

拡大表示⇔標準表示……表示する名前の文字サイズを切り替えます。→P.100

2in1契約問い合わせ※3……Bナンバーの情報を取得し、Bナンバーのマイプロフィール画面に登録します。

マイプロフィール初期化……自局番号以外のマイプロフィールを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。

電話番号削除※4……現在表示している電話番号を削除します。

※1：選択している項目によって機能名は「メールアドレスコピー／住所コピー／誕生日コピー／メモコピー」と表示されます。
※2：全データ表示中にのみ利用できます。
※3：2in1のBナンバーのマイプロフィール画面を表示しているときのみ利用できます。
※4：選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除／住所削除／誕生日削除／メモ削除／静止画削除」と表示されます。

マイプロフィールを登録する

1 マイプロフィール画面（P.284）▶i［編集］▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

姓 名前入力／姓……お客様の名字を入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、名と合わせて全角16文字、半角32文字まで入力できます。

カナ フリガナ入力／姓……お客様の名字を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。半角のカタカナ、英字、数字、記号で名前のフリガナと合わせて32文字まで入力できます。

名 名前入力／名……名字と同様、お客様の名前を入力します。

カナ フリガナ入力／名……名字と同様、お客様の名前を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。

電話番号入力……自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。
新しく電話番号を登録すると、マイプロフィール編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。3件まで追加登録できます。

メールアドレス入力……メールアドレスを入力してアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
メールアドレスが登録されていない場合は、「自動取得」を選択し、設定されているメールアドレスをｉモードセンターから自動で取得できます（メールアドレスにシークレットコードを登録している場合、シークレットコードも自動で取得します）。
1件目のメールアドレスを登録すると、マイプロフィール編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。3件まで登録できます。

住所入力……郵便番号および住所（都道府県名／市町村名／番地／マンション名など）を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。郵便番号以外の住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

誕生日入力……誕生日（西暦・月日）を入力します。
設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ入力……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画登録……マイプロフィールで表示される静止画をカメラで撮影するか、またはマイピクチャから選択して設定します。「静止画解除」を選択すると、設定中の静止画を解除できます。

3 それぞれの項目を設定▶i［完了］

おしらせ

- 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください（自動的には変更されません）。

個人データ（マイプロフィール）を引用する

個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者情報を確認したり、文字入力（編集）画面／ｉモードで登録されている内容を引用できます。

<例：ｉモードサイトで個人データを引用する>
選択する項目はサイトによって異なります。

1 個人データを引用するサイトを表示▶「マイプロフィール引用」を選択▶端末暗証番号を入力

引用できる項目が一覧で表示されます。

■ **引用する項目を指定する場合**
▶で引用しない項目のチェックを外す

■ **2in1のモードがデュアルモードの場合**
▶「マイプロフィールA」または「マイプロフィールB」

2 i［完了］

引用する項目が自動で入力されます。

おしらせ

- 住所情報を文字入力、iモードサイトで引用する場合、項目間に空白が入る場合があります。
- マイプロフィールを引用した場合、自動で入力された項目以外のデータが引用されることはありません。

相手の声や自分の声を録音する 〈通話中音声メモ／待受中音声メモ〉

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。

- 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
- 録音できる時間は約20秒です。
- 録音した音声メモの再生、消去について→P.68

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶[メモ]（1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合

▶[■]［停止］または[メモ]（1秒以上）

待受中に自分の声を録音する

1 [MENU]▶「LifeKit」▶「音声メモ※」▶「YES」▶音声メモを録音

※：メニューの設定により「待受中音声メモ」と表示されます。

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「LifeKit」の一覧画面が表示されます。

■ 録音を途中でやめる場合

▶[■]［停止］

おしらせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

<通話中音声メモ>

- 機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。

おしらせ

- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号にかかってきた電話の相手の声を録音すると、音声メモの再生／消去画面には「★」が表示されず、再生できません。

アラーム音や応答保留音を録音／再生する 〈おしゃべり機能〉

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定します。

- 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
- 録音できる時間は約15秒です。
- 「おしゃべり機能」が録音されている場合は「おしゃべり機能画面」に「★」が表示されます。
- 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
  - 各種着信音（音声電話、テレビ電話、メール、メッセージR／F、非通知着信設定、マルチナンバー、2in1のBナンバー）
  - 各種アラーム通知音（アラーム、スケジュール、To Doリスト、通話料金通知）
  - 応答保留音
  - 応答メッセージ（伝言メモ）

音声を録音する

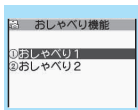
1 [MENU]▶「LifeKit」▶「おしゃべり機能」▶項目を選択▶「YES」▶音声を録音

おしゃべり機能画面

機能メニュー➡P.287

送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合

▶[■]［停止］

おしらせ

- 録音中に音声電話やテレビ電話の着信があったときや「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生する

1 MENU▶「LifeKit」▶「おしゃべり機能」▶項目を選択

■ 再生を途中でやめる場合
▶■［停止］

機能 おしゃべり機能画面（P.286）

録音……音声を録音します。

再生……録音した音声を再生します。

消去……録音した音声を消去します。

通話時間・料金を確認する
〈通話時間／料金〉

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。

- 確認できる内容は以下のとおりです。

項目	表示内容
通話時間	直前の通話時間を表示
通話料金	直前の通話料金を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※
積算時間	前回リセット時からの積算通話時間を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※
積算通話料金	前回リセット時からの積算通話料金を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の合計）
前回積算時間リセット日時	前回の積算通話時間リセット日時を表示
前回積算料金リセット日時	前回の積算通話料金リセット日時を表示

※：テレビ電話は「デジタル呼（AV呼）」、64Kデータ通信は「デジタル呼（非制限デジタル）」に表示されます。

- 音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間+64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥**」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積されますが表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「通話時間／料金」

おしらせ

- 前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金、着もじの送信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 着信中や相手を呼び出している時間、音声電話とテレビ電話を切り替えている時間はカウントされません。
- 電源を切ると、通話時間は「0秒」、通話料金は「¥**」に戻ります。
- 電源を切っても、積算時間、積算料金の情報は残ります。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする〈積算リセット〉

「通話時間／料金」に表示される通話の積算時間および積算料金をゼロに戻します。

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「積算リセット」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

積算時間リセット……積算通話時間をリセットします。

積算料金リセット……PIN2コードを入力して積算通話料金をリセットします。
PIN2コードについて→P.108

積算通話料金の自動リセットを設定する〈積算料金自動リセット〉

毎月1日の0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定します。

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

2 「自動リセット設定」▶「ON」▶PIN2コードを入力
PIN2コードについて→P.108

■ 設定しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- 積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
- 次の場合、積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
  - FOMAカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
  - FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面でCLRを押したとき
  - PIN2コードがロック中のとき→P.108
  - FOMAカードに異常があるとき

通話料金の上限を設定して知らせる〈通話料金通知〉

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU▶「各種設定」▶「時間／料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

上限料金の設定……10～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。

通知設定

上限値通知設定……通話料金通知を行うかどうかを設定します。

アラーム音選択……アラーム音を選択します。

アラーム音量……でアラーム音量を設定します。

3 それぞれの項目を設定▶[完了]

おしらせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信料金、着もじの送信料金は本機能の対象外です。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● アラーム通知の動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたはを押すと、待受画面に「(通話料金通知)」のショートカットアイコンが表示されます。

その他の便利な機能

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「(通話料金通知)」のショートカットアイコンが表示されます。

●「(通話料金通知)」の内容を確認する

待受画面に表示された「(通話料金通知)」のショートカットアイコンを選択して、通話料金通知の内容を確認します。

1 待受画面表示中▶■▶「(通話料金通知)」を選択▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」の内容が表示されます。

2 内容を確認▶■［確認］

待受画面に戻り、「(通話料金通知)」が消えます。

電卓として使う 〈電卓〉

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行います。

- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「電卓」▶計算する

■「23＋57」を計算する場合

電卓画面

機能メニュー➡P.289

■ 負の数を計算する場合

先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

－ 2 3 ＋ 5 7 ＝

おしらせ

- CLR（AC または C）は、次のようなときに使います。
  - ＋、－、×、÷、＝を押した後は AC の表示となり、CLRを押して計算を最初からやり直すことができます。
  - 数字や小数点の入力中は C の表示となり、CLRを押して間違えた数字や小数点を消去することができます。

機能 電卓画面（P.289）

マイショートカット貼付→P.101

テキストメモを作成する 〈テキストメモ〉

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成します。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。

- テキストメモは10件まで登録できます。
- テキストメモは全角256文字、半角512文字まで入力できます。

1 MENU▶「LifeKit」▶「テキストメモ」

「テキストメモ画面」が表示されます。

テキストメモ画面

機能メニュー➡P.289

2 登録または変更する項目を反転▶i［編集］

3 内容を入力

機能 テキストメモ画面（P.289）

編集……テキストメモを編集します。

iモードメール作成→P.164

スケジュール作成→P.279

マイショートカット貼付→P.101

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

microSDへコピー→P.246

テキストメモ情報……作成日時や分類を確認します。

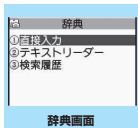
分類……「なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択して分類します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

辞典を利用する 〈辞典〉

● 辞典は、各種文字編集画面の機能メニューからも利用できます。→P.291

1 MENU ▶「LifeKit」▶「辞典」

「辞典画面」が表示されます。

辞典画面

機能メニュー ➡P.290

2 **以下の項目から選択**

直接入力……単語を入力します。全角32文字、半角64文字まで入力できます。

テキストリーダー……テキストリーダーから単語を入力します。→P.140

検索履歴……以前検索した単語の履歴から検索します。「検索履歴を使う」→P.290

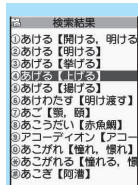
3 **辞典の種類を選択**

「検索結果画面（一覧）」が表示されます。

該当する単語がない場合は、入力した文字に近い単語にカーソルがあたって表示されます。

■ 前後の一覧を表示する場合

▶検索結果画面（一覧）▶

検索結果
①あける【開ける，明ける
②あける【明ける】
③あげる【挙げる】
④あげる【上げる】
⑤あげる【揚げる】
⑥あけわたす【明け渡す】
⑦あご【顎，頤】
⑧あこうだい【赤魚鯛】
⑨アコーディオン【アコー
⓪あこがれ【憧れ，憬れ】
＊あこがれる【憧れる，憬
＃あこぎ【阿漕】

検索結果画面（一覧）

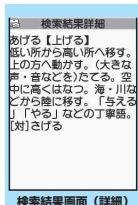
機能メニュー ➡P.290

4 **単語を選択**

「検索結果画面（詳細）」が表示されます。

■ 前後の単語を表示する場合

▶検索結果画面（詳細）▶

検索結果詳細
あげる【上げる】
低い所から高い所へ移す。上の方へ動かす。（大きな声・音などを）たてる。空中に高くはなつ。海・川などから陸に移す。「与える」「やる」などの丁寧語。
［対］さげる

検索結果画面（詳細）

機能メニュー ➡P.290

機能 辞典画面（P.290）

マイショートカット貼付→P.101

機能 検索結果画面（一覧・詳細）（P.290）

ウィンドウ切替※……検索結果と文字編集の画面を切り替えます（切り替えができる場合のみ利用できます）。

コピー……文字をコピーします。

一覧画面：和英辞典と国語辞典は検索結果の【 】内の文字を、英和辞典は検索結果の単語をコピー

詳細画面：範囲を指定してコピー

コピーした文字は、入力画面などで貼り付けることができます。→P.302

結果詳細から検索※……検索結果の詳細画面から、さらに検索します。

▶で検索する文字のはじめの位置で［始点］▶で文字の終わりの位置まで反転し［終点］▶辞典の種類を選択▶単語を選択

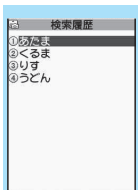
別の辞典で検索……検索した単語を別の辞典で検索します。

参照編集※……検索結果を見ながら文字編集をすることができます（参照編集ができる場合のみ利用できます）。「分割画面について」→P.297

※：検索結果画面（詳細）でのみ利用できる機能です。

検索履歴を使う

1 **辞典画面（P.290）▶「検索履歴」**

「検索履歴画面」が表示されます。

検索履歴画面

機能メニュー ➡P.290

2 **単語を選択**

機能 検索履歴画面（P.290）

1件削除・全削除……検索履歴を1件または全削除します。

その他の機能から辞典を利用する

以下のそれぞれの画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。

- 文字編集画面、メール詳細画面、メール本文入力画面を表示中
- サイトのページまたは画面メモを表示中

■文字編集画面、メール詳細画面、メール本文入力画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。

「範囲選択」を選択すると、調べたい単語を範囲選択することができます。

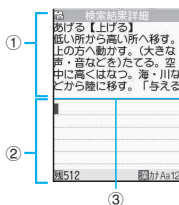
■サイトのページまたは画面メモから辞典を起動すると

「直接入力」「サイト参照入力」「検索履歴」から選択することができます。

「サイト参照入力」を選択すると、サイトのページや画面メモを見ながら調べたい単語を入力することができます。

● 辞典の参照画面について

「参照編集」または「サイト参照入力」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。

■ 検索結果詳細画面から「参照編集」を選択した場合

①辞典の詳細画面
②文字編集画面
③区切り線

辞典を終了するときは、機能メニューから「辞典終了」を選択するか、①の画面に切り替えて[i]［終了］を押します。

■ サイトのページまたは画面メモから「サイト参照入力」を選択した場合

①サイトのページや画面メモの画面
②検索語入力画面
③区切り線

検索語を入力したら、■［確定］を押します。検索語が入力された辞典選択の画面になります。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた 〈スイッチ付イヤホンマイク〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをFOMA端末に接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタを使用します。→P.25
- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話を受けたり電話を切ったりしたときのスイッチ音は鳴ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でも電話をかけたり受けたりすることができます。

スイッチを使って電話をかける

1 電話番号をダイヤル▶スイッチを1秒以上押す

電話帳、リダイヤル／発信履歴、着信履歴からかけることもできます。

■ 電話番号をダイヤルしない場合

「イヤホンスイッチ発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。

2 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1 着信中▶スイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話を受けます。

テレビ電話の場合、FOMA端末を折り畳んだ状態では代替画像で、開いた状態では自画像で受けます。

2 通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

- 「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ　〈イヤホンスイッチ発信設定〉

スイッチを1秒以上押すだけで音声電話をかけるようにするかしないか（音声発信／OFF）を設定します。

- 本機能には、FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている電話番号を設定します。

1 **MENU▶「各種設定」▶「発信」▶「イヤホンスイッチ発信設定」▶「音声発信」または「OFF」**

2 **電話帳詳細画面で設定したい電話番号を表示▶■［選択］**

電話帳の検索のしかた→P.79

おしらせ

- 本機能に設定した電話番号が2in1の設定により利用できない場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを使った発信ができなくなります。

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける　〈オート着信設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた電話を自動で受けるように設定します。

- 音声通話中、テレビ電話中は、本機能によって自動で電話を受けることはできません。

1 **MENU▶「各種設定」▶「外部接続」▶「オート着信設定」▶「音声着信」または「テレビ電話」▶「オート着信あり」▶呼出時間（001～120秒の3桁）を入力**

■ 無効にする場合
▶「オート着信なし」

おしらせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。
- 着信中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続してもオート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ　〈イヤホン接続時マイク切替〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに使うマイクを、FOMA端末側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 **MENU▶「各種設定」▶「外部接続」▶「イヤホン接続時マイク切替」▶「端末マイク」または「イヤホンマイク」**

マイクのないイヤホンを接続する場合は、「端末マイク」を選択してください。

おしらせ

- 「イヤホン接続時マイク切替」を「端末マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

各種機能の設定を初期状態に戻す　〈設定リセット〉

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。 間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。→P.293

- 設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー機能一覧」（P.334）をご覧ください。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げ時の設定内容に戻りません。
- 以下の機能の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、各機能の設定リセットを行ってください。
  - iモード設定リセット→P.155
  - メール設定リセット→P.186
  - フルブラウザ設定リセット→P.221

1 **MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**

その他の便利な機能

FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻す 〈端末初期化〉

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、iアプリ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画など、お客様の大切なデータがすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- ●お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- ●お買い上げ時に戻る設定については、「設定リセット」をご覧ください。
- ●「設定リセット」の対象となる機能と次の機能やデータは、お買い上げ時の状態に戻ります。

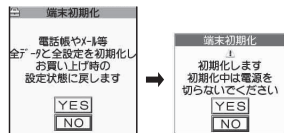
• メールデータ※1	• Music&Videoチャネルの配信番組
• メールのフォルダ※1	• Bookmark
• デコメテンプレート※1	• 画面メモ
• iモード設定	• URL入力
• サイト閲覧履歴	• Internet
• 追加サービス	• 着もじの送信メッセージ履歴
• マルチナンバー（電話番号設定）	• フルブラウザ設定
• FOMA端末（本体）電話帳※2	• iチャネル設定
• マイプロフィール※1	• チャネル一覧
• ソフト一覧	• グループ設定※2
• iアプリの自動起動設定	• 着信履歴※1
• iアプリ実行情報	• リダイヤル／発信履歴※1
• 通話時間／料金	• 受信アドレス一覧※1
• きせかえツール	• 送信アドレス一覧※1
• ポーズダイヤル	• メールメンバー※1
• 端末暗証番号	• ユーザ辞書
• 学習履歴（文字入力の学習履歴クリア）	• ダウンロード辞書
• To Doリスト	• テキストメモ
• スケジュール	• 外部ICカード情報（ICカード認証設定）
• 音声メモの再生／消去（伝言メモ※1・通話中音声メモ※1・待受中音声メモ）	• おしゃべり機能
• 動画メモの再生／消去※1	• メール設定※1
• 通信履歴表示（電話帳お預かりサービス）	• メッセージ
• お客様が追加したデータ※3	• テキストリーダー
• 直デン※2	• バーコードリーダー
• ソフトウェア更新予約情報	• 辞典の検索履歴
• ソフトウェア更新自動更新設定	• キャラ電
• 音楽利用履歴情報	• デコメ絵文字

※1：2in1のモードがAモードまたはBモードで表示されていないデータがある場合でも、すべてのデータが初期化されます。
※2：2in1のモードにかかわらず、Aモード・Bモードのすべてのデータが初期化されます。
※3：登録したデータ、ダウンロードしたデータ、iアプリのソフト、カメラで撮影した静止画や動画などです。

- ●お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- ●シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- ●「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- ●「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。
- ●端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話の着信やメールの受信などもできません。

●「端末初期化」を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。
FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink（P.324）やmicroSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

2 「YES」▶「YES」

端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動した後、ソフトウェア更新についての説明が表示されます。

■ 端末初期化が正常に終了しなかった場合
▶電源が入った後に「OK」
再度初期化が実行されます。

おしらせ

- ●端末初期化を行った場合、iチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- ●パソコンを用いるデータ通信に関する設定は初期化されません。
- ●おサイフケータイ対応iアプリとICカード内のデータは削除されません。

文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

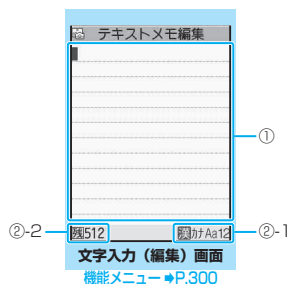
FOMA端末には文字の入力方式として、「かな方式」「2タッチ方式」の2方式が用意されています。ここでは、「かな方式」での文字入力を中心に説明します。

- 文字入力方式の設定、およびそれぞれの入力方式の特徴と入力方法については、次の項目をご覧ください。
  「文字入力方式を設定する」→ P.297
  「かな方式で文字を入力する」→P.298
  「2タッチ方式で文字を入力する」→P.304

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は、①文字入力エリア、②情報表示エリアまたは③リスト表示エリアで構成されています。各エリアに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。

文字入力（編集）画面

機能メニュー➡P.300

①文字入力エリア

表示	説明
▌	カーソル（文字入力位置）
↵	改行マーク（改行位置）

②情報表示エリア

②-1　文字入力モード表示

現在選択されている文字入力モードの表示が反転表示されます。

利用している文字入力方式によって、表示される内容は異なります。

- 区点入力モードのときは区もあわせて表示されます。→P.303

かな入力方式の文字入力モード

表示	入力モード
漢	漢字ひらがな入力モード
ｶﾅ	半角カタカナ入力モード
Aa	半角英文字入力モード
12	半角数字入力モード
カ	全角カタカナ入力モード
A	全角英文字入力モード
1	全角数字入力モード

2タッチ入力方式の文字入力モード

表示	入力モード
全	全角入力モード
半	半角入力モード
大	大文字入力モード
小	小文字入力モード

②-2　文字数表示

表示	説明
残	入力可能な残りバイト数（半角文字：1バイト、全角文字：2バイト）
入	入力済み文字数

②-3　絵文字、記号種別表示

リスト表示されている絵文字や記号の種別を表示します。

表示	内容
履歴	絵文字、記号の入力履歴のリストを表示
絵文字	絵文字のリストを表示
絵文字D	絵文字Dのリストを表示
記号	記号のリストを表示

③リスト表示エリア

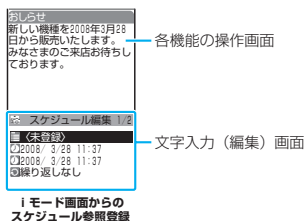
絵文字や記号のリスト、予測変換での予測候補リストなどを表示します。

おしらせ

- 漢字ひらがな入力モードでは、半角に設定している場合でも全角になります。
- 絵文字Dは、iモードメール本文入力画面および冒頭文／署名編集画面、デコメテンプレート編集画面でのみ入力できるデコメ絵文字です。
- 入力済みの文字数はSMSを作成しているときなど一部の機能でのみ、表示されます。
- iモードメール本文入力画面およびデコメテンプレート編集画面では、入力可能な文字数を超えると「－（マイナス）」が表示されます。

分割画面について

スケジュールの参照登録など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

iモード画面からのスケジュール参照登録

- 以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
  - iモード画面からのスケジュール参照登録
  - iモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力
  - 文字編集から辞典検索を実行後の参照編集

● 操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面を切り替えることができます。

文字入力方式を設定する

2つの文字入力方式（かな方式または2タッチ方式）のうち、利用する入力方式を設定します。

1 **MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「入力方式」▶文字入力方式を選択**

おしらせ

- 文字の入力中に、機能メニューから文字入力方式を切り替えることもできます。→P.300

文字入力サイズを切り替える

文字入力（編集）画面や、記号／絵文字入力画面の文字サイズを「小／中／大／特大」の4種類から選択します。

1 **MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「入力サイズ切替」▶文字サイズを選択**

変換方法を設定する

文字入力モードが漢字ひらがな入力モードのときの変換方法を設定します。

- 予測変換のときの予測候補はあらかじめ登録されています。
- 予測変換での文字の入力方法について→P.298

1 **MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「予測変換切替」▶文字変換方法を選択**

予測変換（お買い上げ時）……1文字入力するだけでその文字に対する語句を予測したり、選択した語句に続く語句を予測する方法に設定します。

通常変換……読みをすべて入力してから変換する方法に設定します。

おしらせ

- 文字の入力中に、機能メニューから変換方法を切り替えることもできます。→P.300

かな方式で文字を入力する
〈かな方式〉

1つのダイヤルボタンを何回か押し、1つの文字を入力します。たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1を3回押します。

- 文字割り当ての詳細については、「かな方式で入力できる文字」（P.345）をご覧ください。

漢字・ひらがな・カタカナを入力する

ひらがなの読みを入力し、それを漢字、ひらがな、カタカナなど、目的の文字に変換します。

● 予測変換方法で入力する

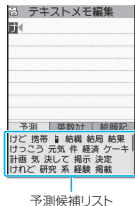
<例：「携帯電話」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.296）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢）」になっていない場合は、i［文字］で切り替えます。

2 読みの一部を入力

2を4回
け

文字入力エリアに「け」が入力され、予測される語句の候補がリストで表示されます。

予測候補リスト

3 ▶語句を選択

▶「携帯」を選択

文字入力エリアに選択した語句が入力されます。また、予測候補リストには、選択した語句に続く語句が表示されます。

■ 入力したい文字が予測候補リストにない場合

▶CLR

読みの入力に戻ります。読みの続きを入力すると、予測候補リストに表示される候補も変更されます。

■ 一時的に通常変換する場合

▶ch［通常変換］

通常変換による通常変換候補リストが表示されます。→P.298

■ 英数カナ予測候補リストや絵文字、顔文字、記号の予測候補リストを表示する場合

▶✉［◀タブ］またはi［タブ▶］

タブに表示されている文字種の予測候補リストが表示されます。

■ ひらがなで確定する場合

▶■［確定］

4 ▶次の語句を選択

▶「電話」を選択

おしらせ

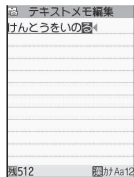
- 入力した読みによっては、予測候補リストに絵文字熟語が表示されます。
  絵文字熟語の読みについて→P.351
- 「候補内キー操作設定」で予測候補リストから語句を選択するときの操作方法を切り替えることができます。→P.299
- 漢字ひらがな入力モード以外では予測候補リストは表示されません。
- 学習機能により、一度入力した語句は予測候補に追加されます。追加された語句は、反転しCLRを1秒以上押すと削除できます。
  すべての予測候補の学習履歴を削除する場合は、「学習履歴クリア」で予測変換の学習履歴をクリアします。→P.304

● 通常変換方法で入力する

<例：「健闘を祈る」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.296）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢）」になっていない場合は、i［文字］で切り替えます。

2 ひらがなを入力

■ ボタンを押し間違えた場合

▶CLRで文字を削除

■ ボタンを押す回数を間違えた場合

▶#

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ 続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

▶またはカーソルが自動で移動するのを待つ

カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。カーソルが自動で移動するまでの待ち時間は、機能メニューから設定できます。→P.300

■ ひらがなで確定する場合

▶■［確定］

3 ▶入力した文字を変換する

最初の文節が変換され、反転表示になります。残りの未確定文字はアンダーライン（＿）で表示されます。

テキストメモ編集
検討を祈る
通常変換候補
検討を 見当を 健闘を 拳闘を
けんとうを ケントウヲ ｹﾝﾄｳｦ

■ 目的の漢字やカタカナなどに変換されている場合

▶■［選択］

語句が確定し、次の文節が反転表示されます。

■ 目的の漢字やカタカナなどに変換されていない場合

▶▶語句を選択

表示されている通常変換候補リストから語句を選択します。通常変換候補リストにはひらがなとカタカナも表示されます。

変換する範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合、数字も変換候補として表示されます。たとえば1 2 3（あかさ）と入力した場合、「123」という変換候補も表示されます。

■ 変換する範囲を変更する場合

▶で変換範囲を変更▶▶語句を選択

変換範囲に応じて通常変換候補リストに表示される候補も変更されます。

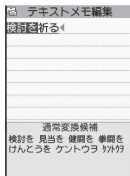
■ 英数カナ変換候補リストを表示する場合

▶CLR▶i［英数カナ］

入力したボタンに対応する英字、数字、カタカナの変換候補のリストが表示されます。たとえば2 3（かさ）i［英数カナ］と押すと、「AD」「23」「カサ」などの変換候補が表示されます。

日付（10/19など）や時刻（10:19など）として表示可能な2～4桁の数字は、その変換候補も表示されます。

おしらせ

- 通常変換候補リストに記号、絵文字、顔文字が表示された場合は、それらの文字に変換することもできます。
  変換できる記号、絵文字、顔文字の読みについては以下の一覧をご覧ください。
  - 「記号・特殊文字一覧」→P.347
  - 「絵文字一覧」→P.349
  - 「顔文字一覧」→P.354
- 記号、絵文字、スペース、改行の入力など、その他の入力操作については、「入力を補助する便利なボタン」（P.300）をご覧ください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.303

● 候補リストの選択方法を切り替える

予測候補リストや通常変換候補リストなどの候補リストから語句を選択するときの操作方法を、を使う方法またはを使う方法に切り替えます。

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「候補内キー操作設定」▶以下の項目から選択

上下左右キー操作（お買い上げ時）……表示されている候補リストから、を使って語句を選択する方法に設定します。変換範囲を変更するには、一度CLRを押してから、で変更します。

上下キー操作……表示されている候補リストから、を使って語句を選択する方法に設定します。を押すと次の候補を、を押すと1つ前の候補を選択します。を1秒以上押すと、選択行の移動ができます。変換範囲を変更するには、を押します。

● 文字数とスクロールについて

■残りバイト数や入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の入力可能な残りバイト数や入力済みの文字数は、以下の規則に従ってカウントされます。

- バイト数の場合、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 文字数の場合、半角1文字、全角1文字、半角文字の濁点「゛」および半濁点「゜」はすべて1文字としてカウントされます。

各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数を超える部分がグレーで表示されますので、入力の目安にしてください。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、で行単位、メモ、マナーでページ単位のスクロールができます。

変換候補一覧では、メモ、マナーでページ単位のスクロールができます。

● 入力中、編集中のデータ保護について

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について→P.77

次ページにつづく

■[終話]を押した場合

文字の入力中に[終話]を押した場合は、内容を破棄して終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終了する場合>

「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。

[終話]を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

<文字の入力を続ける場合>

「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。

CLRを押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。音声通話中にMENU［MULTI］でタスク切替画面を表示させて、通話しながら文字入力（編集）画面に戻ることもできます。→P.277

その他の入力機能

文字入力（編集）画面を表示中に文字入力モードを切り替えたり、記号や絵文字などを入力するときは、機能メニューだけでなく、便利なボタンを利用できます。

● 入力を補助する便利なボタン

ボタン	説明
ch［絵/記］	絵文字や記号を連続して入力します。絵文字・記号の一覧表示中は、ch［絵/記］を押すたびに、一覧が次のように切り替わります。 絵文字/記号履歴→絵文字→絵文字D※→記号 ※：絵文字D（デコメ絵文字）の一覧は、iモードメール本文入力画面および冒頭文／署名編集画面、デコメテンプレート編集画面でのみ表示されます。 連続入力を終了するときは[メール]［閉じる］またはCLRを押します。 記号・特殊文字一覧→P.347 絵文字一覧→P.349
ch［絵/記］（1秒以上）	カテゴリー別絵文字D（デコメ絵文字）入力画面が表示されます。→P.165 ※ iモードメール本文入力画面および冒頭文／署名編集画面、デコメテンプレート編集画面でのみ利用できる機能です。
[i]［文字］	● かな方式では[i]［文字］を押すたびに、入力する文字種が次のように切り替わります。 漢字ひらがな→カタカナ→英字→数字 ※カタカナ・英字・数字の「全角／半角」の切り替えは機能メニューの「全角切替／半角切替」で行います。 ● 2タッチ方式では[i]［全/半］を押すたびに、全角／半角が切り替わります。 全角→半角
[*]	濁点や半濁点、句読点などを入力します。
[#]	● 改行マーク「↵」を入力し、カーソルを次の行に移動します。 ● かな方式で文字を入力中に、前の読みに戻します。（例：え→う）
[発信]	入力した文字を、大文字または小文字に変換します。（例：つ→っ、a→A）
[0]	● 繰り返し押すことでスペースを入力します。 ● 句読点などを入力します。
[方向]	カーソルが文末にあるとき、[右]を押すとスペースが入力され、[下]を押すと改行マークが入力されます。

おしらせ

<絵文字／記号履歴入力>

● 絵文字、半角記号、全角記号それぞれの過去に入力した履歴が表示されます。

機能 文字入力（編集）画面（P.296）

全角切替⇔半角切替……全角／半角を切り替えます。

定型文入力→P.301

コピー・切取・貼付→P.302

元に戻す……直前の操作を取り消して、1つ前の状態に戻します。

文字入力設定……文字入力に関する設定をします。

入力方式（お買い上げ時：かな方式）……文字入力方式（かな方式／2タッチ方式）を切り替えます。

カーソル自動移動（お買い上げ時：1）……カーソルが一つ右に自動で移動する（□型カーソルからI型カーソルに変わる）までの時間を設定します。「off、1～5」の6段階で調節します。offは移動しない（□型のまま）、1は最も遅く、5が最も早い設定になります。

予測変換切替→P.297

電話帳引用……電話帳を検索して目的の電話帳を表示し、引用するデータを選択して入力します。

「複数選択について」→P.38

電話帳検索のしかた→P.78

マイプロフィール引用……引用するデータを選択して入力します。「複数選択について」→P.38

区点入力→P.303

バーコードリーダー……外側カメラを利用してコードから読み取ったデータの引用ができます。→P.137

辞典検索……辞典を起動します。→P.290

入力確定……編集中の文字を保存して、文字入力（編集）を終了します。

入力中止……文字入力（編集）を終了します。編集中の文字は保存されません。

おしらせ

- 「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。
- 改行マーク「」は文字と同じように削除できます。
- メールアドレスの登録画面、ｉモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。
- 郵便番号の入力など特定の項目の文字入力（編集）画面では、入力方式を切り替えられない場合があります。

＜元に戻す＞

- 元に戻すことができる操作は以下のとおりです。
  - 入力文字の確定
  - 定型文入力→P.301
  - 絵文字／記号入力→P.300
  - 区点入力→P.303
  - 切り取り、貼り付け→P.302
  - 文字の削除→P.301
  - 電話帳やマイプロフィールの引用→P.301

＜マイプロフィール引用＞

- 住所情報を引用する際、項目間に空白が入る場合があります。
- 所有者情報の誤入力により生じる問題については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

文字を削除する

で削除したい文字にカーソルを合わせ、CLRを短く（1秒未満）押します。カーソルの位置の文字が削除されます。

■CLRを1秒以上押した場合

カーソルの位置以降にあるすべての文字が削除されます。

■カーソルの位置およびカーソルより右側に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

■カーソルの位置およびカーソルより右側に文字がないときにCLRを1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

定型文を入力する

- 定型文の修正／登録について→P.302

1 文字入力（編集）画面（P.296）▶[機能]▶「定型文入力」▶フォルダを選択

2 定型文を選択▶■［選択］

おしらせ

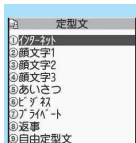
- 定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
  - テキストメモ編集
  - ｉモードメールの題名／本文
  - ｉモードメールの冒頭文／署名／引用符
  - メール検索の題名入力
  - 自動振分け設定の題名入力
  - 定型文フォルダ名／定型文編集
  - アラームタイトル編集
  - 辞典検索語入力
  - To Doリスト編集
  - ウェイクアップのメッセージ編集
  - ｉモードのテキストボックスでの編集
  - ｉアプリでの文字編集

定型文を修正／登録する
〈定型文登録〉

よく使う言葉をあらかじめ定型文として登録しておき、文字入力の際に呼び出して入力します。
- 「自由定型文」フォルダに、自作の定型文を10件登録できます。
- 「自由定型文」以外の8つのカテゴリ別のフォルダには、あらかじめ定型文が各10件ずつ登録されています。→P.355
- あらかじめ登録されている定型文も、修正することができます。
- フォルダ名を変更することもできます。

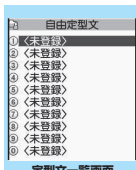
新しい定型文を作成する

1 MENU ▶「ユーザデータ」▶「定型文」

「定型文フォルダ一覧画面」が表示されます。

定型文フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.302

2 フォルダを選択

「定型文一覧画面」が表示されます。

定型文一覧画面

機能メニュー➡P.302

3 「<未登録>」を反転 ▶ i［編集］▶ 定型文を入力

おしらせ
- メール用の定型文に絵文字を使用することもできます。

機能 定型文フォルダ一覧画面（P.302）

フォルダ名編集……フォルダ名を変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名初期化……お買い上げ時のフォルダ名に戻します。

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

機能 定型文一覧画面（P.302）

編集……定型文を編集します。

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

1件削除・全削除……定型文を1件または全削除します。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

- コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

1 文字入力(編集)画面(P.296) ▶ ✉［機能］▶「コピー」または「切取」

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字の前にカーソルを移動 ▶ ■［始点］

■ すべてのテキストを選択する場合

▶ i［全選択］

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動 ▶ ■［終点］

選択した範囲の文字が記憶されます。全角5,000文字、半角10,000文字まで記憶できます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

文字を貼り付ける

- コピーまたは切り取った文字は、次にほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで、何度でも貼り付けることができます。

1 文字入力（編集）画面（P.296）▶貼り付けする位置にカーソルを移動▶✉［機能］▶「貼付」

■ 貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

区点コードで入力する 〈区点入力〉

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力します。

- 区点コードおよび区点コードで入力できる文字については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
- 画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.296）▶✉［機能］▶「区点入力」

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

2 区点コード 2 3 3 6 を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

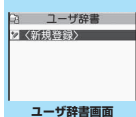
スペースが入力されます。

よく使う単語を登録する 〈ユーザ辞書〉

よく使う単語を好きな読みでユーザ辞書に登録し、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換できるようにします。

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角10文字、半角20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

1 MENU▶「ユーザデータ」▶「ユーザ辞書」

「ユーザ辞書画面」が表示されます。

ユーザ辞書画面

機能メニュー➡P.303

2 「<新規登録>」▶単語を入力▶読みを入力

■ 単語の内容を確認する場合

▶確認する単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合

▶変更したい単語を反転▶i［編集］

おしらせ

- 登録した単語は予測変換でも入力できるようになります。ただし、読みによっては一度変換して入力しないと予測候補に表示されないものもあります。

機能 ユーザ辞書画面（P.303）

編集……登録した単語を編集します。

iC送信→P.257

赤外線送信→P.256

iC全送信→P.258

赤外線全送信→P.256

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

学習履歴を初期状態に戻す 〈学習履歴クリア〉

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

1 **MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「文字入力設定」▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

予測変換／絵顔記……「予測変換」、「絵文字」、「顔文字」および「記号」で蓄積した学習履歴をクリアします。

かな漢字変換……通常変換で蓄積した学習履歴の並び順をクリアします。

ダウンロードした辞書を使用する 〈ダウンロード辞書〉

ｉモードのサイトなどからダウンロードした辞書を、予測変換での変換用辞書として設定します。

- ダウンロード辞書は5件まで登録できます。
- ダウンロード時は有効に設定されます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.153

1 **MENU▶「ユーザデータ」▶「ダウンロード辞書」**

「ダウンロード辞書画面」が表示されます。

2 **辞書を選択**

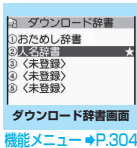
有効に設定した辞書には「★」が付きます。

■ **無効に設定する場合**

▶「★」が付いている辞書を選択

無効に設定されて「★」が消えます。

ダウンロード辞書画面

機能メニュー➡P.304

機能 ダウンロード辞書画面（P.304）

タイトル編集……ダウンロード辞書のタイトルを変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

辞書ファイル設定……ダウンロード辞書を有効または無効に設定します。

辞書情報……ダウンロード辞書の情報を表示します。

1件削除・全削除……ダウンロード辞書を1件または全削除します。

2タッチ方式で文字を入力する 〈2タッチ方式〉

2つのダイヤルボタンを押し、1つの文字を入力します。

たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1 3と押します。

- 文字割り当ての詳細については、「2タッチ方式で入力できる文字」（P.346）をご覧ください。
- 予測変換および通常変換で変換する方法は、かな方式と同じです。→P.298

<例：「けんとう」と入力する場合>

1 **文字入力（編集）画面（P.296）▶全角入力モードにする**

「全角入力モード（全）」になっていない場合は、i［全/半］で切り替えます。

2 **ひらがなを入力**

おしらせ

- 「濁点／半濁点」の入力は＊でも行えます。
- 「大文字／小文字」の切り替えは⌒でも行えます。
- 「全角／半角」の切り替えは機能メニューの「全角切替／半角切替」でも行えます。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

●FOMA 端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.306
キャッチホン	必要	有料	P.307
転送でんわサービス	必要	無料	P.308
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.309
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.47
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.309

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.65
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.65
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P.310
英語ガイダンス	不要	無料	P.310
マルチナンバー	必要	有料	P.312
2in1	必要	有料	P.313
OFFICEED	必要	有料	P.316
メロディコール	必要	有料	P.90

●ネットワークサービスセンターに接続して操作する場合、「圏外」のときは操作できません。
●お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
●本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
●「OFFICEED」はお申し込みが必要な有料サービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご覧ください。

留守番電話サービス　〈留守番電話〉

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 「伝言メモ」（P.67）を同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のショートカットアイコンが待受画面に表示されます。
- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音／録画でき、最長72時間保存されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

音声電話／テレビ電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

相手が伝言メッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「留守番電話」▶以下の項目から選択

留守番メッセージ再生※1……留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

留守番サービス開始※1……留守番サービスを開始します。呼出時間（000～120秒）を設定することもできます。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

留守番サービス停止※1……留守番電話サービスを停止します。

留守番呼出時間設定……呼出時間（000～120秒）のみを変更します。

留守番設定確認※1……現在のサービスの設定内容を確認します。
- 表示される「留守番設定確認画面」の機能メニューについて→P.307

留守番サービス設定※1……音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更します。
留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

メッセージ問い合わせ……伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

件数増加鳴動設定※2……留守番電話サービスセンターで預かっている伝言メッセージが増えたとき、専用のお知らせ音を鳴らします。

表示消去……待受画面に表示された「 」（留守番電話アイコン）を消去します。

着信通知開始……電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMS（留守番着信通知）でお知らせします。

　全着信……すべての着信を通知します。

　発番号あり……番号を通知している着信のみ通知します。

着信通知停止……着信通知を停止します。

着信通知開始設定確認……現在の着信通知の設定内容を確認します。

※1：2in1のモードがデュアルモードの場合は、Aナンバーとβナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「留守番設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。
※2：音声電話による伝言メッセージのときのみ有効です。

おしらせ

- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。

<留守番設定確認>
- 2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、サービス開始中か停止中のみの情報が表示されます。

<メッセージ問い合わせ>
- 留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、音声電話による伝言メッセージは、待受画面に「 」（留守番電話アイコン）と「 」（「留守番電話あり」のショートカットアイコン）を表示します。テレビ電話による伝言メッセージは、SMSによりお知らせします。
- 留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「 」「 」「 」…「 」（10件以上）と表示が替わります。
  表示される伝言メッセージの件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

<件数増加鳴動設定>
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号に対する伝言メッセージが録音されても、お知らせ音は鳴りません。

<表示消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

<着信通知開始>
- SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。

機能 留守番設定確認画面（P.306）

留守番サービス開始・留守番サービス停止……留守番電話サービスを開始または停止します。

呼出時間設定……呼出時間を変更します。

キャッチホン 〈キャッチホン〉

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P.311）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- キャッチホンを開始し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していれば、音声通話中にテレビ電話の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときに、あとからかかってきた着信に応答することができます。ただし、この場合は通話中の音声電話やテレビ電話を終了する必要があります（現在の通話を保留にすることはできません）。→P.311

キャッチホンを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「キャッチホン」▶以下の項目から選択

キャッチホンサービス開始・キャッチホンサービス停止……キャッチホンを開始または停止します。

キャッチホンサービス設定確認……現在のサービスの設定内容を確認します。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[発信]

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

▶[終話]▶[発信]

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

▶[発信]

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。

[発信]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶✉［機能］▶「保留呼切断」

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［終話］

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 ［通話］

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶［通話］

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳を検索することもできます。
電話帳の検索のしかた→P.79

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合
▶［終話］▶［通話］
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合
▶［通話］
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
［通話］を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶✉［機能］▶「保留呼切断」

転送でんわサービス 〈転送でんわ〉

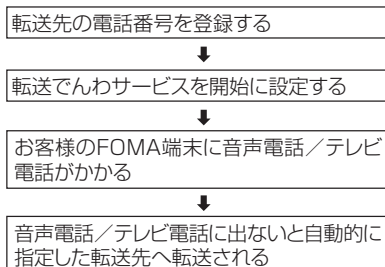
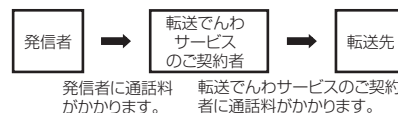
電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 「伝言メモ」(P.67) を同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のショートカットアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
⬇
転送でんわサービスを開始に設定する
⬇
お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる
⬇
音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者に通話料がかかります。 転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送でんわサービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「転送でんわ」▶以下の項目から選択

転送サービス開始※1……転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択します。

転送先設定……転送先の電話番号を入力します。
設定すると「転送先設定」に「★」が付きます。
- ［上］または［下］を押すと電話帳を検索して入力できます。
電話帳の検索のしかた→P.79

ネットワークサービス

呼出時間設定……呼出時間（000～120秒）を入力します。
設定すると「呼出時間設定」に「★」が付きます。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

開始……転送でんわサービスを開始します。

転送サービス停止※1……転送でんわサービスを停止します。

転送先変更……電話番号を入力し、新たに転送先の電話番号を変更します。
「転送先変更＋転送開始」を選択すると、同時に転送でんわサービスを「開始」に設定できます。

転送先通話中時設定※2……転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送サービス設定確認※1……現在のサービスの設定内容を確認します。

※1：2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「転送サービス設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。
※2：「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

おしらせ

<転送サービス開始>
- 2in1のモードがBモードの場合、「転送先設定」と「呼出時間設定」は選択できません。
- 「遠隔監視設定」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視設定」の呼出時間よりも短く設定してください。

<転送先変更>
- 2in1のモードがBモードの場合、「転送先変更＋転送開始」は選択できません。

<転送サービス設定確認>
- 2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、「開始中」または「停止中」のみの情報が表示されます。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 待受画面表示中 ▶ 1 4 2 9 ▶ [発信]
- 音声ガイダンスに従って設定してください。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス
〈迷惑電話ストップ〉

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないようにするサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記憶されません。

迷惑電話ストップサービスを利用する

1 MENU ▶「サービス」▶「迷惑電話ストップ」▶以下の項目から選択

迷惑電話着信拒否登録……最後に着信応答した相手の電話番号を拒否登録します。

電話番号指定拒否登録……電話番号を入力、もしくは電話帳や着信履歴などから引用して拒否登録します。
- [↑]または[↓]を押すと電話帳を検索して入力できます。電話帳の検索のしかた→P.79
- [←]を押すと着信履歴、[→]を押すとリダイヤルを検索して入力できます。

迷惑電話1登録削除……最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

迷惑電話全登録削除……拒否登録した電話番号をすべて削除します。

拒否登録件数確認……拒否登録した件数を確認します。

番号通知お願いサービス
〈番号通知お願い〉

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のショートカットアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「番号通知お願いサービス」▶以下の項目から選択

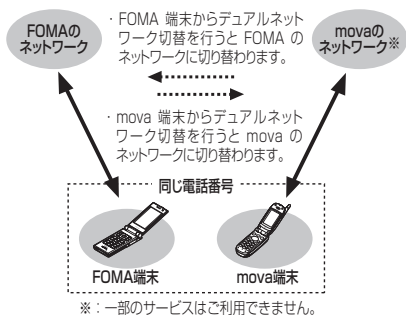
番号通知お願い開始・番号通知お願い停止……番号通知お願いサービスを開始または停止します。

番号通知お願い確認……現在のサービスの設定内容を確認します。

デュアルネットワークサービス 〈デュアルネットワーク〉

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。
- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。
- mova端末からの操作についてなど、詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスについて

※：一部のサービスはご利用できません。

デュアルネットワークサービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「デュアルネットワーク」▶以下の項目から選択

デュアルネットワーク切替……切り替えにはネットワーク暗証番号の入力が必要です。
ネットワーク暗証番号について→P.108

デュアルネットワーク状態確認……FOMA端末の利用可能／不可能状態を確認します。

おしらせ
- 海外でFOMA端末を利用して帰国した後、mova端末でデュアルネットワークサービスを利用する場合は、FOMA端末の電源を入れてから利用してください。

<デュアルネットワーク切替>
- ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。

英語ガイダンス 〈英語ガイダンス〉

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

項目	言語	ガイダンス
発信時（各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。

おしらせ
- ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、流れるガイダンスは、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

英語ガイダンスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「英語ガイダンス」▶以下の項目から選択

ガイダンス設定……設定内容を以下の項目から選択します。

発信時＋着信時……発信時の言語を「日本語／英語」から選択し、次に着信時の言語を「日本語／日本語＋英語／英語＋日本語」から選択します。

発信時……発信時の言語のみを「日本語／英語」から選択します。

着信時……着信時の言語のみを「日本語／日本語＋英語／英語＋日本語」から選択します。

ガイダンス設定確認……現在のガイダンスの設定内容を確認します。

サービスダイヤル 〈サービスダイヤル〉

ドコモ総合案内･受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶「サービス」▶「サービスダイヤル」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ……故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

ドコモ総合案内・受付……総合案内・受付へ電話をかけます。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する 〈通話中機能選択〉

「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定してください。

通話中の着信動作を選択する 〈通話中の着信動作選択〉

1 MENU▶「サービス」▶「通話中の着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話……「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

転送でんわ……「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。

着信拒否……通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。

通常着信……音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。

- 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。
- 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。→P.312
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で選択した機能設定を有効／無効にしたり、設定内容を確認します。

1 MENU▶「サービス」▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択

通話中着信設定開始……「通話中の着信動作選択」の設定を有効にします。

通話中着信設定停止……「通話中の着信動作選択」の設定を無効にします。

通話中着信設定確認……現在の設定を確認します。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答する

● 通話中と着信が同じ種類の場合

<例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［終話］

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合

着信中画面が表示されます。

▶［終話］

2 ［通話］

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合

▶パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

<例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、音声電話着信中画面が表示される

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴りません。

2

■ 64Kデータ通信の場合

▶[終話]▶パソコン側で着信操作を行う

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続する

<例：通話中着信設定が「通話中着信設定開始」、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合>

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[✉]［機能］

2 かかってきた電話の対応方法を選択

■ かかってきた電話を着信拒否する場合

▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合

▶「転送でんわ」

■ かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合

▶「留守番電話」

いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

遠隔操作を設定する　〈遠隔操作設定〉

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。
- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 [MENU]▶「サービス」▶「遠隔操作設定」▶以下の項目から選択

遠隔操作開始・遠隔操作停止……遠隔操作を開始または停止します。

遠隔操作設定確認……現在の遠隔操作の設定内容を確認します。

マルチナンバー　〈マルチナンバー〉

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- 2in1と同時に利用することはできません。
- 発着信中画面には、マルチナンバー（基本契約番号、付加番号1、付加番号2）に対応した登録名が表示されます。
- リダイヤル／発信履歴や着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーを利用する

1 [MENU]▶「サービス」▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

通常発信番号設定……通常発信するときに使用する電話番号を設定します。

基本契約番号※……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1・付加番号2※……付加番号で発信するように設定します。

通常発信番号設定確認……通常発信番号の設定内容を確認します。

電話番号設定……マルチナンバーご契約時に通知された付加番号をFOMA端末に登録します。

▶付加番号を登録（または変更）する項目を反転▶[i]［編集］▶登録名を入力▶付加番号を入力

登録名は全角8文字、半角16文字まで、付加番号は26桁まで入力できます。

- 「電話番号設定」を選択したときに表示される「マルチナンバー電話番号設定画面」の機能メニューについて→P.313

着信音設定……付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定します。→P.88

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

おしらせ

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。

<電話番号設定>

- 登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選択したときなどに表示されます。

<着信音設定>

- 着信音の設定が重なった場合の優先順位については、P.89をご覧ください。

機能 マルチナンバー電話番号設定画面（P.312）

編集……基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を編集します。

1件削除……基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を1件削除します。

全削除……基本番号の名前とすべての付加番号の電話番号と名前を削除します。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

電話をかけるたびに使用する電話番号を切り替えて発信します。

1 電話番号入力画面（P.50）▶✉［機能］▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号※……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1・付加番号2※……付加番号で発信するように設定します。

設定消去……設定を解除し「通常発信番号設定」に従って発信するようになります。

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

おしらせ

- 電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などの機能メニューからも電話番号を切り替えて発信できます。

2in1 〈2in1〉

1つの携帯電話で、2電話番号・2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 本機能では、お客様電話番号・メールアドレスを「Aナンバー・Aアドレス」、追加の電話番号・メールアドレスを「Bナンバー･Bアドレス」と呼びます。
- マルチナンバーと同時に利用することはできません。

おしらせ

- Bナンバー・Bアドレスの情報は、以下の操作で取得できます。
  - Bナンバー：Bナンバーのマイプロフィール画面から機能メニューの「2in1契約問い合わせ」を実行する→P.285
  - Bアドレス：Bナンバーのマイプロフィールの登録時にメールアドレスの「自動取得」を実行する→P.285
- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

モードについて

2in1では、モードを「Aモード」「Bモード」または「デュアルモード」に設定できます。

モード	内容
Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A･Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- モードごとに利用できるサービスについては**別表1**（P.314）をご覧ください。

おしらせ

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1契約済みのFOMAカードから未契約のFOMAカードに差し替える場合は、Aモードに設定してから差し替えてください。

[別表1]モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信※2	すべて		
電話帳※3	表示※4	A・共通	B・共通	すべて
	名前変換※5	A・共通	B・共通	すべて
	新規登録時の2in1設定	A	B	A
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの全件受信	送信元の電話帳2in1設定をコピー※6		
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの1件受信	A	B	A
	FOMAカード電話帳 FOMAカードへコピー	電話帳2in1設定は共通		
	FOMAカード電話帳 FOMAカードから本体へコピー	A	B	A
リダイヤル	表示	Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべて
着信履歴	表示	Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべて
メール／SMS	表示※4	Aアドレスで送受信したメール Aナンバーで送受信したSMS	【FOMA端末】 FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メール（WEBメールサイト上で「端末に保存」の操作をしたメール）や新着通知メール・アラーム通知メール Bナンバーで受信したSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスで送受信したメール	【FOMA端末】 Aアドレスで送受信したメール、FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール Aナンバーで送受信したSMS Bナンバーで受信したSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスで送受信したメール
	送信	【FOMA端末】 Aアドレスからのメール AナンバーからのSMS	【FOMA端末】 メール･SMS送信不可 【WEBメールサイト】 Bアドレスからのメール	【FOMA端末】 Aアドレスからのメール※7 AナンバーからのSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスからのメール
	受信	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動なし）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動なし） FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動あり）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動あり）
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの全件受信	送信元の状態をコピー※6		
	赤外線／iC／microSDメモリーカードからの1件受信	A		
	FOMAカード（SMSのみ） FOMAカードへコピー	A		
	FOMAカード（SMSのみ） FOMAカードから本体へコピー	A	表示不可	A

ネットワークサービス

サービス	Aモード	Bモード	デュアルモード
iアプリ	すべて利用可能	利用可能※8	利用可能※9
マイプロフィール	Aナンバー･Aアドレス	Bナンバー･Bアドレス	A・Bナンバー A・Bアドレス

※1：A･共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2：組み合わせによって、以下のように個別着信動作選択の各機能の動作が異なります。
- Aモードの場合は、A・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
- Bモードの場合は、B・共通設定の電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。
- デュアルモードの場合は、すべての電話帳の中で指定した電話番号を対象とします。

ただし、指定発信制限については2in1のモードにかかわらず、指定した電話番号以外に発信することはできません。
※3：電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。
※4：Bモード時、microSDメモリーカード内のすべての電話帳が一覧表示されますが電話帳2in1設定がAの場合、詳細を表示しません。
また、メール／SMSも一覧表示されますが、Aナンバー・Aアドレス宛ての場合、詳細を表示しません。
※5：発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※6：送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※7：デュアルモード時にメールの新規作成をすると、B設定となっている電話帳からも宛先アドレスの選択ができますが、Aアドレスからのメール送信となってしまうため注意が必要です。また、デュアルモード時にBアドレス宛てのメールを転送すると、Aアドレスでメール送信されますので注意が必要です。
※8：メール連動型iアプリ、メール機能を利用するiアプリ、iアプリ待受画面は除きます。
※9：iアプリ待受画面は除きます。

2in1を利用する

2in1をONに設定して、各種設定操作を行います。

1 MENU▶「サービス」▶「2in1設定」▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶以下の項目から選択

■ 2in1がONの場合
端末暗証番号の入力後に2in1をONにするかどうかの確認画面は表示されず、2in1設定画面が表示されます。

モード切替……2in1のモードを「Aモード／Bモード／デュアルモード」から選択します。
「モードについて」→P.313

電話帳2in1設定

電話帳2in1設定……設定する電話帳を反転し、■［切替］でモードを選択し、i［完了］を押します。
■［切替］を押すごとにA（Aモード）→B（Bモード）→AB（デュアルモード）の順に切り替わります。
電話帳の検索のしかた→P.79

グループ2in1設定……設定する電話帳のグループを反転し、■［切替］でモードを選択し、i［完了］を押します。
■［切替］を押すごとに、設定なし→AB（デュアルモード）→A（Aモード）→B（Bモード）の順に切り替わります。

モード別待受画面設定……Bモードまたはデュアルモードのときに表示する待受画面をそれぞれ設定します。→P.95
設定を変更した項目には「★」が付きます。設定を解除する場合はi［解除］を押します。

発着信番号設定

発着信番号表示設定……発着信時に「Aナンバー（Aアドレス）」と「Bナンバー（Bアドレス）」のどちらの情報（名前や電話番号、メールアドレスなど）かわかるように、文字色を変えて表示するように設定します。
i［切替］を押すとパレットの色（16色と256色）を切り替えることができます。
お買い上げ時の設定に戻す場合はch［リセット］を押します。

Bナンバー着信設定……Bナンバーで音声電話、テレビ電話、メールを着信したときの着信音（P.88）、着信画面（P.94）、着信ランプ（P.99）、バイブレーション（P.90）、応答メッセージ（P.67）をそれぞれ設定します。

2in1機能OFF……2in1をOFFに設定します。

着信回避設定……Aナンバー、Bナンバーの着信を規制します。

着信回避設定変更……AナンバーおよびBナンバーの着信回避機能を設定します。

着信回避設定確認……AナンバーおよびBナンバーの着信回避の設定内容を確認します。

モード切替連動設定……2in1機能のモード切替と着信回避設定が連動するように設定します。AモードのときはAナンバー、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときは両方の着信を許可するように設定します。
※「開始」に設定していると、圏外のときにはモードを切り替えることができません。

着信回避設定（海外）……海外から着信回避を設定します（モード切替連動設定が「開始」の場合は停止されます）。

おしらせ

- 2in1がOFFの場合は、待受画面表示中に[8]を1秒以上押しても「2in1設定」が行えます。

<モード切替>
- 2in1がONの場合は、待受画面表示中に[8]を1秒以上押してもモードを切り替えられます。

<電話帳2in1設定>
- FOMAカードの電話帳には、本機能を設定できません。
- 本機能で「電話帳一覧画面」から「電話帳詳細画面」を表示するには、機能メニューから「詳細表示」を選択してください。

<モード別待受画面設定>
- モードがAモードの場合は、「画面表示設定」の設定に従って待受画面が表示されます。
- ダウンロードしたきせかえツールを設定中または、iアプリ待受画面やランダム待受画面が設定されている場合は、「Aナンバーと同じ」に設定していても各モードのお買い上げ時の画面が表示されます。

<発着信番号表示設定>
- 以下の画面に表示される名前／電話番号／メールアドレスが設定した文字色で表示されます。
  - 通話中／テレビ電話通話中画面
  - 発信／着信中画面
  - リダイヤル／発信履歴画面（一覧／詳細）
  - 着信履歴画面（一覧／詳細）
  - 送信※／受信アドレス履歴画面（一覧／詳細）
  - 着もじ送信メッセージ履歴画面

  ※：Bモード時は送信アドレス履歴画面を表示できません。
- Aナンバー／Bナンバー（Aアドレス／Bアドレス）の設定は、2in1をOFFにした場合でも各画面に反映されます。

<Bナンバー着信設定>
- Aナンバー・Aアドレスと同じ設定にする場合は、各項目を「Aナンバーと同じ」に設定してください。
- 着信音の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.89
  Bナンバーで非通知の着信があった場合、着信音は「Bナンバー着信設定」の設定が優先されます。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

2in1をONに設定し、モードをデュアルモードにしている場合は、利用する電話番号を切り替えて発信できます。
- 本機能が利用できるのは「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話帳を利用して電話をかける場合>

1 電話帳詳細画面（P.79）▶[✉]［機能］▶「発信設定」▶「2in1／マルチナンバー」▶以下の項目から選択

Aナンバー……Aナンバーで発信するように設定します。

Bナンバー……Bナンバーで発信するように設定します。

設定消去……設定を解除し、電話帳の2in1設定に従って発信するように設定します。

おしらせ

- モードがAモードまたはBモードの場合は、機能メニューの「2in1／マルチナンバー」は選択できません。
- 次の操作を行った場合は、発信番号選択画面が表示され、そこから利用する電話番号を選択します。
  - 電話番号入力画面で電話番号を入力して発信した場合
  - 追加サービスに登録した特番からのサービスの利用時
  - 送信／受信アドレス一覧画面の機能メニューの「電話発信」を選択した場合
  - Phone to機能を利用した場合
  - 電話番号入力画面で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押した場合
- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

OFFICEED 〈OFFICEED〉

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

サービスを登録して利用する
〈追加サービス〉

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

追加サービスや応答メッセージを登録する

1 MENU▶「サービス」▶「追加サービス」▶以下の項目から選択

追加サービス……新しいサービスを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶✉［機能］▶「設定追加」▶サービス名を入力▶以下の項目から選択
サービス名は、全角10文字、半角20文字まで入力できます。

特番……特番で接続します。
番号は20桁まで入力できます。

USSD……サービスコードで接続します。
番号は40桁まで入力できます。

- 「追加サービス」を選択したときに表示される「追加サービス画面」の機能メニューについて
→P.317

応答メッセージ設定……登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶✉［機能］▶「設定追加」▶コマンドを入力▶応答メッセージを入力▶「YES」
コマンドは20桁まで、応答メッセージは全角10文字、半角20文字まで入力できます。

- 「応答メッセージ設定」を選択したときに表示される「応答メッセージ設定画面」の機能メニューについて→P.317

おしらせ

<追加サービス>

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

機能 追加サービス画面（P.317）／応答メッセージ設定画面（P.317）

設定追加……設定を追加します。

設定変更……設定を変更します。

1件削除・全削除……追加サービス、応答メッセージを1件または全削除します。

登録したサービスを利用する

1 MENU▶「サービス」▶「追加サービス」▶「追加サービス」

2 サービスを選択▶i［送信］

パソコン接続

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

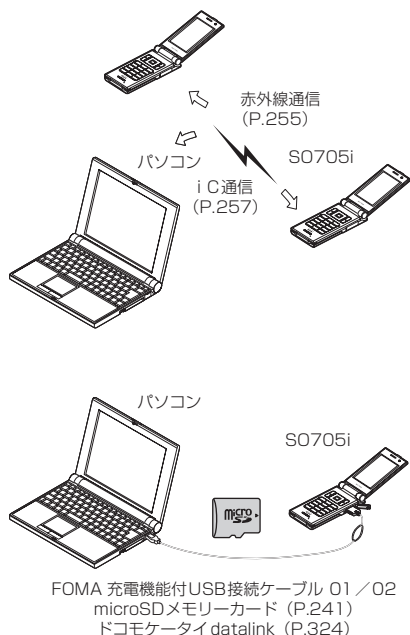
FOMA端末から利用できるデータ通信について

利用できるデータ通信の種類

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、データ転送（OBEX[TM]通信）、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

データ転送（OBEX[TM]通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02
microSDメモリーカード（P.241）
ドコモケータイdatalink（P.324）

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され※1、受信最大3.6Mbps※2、送信最大384kbpsの通信速度でデータを送受信します。
FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

※1：データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2：下記の場合、送受信ともに最大384kbpsの通信速度になります。
- FOMAハイスピードエリア外
- 「mopera」のアクセスポイントをご利用の場合
- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」や「musea」でパケット通信をご利用の場合

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。※
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
- 海外で64Kデータ通信は利用できません。

※：長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

●データ通信の用語集

管理者権限
Windows 2000、Windows XPおよびWindows Vistaのシステムでは、この権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、ドライバやソフトのインストール／アンインストールができません。

通信設定最適化
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

APN（Access Point Name）
パケット通信で、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列です。たとえばmopera Uの場合は「mopera.net」のように表します。

cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号のことです。電話帳のメモリ番号のようなもので、1～10までの10件が登録できます。

DNS（Domain Name System）
「nttdocomo.co.jp」のようなドメインネームを、コンピュータが管理しやすいように数字で表したIPアドレスに変換するシステムのことです。

HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）
第3世代（3G）携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した規格です。

QoS（Quality of Service）
ネットワークの通信速度に関するサービス品質のことで、FOMA端末のQoS設定では、どんな速度でも接続するか、あるいは最高速度で接続するかを設定できます。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項 目	説 明
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度 800 × 600 ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows Vista：512Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

- FOMA SO705iをドコモのPDA「musea」「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」と接続する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- FOMA SO705iは、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA SO705iは、FAX通信には対応していません。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA SO705i用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」の場合で説明しています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続します。

■付属の「FOMA SO705i用CD-ROM」に収録されているソフトについて

- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。
- FOMA通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする※

付属のCD-ROMからインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

データ転送

※：ドコモケータイdatalink（P.324）もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

付属のCD-ROMからインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

設定する※

パケット通信をする場合、64Kデータ通信をする場合、FOMA PC設定ソフトを使わないで設定する場合のそれぞれで設定方法は異なります。

接続／切断

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもあります。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、モデムなどの制御に使われるコマンド体系の1つで、FOMA端末はATコマンドに準拠しています。さらにFOMA端末では拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのATコマンドの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

CD-ROMについて

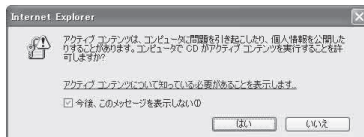
付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

収録ソフトウェア／PDF

付属のCD-ROMに収録されているソフトウェア／PDFは以下のとおりです。

- FOMA通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／U オリジナルデータ取得ソフト／FOMAバイトカウンタ）
- ナップスター®のご案内
- PDF版「パソコン接続マニュアル」／「Manual for PC connection setting」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader®

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記ホームページへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、別途「USB接続ケーブル（別売）」が必要となります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）は、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やｉモードなどをご利用いただくものです。

- FOMA SO705iは海外のドコモのローミングエリア※1で利用できます。エリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- ドコモのローミングエリアは、世界標準規格である3GPP※2に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。

※1：GSM／GPRSサービスエリアでは、本端末はご利用になれません。
※2：3GPP（3rd Generation Partnership Project）第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

■主要国の国番号について

国際電話を利用するときや、「国際ダイヤルアシスト」の設定を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください。

（2008年1月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	トルコ	90
イギリス	44	日本	81
イタリア	39	ニューカレドニア	687
インド	91	ニュージーランド	64
インドネシア	62	ノルウェー	47
エジプト	20	ハンガリー	36
オーストラリア	61	フィジー	679
オーストリア	43	フィリピン	63
オランダ	31	フィンランド	358
カナダ	1	仏領ポリネシア	689
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
チェコ	420	モルディヴ	960
中国	86	ロシア	7
ドイツ	49		

※ このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

海外で利用できるサービスについて

- 通信事業者や地域によっては利用できないサービスがあります。
- 国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

■海外で利用できる通信サービス

- 音声電話※1
- テレビ電話※1※2
- ｉモードメール
- ｉモード（フルブラウザを含む）
- メッセージR
- パソコンと接続してのパケット通信
- SMS
- ｉチャネル※3

※1：2in1のBナンバーによる発信は利用できません（Bナンバーへ着信すると、通信事業者によっては、どの番号に着信するかを判別できない場合があります）。また、マルチナンバーを利用しているときは、付加番号での発信ができません。
※2：海外の特定の通信事業者の利用者または日本のFOMA端末の利用者と国際テレビ電話が可能です。
※3：自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でｉチャネルの自動更新を再開するには、再度ｉチャネル設定を行う必要があります。ただし、月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。また、「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新についてもパケット通信料が課金されます。

おしらせ

- 国際ローミング中は、メッセージFの受信、エリアメールの受信、着もじの送受信、スキャン機能の「パターンデータ更新」と「自動更新設定」、ソフトウェア更新、パソコンと接続しての64Kデータ通信、2in1のONの利用はできません。

海外でご利用になる前の確認

- 海外でご利用いただく前に、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』もあわせてご覧ください。
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WING対応のFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外の通信事業者の都合で請求が1ヶ月程度、遅れる場合がございます。
- 「通話時間／料金」に表示される通話料金はかけた場合と受けた場合の両方がカウントされます。ただし、表示される通話料金は実際の通話料金と異なったり、「￥＊＊」と表示される場合があります。

■充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意について→P.19
- ACアダプタでの充電方法について→P.43、44

■ｉモードの閲覧について

海外からｉモードサイトを表示するには、あらかじめ「ｉMenu」から「海外利用設定」を設定してください。

- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ネットワークサービスについて

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外でも留守番電話サービスや転送でんわサービスなどをご利用できます。

- 海外でネットワークサービスを利用する前に、あらかじめ「遠隔操作設定」（P.312）を「遠隔操作開始」に設定しておく必要があります。
- 開始／停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合があります。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

■SMSについて

ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

- 海外の通信事業者を利用している相手の宛先は相手の電話番号の先頭に「+」、国番号を入力し、相手の電話番号を入力します（電話番号が「0」ではじまる場合は「0」を除いて入力します）。
  また、「010」「国番号」「相手の電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

● 海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年11月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0041/ 0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

※ 日本向け通話料がかかります。

■ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）
（2007年11月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

※ ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。
※ ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。
※ ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側にご確認されてからご利用ください。
※ 携帯電話からの場合、滞在国内通話料がかかります。

滞在先での利用

FOMA SO705iは3Gローミングエリアでご利用いただけます。海外に到着後、FOMA端末の電源を切った状態から電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

● ディスプレイの表示、日付・時刻について

海外利用中は、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。

- 「ローミング中の通信事業者名を表示する」→P.330
- 「時計設定」の設定に関係なく、受信アドレス一覧は受信時の日本国内の日付･時刻に基づいて表示されます。
- 画面に「圏外」が表示されたままになっているときは「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。また、電源を入れた直後は対応している電波の検索に時間がかかることがあり、その間「圏外」と表示される場合があります。
- 発信者番号を通知して電話をかけても、利用している通信事業者の事情により「通知不可能」や「非通知」など正しい番号表示にならない場合があります。また、「番号通知お願いサービス」を利用していても「通知不可能」と表示され着信する場合があります。

● 帰国後の設定について

日本帰国時はFOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されFOMAネットワーク（DoCoMo）に設定されます。
「通信事業者の検索方法を設定する」→P.329

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。→P.50

- 電話帳などを利用して電話をかけるとき、「国際ダイヤルアシスト」のメッセージが表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択してください。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 待受画面表示中に＋（0（1秒以上））→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 （音声電話）／（テレビ電話）

● 「国際ダイヤルアシスト」の「国番号設定」に登録されている国へ電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤルアシスト」で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

- 電話帳、リダイヤル、発信履歴などから国際電話をかけることもできます。

1 相手の番号をダイヤル▶（機能）▶「国際電話発信」▶電話をかけたい国名を選択▶（音声電話）／（テレビ電話）

「＋」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。

●「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能設定」で設定した国へ電話をかける

- 電話帳、リダイヤル、発信履歴などから国際電話をかけることもできます。
- 電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。
- 「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能設定」を「ON」に設定してください。

1 相手の番号をダイヤル▶[発信キー]（音声電話）／[i]［テレビ電話］▶「発信」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）をダイヤル）電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話番号を変更することなく、電話を受けることができます。→P.61

相手からの電話のかけかたについて

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先のFOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。
090（または080）－XXXX－XXXX

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号＋「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
国際アクセス番号－81－90（または80）－XXXX－XXXX

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には国際転送料を含んだ着信料がかかります。

通信事業者の検索方法を設定する〈ネットワークサーチ設定〉

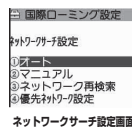
利用中の通信事業者のネットワークが圏外になった場合に、ほかの通信事業者のネットワークに接続し直します。

- 電波の状態やネットワークの状況により、本機能を設定できない場合があります。
- 2008年1月現在、日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。
- 日本に帰国後、「圏外」が表示された場合は、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されていることを確認してください。

接続する通信事業者を手動で切り替える

1 [MENU]▶「各種設定」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワークサーチ設定」

「ネットワークサーチ設定画面」が表示されます。

国際ローミング設定
ネットワークサーチ設定
①オート
②マニュアル
③ネットワーク再検索
④優先ネットワーク設定

ネットワークサーチ設定画面

2 「マニュアル」▶接続したい通信事業者を選択

■ 自動で通信事業者を切り替える場合

▶「オート」

自動検索の際に優先的に接続する通信事業者をあらかじめ設定しておくことができます。
→P.330

接続先のネットワークを再検索する〈ネットワーク再検索〉

- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに通信事業者が検出できなかった場合や、「マニュアル」に設定しているときに通信事業者を切り替えたい場合に、ネットワークを再検索してから接続先を切り替えます。

1 ネットワークサーチ設定画面（P.329）▶「ネットワーク再検索」▶接続したい通信事業者を選択

■「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合

▶「ネットワーク再検索」

優先的に接続する通信事業者を設定する

ネットワークの自動検索や再検索のときに、優先的に接続したい通信事業者を設定します。

- ユーザ設定優先ネットワークリストには、最大20件まで登録できます。
- ドコモ指定優先ネットワークリストとして通信事業者が登録されています。

1 ネットワークサーチ設定画面（P.329）▶「優先ネットワーク設定」

「優先ネットワーク設定画面」が表示されます。優先順位の高い通信事業者から順番に一覧で表示されます。

優先ネットワーク設定画面

機能メニュー➡P.330

2 優先順位を変更する通信事業者を反転▶[✉][機能]▶「優先順位変更」

3 移動したい位置を反転▶[■][選択]

反転表示した項目の上に移動します。「<最後尾へ>」を選択した場合は最後尾に移動します。

4 [i][完了]▶「YES」

機能 優先ネットワーク設定画面（P.330）

マニュアル登録……国番号（オペレータコード（MCC））とネットワーク番号（オペレータコード（MNC））を入力して登録します。

リストから登録……リストから通信事業者を選択して登録します。

在圏ネットワーク登録……現在接続している通信事業者が登録されます。

優先順位変更→P.330

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.38

おしらせ

- 電波の状態やネットワークの状況などによっては、本機能で設定した優先順位どおりに通信事業者が優先されない場合があります。

ローミング中の通信事業者名を表示する〈オペレータ名表示設定〉

国際ローミング中に、現在接続している通信事業者名をディスプレイに表示するかどうかを設定します。

1 [MENU]▶「各種設定」▶「国際ローミング設定」▶「オペレータ名表示設定」▶「表示あり」または「表示なし」

おしらせ

- 国内（FOMAネットワーク）在圏時は、「表示あり」に設定しても通信事業者名は表示されません。
- 「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定している場合、「圏外」のときは「select net」が表示されます。

ローミングガイダンスを開始する〈ローミングガイダンス設定〉

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。

1 [MENU]▶「サービス」▶「ローミングガイダンス設定」▶以下の項目から選択

ローミングガイダンス開始・ローミングガイダンス停止……ローミングガイダンスを開始または停止します。

ローミングガイダンス設定確認……現在の設定内容を確認します。

おしらせ

- ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 海外通信事業者の事情により、外国語ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング中は着信を受けないようにする 〈ローミング時着信規制〉

● 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 MENU ▶「サービス」▶「ローミング時着信規制」▶以下の項目から選択

開始……国際ローミング中の着信を「全着信規制」（すべての着信を受け付けない）するか、「テレビ電話／データ呼規制」（テレビ電話と64Kデータ着信※を受け付けない）するかを設定します。
設定にはネットワーク暗証番号（P.108）の入力が必要です。

停止……ローミング時着信規制を停止します。
停止にはネットワーク暗証番号（P.108）の入力が必要です。

確認……現在の設定内容を確認します。

※：FOMA SO705iでは、国際ローミング中の64Kデータ通信は利用できません。

ローミング中にネットワークサービスを利用する 〈海外用サービス〉

● 海外から「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などのネットワークサービスの一部を利用します。
●「留守番電話（海外）」や、「転送でんわ（海外）」を利用するには、あらかじめ「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」のご契約が必要です。また、あらかじめ「遠隔操作設定」の設定が必要です。
●「圏外」のときは操作できません。
● 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。
● ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などをご覧ください。

1 MENU ▶「サービス」▶「海外用サービス」▶以下の項目から選択

留守番電話（海外）

留守番サービス開始・留守番サービス停止・留守番メッセージ再生・留守番呼出時間設定・留守番サービス設定……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

転送でんわ（海外）

転送サービス開始・転送サービス停止・転送サービス設定……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

ローミングガイダンス（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

遠隔操作設定（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

番号通知お願い（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

付録／外部機器連携／困ったときには

■外部機器との連携

■困ったときには

メニュー機能一覧

- の項目は「設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
- ①～⑫およびその他の設定リセットされる機能については、**別表1**（P.343）をご覧ください。
- メニュー番号によるボタン操作は、メインメニューを「スタンダードメニュー」に切り替えたときのみ有効です。
→P.33、34

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
メール	受信BOX		－		－	P.177
	送信BOX		－		－	P.177
	保存BOX		－		－	P.169
	新規メール作成		－		－	P.164
	WEBメール		－		－	P.165
	SMS作成		－		－	P.189
	ｉモード問い合わせ		[メール]（1秒以上）		－	P.172
	メール選択受信		－		－	P.172
	SMS問い合わせ		－		－	P.190
	デコメテンプレート		－		－	P.167
	メール設定		－		－	P.185
ｉモード	ｉMenu		－		－	P.144
	Bookmark		－		－	P.150
	画面メモ		－		－	P.151
	サイト閲覧履歴		－		－	P.146
	Internet		－		－	P.149
	フルブラウザ		－		設定URL http://www.google.co.jp	P.218
	ｉチャネル		[ch]		－	P.161
	メッセージR／F		－		－	P.187
	ｉモード問い合わせ		[メール]（1秒以上）		－	P.172
	ユーザ証明書操作		－		－	P.157
	ｉモード設定		－		－	P.155
ｉアプリ	ソフト一覧		[iアプリ]（1秒以上）		－	P.195
	microSD		－		－	P.207
	自動起動設定		－		－	P.204
	ｉアプリ実行情報		－		－	P.197
各種設定	きせかえツール設定		－		－	P.104
	着信	着信音量	[MENU] 5 0	電話～メッセージF	すべてレベル4	P.64
		着信音選択	[MENU] 1 3	電話	着信音1	P.88
				テレビ電話	着信音1	
				メール	着信音1	
				メッセージR／メッセージF	着信音1	
		バイブレータ	[MENU] 5 4	電話～メッセージF	すべてOFF	P.90

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	着信	着信ランプ	MENU 8 9	着信ランプ選択	電話：色5 テレビ電話：色5 メール：色1 メッセージR：色1 メッセージF：色1	P.99
				パターン設定	固定パターン	
				不在／未読お知らせ	ON	
		マナーモード選択	MENU 2 0		マナーモード（オリジナルマナーの設定：初期値→P.94）	P.92
		電話帳画像着信設定	－		ON	P.95
		着信アンサー設定	MENU 5 8		エニーキーアンサー	P.63
		メール／メッセージ鳴動	MENU 6 8	メール～メッセージF	すべてON（鳴動時間：5秒）	P.91
		呼出時間表示設定	MENU 9 0	無音時間設定	OFF 無音時間：1秒 （無音時間設定「ON」設定時）	P.122
				時間内不在着信表示	表示する	
		不在／新着確認設定	MENU 6 5		日本語表示のとき：ボイス （名前通知：OFF） 英語表示のとき：ON	P.67
		伝言メモ	MENU 5 5		OFF 応答メッセージ：標準 （伝言メモ「ON」設定時） 呼出時間：13秒 （伝言メモ「ON」設定時）	P.67
		発着信番号表示設定	－		白（本体色：Charcoal Gray、Cheek Pink） 黒（本体色：Sugar White）	P.96
		メロディコール設定	－		－	P.90
	通話	ノイズキャンセラ	MENU 7 6		ON	P.61
		通話品質アラーム	MENU 7 5		アラームなし	P.91
		再接続機能	MENU 7 7		アラームなし	P.61
		通話中ランプ	－		OFF	P.99
		保留音設定	－	応答保留音	応答保留音1	P.64
		クローズ動作設定	MENU 1 8		終話	P.63
	発信	ポーズダイヤル	MENU 8 4		－	P.58
		サブアドレス設定	－		ON	P.60
		プレフィックス設定	－		「WORLD CALL」 （009130010） ユーザ設定：未登録	P.58
		イヤホンスイッチ発信設定	－		OFF	P.292
		国際ダイヤルアシスト	－	自動変換機能設定	ON（自動付加）	P.60
				国番号設定	「日本」（国番号：81） 22件登録済み	
				国際プレフィックス設定	「WORLD CALL」 （009130010） ユーザ設定：未登録	

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	テレビ電話	送信画質設定	－		標準	P.70
		画像選択	－	応答保留選択	内蔵	P.70
				通話保留選択	内蔵	
				代替画像選択	キャラ電（ミッフィー）	
				伝言メモ選択	内蔵	
				伝言メモ準備選択	内蔵	
				音声メモ選択	内蔵	
		音声自動再発信	－		OFF	P.70
		遠隔監視設定	－	監視許可番号登録	未登録	P.72
				応答時間設定	5秒	
				設定	OFF	
		テレビ電話画面設定	－	親画面表示	親画面相手画像表示	P.70
				内側カメラ鏡像	ON	
		テレビ電話切替通知	－		切替機能通知開始	P.70
		ハンズフリー切替	－		ON	P.70
		パケット通信中着信設定	－		テレビ電話優先	P.71
	ディスプレイ	画面表示設定	MENU 5 6	待受画面	Metal（本体色：Charcoal Gray）、Flower（本体色：Cheek Pink）、Circle（本体色：Sugar White）	P.94
				ウェイクアップ表示	ウェイクアップ ウェイクアップメッセージ：未入力	
				電話発信、テレビ電話発信	発信中3（本体色：Charcoal Gray）、発信中1（本体色：Cheek Pink）、発信中2（本体色：Sugar White）	
				電話着信、テレビ電話着信	着信中3（本体色：Charcoal Gray）、着信中1（本体色：Cheek Pink）、着信中2（本体色：Sugar White）	
				メール送信	メール送信中3（本体色：Charcoal Gray）、メール送信中1（本体色：Cheek Pink）、メール送信中2（本体色：Sugar White）	
				メール受信	メール受信中3（本体色：Charcoal Gray）、メール受信中1（本体色：Cheek Pink）、メール受信中2（本体色：Sugar White）	
				問い合わせ	問合わせ中3（本体色：Charcoal Gray）、問合わせ中1（本体色：Cheek Pink）、問合わせ中2（本体色：Sugar White）	
				メール受信結果	メール受信結果画面3（本体色：Charcoal Gray）、メール受信結果画面1（本体色：Cheek Pink）、メール受信結果画面2（本体色：Sugar White）	

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	ディスプレイ	照明設定	MENU 7 0	通常時	ON（点灯）＋省電（待ち時間2分）	P.96
				充電時	標準	
				範囲	液晶＋ボタン	
				明るさ	普通	
		画面デザイン	MENU 8 6	配色パターン	ブラック（本体色：Charcoal Gray）、レッド（本体色：Cheek Pink）、ホワイト（本体色：Sugar White）	P.97
				アイコンパターン	電池アイコン、アンテナアイコン パターン4（本体色：Charcoal Gray）、パターン2（本体色：Cheek Pink）、パターン3（本体色：Sugar White）	
				ソフトキー	パターン3（本体色：Charcoal Gray）、パターン1（本体色：Cheek Pink）、パターン2（本体色：Sugar White）	
		イルミネーション設定	MENU 9 3		ON パターン選択 着信～充電開始:着信中(Square)～充電開始(Square)(本体色:Charcoal Gray)、着信中(Sparkling)～充電開始(Sparkling)(本体色:Cheek Pink)、着信中(Ring)～充電開始(Ring)(本体色:Sugar White) 不在お知らせ：ON 未読お知らせ：ON 時報：60分 お誕生日：ON 着信／メール表示 着信表示：ON メール表示：ON	P.98
		フォント設定	MENU 6 6	書体	ゴシック体	P.100
				太さ	太字	
				文字サイズ	中	
		マイショートカット	MENU 6 3	テーマ1～3	マイセレクト、フォトモード、ミュージック	P.101
		バイリンガル	MENU 1 5		Japanese	P.100
		マイセレクト	MENU 5 2		赤外線受信 バーコードリーダー アラーム イルミネーション設定 シールドビュー 辞典	P.98

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	ディスプレイ	メニュー画面設定	MENU 5 7	メニュー表示	一覧表示	P.97
				テーマ	Geometric Gray（本体色：Charcoal Gray）、Organic Pink（本体色：Cheek Pink）、Shiny White（本体色：Sugar White）	
				フォーカス記憶	ON	
				操作履歴リセット	操作履歴初期状態	
		ピクチャ表示設定	－		ピクチャ一覧	P.226
		表示アイコン説明	MENU 3 6		－	P.29
		表示アイコン設定	－		ON	P.103
		シールドビュー	2（1秒以上）		OFF	P.96
	時間／料金	通話時間／料金	MENU 6 1		－	P.287
		通話料金通知	－	料金上限値設定	未設定	P.288
				上限値通知設定	通知しない	
				アラーム音選択	アラーム音	
				アラーム音量	レベル4	
		積算リセット	MENU 6 0		－	P.288
		積算料金自動リセット	－		OFF	P.288
	時計	時計設定	MENU 3 1		自動時刻補正する	P.47
		待受時計表示	MENU 3 9	表示形式	12時間形式（本体色：Cheek Pink、Sugar White）、24時間形式（本体色：Charcoal Gray）	P.100
				表示サイズ	上に小さく表示（本体色：Charcoal Gray）、小さく表示（本体色：Cheek Pink、Sugar White）	
				文字色	ブラック（本体色：Sugar White）／ホワイト（本体色：Charcoal Gray、Cheek Pink）	
				表示時計種別	世界時計なし	
		世界時計設定	－	タイムゾーン	（GMT+00）ロンドン	P.47
				サマータイム	OFF	
		アラーム通知設定	－		通知優先	P.282
		時刻アラーム音設定	－		アラーム音	P.91
		自動電源ON	－		OFF	P.46
		自動電源OFF	－		OFF	
	ロック／セキュリティ	ロック	－	ダイヤルロック	解除	P.109
			－	オリジナルロック1～3	解除	P.114
					グループや項目の選択設定 データ閲覧・編集・削除：すべて選択 発信・メール送信、着信・メール受信表示：すべて解除	
		ICカードロック設定	＊（1秒以上）	ICカードロック	OFF	P.215
			－	電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	ロック／セキュリティ	キー操作ロック	－	閉じたとき	OFF	P.118
			－	タイマー	OFF	
		セルフモード	－		解除	P.123
		シークレットモード	MENU 4 0		解除	P.111
		シークレット専用モード	MENU 4 1		解除	
		登録外着信拒否	－		許可	P.122
		非通知着信設定	MENU 1 0	通知不可能～非通知設定	すべて許可 着信音：通常着信音と同じ 着信画面：通常着信画面と同じ	P.122
		端末暗証番号変更	MENU 2 9		0000（数字のゼロ4つ）	P.109
		ICカード認証設定	－		無効	P.119
					外部ICカード情報：未登録	
		PIN設定	－		－	P.109
		スキャン機能	－	スキャン機能設定	スキャン機能：ON	P.378
					メッセージスキャン：ON	
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	－		60秒間	P.155
		ｉモード問い合わせ設定	－	メール～メッセージF	すべて「問い合わせをする」	P.186
		接続先選択	MENU 8 1		ｉモード ユーザ指定接続先：未登録	P.156
		SMSセンター設定	－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.191
		証明書	－		すべて有効	P.156
		証明書センター接続設定	－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.158
	ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定	－		表示しない	P.195
		待受画面終了	－		－	P.206
		背面ｉアプリ	－		OFF	P.197
		ｉアプリ音量	－		レベル4	P.197
	外部接続	USBモード設定	－		通信モード	P.249
		イヤホン切替設定	MENU 5 1		イヤホン＋スピーカー	P.91
		イヤホン接続時マイク切替	－		イヤホンマイク	P.292
		オート着信設定	MENU 9 4	音声着信	オート着信なし	P.292
				テレビ電話		
	国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定	－		オート	P.329
		オペレータ名表示設定	－		表示あり	P.330
	その他	ボタン確認音	MENU 3 0		ON	P.90
		充電確認音	－		ON	P.90
		電池残量	MENU 7 1		－	P.45
		サイドボタン設定	MENU ＊（1秒以上）		閉じた時有効	P.120
		文字入力設定	MENU 3 5	入力方式	かな方式	P.297
				カーソル自動移動	1（遅い）	P.300
				予測変換切替	予測変換	P.297
				入力サイズ切替	中	P.297
				候補内キー操作設定	上下左右キー操作	P.299
				学習履歴クリア	－	P.304

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
各種設定	その他	設定リセット	MENU 2 3		－	P.292
		端末初期化	－		－	P.293
		ソフトウェア更新	－	自動更新設定	自動で更新 曜日：指定なし 時刻：03:00	P.372
データBOX	マイピクチャ		MENU 4 6		①	P.225
	ミュージック		－		② ⑤	P.267
	Music&Videoチャネル		－		③ ⑤	P.265
	ｉモーション		－		④ ⑤	P.232
	メロディ		MENU 1 6		⑥	P.238
	キャラ電		－		⑦	P.235
	きせかえツール		－		⑧	P.240
LifeKit	バーコードリーダー		－		－	P.137
	赤外線受信		MENU 7 9		－	P.256
	microSD管理		－		－	P.245
	カメラ				⑨	P.131 P.134
	電話帳お預りサービス		－	電話帳内画像送信設定	しない	P.84
	スケジュール		MENU 4 5		⑩	P.279
	アラーム		MENU 4 4		すべてOFF	P.278
	To Doリスト		MENU 9 5		－	P.281
	テキストメモ		MENU 4 2		－	P.289
	電卓		MENU 8 5		－	P.289
	音声メモの再生／消去		メモ▶		－	P.68
	動画メモの再生／消去		－		－	P.68
	音声メモ※		MENU 4 3		－	P.286
	おしゃべり機能		MENU 9 1		－	P.286
	FOMAカード（UIM）操作		－		－	P.252
	マイプロフィール		MENU 0		⑪	P.48 P.284
	電話帳画像転送		－		する	P.258
	テキストリーダー		－		－	P.139
	辞典		－		－	P.290
サービス	着もじ		－	メッセージ作成	お買い上げ時に登録されているメッセージ5件	P.56
				メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	
	発信者番号通知		MENU 1 7		－	P.47
	留守番電話		－		－	P.306
	キャッチホン		－		－	P.307
	転送でんわ		－		－	P.308
	2in1設定		8 （1秒以上）		OFF	P.313
				モード切替	デュアルモード	P.315
				電話帳2in1設定	－	
				モード別待受画面設定	デュアルモード待受画面：Flower arrangement Bモード待受画面：Cake	

※：メインメニューの種類によっては「待受中音声メモ」や「通話中音声メモ」と表示されます。

大項目	中項目	小項目	メニュー番号(ボタン操作)	お買い上げ時の設定		参照ページ
サービス	2in1設定		8 （1秒以上）	発着信番号設定	発着信番号表示設定 Aナンバー：白（本体色：Charcoal Gray、Cheek Pink）／黒（本体色：Sugar White） Bナンバー：グレー Bナンバー着信設定 音声着信設定 着信音設定：着信音2 上記以外：Aナンバーと同じ テレビ電話着信設定 着信音設定：着信音2 上記以外：Aナンバーと同じ メール着信設定 着信音設定：着信音2 上記以外：Aナンバーと同じ	P.315
				2in1機能OFF	－	
				着信回避設定	－	
	迷惑電話ストップ		－		－	P.309
	番号通知お願いサービス		－		－	P.309
	通話中の着信動作選択		－		通常着信	P.311
	通話中着信設定		－		－	P.311
	遠隔操作設定		－		－	P.312
	デュアルネットワーク		－		－	P.310
	英語ガイダンス		－		－	P.310
	追加サービス		－		－	P.317
	サービスダイヤル		－		－	P.311
	マルチナンバー		－	着信音設定	通常着信音と同じ	P.312
	ローミングガイダンス設定		－		－	P.330
	ローミング時着信規制		－		－	P.331
	海外用サービス		－		－	P.331
電話帳	電話帳		－		⑫	P.76 P.78
ユーザデータ	着信履歴		MENU 2 4		－	P.54
	発信履歴		－		－	P.54
	メールメンバー		MENU 9 7		－	P.170
	直デン		[直デンボタン]		－	P.83
	定型文		MENU 3 8		固定定型文初期状態	P.302
	ユーザ辞書		MENU 8 2		－	P.303
	ダウンロード辞書		－		－	P.304
MUSIC	ミュージックプレーヤー		メモ▶ （1秒以上）		② ⑤	P.271
	Music&Videoチャネル		－		③ ⑤	P.262
カメラ			ch （1秒以上）		⑨	P.131 P.134
おサイフケータイ	ICカード一覧		－		－	P.211
	DCMX		－		－	P.203
	トルカ		－		－	P.212

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
おサイフケータイ	ICカードロック設定		* （1秒以上）	ICカードロック	OFF	P.215
			ー	電源OFF時ICロック設定	直前の状態を保持	
	設定		ー	トルカ設定	外部R/Wからの取得：許可する 重複チェック：行う 自動読取設定：ON スクロール設定：1行スクロール	P.214
				ICカードランプ	ON	P.99
	iモードで探す		ー		ー	ー

[別表1] その他の設定リセット機能

機能名	お買い上げ時の設定
①マイピクチャ	ソート：新しい順 画像表示設定：標準
②ミュージック	一覧表示切替：タイトル 前回の続きから再生：データなし
③Music&Videoチャネル	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像 再生開始位置：先頭
④iモーション	ソート：新しい順 一覧表示切替:タイトル＋画像(FOMA端末)、名前＋画像（microSD） 再生開始位置：先頭
⑤ミュージックプレーヤー	サウンドエフェクト イコライザ：OFF SRS_WOW：OFF リピート設定：OFF シャッフル設定：OFF 音量:レベル10 再生画面設定：通常画面モード 画像表示設定：標準 プレーヤー画面変更： Geometric Gray（本体色：Charcoal Gray)、Organic Pink（本体色：Cheek Pink)、Shiny White（本体色：Sugar White） 連続再生設定：OFF
⑥メロディ	ソート：新しい順 連続再生設定：OFF
⑦キャラ電	代替画像設定：ミッフィー 画像表示設定：画面サイズで表示 キャラ電撮影：フォトモード 画像サイズ選択：QCIF（176×144） 撮影種別設定：映像＋音声 動画保存設定：標準 画像保存設定：ファイン ファイルサイズ設定：2MB以下
⑧きせかえツール	ソート：新しい順
⑨カメラ	ムービーモード 画像サイズ選択：QCIF（176 × 144） ファイルサイズ設定：2MB以下 記録品質設定：標準 カメラ調節 撮影モード選択：人物 ホワイトバランス設定：オート ちらつき軽減：自動 動画シャッター音選択：シャッター音1 動画保存先選択：本体（カメラフォルダ）
⑨カメラ	ボイスモード 録音開始音選択：シャッター音1 音声保存先選択：本体（カメラフォルダ） フォトモード 画像サイズ選択：フルスクリーン（240×427） 記録品質設定：スーパーファイン カメラ調節 撮影モード選択：オート ホワイトバランス設定：オート ちらつき軽減：自動 シャッター音選択：シャッター音1 画像保存先選択：本体（カメラフォルダ） ムービーモード／フォトモード共通 カメラ設定：外側カメラ セルフタイマー設定：OFF（時間：10秒） 自動保存設定：OFF ファイル制限：なし 連続撮影の設定→P.132
⑩スケジュール	表示：1ヶ月表示 ユーザアイコン設定：未登録
⑪マイプロフィール	拡大表示⇔標準表示：標準表示
⑫電話帳	個別着信音／画像：すべて解除 個別着信動作選択：すべて解除 拡大表示⇔標準表示：標準表示
その他の機能	テレビ電話中 テレビ電話設定の明るさ調節：0 照明設定：常時点灯 ラストワン機能※ メインメニュー：データBOX 電話帳検索：全検索（優先設定） 受話音量：レベル4 マナーモード：解除 公共モード（ドライブモード）：解除

※：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選択していた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている状態になる機能です。

シンプルメニュー機能一覧

大項目	中項目／小項目	参照ページ
電話	電話帳検索	P.78
	リダイヤル	P.54
	着信履歴	P.54
	伝言メモ	P.67
	電話帳登録	P.76
	電話番号表示	P.48、P.284
メール	受信メール	P.177
	送信メール	P.177
	保存メール	P.169
	新規メール作成	P.164
	センター問合せ	P.172

大項目	中項目／小項目	参照ページ
ｉモード	ｉメニュー	P.144
	Bookmark	P.150
	画面メモ	P.151
カメラ	写真撮影	P.131
	動画撮影	P.134
	写真一覧	P.225
	動画一覧	P.232
設定／ツール	着信音設定	P.88
	待受画面設定	P.95
	アラーム	P.278
	電卓	P.289
	通話料金／時間	P.287
	留守番電話	P.306

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

かな方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	.@/: ー-～˜ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコヵヶ	ABCabc2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9
0	わをんゎｽﾍﾟｰｽ、。ー・！？	ワヲンヮｽﾍﾟｰｽ、。ー・！？「」	ｽﾍﾟｰｽ！？ー，';()"＿～˜&¥0	0+※1
＊	、。ー・゛゜！？※2	、。ー・゛゜！？「」※2※3	！？ー，';()"＿～˜&¥	＊
＃	―――― ※4			＃

- 　は全角入力モードの時のみ表示されます。
- 青字は半角入力モードの時のみ表示されます。

※1：「+」は、SMS宛先入力時に1秒以上押して入力できます。
※2：濁点／半濁点を付加できる文字の確定前に押すと、濁点／半濁点の有無の切り替えとなります。
※3：半角入力モードの時は「ﾞ」「ﾟ」が先頭に表示されます。
※4：文字の確定後に押すと改行マーク「↵」が入力されます。
文字の確定前に押すと、割り当てられた文字の表示順が逆順に切り替わります。

2タッチ方式で入力できる文字

■全角入力モード

ボタン		2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
		ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
							f	g	h	i	j
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
							k	l	m	n	o
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
				っ			p	q	r	s	t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
							u	v	w	x	y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
							z				
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※1 ☎	
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		※1 ♥	※2
		ゃ		ゅ		ょ					
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	※3 ゛	※3 ゜	6	7	8	9	0
		ゎ			、	。					

■半角入力モード

ボタン		2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
		ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
							f	g	h	i	j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
							k	l	m	n	o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
				ｯ			p	q	r	s	t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
							u	v	w	x	y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
							z				
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※1 ☎	
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		※1 ♥	※2
		ｬ		ｭ		ｮ					
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
		@	/	-	_	:	.ne.jp	.co.jp	.ac.jp	@docomo.ne.jp	
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0
		~	'		,	.	www.	.com	.html	http://	https://

- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。

※2：［8］［0］を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に［✆］を押して小文字に切り替えることもできます。

※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。

（網掛け）：スペースが入力されます。

記号・特殊文字一覧

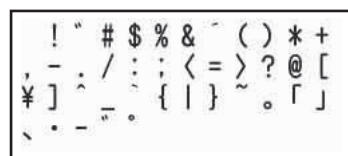
■全角記号

　、。，．・：；？！゛゜
´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝
々〆〇ー―‐／＼～∥｜…
‥‘’“”（）〔〕［］｛
｝〈〉《》「」『』【】＋
－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴
♂♀°′″℃￥＄¢£％＃
＆＊＠§☆★○●◎◇◆□
■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫
√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†
‡¶◯ゎゐゑヮヰヱヴヵヶ
ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜ
ΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩ
αβγδεζηθικλμ
νξοπρστυφχψω

АБВГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦ
ЧШЩЪЫЬЭЮЯабв
гдеёжзийклмн
опрстуфхцчшщ
ъыьэюя─│┌┐┘└
├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣
┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥
┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡ
ⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍
㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻
㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍
℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼
≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩
∪

※1文字目の空白は「全角スペース」です。
※SMS本文入力時は、一覧の最後に 、 が表示されます。

■半角記号

　!"#$%&'()*+
,-./:;<=>?@[
¥]^_`{|}~｡｢｣
､･ｰﾞﾟ

※1文字目の空白は「半角スペース」です。

次ページにつづく

■変換記号読み一覧

「きごう」と入力して変換すると、一部の記号が変換候補に表示されます。以下のように、読みを入力して変換することもできます。

文字入力	記号
あっと、あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】‘’“”()〈〉[]{}「」

文字入力	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
しめ	〆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

文字入力	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

絵文字一覧

■絵文字読み一覧

絵文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。

	読み
	はーと
	はーと
	しつれん・はーと
	はーと
	わーい・かお・うれしい
	いかり・かお
	がく・かお・かなしい
	やだ・かお・かなしい
	ふらふら・かお
	るんるん・おんぷ
	おんせん
	かわいい・はな
	きすまーく・きす・ちゅっ
	ぴかぴか・あたらしい・きら・ぴか
	ひらめき・きら・ぴか
	むかっ・いかり
	ぱんち・いかり・て
	ばくだん・ばくはつ・いかり
	むーど・おんぷ
zzz	ねむい・すいみん・ねる・ぐー
!	びっくり・おどろき
!?	びっくり・おどろき
!!	びっくり・おどろき
	どんっ・しょうげき
	あせあせ・あせ
	あせ
	だっしゅ・にげろ
	ー
	ー
	ぐっど・やじるし・や・うえ
	ばっど・やじるし・や・した
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	はれ・てんき・たいよう
	くもり・てんき・くも
	あめ・てんき・かさ

	読み
	ゆき・てんき・ゆきだるま
	かみなり・てんき・ぴか
	たいふう・てんき・まる・ぐるぐる
	きり・てんき
	こさめ・てんき・かさ
	おひつじざ・せいざ
	おうしざ・せいざ
	ふたござ・せいざ
	かにざ・せいざ
	ししざ・せいざ
	おとめざ・せいざ
	てんびんざ・せいざ
	さそりざ・せいざ
	いてざ・せいざ
	やぎざ・せいざ
	みずがめざ・せいざ
	うおざ・せいざ
	すぽーつ・ふく
	やきゅう・すぽーつ・ぼーる
	ごるふ・すぽーつ
	てにす・すぽーつ
	さっかー・すぽーつ・ぼーる
	すきー・すぽーつ
	ばすけっとぼーる・すぽーつ・ばすけ・ばすけっと
	もーたーすぽーつ・はた・ふらっぐ・えふわん
	ぽけっとべる・ぽけべる・べる
	でんしゃ・のりもの
	ちかてつ・のりもの・めとろ
	しんかんせん・のりもの
	くるま・のりもの・せだん
	くるま・のりもの・あーるぶい
	ばす・のりもの
	ふね・のりもの
	ひこうき・のりもの
	いえ・たてもの・うち
	びる・たてもの・かいしゃ
	ゆうびんきょく・ゆうびん

	読み
	びょういん
BK	ぎんこう・ばんく
ATM	えーてぃーえむ・ばんく
	ほてる
CVS	こんびに
GS	がそりんすたんど・がすすたんど・がす
	ちゅうしゃじょう・ぱーきんぐ・ぴー
	しんごう
	といれ・べんじょ
	れすとらん・しょくじ・ごはん・めし
	きっさてん・しょくじ・さてん・おちゃ
	ばー・しょくじ・さけ・かんぱい
	びーる・しょくじ・さけ・かんぱい
	ふぁーすとふーど・しょくじ・はんばーがー
	ぶてぃっく・くつ・ふく・はいひーる
	びよういん・はさみ・とこや
	からおけ・まいく・うた
	えいが・びでお
	ゆうえんち
	おんがく・きく・へっどほん
	あーと・かいが
	えんげき・しばい
	いべんと
	ちけっと・きっぷ
	きつえん・たばこ
	きんえん・たばこ
	かめら・しゃしん
	かばん・ばっぐ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと・おめでとう
	ばーすでー・おめでとう・たんじょうび
	でんわ
	けいたいでんわ・けいたい・けーたい・でんわ

付録／外部機器連携／困ったときには

	読み
	めも
	てれび
	げーむ
	しーでぃー
	はーと・とらんぷ
	すぺーど・とらんぷ
	だいや・とらんぷ
	くらぶ・とらんぷ
	め・みる・みて
	みみ・きく
	て・ぐー
	て・ちょき
	て・ぱー
	あし・あしあと
	くつ
	めがね
	くるまいす
	しんげつ・つき・まる
	はんつき・つき
	はんつき・つき
	みかづき・つき
	まんげつ・つき・まる
	いぬ・どうぶつ
	ねこ・どうぶつ
	りぞーと・よっと・ふね
	くりすます・き
	かちんこ・かっと・かんとく
	ふくろ
	ぺん・めも
	ひとかげ
	いす
	よる・つき・おやすみ
SOON	
ON!	
end	えんど・おわり
	とけい・じかん
	でんわ・でんわばんごう
	めーる・あどれす
FAX	ふぁっくす
	あいもーど・あい
	あいもーど・あい
	めーる・てがみ・あどれす
	どこも
	どこもぽいんと・どこも
	ゆうりょう・えん・かね
FREE	むりょう・ただ・ふりー
ID	あいでぃー
	ぱすわーど・かぎ
	つぎ・りたーん
CL	くりあ
	さーち・しらべる・むしめがね
NEW	にゅー・にゅう・あたらしい
	はた・ふらっぐ・いち
	ふりーだいやる
#	しゃーぷ
1	いち・すうじ
2	に・すうじ
3	さん・すうじ
4	し・よん・すうじ
5	ご・すうじ
6	ろく・すうじ
7	なな・しち・すうじ
8	はち・すうじ
9	きゅう・く・すうじ
0	ぜろ・れい・すうじ
OK	けってい・おーけー・おっけー
	あいあぷり・あぷり
	あいあぷり・あぷり
	てぃーしゃつ・しゃつ・ふく
	さいふ・かね・おかね
	けしょう・くちべに
	じーんず・ふく・ずぼん
	すのぼ・すのーぼーど・すぽーつ
	ちゃぺる・べる・かね
	どあ・とびら
	どるぶくろ・かね・おかね
	ぱそこん・ぴーしー
	らぶれたー・らぶめーる・てがみ・めーる
	れんち・しゅうり
	えんぴつ・めも
	おうかん・かんむり・おう
	ゆびわ
	すなどけい・じかん
	じてんしゃ・のりもの・ちゃり
	ゆのみ・おちゃ・ちゃ
	うでどけい・とけい・じかん
	かんがえる・かお・うーむ
	ほっ・かお
	ひやあせ・かお
	ひやあせ・かお
	いかり・かお・ぷー
	ぼけー・かお
	はーと・かお
	おーけー・て・おっけー
	あかんべ・かお・べー
	うぃんく・かお
	うれしい・かお・にこ
	がまん・かお
	ねこ・どうぶつ
	なみだ・かお・なき
	なみだ・かお・なき
NG	えぬじー・だめ
	くりっぷ・てんぷ
©	
TM	
	はしるひと・だっしゅ・はしる・にげる
秘	まるひ・ひみつ
	りさいくる
®	
	きけん・ちゅうい
禁	きんし
空	くうしつ・くうせき・くうしゃ・あき
合	ごうかく
満	まんしつ・まんせき・まんしゃ・いっぱい
	やじるし・や
	やじるし・や
	がっこう
	なみ・うぇーぶ・うみ
	ふじさん・やま
	くろーばー・はな
	さくらんぼ・はな・ちぇりー
	ちゅーりっぷ・はな
	ばなな・たべもの
	りんご・たべもの
	め・はな

	読み
	もみじ・はな
	さくら・はな
	おにぎり・おむすび・たべもの
	しょーとけーき・けーき・たべもの
	とっくり・おちょこ・さけ・かんぱい
	どんぶり・ごはん・たべもの・しょくじ

	読み
	ぱん・しょくじ・たべもの
	かたつむり・どうぶつ
	ひよこ・どうぶつ
	ぺんぎん・どうぶつ
	さかな・どうぶつ
	うまい・たべる・かお
	にやり・かお・わらい

	読み
	うま・どうぶつ・けいば
	ぶた・どうぶつ
	わいんぐらす・わいん・さけ・かんぱい
	げっそり・さけび・むんく・かお

※ 読みのない絵文字は、絵文字入力でのみ入力可能なものです。

■絵文字熟語読み一覧

予測変換方法で入力した場合、読みによっては、複数の絵文字を組み合わせた絵文字熟語に変換することもできます。

読み	絵文字熟語
おたんじょうびおめでとう／はっぴーばーすでー	
るんるん	
わーい	
るるるー	
きゃぴきゃぴ	
めろめろ	
わくわく	
はっぴー	
うきうき	
らぶらぶ	
どきどき	
やったー	
だいすき	
わおっ	
がっかり	
しくしく	
しょんぼり	
ぷんぷん	
がーん	
きらい	
しょっく	
つかれた	
すやすや	
おはよう	
こんにちは	
はろー	
こんばんは	
おやすみ	
ばいばい	

読み	絵文字熟語
たのしみ	
おつかれさま	
ありがとう	
ごめんね	
がんばろう	
ひさしぶり	
げんき？	
にんまり	
らぶりー	
すてき	
うれしい	
かなしい	
おいしい	
はやく	
いそいでいる	
ゆっくり	
ほんとうにはやく	
もうだっしゅ	
つうきん	
しはつ	
しゅうでん	
まんいんでんしゃ	
どらいぶ	
じゅうたい	
がすけつ	
かえる	
だんしこう	
じょしこう	
だいがく	

次ページにつづく

読み	絵文字熟語
しょうがっこう	
てすとべんきょう	
てすとはんい	→ ←
もうべんきょうちゅう	中
がっこうがやすみ	FREE
しりょくけんさ	C ←
ざんぎょう	
かえれない	
じゅうようしょるい	
きゅうりょうかっと	
のんびり	Y
きがえる	
ひとりぐらし	
やちん	
ろくが	
ゆめのなか	zzz zzz
ばくすい	zzz
おふろにはいる	
すかっ	
さいこう	
さいあく	
ほんとうにつらい	
おこったぞ	
おこったぞ	
げきど	
きれそう	
りょうかい	
らじゃー	
あそぼう	
だいじょうぶ	
よろしく	
おねがい	
おっけー	OK
ほのぼの	
わかった	
あそびにいく	
よっぱらう	
ばかんす	
ぱちんこ	7 7 7
でぃーじぇー	

読み	絵文字熟語
れすとらん	
えすて	
なんぱ	
らいぶはうす	
ごうこん	
しんかんこんぱ	NEW
いけめん	
いけめん	
ひとめぼれ	。
としした	
としうえ	
こいのよかん	
えんきょりれんあい	～
やきもち	
ふたまた	
えんをきる	
けっこん	
なやみちゅう	中
おんしんふつう	
かっぷる	
でーと	
ちこく	
まくどなるど	M
てをつなぐ	
はなび	～
かんぱい	
くりすます	
えきまえ	
となり	
いどうじかん	ID
くやしい	
うるさい	
びっくり	。 !!
うらやましい	。
はれめ	。
まじで？	。
さみしい	
たいへん	
はらいた	
なつばて	夏 ○

読み	絵文字熟語
ふらふら	
ごうきゅう	
のみすぎ	
めにくま	
めーるそうしん	
うれしめーる	
うれしめーる	
らぶめーる	
はやめーる	
りれーめーる	
しーくれっとめーる	
あつい	
ひじょうにあつい	
おおゆき	
さむい	
ありがとう	

読み	絵文字熟語
ごめんなさい	
きいて	
おしえて	？
みみよりじょうほう	
おはよう	
よろしく	
ふぁいと	
こんばんにゃ	
こんばんわん	
わんぎり	～
ながでんわ	～
こくさいでんわ	～
ときがたつ	
おみやげ	

おしらせ

- 絵文字をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。なお、ｉモード端末であっても、相手の機種によっては正しく表示されないこともあります。

顔文字一覧

■顔文字読み一覧

顔文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。なお、「かお」または「かおもじ」と入力しch［通常変換］を押して変換すると、以下の顔文字がすべて変換候補に表示されます。

読み	顔文字
ありがと(う)	m(_ _)m
ばんざい	＼(^O^)／
わーい	(^O^)
	(´∀｀)
	(*^□^*)
	o(^▽^o)(o^▽^)o
	(≧▼≦)
おーい	(^O^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
	^o^ ;
にこ	(^-^)
	(*^_^*)
	(o‘∀‘o)
	(o^∀^o)
	(’∀’●)
	(●^-^●)
	(o ^▽^ o)
ちゅ	(^3^)/
	(^ ε ^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく	(^_-)
さよなら	(^_^)/~
	(´Д`)ノ~~
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^ ;
あせあせ	(; ^_^A
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・・;)

読み	顔文字
はてな	(・・?)
きらーん	(☆。☆)
しくしく	(T_T)
さよなら	(T_T)/~
いたた	(>_<)
	(＞＜)
えーん	(;_;)
	(´Д`)
	ΩÅΩ;
	(ノД<。)゜。
	゜。(p>Λ<q)。゜゜
	(T ω ヽ)
なぜ	(?_?)
がーん	(￣□￣;)!!
	(___;)
	Σ(￣□￣;)
えへん	(￣^￣)
む	(－＿－メ)
	o(￣^￣ o)
いかり	(｀´)
むか	(;-_-+
	(｀へ´)
	(^へ^;)
こそこそ	(・_・|
じーっ	(-_-)
きこえない	|(-_-)|
こまったもんだ	(￣～￣)ξ
ぶたー	)^o^(
こあら	(－Q－)
いっぷく	(^!^)y~
	(^.^)y-~~~
ほし	☆彡
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(~o~)／

読み	顔文字
ねむい	(ρ_-)ノ
めも	φ(..)
うん	(°_°)(。_。)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
ども	＼(^_^)(^_^)／
がまん	(;´∩`)
こんにちは	ヾ(=^▽^=)ﾉ
	(・∀・)ﾉ
	(●´∀`●)/
いいな	(o>ω<o)
	(@°▽°@)
	(m’□’m)
うーん	(￣～￣;)
てれる	(／_＼;)
	(*/ω＼*)
	(//∀//)
	(≧ω≦)
しあわせ	°+。(*´ ▽`)。+°
	ヽ(´▽`)/
	(*´∀`*)
なかよし	^ー^)人(^ー^
ごめん	(*ㅈ*)
いじいじ	φ(.. ;)
いじわる	ψ(`∀´#)
よろしく	☆ヽ(▽⌒*)
こまった	＞＜
やだ	(〇>_<)
へこむ	(´`)
	(´ω`)
びっくり	(○Д〇;)
	w(°0°)w
だっしゅ	ε=┏(・_・)┛

定型文一覧

カテゴリ		定型文			
①	インターネット	①	.co.jp	⑥	.go.jp
		②	.ne.jp	⑦	@docomo.ne.jp
		③	.com	⑧	http://
		④	.or.jp	⑨	https://
		⑤	.ac.jp	⓪	www.
②	顔文字1	①	^^;	⑥	(＞_＜)
		②	(^.^)	⑦	(^^ゞ
		③	＞^_^＜	⑧	(@_@)
		④	(;_;)	⑨	m(__)m
		⑤	(+_+)	⓪	(^－^)ノ~~
③	顔文字2	①	o(^ワ^)o	⑥	*￣0￣)ノ
		②	(o^－’)b	⑦	(￣^￣)y－~~
		③	＼(~δ~)／	⑧	(o`∀´o)
		④	(ρ_―)o	⑨	(`□´)
		⑤	(￣▽￣)v	⓪	(￥△￥;)
④	顔文字3	①	(≧ε≦)	⑥	(^・^)Chu♪
		②	(≧▽≦)ゞ	⑦	ι(◎д◎)ノべ
		③	(;□;)!!	⑧	ε=┏(;￣▽￣)┛
		④	(u_u)o〃	⑨	♪d(⌒○⌒)b♪
		⑤	=^ェ^=	⓪	ヘ(^－^)メ(^o^)ノ
⑤	あいさつ	①	おはようございます	⑥	お疲れさまでした
		②	おやすみなさい	⑦	お世話になっております
		③	昨日は、どうもありがとうございました	⑧	こんにちは
		④	行ってきます	⑨	こんばんは
		⑤	いってらっしゃい	⓪	よろしくお願い致します
⑥	ビジネス	①	直行します	⑥	本日の会議は中止となりました
		②	直帰します	⑦	出欠をご連絡ください
		③	休暇をとります	⑧	次の指示を待ってください
		④	半休します	⑨	携帯の電源を切ります
		⑤	電車遅延のため、遅れます	⓪	メールで連絡してください
⑦	プライベート	①	遊びに行こう	⑥	先に行きます
		②	飲みにいきませんか？	⑦	先に帰ります
		③	遅れます	⑧	時間です
		④	変更します	⑨	何してるの？
		⑤	中止です	⓪	どこにいるの？
⑧	返事	①	OKです	⑥	今忙しい
		②	NGです	⑦	後で連絡を入れます
		③	ありがとう	⑧	保留です
		④	ごめんなさい	⑨	キャンセルです
		⑤	待ってて！	⓪	時間がありません
⑨	自由定型文				

マルチアクセスの組み合わせについて

新たに発生した通信 / 現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		iモードを利用※1	iアプリを利用	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信			送信	受信
音声通話中	△※2	△※3	×	△※4	○	×	○	○
テレビ電話中	×	△※4	－	△※4	×	×	×	×※8
iモード中※1	○	○	△※5	△※6	－	○	○	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	×	×	×	△※7	×	×※8
64Kデータ通信中	×	△※4	×	△※4	×	×	×	×※8

新たに発生した通信 / 現在の通信状態	SMS		パケット通信		64Kデータ通信	
	送信	受信	送信	受信	送信	受信
音声通話中	○	○	○	○	×	△※4
テレビ電話中	×	○	×	×※9	×	△※4
iモード中※1	○	○	×	×	×	×
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	－	－	×	×
64Kデータ通信中	○	○	×	×	×	△※4

○:起動できます。　×:起動できません。　△:条件により起動できます。　－:機能的に実現しない組み合わせです。

※1：iチャネルの情報サイトの表示、フルブラウザ、トルカでの通信を含みます。
※2：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして発信することができます。
※3：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.311
※4：「キャッチホン」「留守番電話」「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.311
※5：iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※6：「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合、テレビ電話の着信に応答すると、iモード通信が切断されます。
※7：iアプリのソフトの通信はできません。
※8：iモードメールやメッセージR／Fは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージR／Fは通信終了後、「iモード問い合わせ」を行うと受信できます。
※9：不在着信履歴が残ります。

マルチタスクの組み合わせについて

現在の状態＼利用する機能	メール	iモードメニュー／iチャネル一覧	iアプリ	各種設定	データBOX	LifeKit	サービス
メールグループ起動中	○※2	○	○	○※8	○	○※12	○※15
iモードグループ起動中	○	×	○	○※8	○	○※12	○※15
iアプリグループ起動中	○	○※5	×	○※8	○※11	○※12	○※15
設定グループ起動中	○	○	○	×	○	○※12	×
ツールグループ起動中※1	○	○	○	○※8	×	×	○※15
ミュージックグループ	○※3	○※6	○※7	○※8	○※6	○※8	○※15
音声通話中	○※4	○※4	×	×※9	×	×※13	○※4※15※16※17
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×※14	×
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	○	○※8	○	○※12	○※15
64Kデータ通信中	○	○	×	×※9※10	×	○※8	○※15※16

現在の状態＼利用する機能	電話帳	ユーザデータ	MUSIC	カメラ	おサイフケータイ	マイセレクト
メールグループ起動中	○※18	○	○	○	○※8	○
iモードグループ起動中	○※18	○	○	○	○※8	○
iアプリグループ起動中	○※18	○	○	○	○※8	○
設定グループ起動中	○※18	○	○	○	○※8	○
ツールグループ起動中※1	×	×	○※8	×	○※8	○
ミュージックグループ	○※18	○	×	○※21	○※8	○
音声通話中	○※4※18	○※4※19	×	○※4※22	×※20	○※4
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○※18	○	×	○	○※8	○
64Kデータ通信中	○※18	○※19	×	○※22	×※20	○

○：起動できます。　×：起動できません。

※1　：「赤外線受信」、「microSD管理」、「FOMAカード（UIM）操作」のときは利用できません。
※2　：「iモードメール作成」および「SMS作成」を同時に利用することはできません。
※3　：ミュージック再生中は、メールの読み上げ機能は利用できません。また、添付ファイルのメロディを再生するなど、音を鳴らす操作はできません。
※4　：通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えている間は利用できません。
※5　：iモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルはダウンロードできません。
※6　：ミュージックプレーヤー再生中は、メロディやiモーションを再生するなど、音を鳴らす操作はできません。
※7　：「Music&Videoチャネル」、「ミュージックプレーヤー」の再生は一時停止します。
※8　：機能によっては利用できません。
※9　：「ポーズダイヤル」、「ボタン確認音」、「ICカードロック設定」のみ利用できます。
※10：「テレビ電話切替通知」のみ利用できます。
※11：静止画の編集、microSDメモリーカードへのコピー、動画の編集、転送、FOMA端末本体⇔microSDメモリーカードへのコピー／移動、着うたフル®のFOMA端末本体⇔microSDメモリーカードへの移動は利用できません。
※12：「赤外線受信」、「microSD管理」、「おしゃべり機能」、「FOMAカード（UIM）操作」は利用できません。
※13：「バーコードリーダー」、「カメラ」、「電話帳お預りサービス」、「スケジュール」、「To Doリスト」、「テキストメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」、「マイプロフィール」、「テキストリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連続撮影」のみとなります。
※14：[メモ]を1秒以上押した場合のみ「通話中音声メモ」が利用できます。ただし、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えている間は利用できません。

次ページにつづく

※15：「着もじ」は利用できません。2in1の設定状態により「電話帳2in1設定」などの機能は利用できません。
※16：「留守番電話」の再生はできません。また、サービスダイヤル（P.311）と特番（P.317）に発信する操作はできません（USSDを利用しての操作はできます）。
※17：「発信者番号通知」、「2in1設定」は利用できません。
※18：「個別着信動作選択」は利用できません。
※19：「定型文」、「ユーザ辞書」、「ダウンロード辞書」は利用できません。
※20：「トルカ」、「ICカードロック設定」、「ｉモードで探す」のみ利用できます。
※21：ミュージックプレーヤー再生中はカメラの起動ができません。
※22：「フォトモード」、「連続撮影」のみ利用できます。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2008年1月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2008年1月現在）
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（ＮＴＴ営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02※2
- 平型ステレオイヤホンセット P01※2
- 骨伝導レシーバマイク 01※2
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA ACアダプタ 01／02※4
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースS 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02※3
- FOMA補助充電アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※5
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- FOMA室内用補助アンテナ※6
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※6
- 車内ホルダ 01※7
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※4
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 卓上ホルダ SO09
- 電池パック SO03
- リアカバー SO10
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- スタイルアップパネル SO03

※1：FOMA SO705iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※2：FOMA SO705iと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※3：USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4：ACアダプタの充電方法について→P.43、44
※5：FOMA SO705iをUSB接続／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※6：日本国内で使用してください。
※7：FOMA SO705iを車内ホルダに取り付ける際は、「車内ホルダ01　取扱説明書」に記載されている使用方法②の表「5段目」に取り付けてください。

動画再生ソフトのご紹介

- パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、Apple Inc.のQuickTime Player（無料）ver. 6.4以上（またはver. 6.3+3GPP）が必要です。
- QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
  - ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
  - 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

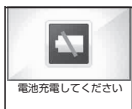
故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.372
- 以下の表では、青字が現象、黒字が現象に対するチェック箇所と参照ページです。

FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.42
- 電池切れになっていませんか。→P.45

右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている

- 電池が切れました。充電してください。→P.43、45

「圏外」の表示が出て電話がかけられない

- サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。→P.46

あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号（P.334）を押しても機能を呼び出すことができない

- メインメニューのテーマを「スタンダードメニュー」に設定してから操作してください。→P.34

ダイヤルボタンを押しても発信できない

- 「発信・メール送信」の「ダイヤル発信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.117
- キー操作ロック中ではありませんか。→P.118
- 指定発信制限設定中ではありませんか。→P.120

ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない

- 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。→P.50
- 市外局番を忘れていませんか。→P.50
- 「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。

着信できない　または　着信音が鳴らない

- 以下の機能を設定していませんか。
  個別着信動作選択→P.120
  - 指定着信拒否
  - 指定着信許可
  - 指定転送でんわ
  - 指定留守番電話

  呼出時間表示設定→P.122
  - 無音時間設定

  登録外着信拒否→P.122
  非通知着信設定→P.122
  - 通知不可能拒否
  - 公衆電話拒否
  - 非通知設定拒否
- マナーモード設定中ではありませんか。→P.92
- 公共モード（ドライブモード）設定中ではありませんか。→P.65
- 「着信・メール受信表示」の「着信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.117
- セルフモード設定中ではありませんか。→P.123
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。→P.306、308
- 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。→P.309
- デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。→P.310
- 着信音量を「消去」に設定していませんか。→P.64
- 伝言メモの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→P.67

メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。→P.122

発信履歴／リダイヤル、送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう

- 「個別着信動作選択」の「指定発信制限」を設定しませんでしたか。→P.120

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る

- 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.89

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される

- 各機能の着信の設定が重なった場合、画像は優先順位に従って動作します。→P.89

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンで着信ランプが動作する

- 各機能の着信ランプの設定が重なった場合、着信ランプは優先順位に従って動作します。→P.99

動画／ｉモーションや着うたフル®の表示、再生に時間がかかる

- 「移行可能コンテンツ」フォルダに保存された動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。
  「移行可能コンテンツ」フォルダに保存されたデータの場合、表示や再生に時間がかかることがあります。

動画／ｉモーションや着うたフル®をmicroSDメモリーカードにコピー、移動できない

- 部分的に保存された着うたフル®ではありませんか。→P.267
- 再生制限（回数、期間、期限）の切れた動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。→P.226、P.267

着信画面や着信音がお買い上げ時の設定で動作する

- 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。

メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る

- 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.89
- 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。→P.89

● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定してください。→P.82
● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定していますか。→P.82
● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定の着信音設定が有効となります。→P.82

画像やｉモーション、ミュージック、Music&Videoチャネルの替わりにアイコンが表示される

● 以下のアイコンなどが表示された場合は、利用している機能で選択できない画像やｉモーション、ミュージック、Music&Videoチャネルです。ほかのデータを選択してください。→P.225、232、264、267

メールを受信したときにメールに設定した着信ランプの色と違う色で点滅する

● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信ランプは優先順位に従って点滅します。→P.99
● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されているメール着信設定のランプ設定に従って着信ランプが点滅します。→P.99
● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定のランプ設定でランプの色を設定してください。→P.82
● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定のランプ設定でランプの色を設定していますか。→P.82
● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定のランプ設定が有効となります。→P.82

充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない）

● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.42
● アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。→P.44
● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか）。

電池の使用時間が短い

● 電池パックの寿命がきていませんか。また、使用環境などによっては電池パックの寿命が短くなることがあります。→P.43
● FOMA端末の使い方によって電池の使用時間は変化します。→P.43

ボタン確認音が出ない

●「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。→P.90
● マナーモード設定中ではありませんか。→P.92

エニーキーアンサーで音声電話やテレビ電話に出ることができない

●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。→P.63
● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。

通話中、相手の声が聞こえにくい

● 受話口と耳の位置がずれていませんか。→P.24
● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。
● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。
●「受話音量」の設定を変更していませんか。
聞き取りやすい音量に変更してください。→P.64

通話中、相手の声が大きすぎる

●「受話音量」の設定を変更していませんか。
聞き取りやすい音量に変更してください。→P.64

FOMA端末を折り畳んでいるときに、サイドボタンを押しても操作できない

● キー操作ロック中ではありませんか。→P.118
●「サイドボタン設定」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。→P.120

FOMA端末を折り畳んでいるときに、[メモ▶]を押しても不在着信などの確認ができない
[メモ▶]を1秒以上押してもミュージックプレーヤーが起動しない

●「不在／新着確認設定」を「OFF」に設定していませんか。→P.67
● キー操作ロック中ではありませんか。→P.118
●「サイドボタン設定」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。→P.120

ディスプレイが見にくい

● バックライトの明るさの設定を「暗め」に設定していませんか。→P.96
●「シールドビュー」を「ON」に設定していませんか。→P.96

ディスプレイ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない

● バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。→P.96
● [5]を1秒以上押してバックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。
メールの作成中などにも、[5]を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。

電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう

● 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。

[電源]を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる

● 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。→P.81

次ページにつづく

ディスプレイに何も表示されない
- 省電力モードに設定していませんか。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。→P.96

サブディスプレイに何も表示されない
- 「イルミネーション設定」を「OFF」に設定していませんか。→P.98

着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない
- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われません。→P.122

SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない
- 電話帳の電話番号欄（☎）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。→P.76

メールが自動振分けされない
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。→P.181
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメインまですべて登録しないと振り分けされません。→P.181

メールを自動で受信しない
- メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。→P.172、185

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールやデータ通信ができない
- USBモード設定を「microSDモード」や「MTPモード」に設定していませんか。「通信モード」に設定してください。→P.249

データ転送が行われない
- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

MTPモードでパソコンと接続できない
- ほかのFOMA端末で作成したmicroSDメモリーカードはご使用になれません。

ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネルに接続できない
- 「接続先選択」を「ｉモード」以外に設定していませんか。→P.156
- ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない
- 「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。→P.91
- 「着信・メール受信表示」の「メール／メッセージ受信表示」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.117
- 「受信時動作設定」を「操作優先」に設定していませんか。→P.185

送信したメールが送信BOXに残らない
- メール連動型ｉアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。
  メール連動型ｉアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。→P.178、181

受信したメールが受信BOXに残らず、「✉（白色）」が消えない
- 受信BOXの中のメール連動型ｉアプリのフォルダに「📁」が表示されていませんか。またはメール連動型ｉアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。
  該当するメール連動型ｉアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。→P.178、181

メール送信中に切断され、SMSを受信したもう一度操作しようとするとメッセージが表示される
- 一定時間内に著しく大量のデータ通信が多いと切断されSMSで通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージに従ってください。

外側カメラで撮影すると画像がちらつく
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「ちらつき軽減」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減することができる場合があります。→P.131

外側カメラで撮影した静止画や動画が白っぽくなる
- 「ちらつき軽減」の設定を「モード1（50Hz地域）」または「モード2（60Hz地域）」に変更したまま屋外などの明るい場所で撮影していませんか。「ちらつき軽減」の設定を「自動」に戻してください。→P.131

撮影した静止画や動画がぼやけてしまう
- 外側レンズのレンズ切替スイッチを通常撮影時は●（標準レンズ）に、接写撮影時は🌷（マクロレンズ）に切り替え、接写モードにしてください。→P.126
- 撮影する場面に合ったモードを設定してください。→P.130

画像表示しようとすると「☒」が表示される　または　デモやプレビューで「☒」が表示される
- 画像データが壊れている場合は「☒」が表示されることがあります。

ボタンを押したときの画面の反応が遅い
- FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、microSDリーダー／ライター機能で容量の大きいデータをやりとりしたときなどに起こる場合があります。

チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる

● チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。

■海外利用時の場合

画面に「圏外」や「select net」が表示されたままで国際ローミングサービスが利用できない

● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。
● 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
● 日本国内から海外へ移動した後にはじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。
● 「ネットワークサーチ設定」でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P.329

音声電話やテレビ電話がかかってこない

● 「ローミング時着信規制」を「開始」に設定していませんか。→P.331
● 「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。→P.71

相手の電話番号が通知されてこない
相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる
電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。
また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

こんな表示が出たら

●以下の表では、青字がエラーメッセージ、黒字がエラーメッセージに対する説明／対処方法と参照ページです。
●エラーメッセージは数字、英字、五十音順に記載しています。
●エラーメッセージ中の（ ）内の数字は、ｉモードセンターのエラー識別コードです。

「“●▲■.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信できません（555）Unable to send. “●▲■.ne.jp”is not available temporarily.」

※ドメイン名については送信先により表示が異なります。
● 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから操作し直してください。

「1件コピーできませんでした」

● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。

「BOXロック設定中です　削除できません」

● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリで利用しているフォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリが利用しているフォルダを削除できません。メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリのフォルダを削除する場合は、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。
メール連動型ｉアプリのみ削除する場合は、ｉアプリ削除時に、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されたら「NO」を選択します。→P.120

「BOXロック設定中のためダウンロードできません」

● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリで利用しているフォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップできません。メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップする場合には、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。→P.120

「FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした」

● FOMAカード動作制限機能によって制限されているｉアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。→P.40

「FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません」

● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのショートカットアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。→P.40
● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選択して実行しようとしたときに表示されます。→P.40

「FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」

● FOMAカード動作制限機能によって制限されているｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。→P.40

「FOMAカード（UIM）読み込み中です　起動できません」

● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。

「FOMAカード（UIM）を挿入してください」

● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。→P.40

「FOMAカード情報が一致しないためダウンロードできません」
「FOMAカード情報が一致しないため移動できません」
「FOMAカード情報が一致しないため保存できません」
「FOMAカード情報が一致しないため起動できません」
「FOMAカード情報が一致しないため削除できません」
「FOMAカード情報が一致しないためバージョンアップできません」

● 挿入しているFOMAカードと FeliCa に登録されているFOMAカード情報が異なる場合、おサイフケータイ対応ｉアプリを操作しようとしたときに表示されます。

「ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？」
「ICカード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？」
「ICカード内データがいっぱいのため起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？」
「ICカード内データがいっぱいのため移動できません　いずれかのサービスを削除しますか？」

● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、microSDメモリーカードから移動する際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、そのサービスを削除することで確保できる容量（バイト数）、不足エリアサイズが表示されますので、削除するサービスを選択し、メッセージに従いｉアプリを起動してサービスを削除してください。

「ｉアプリTo設定されていません」

● サイト、メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード、トルカからソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できない場合に表示されます。→P.205

「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」

● ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択し、通信を行わない場合は「通信しない」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。

「ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？」

● 「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」と表示されたときに「通信しない」または「ｉアプリ終了」を選択した場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。

「ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています」

● 「ｉモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためｉモード問い合わせができません。
「ｉモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。→P.186

「microSDが挿入されていません」

● microSDメモリーカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。microSDメモリーカードがFOMA端末に正しく取り付けられているか確認してください。→P.242

「microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」

● microSDメモリーカードのチェックディスクを行ってください。→P.245

「PIN1コードがロックされています」

● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。■を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。→P.109

「PINロック解除コードがロックされています」

● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。→P.108

「SSL通信が切断されました」

● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。

「SSL通信が無効です」

● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。

「SSL通信が無効に設定されています」

● 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。→P.156

「SSL/TLS通信が無効です」
- SSL／TLS通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。

「SSL/TLS通信が無効に設定されています」
- 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。→P.156

「URLが長すぎて登録できません」
- URLが半角256文字を超えるため、ブックマークやホームURLへの登録ができません。

「URLに誤りがあります」
- 「URL入力」や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。→P.149、155、218

「応答がありませんでした(408)」
- サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してください。

「同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません　該当するサービスを削除しますか？」
「同じサービスを利用するソフトがあるため移動できません　該当するサービスを削除しますか？」
「同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか？」
- 同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスをダウンロードやバージョンアップ、microSDメモリーカードからの移動ができません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。

「おまかせロック中です」
- おまかせロックが設定されています。おまかせロック設定中は、音声電話／テレビ電話の着信、電源を入れる／切るの操作を除き、すべてのボタン操作がロックされます。→P.110

「海外でご利用の場合　Bナンバー発信はできません　Aナンバー発信します」
- 2in1のモードがBモードのとき、海外から電話の発信操作を行った場合に表示されます。Aナンバーで電話番号を非通知にして発信する場合は「非通知発信」を選択します。

「該当するデータはありません」
- 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。

「外部ICカードが見つかりません」
- ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、タイムアウトにより認証できなかった場合に表示されます。→P.119

「画像に誤りがあり正しく動作しません」
- 画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。

「切替できません」
- 音声通話中にテレビ電話に切り替えようとしたとき、相手側がパケット通信中（ｉモード含む）などの理由で切り替えできない場合に表示されます。相手側の状況を確認して再度切り替え操作を行ってください。→P.53

「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します」
- サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。→P.145

「圏外です」
- サービスエリア外や電波が届かない場所で、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「Yıll」が表示される場所まで移動してｉモードのサービスをご利用ください。→P.46

「このｉモーションは再生可能回数が終了しました」
- 再生回数が終了したｉモーションのショートカットアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。

「このｉモーションは再生期限が切れました」
- 再生期間または再生期限が終了したｉモーションのショートカットアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。

「このカードは使用できません」
- 本FOMA端末に対応していないmicroSDメモリーカードです。対応しているmicroSDメモリーカードを使用してください。→P.241

「このカードは認識できません」
- 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。→P.40

「この外部ICカードは解除できません」
- ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、登録されていない非接触ICカードをFeliCaマークに重ね合わせた場合に表示されます。→P.119

「このサイトとのSSL通信は無効です」
- 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL通信できません。

「このサイトとのSSL/TLS通信は無効です」
- 書き換えられたSSL／TLS証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL／TLS通信できません。

「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」
- サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。

「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」

- 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。
- 「時計設定」が行われていない場合にSSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。→P.47

「このスケジュールは登録できません」

- すでに設定されている日付、時刻に対するスケジュールと同じ日付、時刻のスケジュールを「追加1件コピー」したときや、赤外線、iC通信またはケーブル接続で受信したときに表示されます。

「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」

- 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。
- SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。→P.146

「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」

- SSL証明書のCN（名前）が一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。

「このデータは再生できない可能性があります」

- MP4（Mobile MP4）形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。

「これ以上機能を起動できません」

- ほかの機能を終了してから操作をしてください。

「サービスがいっぱいです　上書きされたサービスの曲は再生できなくなります　上書きしますか？」

- 登録できるミュージック（会員制）サービスの上限値を超えている場合に表示されます。「YES」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。

「サービス未契約です」

- ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。
- ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」

- 再生回数が終了したｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。

「再生可能期限が切れました　削除しますか？」

- 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。

「再生制限データに誤りがあるため取得できません」

- 部分的に取得した着うたフル®の再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため、残りのデータが取得できません。部分的に保存されていたデータも削除されます。

「最大サイズを超えたので中断しました」

- サイト（ｉモード、フルブラウザ）やインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。
- メロディやダウンロード辞書、キャラ電などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。

「最大サイズを超えています　受信できません(452)」

- 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。

「最大フレーム数を超えたので中断しました」

- フルブラウザで表示できるフレーム数を超えているため、インターネットホームページを表示できません。

「サイトが移動しました（301）」

- サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークやショートカットアイコン、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。
→P.101、150、155、221

「サイトに接続できませんでした(403)」

- 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「削除される添付ファイルがあります」

- 転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。■を押すと、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが削除されます。

「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」

- 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。

「指定サイトがみつかりません(404)」

- サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。

「指定されたソフトがありません」

- メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカードからのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。

「指定されたデータがありません　ショートカットアイコンを削除しますか？」

- 削除されたデータのショートカットアイコンを選択して起動しようとしたときに表示されます。

「指定したサイトへは接続できませんでした(504)」

- 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「指定の宛先には送信できません」
- 宛先に「,」が含まれているため送信できません。「,」を削除してください。
- 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。
- 数字と「#」「*」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「#」「*」以外の文字やスペースを削除してください。

「指定発信制限設定中です」
- 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。→P.120

「しばらくお待ちください」
- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、iモードをご利用ください。
なお、110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

「しばらくお待ちください（パケット）」
- パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

「上限額を超過しているため接続出来ません」
- リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えています。

「すでに他の機能が起動中です　起動できません」
「すでに他の機能が起動中です　設定できません」
- ほかの機能が起動しているときに、利用できない操作をしようとしたときに表示されます。

「セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました」
「セキュリティエラーのため終了しました」
- 許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリやｉアプリ待受画面（ｉアプリDXを含む）が終了したときに表示されます。→P.197、206

（赤外線通信中／ｉC通信中に）
「接続相手が見つかりません　続けますか？」
- 接続相手を発見／認識できません。赤外線通信の場合は赤外線ポートを向かい合わせて置いてください。ｉC通信の場合は FeliCa マークを確認してもう一度重ね合わせてください。「YES」を選択し、■を押すともう一度やりなおすことができます。→P.255、257

「接続が中断されました」
- 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。→P.46
- 電波が強く「📶」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。

「接続できません」
- 接続先の設定が正しくないときに表示されます。アプリケーション通信設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。→P.156
- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「接続できませんでした」
- 「発信者番号通知」を「通知する」に設定しておかけ直しください。→P.47

「設定時間内に接続できませんでした」
- 「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。→P.155

「全コピーできませんでした」
- 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。

「送信できない宛先があります」
- 複数の宛先にｉモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。

「送信できなかった宛先があります（561）」
- 一部の宛先にメールが正しく送信できませんでした。

「送信できませんでした　宛先を確認してください（451）」
- 指定した宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。→P.164

「ソフトに誤りがあります」
「ソフトに誤りがあるため移動できません」
「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」
「ソフトに誤りがあるためバージョンアップを中止しました」
- ソフトのデータが不正のため、ダウンロードやバージョンアップ、microSDメモリーカードからの移動ができないときに表示されます。

「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」
- ソフト起動中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。

「対応機種ではありません」
- 取得しようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないためダウンロード、microSDメモリーカードからの移動ができないときに表示されます。

「対応していないコンテンツがあります」
- バーコードリーダーで読み取った情報に、本FOMA端末で対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。

「対応ソフトが削除されています　フォルダ内表示を参照してください」
- 選択したメールフォルダに対応するメール連動型ｉアプリが削除されているため、ソフトを起動できません。機能メニューからフォルダ内のメールを参照してください。→P.181

「ダウンロードできませんでした」

● メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書などをダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。

「ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい」

● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

「端末暗証番号が違います」
「端末暗証番号は4～8桁です」

● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。→P.108

「チャネル情報取得失敗のため表示できませんでした」

● お買い上げ後はじめてチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、またはｉチャネル初期化、ｉチャネルの接続先URLの変更、端末初期化、FOMAカードの差し替えの操作を行った後にチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、ｉチャネルの情報が取得できなかった場合に表示されます。「[アンテナ]」が表示される場所まで移動して、もう一度チャネル一覧画面を表示してください。→P.161

「注意！　電話番号やURLの記述があります。　送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。」

● 「スキャン機能」の「メッセージスキャン」を「ON」に設定し、本文に電話番号やURLが含まれているSMSを表示しようとしたときに表示されます。送信元を確認後、SMSの本文を表示する場合は[■]を押してください。→P.378

「通信回数が多くなっています　クリアボタンを押して確認を行ってください」

● ｉアプリ待受画面からの通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。[CLR]を押すと、ｉアプリ待受画面からの通信を許可する、許可しない、あるいはｉアプリ待受画面を終了させるかを選択することができます。→P.206

「通話中です　起動できません」
「通話中です　操作できません」

● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。→P.277、356、357

「データ取得できませんでした」

● 通信によりデータを取得しようとしたときに、データ不正や通信エラーが起きた場合などに表示されます。

「転送先番号を設定してください」

● 転送でんわサービスをご契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。→P.308

「添付ファイルが削除されます」

● 受信したｉモードメールを引用返信しようとしたときに、元のｉモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。また、転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのみ添付されている場合にも表示されます。[■]を押すと、添付ファイルが削除されます。

「添付ファイルを登録できません」

● 赤外線通信、ケーブル接続の通信、microSDメモリーカードからのコピーで登録できない添付ファイル付きメールを受信したときに表示されます。

「入力データまたはURLが長すぎます」

● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。→P.147

「入力データをご確認ください(205)」

● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。[■]を押すと入力した文字や設定が取り消されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。

「認証タイプに未対応です（401）」

● 認証できないときに表示されます。[■]を押すと元のページに戻ります。

「認証を中止しました(401)」

● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。

「ネットワーク暗証番号が誤っています」

● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。→P.108

「パスワードをご確認ください（401）」

● 「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選択します。

「発信／着信機能オリジナルロック設定中です」

● 「発信・メール送信」にオリジナルロック設定中に禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。→P.117

「非対応データのため取得できません」

● ｉモーション以外のデータや非対応のｉモーションを取得しようとしたときに表示されます。

「フォルダロック設定中です　削除できません」

● 説明／対処方法は「BOXロック設定中です　削除できません」（P.363）をご覧ください。

「フォルダロック設定中のためダウンロードできません」

● 説明／対処方法は「BOXロック設定中のためダウンロードできません」（P.363）をご覧ください。

「編集中のため削除できません」

● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。

「本機で使用できるフォーマットがされていません」

● microSDメモリーカードがフォーマットされていないなどの異常です。microSDメモリーカードをフォーマットし直してください。→P.249

「無効なデータを受信しました」「無効なデータを受信しました（XXX）」

● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。

「メモリ番号：XXX書き換えできません」

● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。→P.111

「メモリ不足です」

● メモリが不足したため、処理の継続ができないときに表示されます。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。

「メモリ不足です　iモードメニューに戻ります」

● メモリが不足したため、処理を中断します。■を押すとiモードメニューに戻ります。

「メモリ不足です　終了します」

● メモリが不足したため処理を中断します。iモードメール作成時の場合、タスクの起動数、文字の種類の組み合わせなどによっては全角で5,000文字まで入力できないことがあります。

「文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません」

● iモードメール転送時に、冒頭文／署名を貼り付けると全角で5,000文字を超えてしまうため、冒頭文／署名が自動貼り付けされなかったときに表示されます。

「文字数がオーバーします　作成可能サイズまで本文を削除してください」

● 引用返信するiモードメールの本文と引用符の合計が全角で5,000文字を超えるため全角で5,000文字以下になるまで本文を削除してください。

「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」

● 本文と署名の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。

「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」

● 本文と冒頭文の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。

「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」

● ユーザ証明書がダウンロードされていません。「YES」を選択することでサイトを表示することができますがサイトによっては継続できないことがあります。→P.157

「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」

● サイトからユーザ証明書が要求されましたが有効期限が切れています。「YES」を選択することで継続できる場合がありますが、新しくユーザ証明書をダウンロードすることをおすすめします。→P.157

「ユーザ証明書を送信します　よろしいですか？」

● サイトからユーザ証明書が要求されました。ユーザ証明書を送付する場合は「YES」を、しない場合は「NO」を選択してください。

「容量不足です　移動できません」

● シークレットフォルダにデータを保管または出す場合、移動先のフォルダの容量がいっぱいのときに表示されます。保存先のデータを消去してから移動し直してください。→P.112、114

「読み込みできませんでした」

● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。

「読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？」

● 「自動読取設定」を「OFF」に設定した状態でFeliCaマークを読み取り機にかざした場合に表示されます。「YES」を選択すると、自動読取機能を利用できます。→P.214

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本 FOMA 端末は、電話帳などのデータやｉモーション、ｉアプリの利用するデータを microSD メモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.324）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■お願い

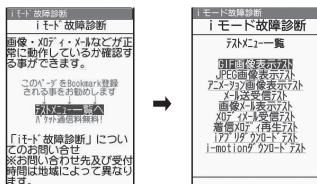
- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　テストメニュー画面

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

・ｉ▶「ｉMenu」▶「お知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」

サイト接続用QRコード

● ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
　※海外からのアクセスの場合は有料となります。
●FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
●各テスト項目で動作をご確認いただく際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
● ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
●ご確認いただいた結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する 〈ソフトウェア更新〉

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新します。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内いたします。

●ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
●更新方法には「自動更新」「即時更新」「予約更新」の3種類があります。
　自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
　即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
　予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
● ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
●ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
●ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効。設定方法は→P.156）。
●ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。

● ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

●「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。

● 以下の場合はソフトウェア更新のソフトウェアをダウンロードできません。

- FOMAカード未挿入時
- FOMAカードの不正
- PINロック中
- PINロック解除コードロック中
- 日付・時刻未設定時
- おまかせロック設定中
- セルフモード設定中
- 「圏外」時
- パケット発信規制中
- デュアルネットワークサービスでmova端末利用中
- 64Kデータ通信中
- 国際ローミング中

他機能を利用中に予約更新の予約時刻になった場合は、機能終了後にダウンロードを開始します（機能により開始できない場合があります）。

● 以下の場合はソフトウェア更新の書換えができません。

- おまかせロック設定中
- 他機能を利用中

自動更新の書換えの開始に失敗した場合は、自動更新設定の時刻（翌日または1週間後）に再度、書換えを実行します。

● ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。

● すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。

● ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。

● ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

● ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

おしらせ

● ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。

● ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。

● 即時更新、予約更新の場合、お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「」（ソフトウェア更新完了）のショートカットアイコンが表示されます。「」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新を自動で行う 〈自動更新〉

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。書換え可能な状態になると待受画面に（書換え予告アイコン）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えを行うかどうかを選択することができます。

●お買い上げ時は、「自動で更新」（曜日：指定なし、時刻：03:00）に設定されています。

1 **MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力**

ソフトウェア更新機能一覧画面

2 **「自動更新設定」▶「自動で更新」▶[i]［確定］**

新しいソフトを自動でダウンロードし、待受画面に（書換え予告アイコン）が表示されます。

■ **更新の曜日や時刻を変更する場合**

▶「曜日」または「時刻」を選択して設定▶[i]［確定］

■ **更新の通知のみを行うように設定する場合**

▶「更新の通知のみ」を選択▶[i]［確定］

ソフトウェア更新が必要な場合に、待受画面に（更新お知らせアイコン）を表示します。

■ **自動更新を設定しない場合**

▶「設定しない」を選択▶[i]［確定］▶「YES」

3 **待受画面表示中▶[■]▶「」を選択**

4 **「OK」**

予約時刻になると書換えを開始します。→P.376

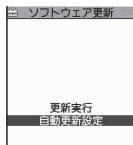
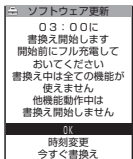
ソフトウェア更新
03：00に
書換え開始します
開始前にフル充電して
おいてください
書換え中は全ての機能が
使えません
他機能動作中は
書換え開始しません
OK
時刻変更
今すぐ書換え

■ **書換え更新の時刻を変更する場合**

▶「時刻変更」を選択して設定▶[i]［確定］

■ **すぐにソフトウェア更新を実行する場合**

▶「今すぐ書換え」▶端末暗証番号を入力

「すぐにソフトウェアを更新する」の操作2（P.375）に進みます。

おしらせ

● （更新お知らせアイコン）はドコモから通知があった場合や予約更新に失敗した場合などに表示されます。

ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには、待受画面に表示された（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法と、メニュー画面から行う方法があります。

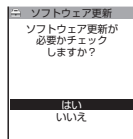
● （更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェア更新を起動する

1 **待受画面表示中▶[■]▶「」を選択**

2 **「はい」**

■ **ソフトウェア更新を起動せずにを消去する場合**

▶「いいえ」▶「はい」

3 **端末暗証番号を入力**

4 ソフトウェア更新が必要かチェック

このとき、FOMA端末固有の情報をサーバに送信する必要があります。

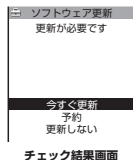
5 チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

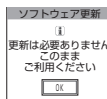
▶「今すぐ更新」または「予約」

すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.375

あとから更新する場合は「予約」を選択します。→P.376

チェック結果画面

■「更新は必要ありません」と表示された場合

▶「OK」

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

● メニューからソフトウェア更新を起動する

1 MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

ソフトウェア更新機能一覧画面（P.374）が表示されます。

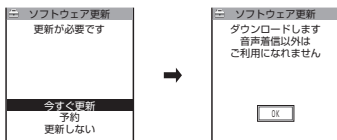
2 「更新実行」

「（更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェア更新を起動する」の操作4（P.375）に進みます。

すぐにソフトウェアを更新する 〈即時更新〉

1 チェック結果画面（P.375）▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら「OK」

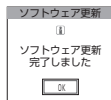
すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。

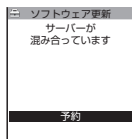
「OK」を選択しなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 ダウンロードが終了し「書換え開始します」と表示されたら「OK」

ソフトウェアの更新を開始します。

「OK」を選択しなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。

ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら「OK」を選択します（自動更新の場合は表示されません）。これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

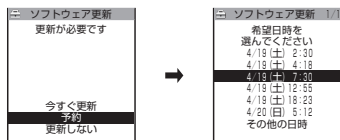
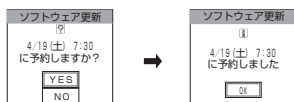
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- 書換え中に電源が切れた場合でも、電源が回復すると書換えが再開されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- サーバが混み合っている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。

日時を予約してソフトウェアを更新する 〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

<例：4月19日（土）7：30に予約する場合>

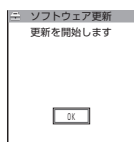
1 チェック結果画面（P.375）▶「予約」▶希望日時を選択

■ 希望する日時が見つからない場合

▶「その他の日時」→P.377

2 選択した日時を確認▶「YES」▶「OK」

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 希望日時を選択し直す場合

▶「NO」

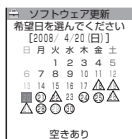
● 予約時間になると

左の画面が表示され、約5秒後にFOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉」（P.375）と同じです。

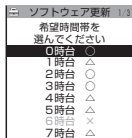
おしらせ

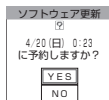
- 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ほかの機能を使用しているときに予約時刻になった場合は、機能終了後にソフトウェア更新を起動します。
- 予約が完了した後に「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

●「その他の日時」を選択した場合

P.376の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

希望日を選択

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

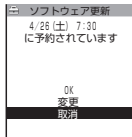
2 時間帯を選択

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を確認

選択した日時を確認して「YES」を選択すると、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

● 予約した日時を確認・変更・取り消す

＜例：予約を確認した後、予約を取り消す場合＞

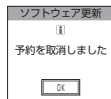
MENU▶「各種設定」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

2 「取消」

■ 予約した日時でよい場合
▶「OK」

■ 予約した日時を変更する場合
▶「変更」
FOMA端末固有の情報をサーバに送信した後、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.377

付録／外部機器連携／困ったときには

3 「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」

このときFOMA端末固有の情報をサーバに送信します。
なお、当社に送信されたお客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号）を第三者に公表・転用することはありません。
「予約を取消しました」と表示されたら、「OK」を選択します。これで予約の取り消しは完了です。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る 〈スキャン機能〉

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。
サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- ●チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.379
- ●スキャン機能は、サイトやインターネットホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- ●パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- ●FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- ●自動更新設定、パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- ●パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

スキャン機能を設定する 〈スキャン機能設定〉

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。
メッセージスキャンを「ON」に設定すると、SMSの本文を自動的にチェックします。

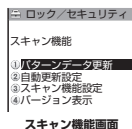
1 MENU ▶「各種設定」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」

「スキャン機能画面」が表示されます。

スキャン機能画面

2 「スキャン機能設定」▶「スキャン機能」または「メッセージスキャン」▶「ON」

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

※ スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P.379

おしらせ

- ●「メッセージスキャン」を「ON」に設定しても、留守番着信通知はチェックの対象になりません。

パターンデータを更新する 〈パターンデータ更新〉

スキャン機能画面（P.378）▶「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」

※ パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

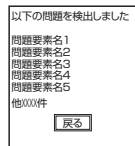
● 更新情報がネットワークから通知された場合、ほかの機能が起動しているときや、ｉモード中、パケット通信中、国際ローミング中のときはパターンデータを自動更新できません。

自動でパターンデータを更新する 〈自動更新設定〉

スキャン機能画面（P.378）▶「自動更新設定」▶「有効」▶「YES」▶「YES」

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

以下の問題を検出しました
問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5
他XXXX件
戻る

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。
問題要素名が省略された残りの件数（6件目以降の件数）は次のように表示されます。
1～9998件の場合：件数がそのまま表示されます。
9999件以上の場合：すべて「他9999件」と表示されます。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない 場合があります	正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか？	正常に動作できない 場合があるため 終了します	正常に動作できない 場合があります データを削除しますか？	正常に動作できないため データを削除します
■[確定]･･･動作を継続します。	■[中止]･･･動作を中止し、終了します。 i[継続]･･･動作を継続します。	■[確定]･･･動作を中止し、終了します。	i[削除]･･･データを削除し、終了します。 ■[戻る]･･･動作を中止し、終了します。	■[確定]･･･データを削除し、終了します。

おしらせ

● スキャン結果については状況によって上記以外のメッセージが表示される場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する 〈バージョン表示〉

スキャン機能画面（P.378）▶「バージョン表示」

主な仕様

■本体

項目		内容	
品名		FOMA SO705i	
サイズ		高さ105mm×幅49mm×厚さ15.2mm（折り畳み時）	
質量		約100g（電池パック装着時）	
連続待受時間		静止時：約580時間 移動時：約430時間	
連続通話時間		音声電話時　：約220分 テレビ電話時：約100分	
充電時間		ACアダプタ：約120分 DCアダプタ：約120分	
液晶部	方式	ディスプレイ：TFT262,144色 サブディスプレイ：有機ELモノクロ2階調	
	サイズ	ディスプレイ：約2.8inch サブディスプレイ：約1.1inch	
	画素数	ディスプレイ：102,480画素（240×427ドット） サブディスプレイ：4,608画素（36×128ドット）	
撮像素子	種類	内側カメラ：CMOS	外側カメラ：CMOS
	サイズ	内側カメラ：1/8inch	外側カメラ：1/4inch
	有効画素数	内側カメラ：約33万画素	外側カメラ：約200万画素
カメラ部	記録画素数	内側カメラ：約31万画素	外側カメラ：約190万画素
	ズーム（デジタル）	内側カメラ：最大約2.0倍	外側カメラ：最大約4.6倍
記録部	静止画記録枚数	約1,000枚※1	
	静止画連続撮影	4～20枚※2	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画録画時間	本体保存時：約276秒※3 microSDメモリーカード（64Mバイト）保存時：約90分※3	
	動画ファイル形式	MP4	
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション	約930分※4
		着うたフル®	約1,300分※4※5
		Windows Media Audio（WMA）ファイル	約1,400分※5
		Music&Videoチャネル	約1,500分（音声）※5 約350分（動画）
保存容量	着うた®・着うたフル®	約70.0Mバイト※6※7	

※1：画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96）、記録品質設定＝ファイン（ファイルサイズ＝10Kバイト）の場合です。
※2：画像サイズによって異なります。
※3：以下の条件での1件あたりの録画時間です。
　＜本体＞
　画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96）　記録品質設定＝標準　ファイルサイズ設定＝2MB以下
　撮影種別設定＝通常
　＜microSDメモリーカード（64Mバイト）＞
　画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96）　記録品質設定＝標準　ファイルサイズ設定＝長時間
　撮影種別設定＝通常
※4：ファイル形式＝AAC形式
※5：バックグラウンド再生対応
※6：シークレットフォルダには別途最大約10Mバイトの保存容量があります。

※7：画像、ｉモーション、画面メモと共有

■電池パック

品名	電池パック S003
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	770mAh

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大1,000※1	－
スケジュール	スケジュール	500	－
	休日	100	－
	記念日	100	－
To Doリスト		100	－
メール （SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1,000※2※3※4	最大500※2
	送信メール	最大500※2※3※4	最大250※2
	保存メール	最大50※2	－
エリアメール		最大100※2	－
デコメテンプレート		最大45※2※5	－
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2
	メッセージF	最大100※2	最大50※2
ブックマーク	ｉモード	100※6	－
	フルブラウザ	100※6	－
画面メモ		最大100※2	最大50※2
ｉアプリ		最大200※2 （メール連動型ｉアプリは5）	－
トルカ		最大100※2	－
静止画		最大1,000※2※4	－
動画／ｉモーション		最大100※2※6	－
キャラ電		10※5	－
メロディ		最大200※2	－
きせかえツール		最大100※2※5	－
Music&Videoチャネル		最大30※2	－
ミュージック		最大100※2	－

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3：SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。→P.252
※4：シークレットフォルダには別途最大100件保存できます。
※5：お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※6：シークレットフォルダには別途最大10件保存・登録できます。

携帯電話機の比吸収率などについて

★Mobile Phone UMTS JP/EU

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SO705iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SO705iのSARの値は0.811W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
　http://www.nttdocomo.co.jp/product/
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
　http://www.SonyEricsson.co.jp/product/SAR/

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

This mobile phone model SO705i has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 0.63 W/kg (10g).

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please read this information before using your mobile phone.

These instructions are intended for your safety. Please follow these guidelines. If the product has been subject to any of the conditions listed below or you have any doubt as to its proper function make sure you have the product checked by a certified service partner before charging or using it. Failure to do so might entail a risk of product malfunction or even a potential hazard to your health.

Recommendations for safe use of product (mobile phone, battery, charger and other accessories)

□Always treat your product with care and keep it in a clean and dust-free place.
□Warning! May explode if disposed of in fire.
□Do not expose your product to liquid or moisture or humidity.
□Do not expose your product to extremely high or low temperatures. Do not expose the battery to temperatures above +35°C (+95°F).
□Do not expose your product to open flames or lit tobacco products.

□Do not drop, throw or try to bend your product.
□Do not paint your product.
□Do not attempt to disassemble or modify your product.

□Do not close your product with an object inserted between keypad and display if you have a clamshell phone; this may damage your product.
□Do not use your product near medical equipment without requesting permission from your treating physician or authorized medical staff.
□Do not use your product when in, or around aircraft, or areas showing the sign “turn off two-way radio”.
□Do not use your product in an area where a potentially explosive atmosphere exists.
□Do not place your product or install wireless equipment in the area above an air bag in your car.
□Caution: Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.

CHILDREN

KEEP OUT OF CHILDRENS REACH. DO NOT ALLOW CHILDREN TO PLAY WITH YOUR MOBILE PHONE OR ITS ACCESSORIES. THEY COULD HURT THEMSELVES OR OTHERS, OR COULD ACCIDENTALLY DAMAGE THE MOBILE PHONE OR ACCESSORY. YOUR MOBILE PHONE OR ITS ACCESSORY MAY CONTAIN SMALL PARTS THAT COULD BECOME DETACHED AND CREATE A CHOKING HAZARD.

Power supply (Charger)

Connect the AC power adapter only to designated power sources as marked on the product. Make sure the cord is positioned so that it will not be subjected to damage or stress. To reduce risk of electric shock, unplug the unit from any power source before attempting to clean it. The AC power adapter must not be used outdoors or in damp areas. Never alter the cord or plug.

Battery

We recommend that you fully charge the battery before you use your mobile phone for the first time. A new battery or one that has not been used for a long time could have reduced capacity the first few times it is used. The battery should only be charged in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F).

Use only original batteries intended for use with your mobile phone. Using other batteries and chargers could be dangerous.

Talk and standby times depend on several different conditions such as signal strength, operating temperature, application usage patterns, features selected and voice or data transmissions when the mobile phone is being used.

Turn off your mobile phone before removing the battery. Do not put the battery into your mouth. Battery electrolytes may be toxic if swallowed. Do not let the metal contacts on the battery touch another metal object. Doing this could short-circuit and damage the battery. Use the battery for the intended purpose only.

Personal medical devices

Mobile phones may affect the operation of pacemakers and other implanted equipment. Please avoid placing the mobile phone over the pacemaker, e.g. in your breast pocket. When using the mobile phone, use it at the ear on the opposite side of the body to the pacemaker. If a minimum distance of 22 cm (8.7 inches) is kept between the mobile phone and the pacemaker, the risk of interference is limited. If you have any reason to suspect that interference is taking place, immediately turn off your mobile phone. Contact your medical doctor for more information.

For other medical devices, please consult your physician and the manufacturer of the device.

Driving

Please check if local laws and regulations restrict the use of mobile phones while driving or require drivers to use handsfree solutions.

For the use of mobile phones in the vehicle, please follow instructions from vehicle manufacturers.

Always pay full attention to driving and pull off the road and park before making or answering a call if driving conditions so require.

Emergency calls

Mobile phones operate using radio signals, which cannot guarantee connection in all conditions. You should therefore never rely solely upon any mobile phone for essential communications (e.g. medical emergencies).

Emergency calls may not be possible in all areas, on all cellular networks, or when certain network services and/or mobile phone features are in use. Check with your local service provider.

Efficient use

Hold your mobile phone as you would any other phone. Do not cover the hinge area when the phone is in use, as this affects call quality and may cause the phone to operate at a higher power level than needed, thus shortening talk and standby times.

Disposal of old electrical and electronic equipment

This symbol indicates that all electrical and electronic equipment included shall not be treated as household waste. Instead it shall be left at the appropriate collection point for recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Disposing of the battery

Please check local regulations for disposal of batteries or call your local Sony Ericsson Call Center for information.

The battery should never be placed in municipal waste. Use a battery disposal facility if available.

Memory Card

If your product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If your product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

WARNING:

If your device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

次ページにつづく

Precautions on Memory Card Use

□Do not expose the memory card to moisture.
□Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
□Do not strike, bend, or drop the memory card.
□Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
□Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
□Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
□Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
□Check you have inserted the memory card correctly.
□Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
□We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
□Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

To safeguard your privacy and prevent information being accessible to a third party, you should erase all personal data before selling or disposing of the product. To delete personal data, perform a master reset, remove the memory card or format the media memory. DELETION OF MATERIAL FROM THE PHONE AND MEDIA MEMORIES DOES NOT ENSURE THAT SAID INFORMATION CANNOT BE RECOVERED BY A SUBSEQUENT USER. DoCoMo/SONY ERICSSON DOES NOT WARRANT AGAINST A SUBSEQUENT USER OF THE DEVICE ACCESSING YOUR INFORMATION AND DOES NOT ASSUME ANY RESPONSIBILITY FOR SUBSEQUENT DISCLOSURE OF SAID INFORMATION EVEN IF A MASTER RESET AND A MEDIA MEMORY FORMAT HAS BEEN PERFORMED. If you are concerned about such potential disclosure retain your device or secure its permanent destruction.

Accessories

DoCoMo recommends use of DoCoMo's original accessories for safe and efficient use of its products. Use of third-party accessories may decrease performance or pose a risk to your health or safety.

LOUDNESS WARNING:

Please adjust the audio volume cautiously when using third-party audio accessories to avoid volume levels that may be harmful to your hearing. DoCoMo does not test use of third-party audio accessories with this mobile phone. DoCoMo recommends using only DoCoMo original audio accessories.

Declaration of Conformity for SO705i

We,

Sony Ericsson Mobile Communications AB of

Nya Vattentornet

SE-221 88 Lund, Sweden

declare under our sole responsibility that our product

Sony Ericsson type AAG-3604021-BV

and in combination with FOMA global AC charger 01(MODEL:MAS-BH0008-A 002), to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 301 908-1:V2.2.1, EN 301 908-2:V2.2.1, EN 301 489-24:V1.3.1, EN 301 489-3:V1.4.1, EN 302 291-2:V1.1.1, and EN 60950-1:2006, following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment Directive **1999/5/EC**

Lund, December 2007

CE0682

Signature

Yukio Kubota, Head of Product Business Unit JAPAN

われわれは R&TTE 指令の要求事項を満たしています(**1999/5/EC**)

We fulfill the requirements of the R&TTE Directive (**1999/5/EC**)

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

●本索引は「五十音目次」としての機能もあわせ持っています。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

<例１：キー操作ロックをONに設定したいとき>

キー操作ロック 118
キー操作ロックの一時解除 118
記号一覧 347

ロック機能
オリジナルロック 114
キー操作ロック 118

<例２：すぐに電話に出られないとき>

応答保留 64
オート着信設定 292

保留（着信中、通話中） 64
保留音設定 64

<例３：別の用語で収録しているとき>

初期化 → リセット
初期設定 46

リセット
学習履歴クリア 304

●「五十音／英字／数字」索引の後に「機能メニュー」索引を収録しています。機能メニュー（P.38）の項目を検索したいときにご利用ください。

五十音／英字／数字

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

ほ

ま

み

む

め

ろ

英字

数字

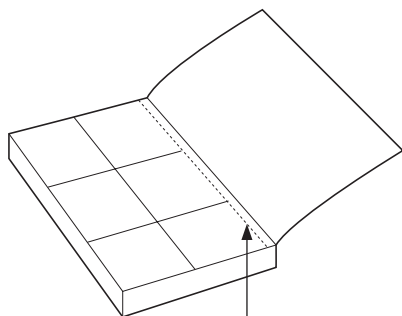
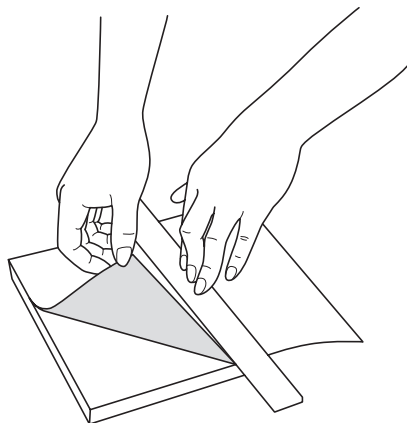
機能メニュー

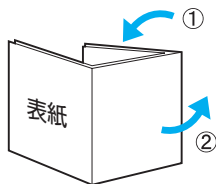
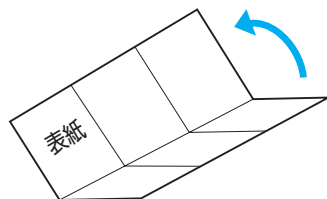
クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

クイックマニュアルでは、本FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。
本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下図のように折ってご使用ください。クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

■切り取りかた

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などをキリトリ線に合わせて切り取れます。
切り離すときは、ほかのページを切らないように1ページずつ切り離してください。
※はさみなどで切り取る際は、ケガなどに十分ご注意ください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。

NTT DoCoMo

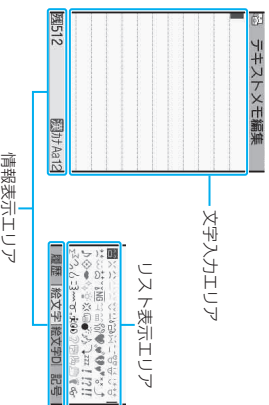
FOMA® SO705i クイックマニュアル

〇総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
〇故障お問い合わせ先
ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳に登録する

1 MENU➜「電話帳」➜✉［機能］➜「電話帳登録」
●着信履歴から登録する場合
待受画面表示中➜◻➜着信履歴を選択➜✉［機能］➜「電話帳登録」
●リダイヤルから登録する場合
待受画面表示中➜◻➜リダイヤルを選択➜✉［機能］➜「電話帳登録」
2 登録先を選択 ➜ 名前を入力 ➜ 名前のフリガナを確認➜■［確定］
3 項目を選択してそれぞれ入力

■グループの設定（01～19、なし）
GR<未登録>➜グループを選択

■電話番号の設定（4件まで）
<未登録>➜電話番号を入力➜アイコンを選択

■メールアドレスの設定（3件まで）
<未登録>➜メールアドレスを入力➜アイコンを選択

■住所の設定
<未登録>➜郵便番号を入力➜住所を入力

■誕生日の設定
<未登録>➜誕生日を入力

■メモの設定
<未登録>➜メモを入力

■静止画の設定
<未登録>➜カメラ撮影または静止画を選択

■キャラ電の設定
<未登録>➜キャラ電を選択

■メモリ番号の設定（000～999）
No➜メモリ番号を入力

4 ［完了］
FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

電話帳を修正・削除する

■電話帳の修正
電話帳詳細画面を表示➜✉［機能］➜「電話帳編集」➜必要な項目を修正➜［完了］➜「YES」（FOMAカードの電話帳は［完了］を押した後、「上書き登録」➜「YES」）

■電話帳の削除
電話帳一覧画面を表示➜✉［機能］➜「電話帳削除」➜「1件削除」➜「YES」（電話帳によってはさらに「YES」）

文字入力

■文字入力（編集）画面

■文字入力方式の切り替え
✉［機能］➜「文字入力設定」➜「入力方式」

■濁点、半濁点の入力
＊（数回）

■句読点の入力
＊（数回）

■入力モードの切り替え
［文字］（数回、選択された入力モードの表示が反転表示）
●半角の場合
漢→カナ→Aa→12の順に切り替え
●全角の場合
漢→カ→A→1の順に切り替え

キリトリ線

■絵文字記号の連続入力

[ch]［絵/記］➜絵文字または記号を選択➜入力が終わったら[✉]［閉じる］または[CLR]

■文字の消去

[✣]で削除したい文字にカーソルを合わせる➜[CLR]

■スペースの入力

[0]（数回）

[▷]（カーソルが文末の場合のみ）

■改行の入力

[#]

[▽]（カーソルが文末の場合のみ）

■入力した文字の大文字／小文字の切り替え

[✆]

テキストメモに「携帯」を入力

■文字入力（編集）画面の表示

[MENU]➜「LifeKit」➜「テキストメモ」➜[i]［編集］➜[i]［文字］(数回)➜「漢字ひらがな入力モード」にする➜

け➜[2]を4回、い➜[1]を2回、
た➜[4]を1回、い➜[1]を2回

■文字の変換

[▽]➜[✣]➜変換候補「携帯」を選択

カメラ

■静止画撮影

[MENU]➜「カメラ」➜「フォトモード」➜[■]［撮影］➜[■]［保存］

■連続撮影

[MENU]➜「カメラ」➜「フォトモード」➜[✉]［機能］➜「カメラモード切替」➜「連続撮影」➜「オート」または「マニュアル」➜[■]［連写／撮影］➜[✉]［機能］➜保存する方法を選択

■動画撮影

[MENU]➜「カメラ」➜「ムービーモード」➜[■]［撮影］➜[■]［終了］➜[■]［保存］

静止画、動画やメロディを再生する

■静止画表示

[MENU]➜「データBOX」➜「マイピクチャ」➜フォルダを選択➜静止画を選択

■動画再生

[MENU]➜「データBOX」➜「ｉモーション」➜フォルダを選択➜動画を選択

■メロディ再生

[MENU]➜「データBOX」➜「メロディ」➜フォルダを選択➜メロディを選択

ミュージックプレーヤーを利用する

■曲を再生する

[MENU]➜「データBOX」➜「ミュージック」➜フォルダを選択➜曲を選択

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力➜[i]［テレビ電話］➜通話が終了したら[☎]

■テレビ電話を受ける

着信音が鳴り、着信ランプが点滅したら[✆]もしくは[■]［代替画像］➜通話が終了したら[☎]

[✆]：自分のカメラ映像を相手に送信する
[■]［代替画像］：代替画像を相手に送信する

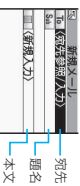
■通話中の動作

[i]：ハンズフリーの切り替え（ON／OFF）

[■]［切替］：カメラの切り替え（内側カメラ／外側カメラ）

キリトリ線

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

■新規メール画面を表示

✉➜「新規メール作成」

■宛先を入力

「To」➜宛先を入力

■題名を入力

「Sub」➜題名を入力

■本文を入力

「▤」➜本文を入力

■メールを送信

ｉ［送信］➜「OK」

ファイルの添付

■イメージ（画像）、ｉモーション、メロディ、トルカ、その他の添付

新規メール画面を表示➜ch［添付］➜項目を選択➜フォルダを選択➜データを選択

■電話帳の添付

新規メール画面を表示➜ch［添付］➜「電話帳」➜「本体」➜電話帳を検索➜電話帳を選択

■マイプロフィールの添付

新規メール画面を表示➜ch［添付］➜「マイプロフィール」➜端末暗証番号を入力➜■［確定］

■スケジュールの添付

新規メール画面を表示➜ch［添付］➜「スケジュール」➜項目を選択➜データを選択➜■［選択］

■Bookmarkの添付

新規メール画面を表示➜ch［添付］➜「Bookmark」➜項目を選択➜フォルダを選択➜データを選択➜■［選択］

ｉモードメールの受信

「✉」が点滅➜受信結果画面が表示➜「✉」を選択

その他のメール機能

■メールの返信

返信したいメールを表示➜ｉ［返信］➜「▤」➜本文を入力➜ｉ［送信］➜「OK」

■メールの転送

転送したいメールを表示➜✉［機能］➜「転送」➜「To」➜宛先を入力➜ｉ［送信］➜「OK」

ｉモード問い合わせ

✉（1秒以上）

メニュー機能一覧

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	新規メール作成	
	WEBメール	
	SMS作成	
	ｉモード問い合わせ	
	メール選択受信	
	SMS問い合わせ	
	デコメテンプレート	
	メール設定	
ｉモード	ｉMenu	
	Bookmark	
	画面メモ	

キリトリ線

大項目	中項目	小項目
ｉモード	サイト閲覧履歴	
	Internet	
	フルブラウザ	
	ｉチャネル	
	メッセージR／F	
	ｉモード問い合わせ	
	ユーザ証明書操作	
	ｉモード設定	
ｉアプリ	ソフト一覧	
	microSD	
	自動起動設定	
	ｉアプリ実行情報	
各種設定	きせかえツール設定	
	着信	着信音量
		着信音選択
		バイブレータ

大項目	中項目	小項目
各種設定	着信	着信ランプ
		マナーモード選択
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定
		メール／メッセージ鳴動
		呼出時間表示設定
		不在／新着確認設定
		伝言メモ
		発着信番号表示設定
		メロディコール設定
	通話	ノイズキャンセラ
		通話品質アラーム
		再接続機能
		通話中ランプ
		保留音設定
		クローズ動作設定
	発信	ポーズダイヤル
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定

大項目	中項目	小項目
各種設定	発信	イヤホンスイッチ発信設定
		国際ダイヤルアシスト
	テレビ電話	送信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話画面設定
		テレビ電話切替通知
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定
	ディスプレイ	画面表示設定
		照明設定
		画面デザイン
		イルミネーション設定
		フォント設定
		マイショートカット
		バイリンガル
		マイセレクト
		メニュー画面設定

大項目	中項目	小項目	
各種設定	ディスプレイ	ピクチャ表示設定	
		表示アイコン説明	
		表示アイコン設定	
		シールドビュー	
	時間／料金	通話時間／料金	
		通話料金通知	
		積算リセット	
		積算料金自動リセット	
	時計	時計設定	
		待受時計表示	
		世界時計設定	
		アラーム通知設定	
		時刻アラーム音設定	
		自動電源ON	
		自動電源OFF	
	ロック／セキュリティ	ロック	ダイヤルロック
			オリジナルロック
		ICカードロック設定	
		キー操作ロック	
		セルフモード	

大項目	中項目	小項目
各種設定	ロック／セキュリティ	シークレットモード
		シークレット専用モード
		登録外着信拒否
		非通知着信設定
		端末暗証番号変更
		ICカード認証設定
		PIN設定
		スキャン機能
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定
		ｉモード問い合わせ設定
		接続先選択
		SMSセンター設定
		証明書
		証明書センター接続設定
	ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定
		待受画面終了
		背面ｉアプリ
		ｉアプリ音量

大項目	中項目	小項目
各種設定	外部接続	USBモード設定
		イヤホン切替設定
		イヤホン接続時マイク切替
		オート着信設定
	国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定
		オペレータ名表示設定
	その他	ボタン確認音
		充電確認音
		電池残量
		サイドボタン設定
		文字入力設定
		設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新

キリトリ線

大項目	中項目	小項目
データBOX	マイピクチャ	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	ｉモーション	
	メロディ	
	キャラ電	
	きせかえツール	
LifeKit	バーコードリーダー	
	赤外線受信	
	microSD管理	
	カメラ	
	電話帳お預りサービス	
	スケジュール	
	アラーム	
	To Doリスト	

大項目	中項目	小項目
LifeKit	テキストメモ	
	電卓	
	音声メモの再生／消去	
	動画メモの再生／消去	
	待受中音声メモ	
	おしゃべり機能	
	FOMAカード（UIM）操作	
	マイプロフィール	
	電話帳画像転送	
	テキストリーダー	
	辞典	
サービス	着もじ	
	発信者番号通知	
	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	2in1設定	
	迷惑電話ストップ	

大項目	中項目	小項目
サービス	番号通知お願いサービス	
	通話中の着信動作選択	
	通話中着信設定	
	遠隔操作設定	
	デュアルネットワーク	
	英語ガイダンス	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	マルチナンバー	
	ローミングガイダンス設定	
	ローミング時着信規制	
	海外用サービス	
電話帳	電話帳	
ユーザデータ	着信履歴	
	発信履歴	
	メールメンバー	
	直デン	

大項目	中項目	小項目
ユーザデータ	定型文	
	ユーザ辞書	
	ダウンロード辞書	
MUSIC	ミュージックプレーヤー	
	Music&Videoチャネル	
カメラ		
おサイフケータイ	ICカード一覧	
	DCMX	
	トルカ	
	ICカードロック設定	
	設定	
	ｉモードで探す	

<その他の機能>

●マナーモード　：[マナー]（1秒以上）（押すたびに設定／解除）

●公共モード
（ドライブモード）：[#]（1秒以上）（押すたびに設定／解除）

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始

[MENU]➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス開始」➜「YES」➜「YES」➜呼出時間（秒）を入力

■留守番サービス停止

[MENU]➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス停止」➜「YES」

■留守番メッセージ再生

[MENU]➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番メッセージ再生」➜「YES」➜音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始

[MENU]➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス開始」➜「YES」

■キャッチホンサービス停止

[MENU]➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス停止」➜「YES」

■通話中にかかってきた電話に出る

通話中に着信があったら[通話]

[通話]を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

キリトリ線

転送でんわサービス

■転送サービス開始

[MENU]➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス開始」➜転送先や呼出時間を設定し、「開始」➜「YES」

■転送サービス停止

[MENU]➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス停止」➜「YES」

番号通知お願いサービス

■番号通知お願いサービス開始

[MENU]➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い開始」➜「YES」➜「OK」

■番号通知お願いサービス停止

[MENU]➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い停止」➜「YES」➜「OK」

FOMA端末から利用できるサービス

サービス	番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）※1	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報※2	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報※2	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

※1：電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内しておりません。

※2：おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

主なアイコン表示

03.01 Sat AM 07:05

アイコン表示エリア

：電波の受信レベル

：ｉモード中

：SSL対応ページを表示中

：未読メールあり

：未読メッセージRあり

：ｉモードセンターにメールあり

：ダイヤルロック設定中

：ICカードロック設定中

：通信モード中（USBケーブル接続時）

：赤外線通信中

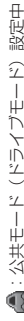
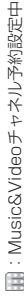
：microSDメモリーカード取り付け時

：音声通話中

：電池残量表示

：バイブレータ設定中

：着信音量を「消去」に設定中

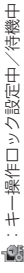
：マナーモード設定中

：公共モード（ドライブモード）設定中

：Music&Videoチャネル予約設定中

／：アラーム通知機能を設定中

～、：留守番電話の伝言メッセージあり

～：伝言メモ設定中

～：テレビ電話伝言メモ設定中

：バックライトを「OFF」に設定中

：キー操作ロック設定中／待機中

：サイドボタン設定を「閉じた時無効」に設定中

＜紛失時などの緊急連絡先＞

おまかせロック

・おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間24時間

※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

その他の緊急連絡先

＜連絡先：　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　＞

※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

NTT DoCoMo

FOMA® SO705i
クイックマニュアル（海外利用編）

○海外での紛失、盗難、精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）**-81-3-5366-3114***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO705iからご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）**-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

○海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）**-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO705iからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）**-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

海外で利用するための準備

iモード設定

■日本で設定

i→「iMenu」→「料金＆お申込・設定」→「オプション設定」→「海外利用設定」→「iモード利用設定」→「利用する」→iモードパスワードを入力→「決定」

■海外で設定

i→「iMenu」→「海外利用設定」→「iモード利用設定」→「利用する」→iモードパスワードを入力→「決定」

遠隔操作設定

■日本で設定

MENU→「サービス」→「遠隔操作設定」→「遠隔操作開始」→「YES」

■海外で設定

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「遠隔操作設定（海外）」→「YES」→音声ガイダンスに従う

サブ時計の設定

MENU→「各種設定」→「時計」→「世界時計設定」→タイムゾーンまたはサマータイムを設定

サブ時計を表示

MENU→「各種設定」→「時計」→「待受時計表示」→「表示時計種別」→「世界時計あり」→「YES」

海外で利用できるサービスについて

- 音声電話／テレビ電話
- iモード（フルブラウザ含む）
- iチャネル
- パソコンなどと接続して行うパケット通信
- iモードメール
- SMS送受信
- メッセージR

※接続するネットワークや通信事業者によって異なります。

通信事業者の検索方法を設定する

■接続する通信事業者を自動または手動で切り替える

MENU→「各種設定」→「国際ローミング設定」→「ネットワークサーチ設定」→「オート」または「マニュアル」

「マニュアル」の場合、さらに通信事業者を選択

■接続可能な通信事業者を再検索する

MENU→「各種設定」→「国際ローミング設定」→「ネットワークサーチ設定」→「ネットワーク再検索」

「マニュアル」の場合、さらに通信事業者を選択

優先的に接続する通信事業者を設定する

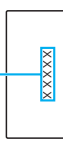
MENU→「各種設定」→「国際ローミング設定」→「ネットワークサーチ設定」→「優先ネットワーク設定」→優先順位を変更する通信事業者を反転→✉［機能］→「優先順位変更」→移動したい位置を反転→■［選択］→i［完了］→「YES」

通信事業者名の表示について設定する

MENU→「各種設定」→「国際ローミング設定」→「オペレータ名表示設定」→「表示あり」または「表示なし」

■ディスプレイの表示

現在接続している通信事業者名がタスクアイコンエリアに表示されます。

XXXXX

接続中の通信事業者名

帰国後の設定

日本帰国時は本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されFOMAネットワーク（DoCoMo）に設定されます。

「通信事業者の検索方法を設定する」→P.4

電話をかける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

■「国際ダイヤルアシスト」に登録されている国に電話をかける

相手の番号をダイヤル→✉［機能］→「国際電話発信」→電話をかけたい国名を選択→📞またはi［テレビ電話］

■国番号からダイヤルして電話をかける

待受画面表示中に+（0 1秒以上）→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル→📞またはi［テレビ電話］

キリトリ線

滞在国内に電話をかける

相手先の番号をダイヤル→ または ［テレビ電話］

電話を受ける

音声電話／テレビ電話がかかってきたら

ネットワークサービス

海外でネットワークサービスを利用する場合はあらかじめ遠隔操作の設定が必要になります。

ローミングガイダンス設定

- 日本国内で設定してください。
  MENU→「サービス」→「ローミングガイダンス設定」→「ローミングガイダンス開始」または「ローミングガイダンス停止」→「YES」

ローミング時着信規制

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
  MENU→「サービス」→「ローミング時着信規制」→「開始」または「停止」「開始」の場合、さらに「全着信規制」または「テレビ電話／データ呼規制」から選択→「YES」→ネットワーク暗証番号入力

留守番電話（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「留守番電話(海外)」→サービスを選択→「YES」→音声ガイダンスに従う

転送でんわ（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「転送でんわ(海外)」→サービスを選択→「YES」→音声ガイダンスに従う

ローミングガイダンス（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「ローミングガイダンス(海外)」→「YES」→音声ガイダンスに従う

遠隔操作設定（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「遠隔操作設定(海外)」→「YES」→音声ガイダンスに従う

番号通知お願い（海外）

MENU→「サービス」→「海外用サービス」→「番号通知お願い(海外)」→「YES」→音声ガイダンスに従う

主要国の国番号

国際電話を利用するときや「国際ダイヤルアシスト」などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

（2008年1月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	スウェーデン	46	フィリピン	63
イギリス	44	スペイン	34	フィンランド	358
イタリア	39	タイ	66	仏領ポリネシア	689
インド	91	台湾	886	フランス	33
インドネシア	62	チェコ	420	ブラジル	55
エジプト	20	中国	86	ベトナム	84
オーストラリア	61	ドイツ	49	ペルー	51
オーストリア	43	トルコ	90	ベルギー	32
オランダ	31	日本	81	香港	852
カナダ	1	ニューカレドニア	687	マカオ	853
韓国	82	ニュージーランド	64	マレーシア	60
ギリシャ	30	ノルウェー	47	モルディヴ	960
シンガポール	65	ハンガリー	36	ロシア	7
スイス	41	フィジー	679		

※ このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年11月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	スウェーデン	00	フランス	00
アメリカ合衆国	011	スペイン	00	ブラジル	0041/0014
アラブ首長国連邦	00	タイ	001		
イギリス	00	台湾	002	ベトナム	00
イタリア	00	チェコ	00	ベルギー	00
インド	00	中国	00	ポーランド	00
インドネシア	001	デンマーク	00	ポルトガル	00
オーストラリア	0011	ドイツ	00	香港	001
オランダ	00	トルコ	00	マカオ	00
カナダ	011	ニュージーランド	00	マレーシア	00
韓国	001	ノルウェー	00	モナコ	00
ギリシャ	00	ハンガリー	00	ルクセンブルク	00
シンガポール	001	フィリピン	00	ロシア	810
スイス	00	フィンランド	00		

※ 最新情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

（2007年11月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	シンガポール	001	フィリピン	00
アメリカ合衆国	011	スイス	00	フィンランド	990
アルゼンチン	00	スウェーデン	00	フランス	00
イギリス	00	スペイン	00	ブラジル	0021
イスラエル	014	タイ	001	ブルガリア	00
イタリア	00	台湾	00	ペルー	00
オーストラリア	0011	中国	00	ベルギー	00
オーストリア	00	デンマーク	00	ポルトガル	00
オランダ	00	ドイツ	00	香港	001
カナダ	011	ニュージーランド	00	マレーシア	00
韓国	001	ノルウェー	00	南アフリカ共和国	09
コロンビア	009	ハンガリー	00	ルクセンブルク	00

※ ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

※ 最新情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

キリトリ線

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要になります。「国際電話アクセス番号」「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

※ 携帯電話、公衆電話、ホテルなどからは、ユニバーサルナンバーをご利用いただけない場合が多いためご注意ください。

「ドコモeサイト」では、住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから iMenu ⇒ 料金＆お申込･設定⇒各種手続き（ドコモeサイト） パケット通信料無料

パソコンから My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】→P.92

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。ただし、マナーモード／オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF）】→P.65

電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレータ】→P.90

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】→P.67

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.306）、転送でんわサービス（P.308）などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

●なお、詳しくは FOMA 端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24 時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表 1） **-81-3-5366-3114*** (無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO705i から、ご利用の場合は +81-3-5366-3114 でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2） **-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書 P.327、328 をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24 時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表 1） **-81-3-6718-1414*** (無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO705i から、ご利用の場合は +81-3-6718-1414 でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2） **-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書 P.327、328 をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客さまが購入された FOMA 端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道	株式会社NTTドコモ東北	株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海	株式会社NTTドコモ北陸	株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国	株式会社NTTドコモ四国	株式会社NTTドコモ九州

製造元 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池は NTT DoCoMo または代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

再生紙を使用しています

'08.2(2版)
MDT-000080-JAA0

FOMA® SO705i
パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA SO705iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、付属のCD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

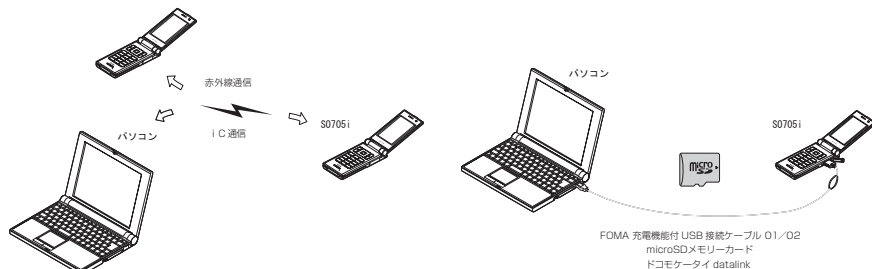
'08.2（1.1 版）

FOMA端末から利用できるデータ通信について

利用できるデータ通信の種類

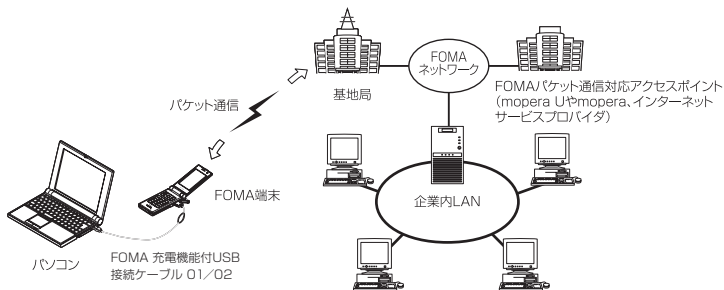
FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、データ転送（OBEXTM通信）、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

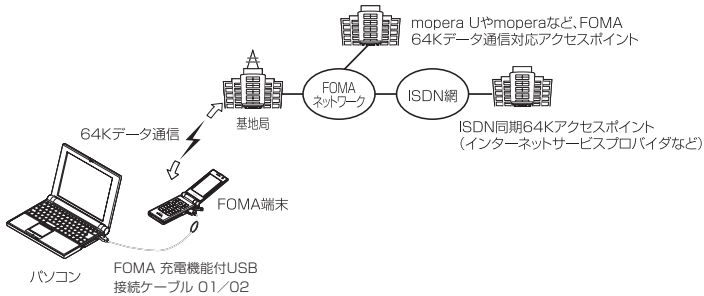
データ転送（OBEXTM通信）

画像や音楽、電話帳、メール等のデータを、他のFOMA端末やパソコン等との間で送受信します。

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの通信速度でデータを送受信します（FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります）。少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。

- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」や「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します（「mopera」のアクセスポイントをご利用の場合、通信速度は送受信ともに最大384kbpsまでとなります）。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64K アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01 ／02を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

おしらせ

- 海外やFOMAサービスエリア外では、パケット通信は受信最大384kbps、送信最大64kbpsとなります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。
- 海外で64Kデータ通信はご利用になれません。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
• DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader® をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」を参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件について

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です（日本国内で通信を行う場合です）。
• FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を利用できるパソコンであること。
• FOMAサービスエリア内であること。
• パケット通信の場合は接続先がFOMAのパケット通信に対応していること。
• 64Kデータ通信の場合は接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること。
ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

ご使用になる前に

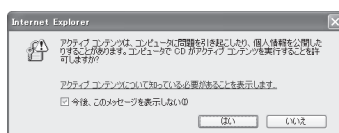
動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000（日本語版） • Windows XP（日本語版） • Windows Vista（日本語版）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows Vista：512Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1 ： OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2 ： 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

● メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以降です（Windows Vistaの場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 7.0以降です）。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
① 「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
　Windows Vistaの場合は「　」→「コンピュータ」を開く
② CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
③ 「index.html」をダブルクリックする

CD-ROMをパソコンにセットすると、右のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

おしらせ

● FOMA端末をドコモのPDA「musea」、「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」と接続してデータ通信を行う場合はアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
● FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
● FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
•「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」（別売）または「FOMA USB接続ケーブル」（別売）
• 付属のCD-ROM「FOMA SO705i用CD-ROM」

おしらせ

● USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
● 本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の場合で説明しています。
● USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■「FOMA SO705i用CD-ROM」について

● FOMA通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。
● FOMA通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

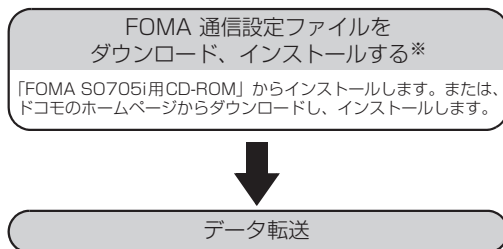
設定完了までの流れ

■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA 通信設定ファイルを
ダウンロード、インストールする※

「FOMA SO705i用CD-ROM」からインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

データ転送

※：ドコモケータイ datalink もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

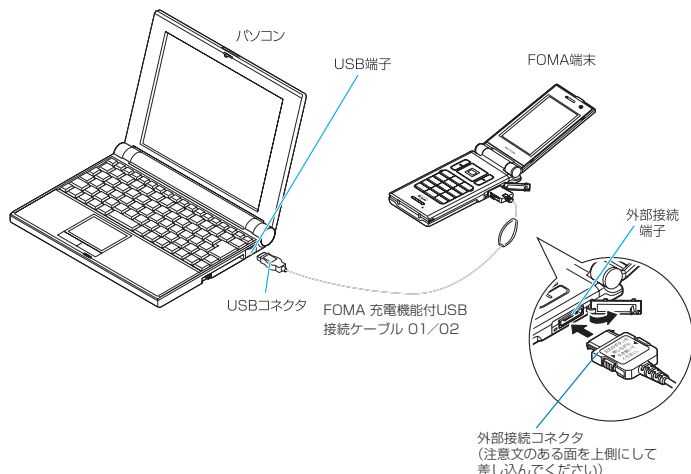
※： FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

USBモード設定を「通信モード」にする

● パソコンに取り付ける前に設定してください。

1 MENU ▶「各種設定」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶「通信モード」

取り付け方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタを水平に「カチッ」と音がするまで差し込む

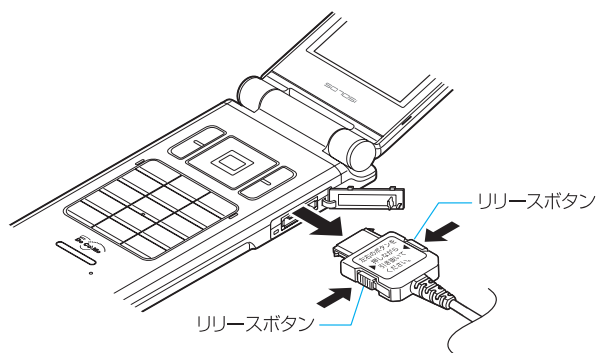
3 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続するとFOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に表示される「 」は、FOMA通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。

取り外し方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）の取り外し方法について説明します。

1 パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を引き抜く

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜く

3 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の取り付け･取り外しを連続して行うと、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断･誤動作･データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の取り外しは行わないでください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

パソコンの設定をする

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- FOMA通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- FOMA通信設定ファイルはドコモのホームページからダウンロードすることもできます。

1 Windowsを起動して「FOMA SO705i用CD-ROM」をパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の項目の「インストール」をクリックする

4 開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックする

お使いのパソコンの設定によっては「FOMAinst」と表示されることがあります。

5 ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「同意する」をクリックする

「同意しない」をクリックするとインストールは中止されます。

6 FOMA端末の電源を入れて、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をFOMA端末に接続する

7 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02をパソコンのUSB端子に接続する

ドライバのインストールが自動的にはじまります。
ドライバのインストール完了後、引き続きFOMAバイトカウンタをインストールすることができます。FOMAバイトカウンタをインストールする場合は「インストールする（推奨）」をクリックします。インストールしない場合は「完了」をクリックします。
引き続き、「インストールしたドライバを確認する」（P.10）に進みます。

インストールしたドライバを確認する

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。
ここではWindows XPを例にして説明します。

1 「スタート」→「コントロールパネル」を選択

Windows Vistaの場合
「（スタートボタン）」→「コントロールパネル」を選択

Windows 2000の場合
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

2 「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

Windows Vistaの場合
コントロールパネル内の「システムとメンテナンス」を開く

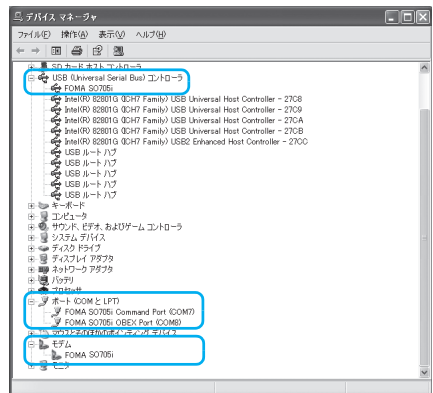
Windows 2000の場合
コントロールパネル内の「システム」を開く

3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

Windows Vistaの場合
「デバイスマネージャ」を選択し、「続行」をクリックする

Windows 2000の場合
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」、「ポート（COMとLPT）」、「モデム」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。
ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」（P.12）へ進みます。

デバイス名	ドライバ名
ユニバーサルシリアルバスコントローラまたは USB （Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA SO705i
ポート（COMとLPT）	• FOMA SO705i Command Port • FOMA SO705i OBEX Port
モデム	• FOMA SO705i

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、アンインストール（P.11）の手順に従ってFOMA通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（ドライバをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末を接続している状態で「プログラムの追加と削除」を実行した場合は、アンインストールを実行できません。
- FOMA通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外す

2 Windowsの「プログラムの追加と削除」を起動する

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

Windows Vistaの場合

「 」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリックする

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順に開く

3 「FOMA SO705i USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

Windows Vistaの場合

「FOMA SO705i USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリックし、「続行」をクリックする

Windows 2000の場合

「FOMA SO705i USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムの追加と削除」に「FOMA SO705i USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「FOMA SO705i用CD-ROM」をパソコンにセットする
  ②「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  Windows Vistaの場合は「 」→「コンピュータ」を開く
  ③CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ④CD-ROM内の「SO705i_USB_Driver」→「Drivers」→「Win2k_XP」フォルダを開く
  Windows Vistaの場合は「SO705i_USB_Driver」→「Drivers」→「WinVista32」フォルダを開く
  ⑤「so705iun.exe」※をダブルクリックする
  ※：お使いのパソコンの設定によっては「so705iun」と表示されることがあります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

● FOMA　PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。→P.29

FOMA端末とパソコンとの接続については、P.7を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「通信設定最適化」などを行います。

通信設定最適化

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。
cid [Context Identifier]…FOMA端末に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

おしらせ

● FOMA PC設定ソフトVer 4.0.0以前の古いバージョン（以後、旧FOMA PC設定ソフトと呼びます）がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

STEP 1 ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします

インストール方法は、P.14を参照してください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 4.0.0」のインストールを行う前にアンインストールしてください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 4.0.0」のインストールは行えません。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合は、P.15を参照してください。

各種設定前の準備をします

各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。
FOMA端末とパソコンの接続方法については、P.7を参照してください。
FOMA端末をパソコンに正しく認識させる方法については、「パソコンの設定をする」（P.9）を参照してください。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。
その場合はP.9を参照して通信設定ファイルのインストールを行ってください。

STEP 3 各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします

かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」は、P.19を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」は、P.20を参照してください。
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.22を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.23を参照してください。
その他の設定は、P.27以降を参照してください。

STEP 4 接　続

インターネットに接続します

接続方法は、P.24を参照してください。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- インストールする前に動作環境を確認してください。→P.4
- 「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 CD-ROMをパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。

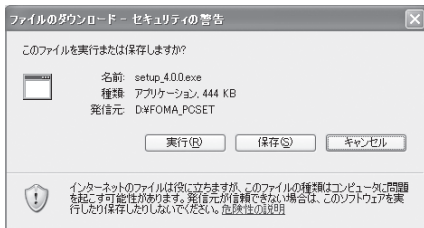
2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA PC設定ソフト」の項目の「インストール」をクリックする

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合

「実行」をクリックしてください。
Windows Vistaの場合は、「実行」をクリックし、「続行」をクリックします。

「Internet Explorerーセキュリティの警告」画面が表示された場合

「実行する」をクリックしてください。
Windows Vistaの場合は、「実行する」をクリックし、「続行」をクリックします。

4 「次へ」をクリックする

セットアップを開始する前に、現在使用中または常駐している他のプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
旧W-TCP設定ソフトまたは旧APN設定ソフトがインストールされているという画面が出た場合は、P.15を参照してください。

5 「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする

「いいえ」をクリックし、「はい」をクリックすると、インストールは中止されます。
Windows Vistaの場合は操作7へ進みます。

6 「次へ」をクリックする

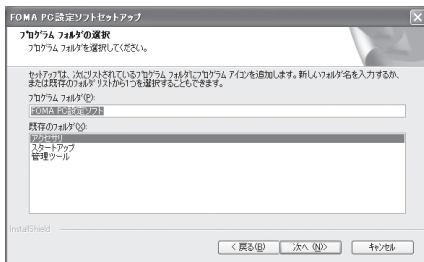
セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」常駐の可否を選択できます。
常駐させる場合は「タスクトレイに常駐する」にチェックを入れ「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。インストール後でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「「通信設定最適化」をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
（参考）：「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

常駐させた場合は、デスクトップ右下のタスクトレイに表示されます。

7 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックします。

9 「完了」をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

＜旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合＞

- 「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から旧W-TCP設定ソフトを削除してください。

＜旧APN設定ソフトがインストールされている場合＞

- 「OK」をクリックすると、旧APN設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

<FOMA PC設定ソフトがすでにインストールされている場合>

- 「OK」をクリックすると、インストールが中止されます。すでにインストールされている「FOMA PC設定ソフト」を「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」からアンインストールして、インストールし直してください。
- 古いバージョンの「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合も同様の操作を行ってください。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>

- インストールを継続する場合は「いいえ」を、中止する場合は、「はい」をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報を確認する

1 FOMA PC設定ソフトを開く

Windows Vista、Windows XPの場合

「スタート」または「 」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

2 ツールバーの「メニュー」→「バージョン情報」を開く

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が表示されます。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

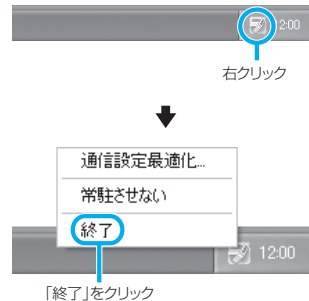
FOMA PC設定ソフトのアンインストールが必要な場合（FOMA PC設定ソフトをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

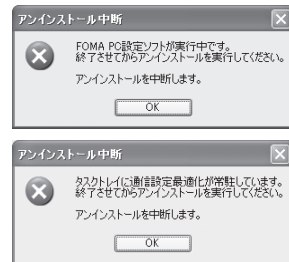
● 「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 アンインストールを実行する前に

Windows XP、Windows 2000の場合は、「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。Windows Vistaの場合は、操作2から操作を開始してください。

(1) タスクトレイに常駐している「通信設定最適化」を常駐させないようにする

デスクトップ右下のタスクトレイの「通信設定最適化」アイコンを右クリックして「終了」をクリックします。

(2) 起動中のプログラムを終了させる

「FOMA PC設定ソフト」や「通信設定最適化」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 アンインストールを開始する

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に開く

Windows Vistaの場合

「（スタートボタン）」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順に開く

3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「削除」をクリックする

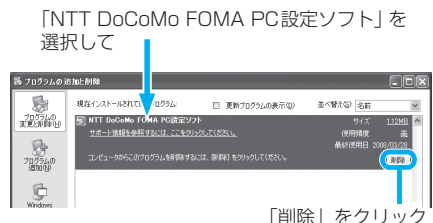
Windows Vistaの場合

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「アンインストール」をクリックし、「続行」をクリックする

Windows 2000の場合

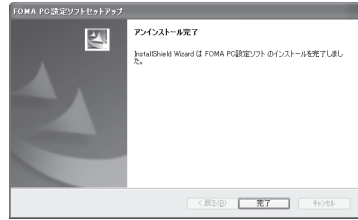
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「変更と削除」をクリックする

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して

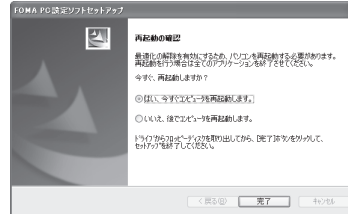
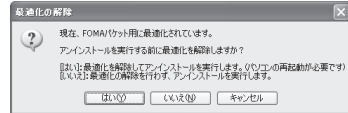
「削除」をクリック

4 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

アンインストールが開始されます。

5 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

●「通信設定最適化」の解除
Windows XPまたはWindows 2000で「通信設定最適化」がされている場合は右の画面が表示されます。アンインストールする場合は、通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

通信設定最適化の解除は再起動後に行われます。

各種設定の方法

通信設定をする前に、FOMA端末がFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）によりご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上にFOMA通信設定ファイル（ドライバ）が正しく認識されている必要があります。

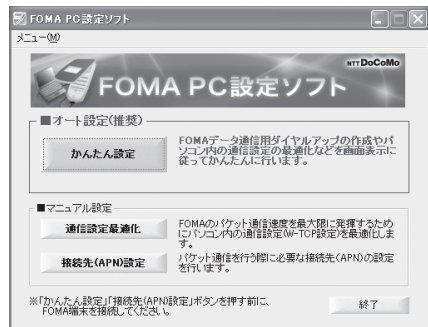
1 FOMA PC設定ソフトを開く

本ソフトを起動すると右の操作画面が表示されます。

Windows Vista、Windows XPの場合

「スタート」または「 」→「すべてのプログラム」→「FOMA　PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」の順に開く

かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」

● 最大3.6Mbpsのパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します（moperaで接続した場合の通信速度は、送受信ともに最大384kbpsまでとなります）。
パケット通信：受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsのパケット通信が可能です（FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります）。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。

● 「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択し、「次へ」をクリックする

Windows Vistaの場合
「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.20を参照してください。

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名の入力と接続方式を選択し、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
発信者番号通知の設定と接続方式を選択してください。
発信者番号通知は、海外で利用する場合、「設定しない（推奨）」を選択してください。
接続方式は、mopera Uは「PPP接続」・「IP接続」両方に対応しています。海外で利用する場合は「IP接続」を選択してください。moperaは「PPP接続」のみに対応し、海外で利用することができません。

6 ユーザID・パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

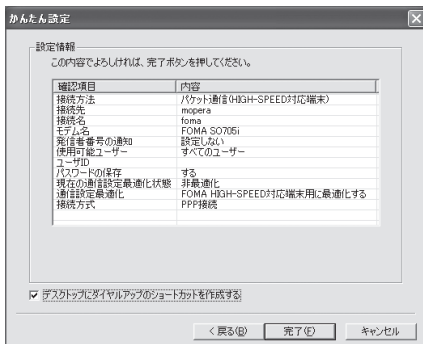
mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザID・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

Windows Vistaの場合
ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする
操作8へ進みます。

7 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

FOMAパケット通信を利用するためパソコン内の通信設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

9 「OK」をクリックする

最適化を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択し、「次へ」をクリックする

Windows Vistaの場合
「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

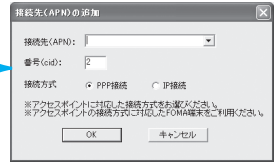
4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
しばらくお待ちください。

5 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<> ｜”（半角のみ）は使用できません。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
なお、海外で利用する場合は「設定しない」を選択してください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、cid1 には mopera の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
「追加」をクリックして表示される「接続先（APN）の追加」画面で、接続方式を選択し、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックしてください。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

7 接続先を選択し、「OK」をクリックする

操作5の画面に戻ります。
「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した接続先（APN）が表示されます。

8 「接続先（APN）の選択」で接続先（APN）を確認し、「次へ」をクリックする

高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合

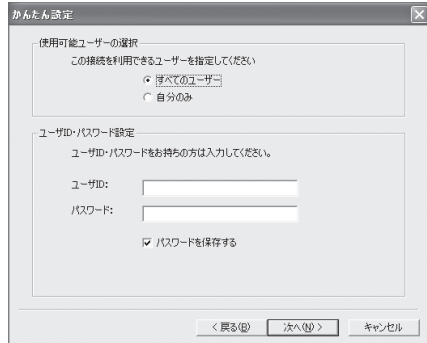
「詳細情報の設定」をクリックすると、「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

9 ユーザID・パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

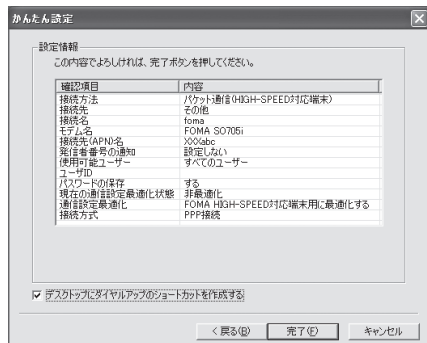
ユーザID・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

Windows Vistaの場合

ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする
操作11へ進みます。

10 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

FOMAパケット通信を利用するためパソコン内の通信設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作11に進みます。

11 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

12 「OK」をクリックする

最適化を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「mopera U またはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」

- 通信速度最大64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて課金されます。
- 「64Kデータ通信」を利用して長時間通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera U またはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.23を参照してください。

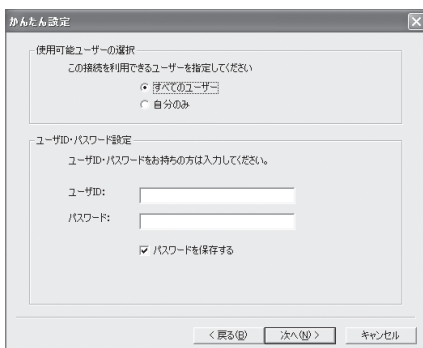
4 接続名の入力とモデムを選択し、「次へ」をクリックする

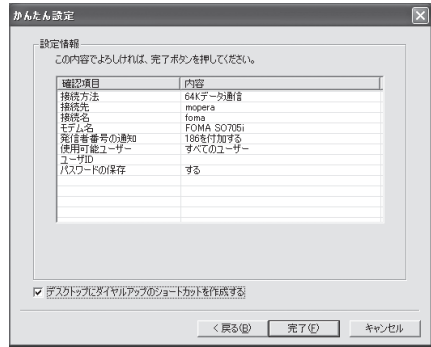
「64Kデータ通信設定」画面になります。現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使う場合、モデム名は「FOMA SO705i」を選択します。
発信者番号の通知については「設定しない」または「186を付加する」を選択してください。

5 ユーザID･パスワード･使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザID・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

Windows Vistaの場合

ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のISDN同期64Kアクセスポイントを持つサービスプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、以下の項目を登録します。
- 接続名（任意）
- モデムの選択（FOMA SO705i）
- 電話番号
- ダイヤルアップ時の発信者番号の通知について

入力禁止文字 ¥/: ＊ ?!<> ｜ ”（半角のみ）は使用できません。

プロバイダ情報を元に正しく入力してください。電話番号は、大文字・小文字等に注意し、半角文字で正確に入力してください。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合

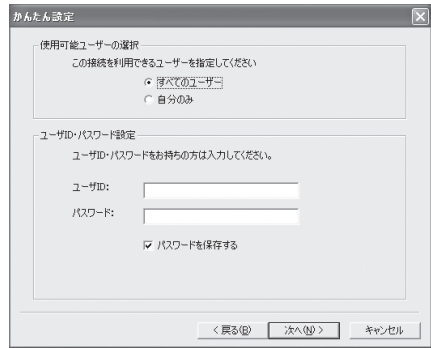
「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

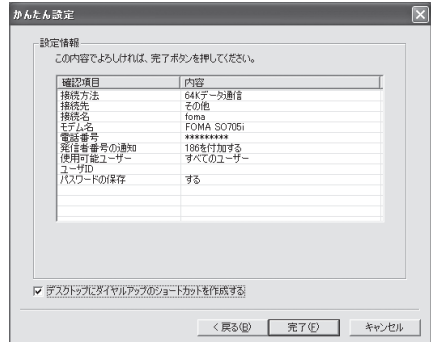
5 ユーザID･パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

ユーザID・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力してください。

Windows Vistaの場合

　ユーザID・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.24

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows Vistaの場合

　「」→「接続先」の順に開き、接続先を選択して「接続」をクリックする

Windows XPの場合

　「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」→接続先を開く

Windows 2000の場合

　「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→接続先を開く

2 「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

mopera Uまたはmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄のままでも接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックしてください。

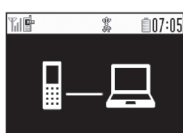
<接続中の状態を示す画面が表示されます>

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

<接続の完了>

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、右の画面のようなメッセージが数秒間表示されます（OSによっては接続完了画面が表示される場合があります。「OK」をクリックしてください）。ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

右の画面のようなメッセージが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.29）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.36）を再度確認してください。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

- ⇧（通信中、データ送信中）
- ⇩（通信中、データ受信中）
- （通信中、データ送受信なし）
- （発信中、または切断中）
- （着信中、または切断中）

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）でデータ通信をする場合、ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。
したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要となります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

Windows Vistaの場合

「 」→「接続先」の順に開く

接続しているダイヤルアップを選択します。

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA SO705i」がパソコン上で認識できない	・ お使いのパソコンが動作環境（P.4）を満たしているかを確認してください。 ・ FOMA通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・ FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ USBモード設定（P.7）が「通信モード」になっているか確認してください。
相手先に接続できない	・ ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・ モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・ 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・ 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

通信設定最適化

「通信設定最適化」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP／IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。Windows XPまたはWindows 2000でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

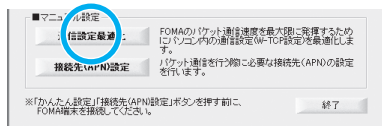
● 海外でパソコン接続を行う場合は、あらかじめ通信設定最適化を解除してください。

最適化の設定と解除

ここではWindows XPを例にして設定と解除を説明します。

1 プログラムを起動する

(1) 「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

「FOMA PC設定ソフト」起動後、「マニュアル設定」の「通信設定最適化」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合

デスクトップ右下のタスクトレイの「通信設定最適化」アイコンをクリックし、プログラムを起動する

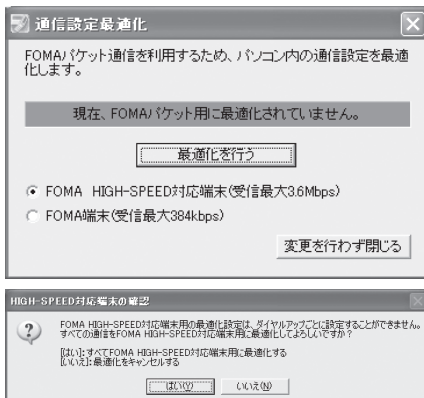
左クリック

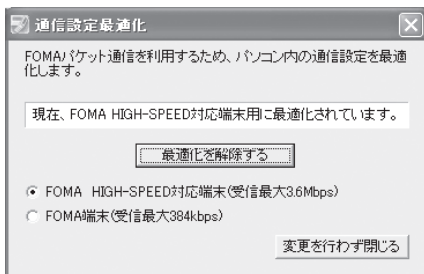
2 以下の操作を行う

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。再起動した後、システム設定の最適化が有効になります。

(1) システム設定が最適化されていない場合

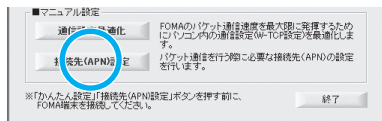
「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択し、「最適化を行う」をクリックする

「HIGH-SPEED対応端末の確認」画面が表示されます。「はい」をクリックすると、システム設定の最適化が実行されます。

(2) システム設定が最適化されている場合

FOMA端末以外での通信等の理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックしてください。最適化解除を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定でき、cid（登録番号）の1～10に登録して管理します。

● お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2 または4 ～10に接続先（APN）を設定します。

1 「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

3 接続先（APN）の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「削除」をクリックする
  cid1とcid3に登録されている接続先は削除できません（cid3を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「接続先（APN）設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。FOMA端末への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「ユーザID・パスワードの設定」をクリックしてください。ユーザIDとパスワードを入力し、画面に従って設定してください。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザID・パスワードについては空欄のままでも構いません。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックします。設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

おしらせ

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- パソコンで作成したダイヤルアップの設定を継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

- 64Kデータ通信を行う場合は「ダイヤルアップネットワークの設定」は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」（P.36）に進んでください。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA SO705i」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.32）で使用します。

● 準備

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02をパソコンに接続する

● Windows VistaでCOMポートを確認する場合

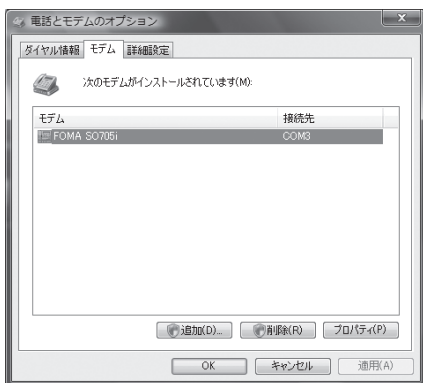
1 「　」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「ハードウェアとサウンド」→「電話とモデムのオプション」を開く

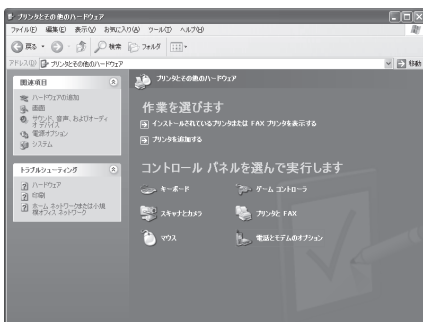
3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA SO705i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.32）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA SO705i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.32）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA SO705i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.32）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid3：mopera.net　cid2、4～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先について<APN/cid>

- パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPNを設定して接続します。
- APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。※1
- APNは「cid（1～10までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊<cid番号>#」とするとcid番号の接続先に接続します。
- moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
- APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		—	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○(FOMA PC設定ソフトなどを使用)	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		—	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。

※2：他のインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cidの2番または4～10番に登録してください。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02をパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」から「FOMA SO705i」を選択し、「OK」をクリックする

接続画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックする

「FOMA SO705i」のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする
ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA SO705i」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」（P.29）を参照して確認してください。

「FOMA SO705i」のCOM ポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

(1) 「ファイル」→「プロパティ」を選択

(2) 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA SO705i」を選択

(3) 「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す

(4) 「OK」をクリックする

7 接続先(APN)を入力し、↵ を押す

AT+CGDCONT=<cid>, “PDP_type”, “APN” の形式で入力する

<cid>：2、4～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

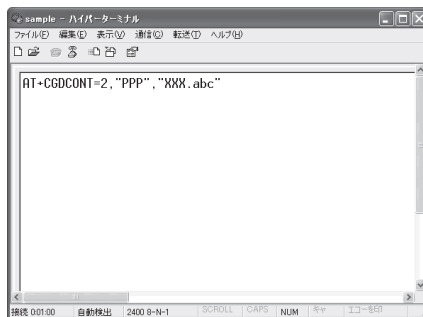
“PDP_type”： “PPP” または “IP” と入力します。

“APN”：接続先（APN）を “ ” で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"

↵ と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「“sample”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

● P.34の操作7以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1 ↵ と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。

● ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合

・ リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2、4～10の設定は未登録となります。

<入力方法>

AT＋CGDCONT= ↵（すべてのcidをリセットする場合）

AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

● ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合

・ 現在の設定内容を表示させます。

<入力方法>

AT＋CGDCONT? ↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.48）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

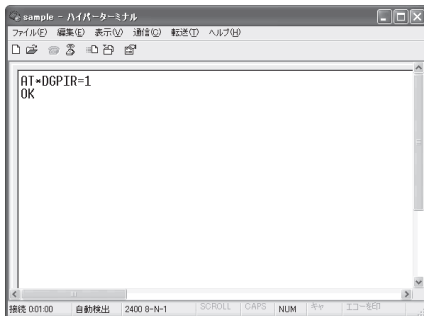
「AT＊DGPIR=<*n*>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1 ↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2 ↵
と入力する

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

おしらせ

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

ダイヤルアップの設定を行う

- ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
- パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」、moperaでは「＊9601」を接続先の電話番号に入力してください。

Windows Vistaでダイヤルアップの設定を行う

1 「」→「接続先」を開く

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

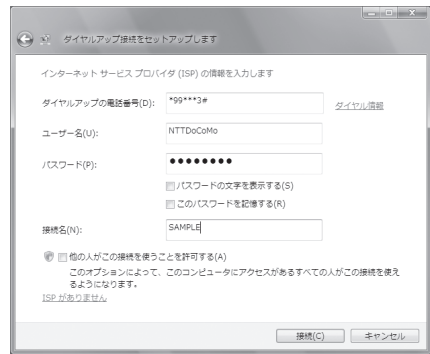
3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、「次へ」をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA SO705iモデム」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 「ダイヤルアップの電話番号」欄を選択し、接続先の番号を入力する

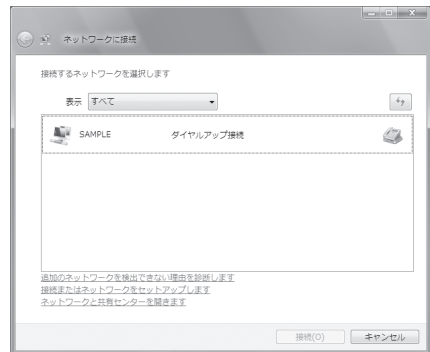
mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

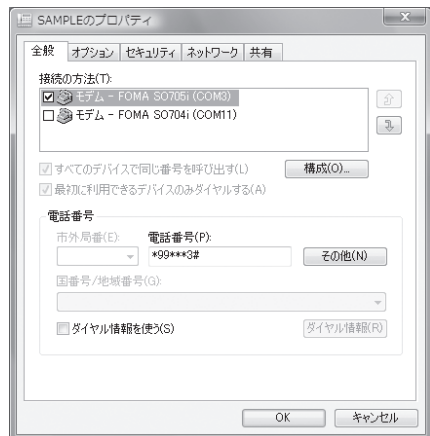
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

6 「接続」をクリックし、「スキップ」をクリックする

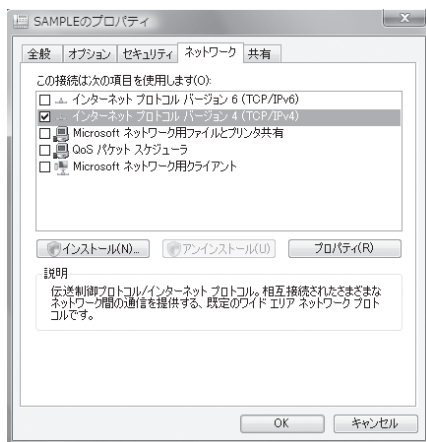
ここではすぐに接続せずに設定の確認のみ行います。

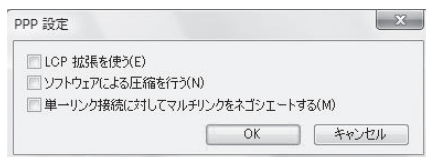
7 「接続をセットアップします」をクリックし、「閉じる」をクリックする

8 「 」→「接続先」を開く

9 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

10 「全般」タブで設定を確認する

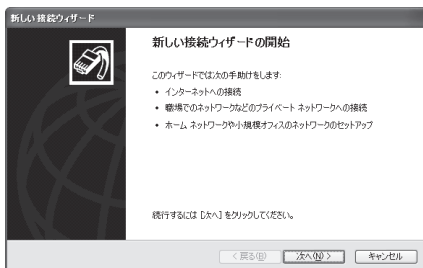
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA SO705i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合はチェックを付けます。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

11 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」のみにチェックを付けます。ご利用になるプロバイダの指示がある場合は、「QoS パケットスケジューラ」および、その他の項目にチェックを付けます。

12 「オプション」タブをクリックし、「PPP設定」をクリックする

13 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

14 「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

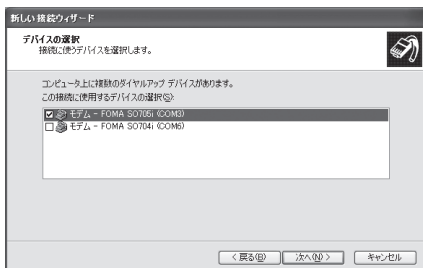
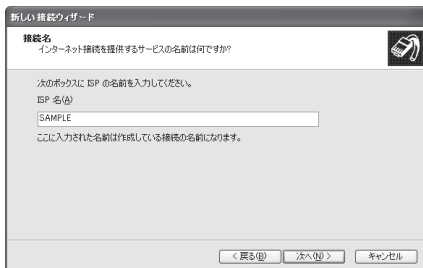
1. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

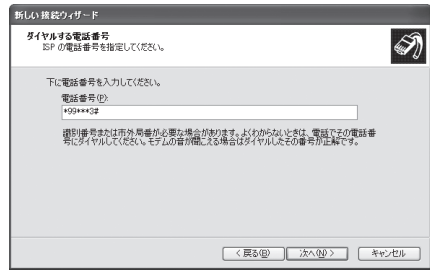
2. 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3. 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

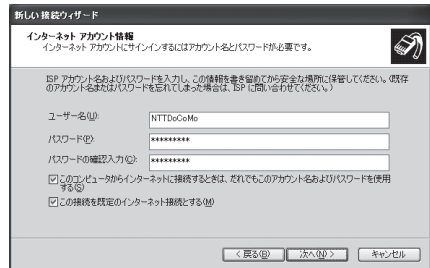
4. 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

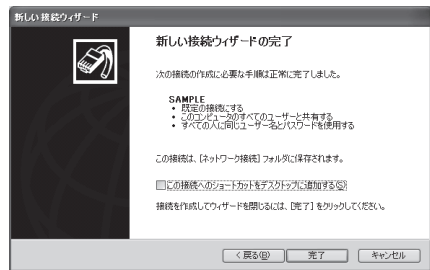
5. 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

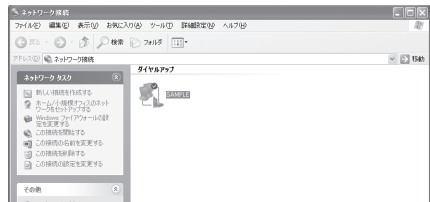
6. 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデムーFOMA SO705i (COMx)」のみを選択し、「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
(COMx) は、「COMポートを確認する」(P.29) で表示されるCOM ポートの番号です。

7. 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

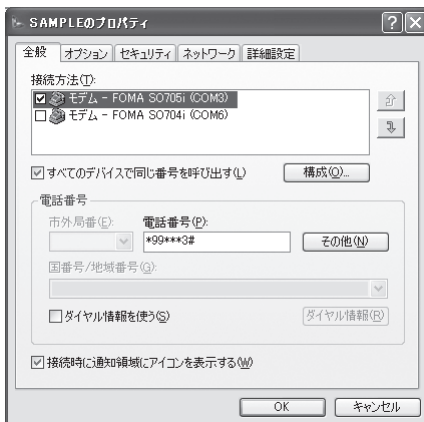
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

9 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13 「全般」タブで設定を確認する

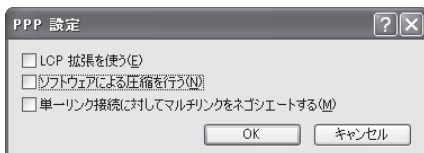
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA SO705i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

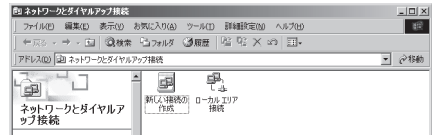
「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

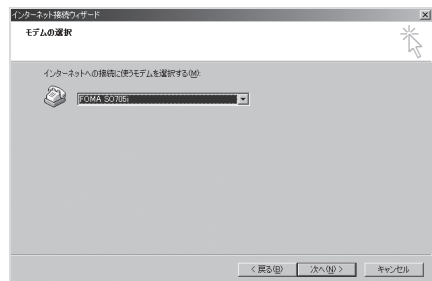
6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

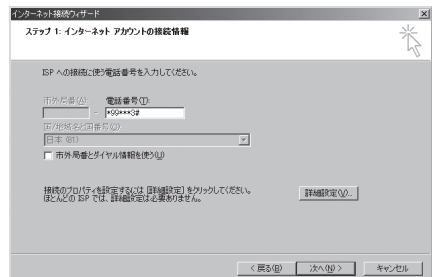
8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

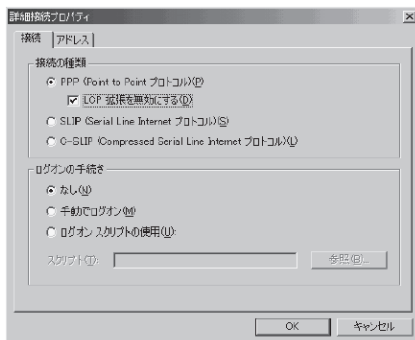
9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA SO705i」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

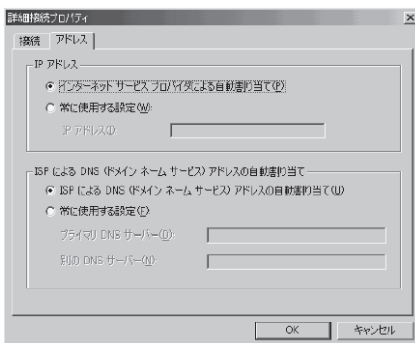
「FOMA SO705i」になっていない場合は、「FOMA SO705i」を選択する

「FOMA SO705i」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

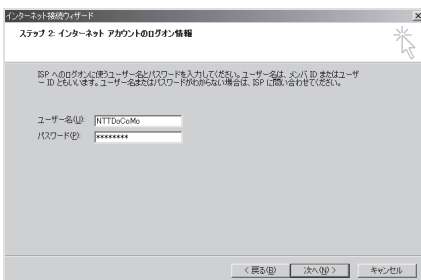
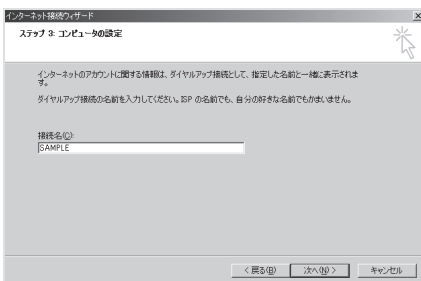
「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

11 「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

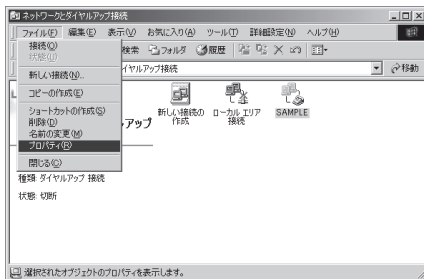
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12 「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13 操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

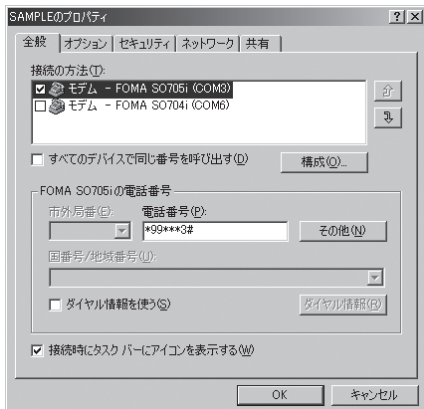
14 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

15 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

16 「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

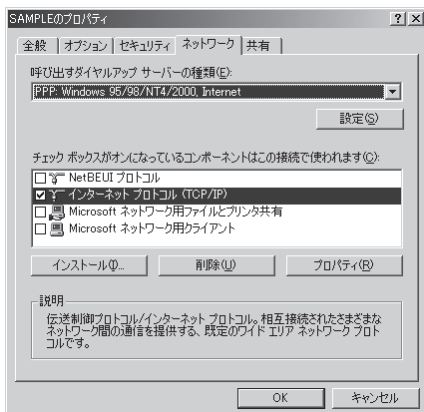
17 「完了」をクリックする

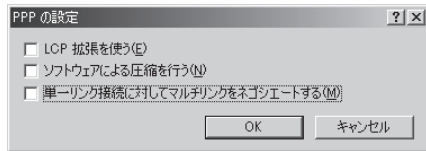
18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

19 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA SO705i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

20 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

コンポーネントは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみをチェックします。

21 「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

23 操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

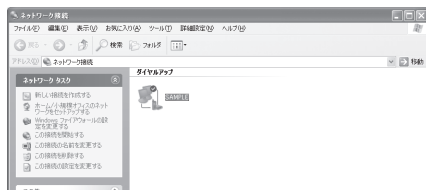
<例：Windows XPの場合>

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.7

2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

3 接続先を開く

P.39の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して、「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックする

4 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

右の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

<接続の完了>

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、右の画面のようなメッセージが数秒間表示されます（OSによっては接続完了画面が表示される場合があります。「OK」をクリックしてください）。ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
右の画面のようなメッセージが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.29）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.36）を再度確認してください。
通信状態については、P.25を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows XPを例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

インターネット接続の状態画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

Windows Vistaの場合

「◎」→「接続先」の順に開く
接続しているダイヤルアップを選択します。

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

- ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
  [＆F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
  [＆W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。
- 外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

モデムポートコマンド一覧

FOMA SO705i（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*＝0：CDは常にON *n*＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n* [&F] [&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*＝0：無線区間通信速度を表示する *n*＝1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*＝0：DRは常にON（初期値） *n*＝1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*=0 のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W=? ERROR
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外と表示される状態 1：FOMA端末の電波の受信レベルが0本または1本の状態 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本の状態 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本の状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*=0：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*=1：着信拒否設定を有効にする *n*=2：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*=1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*=1：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.35）。	*n*=0：APNをそのまま使用する（初期値） *n*=1：APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*=2：APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CAOC	現在の課金値の問い合わせを行います。	－	AT+CAOC +CAOC:"000014" OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルト：+CBC:<bcs>,<bcl> bcs： 0：電池パックから電源が供給されている 1：電池パックから電源が供給されていない 2：FOMA端末に電池パックが接続されていない 3：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 bcl： 0：電池残量なし、または電池パック未接続 1～100：電池残量あり	AT+CBC +CBC:0,70 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK
AT+CBST [&F] [&W]	利用するベアラサービスを切り替えます。	書式：AT+CBST=<*n*>,1,0 *n*=116：64,000 bps(bit transparent)（初期値） *n*=134：64,000 bps (multimedia)	AT+CBST=134,1,0 OK AT+CBST? +CBST:134,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,134),(1),(0) OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	リザルト：+CEER:<report> report：切断理由一覧（P.59）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.56	P.56
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.56	P.56
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.57	P.57
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG:<*n*>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CLIP=*n* [&F] [&W]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*=0：リザルトを出さない(初期値) *n*=1：リザルトを出す AT+CLIP? ：現在の設定値を表示する +CLIP:*n*,*m* *m*=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0,1) OK (+CLIP=1設定時に着信) RING +CLIP:"090XXXXXXXX",177,"123",136

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0：CLIRサービスの契約に従う *n*=1：通話相手に番号発信しない *n*=2：通話相手に番号発信する（初期値） AT+CLIR? ：現在の設定値を表示する +CLIR:*n*,*m* *m*=0：CLIRは起動していない（常時通知） *m*=1：CLIRは起動している（常時非通知） *m*=2：不明 *m*=3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0：ERRORリザルトを用いる（初期値） *n*=1：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*=2：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE?：現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	リザルト：+CNUM:,<number>,<type> number：電話番号 type：129または145 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK
AT+COPS	接続する通信事業者を選択します。	書式：AT+COPS=<mode>,2,<oper> mode=0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） mode=1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） mode=2：通信事業者との接続を解除（切断）する mode=3：マッピングを行わない mode=4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示す。書式は以下のとおりです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8.	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,,,"44F001"),(3,,,"44F002"),,(0,1),(2) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト：+CPAS:＜pas＞ pas： 0：FOMA端末への制御信号の送受信が可能 1：FOMA 端末への制御信号の送受信が不可能 2：不明(制御信号の送受信は保証されない) 3：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ着信中 4：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4)
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式　：AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN１コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード、PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態（PIN1ロック解除コード入力可） +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態（PIN2ロック解除コード入力可） 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUKが応答される状態:PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0：表示しない（初期値） *n*=1：表示する <serv>：パケット通信を意味する“GPRS”のみ表示する（回線種別により“SYNC”，“AV64K”を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0：+CRINGを使用しない（初期値） *n*=1：+CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおり +CRING：SYNC +CRING：AV64K ：GPRS “PPP”,,,“<APN>” AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING ：GPRS “PPP” ,,, “〈APN〉”

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 • OSによっては設定できない場合があります。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG ：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG ：1
AT+CUSD [&F] [&W]	付加サービス等に関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式：AT+CUSD=<n>,"<str>"[,0] *n*=0：中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出しない（初期値） *n*=1：中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト： *m*=0：設定完了 *m*=1：ネットワークから情報要求あり。 str ：0～9、#、＊のみ使用可能。 <str>は""で囲む	AT+CUSD=0,"xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0 +CUSD:0,"148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=*n* [&F] [&W]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	*n*=0：データのみサポート（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	リザルト：+GCAP:<area>,<area>,<area> area： +CGSM ：GSMコマンドの一部またはすべてがサポートされている +FCLASS：+FCLASSコマンドがサポートされている +W ：+Wコマンドがサポートされている	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカ名を表示します。	－	AT+GMI SEMC Japan, Inc. OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMA SO705i）を表示します。	－	AT+GMM FOMA SO705i OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n*,*m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n* ：DCE by DTE *m*：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n*,*m*=2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2)，(0,1,2) OK
AT+WS46	FOMA端末の無線通信モードを表示します。	22：IMT固定モード	AT+WS46? 22 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	*n*=0：拡張リザルトコードを使用しない（初期値） *n*=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid>　1 〜 10：+ CGDCONT 設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：64K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：AV64K通信	＜パケット通信＞ ATD＊99＊＊＊1# CONNECT ＜64K通信＞ AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT ＜AV64K通信＞ AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*=0 ：エコーバックなし *n*=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	*n*=0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*=0：「NTT DoCoMo」を表示する *n*=1：製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*=2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） *n*=3：ACMP信号の各要素を表示する *n*=4：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA SO705i OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*=0 ：リザルトコードを表示する（初期値） *n*=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*=0 ：自動着信しない（初期値） *n*=1‑255：指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43 ：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2? ：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13 ：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3? ：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10 ：初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4? ：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8 ：初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5? ：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*=0：不活動タイマオフ(初期値) *n*=0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：＊ *n*=1：/（初期値） *n*=2：¥（¥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：# *n*=1：%（初期値） *n*=2：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0：リザルトコードを数値で返送する *n*=1：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	−	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移ります。	−	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※1：1～10
<PDP_type>※2：PPPまたはIP
<APN>※3：任意
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
※2：<PDP_type>は、接続方式です。FOMA端末はPPPまたはIPを指定できます。<cid>=1にはPPPが、<cid>=3にはIPが初期値として登録されています。
※3：<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※1　：1～10
<Maximum bitrate UL>※2：なし（初期値）または384
<Maximum bitrate DL>※2：なし（初期値）または3,648
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
※2：<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、384および3,648を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQMIN=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。
(1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK
(2) 上り384kbps/下り3,648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,384,3648
OK
(3) 上り384kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,384
OK
(4) 上りすべての速度/下り3,648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,3648
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・**概要**
PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・**書式**
+CGEQREQ=[<cid>]

・**パラメータ説明**
<cid>※：1～10
※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。
<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。

・**パラメータを省略した場合の動作**
+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQREQ=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り384kbps/下り3,648kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQREQ=2
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.32）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、［&W］が付いているコマンドについては、設定後に
AT&W ↲
と入力することにより保存できます。このとき、［&W］が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、
ATZ ↲
と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。
133	CONNECT 3648000	FOMA端末－基地局間速度3,648,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

- ATV*n*コマンド（P.55）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥V*n*コマンド（P.53）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT
数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。
文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800
数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET ＜接続先APN＞ / ＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞ / ＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大384kbps、受信最大3,648kbpsで接続したことを表します。
文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/3648
数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26 27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

FOMA® SO705i
区点コード一覧

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			